

北区民意識・意向調査報告書

平成 28 年 8 月

北 区

は じ め に

北区では、10年後の北区を見据え、平成27年3月に長期総合計画である「北区基本計画2015」を策定しました。あわせて平成27年度から29年度の3年間に北区が取り組むべき事業内容を明らかにした「北区中期計画」を策定し、区民一人ひとりが輝き夢と希望が持てる北区の実現に向けて取組みを進めています。

この度、「北区基本計画2015」を着実に推進するとともに、刻々と変化する社会情勢や区民要望の動向に迅速かつ的確に対応するため、「北区中期計画」の改定に着手することといたしました。

この調査は、中期計画改定にあたり区民の皆さまの意識や行政ニーズを把握するために実施したものです。アンケートにより、定住意向や北区の将来像のほか、4つの重点戦略に基づき子育て支援や学校教育、健康づくりや産業活性化、生活環境、安全・安心なまちづくりなど、区の施策への要望など区民の皆さまの声をお聞きしました。

調査結果は、中期計画改定のための基礎資料にとどまらず、広く区政の推進・運営のための貴重な資料として活用していきたいと考えています。

おわりに、この調査にご協力いただきました区民の皆さまをはじめ、関係の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成28年（2016年）8月

東京都北区長 花川 與惣太

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容と方法.....	3
3 回収状況.....	4
4 調査結果の集計と分析について.....	5
II 調査結果の概要	7
1 回答者の基本属性.....	9
(1) 性別.....	9
(2) 年齢.....	9
(3) 職業.....	10
(4) 通勤先・通学先.....	10
(5) 家族構成.....	11
(6) 子ども・高齢者との居住の有無.....	11
(7) 居住形態.....	11
(8) 居住地区.....	12
(9) 町会・自治会の加入状況(年齢別、居住地区別).....	12
(10) 携帯電話・パソコンの所有状況(年齢別).....	12
(11) インターネットへの接続の有無(年齢別).....	12
(12) 災害発生に対する備え(年齢別、居住地区別).....	13
(13) かかりつけの医者(年齢別、家族構成別、居住地区別).....	13
(14) 運動・スポーツ頻度(年齢別).....	14
(15) マイナンバーカードの取得(年齢別).....	14
(16) 国籍.....	15
2 調査結果のポイント.....	16
III 調査結果	29
【1 定住意志】.....	31
(1) 居住年数.....	31
(2) 前住地.....	34
(2-1) 前住地(北区以外の区).....	36
(3) 定住意志.....	37
(4) 転居希望理由.....	41
(5) 転居希望地.....	45
(6) 区への愛着度.....	47
(7) 北区のブランドメッセージの認知度.....	52
【2 生活圏・行動圏】.....	56
(1) 生活圏・行動圏.....	56
(2) 日用品や食料品の買物圏.....	59

目次

【3 生活環境評価】	62
（1）生活環境評価	62
（2）自宅周辺の住みやすさ	64
（3）住宅の満足度	67
（4）住宅の不満理由	69
【4 区政への関心・評価】	70
（1）区政への関心度	70
（2）区政情報の入手先	72
（3）区の施策の満足度	77
（4）区の施策の重要度	79
（5）区の施策の満足度と重要度の相関	81
（6）窓口の利用	82
（7）職員の対応	84
（8）職員の対応で良い印象を受けなかった理由	85
（9）区の経営改革への期待	86
（10）公共施設にかかる経費削減のための重点施策	88
（11）公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設	91
【5 区民とともに】	93
（1）区政参画等の状況	93
（2）区政参画等の内容	96
（3）区政参画等しない理由	97
（4）区政参画等のための重点施策	99
【6 「子ども」・かがやき戦略】	101
（1）子育て支援のための重点施策	101
（2）学校教育のための重点施策	104
【7 「元気」・いきいき戦略】	107
（1）健康づくりのための重点施策	107
（2）女性が活躍する社会のための重点施策	109
（3）高齢者のための重点施策	112
（4）障害者のための重点施策	114
（5）産業活性化のための重点施策	116
（6）地域文化振興のための重点施策	125
（7）生涯学習のための重点施策	127
（8）観光振興のための重点施策	129
（9）国際化推進のための重点施策	131
【8 「花＊みどり」・やすらぎ戦略】	133
（1）環境への配慮	133
（2）快適な都市環境のための重点施策	140

【9 「安全・安心」・快適戦略】	143
（1）日常的な不安感	143
（2）不安を感じる内容	146
（3）安心なまちづくりのための重点施策	150
（4）安全なまちづくりのための重点施策	154
【10 北区の印象・将来像】	157
（1）区のイメージ	157
（2）区の将来像	161
（3）地域の将来像	164
（4）区のイメージアップ施策	167
【11 自由回答】	169
IV 調査票	179

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

「北区中期計画(平成27年度～29年度)」改定に向けての基礎資料を得るため、北区民の意識・意向等を的確に把握するとともに、今後の区政運営のための行政課題の抽出及び区の行政需要等の把握を目的として実施した。

2 調査の内容と方法

(1) 調査の設計

調査項目は「基本的項目」と「分野別項目(重点戦略)」の2つの項目に分けて設計している。

「基本的項目」：区の施策全般に関連する基本的な意識の把握を目的とする項目

「分野別項目」：重点戦略に関する課題の把握を目的とする項目

基本属性	フェイスシート	性別	F1
		年齢	F2
		職業	F3
		通勤先・通学先	F3-1
		家族構成	F4
		子ども・高齢者との居住有無	F4-1
		居住形態	F5
		居住地区	F6
		町会・自治会の加入状況	F7
		携帯電話・パソコンの所有状況	F8
		インターネットへの接続の有無	F9
		災害発生に対する備え	F10
		かかりつけの医者	F11
		運動・スポーツ頻度	F12
マイナンバーカードの取得	F13		
国籍	F14		
基本的項目	定住意思	居住年数	問1
		前住地	問2
		前住地(北区以外の区)	問2-1
		定住意思	問3
		転居希望理由	問3-1
		転居希望地	問3-2
		区への愛着度	問4
	生活圏・行動圏	生活圏・行動圏	問6
		日用品や食料品の買物圏	問7
		生活環境評価	問8
	生活環境評価	自宅周辺の住みやすさ	問9
		住宅の満足度	問10
		住宅の不満理由	問10-1
		区政への関心度	問11
	区政への関心・評価	区政情報の入手先	問12
		区の施策の満足度	問13
		区の施策の重要度	問14
		区の施策の満足度と重要度の相関	問13、14
		窓口の利用	問15
		職員の対応	問15-1
職員に対応で良い印象を受けなかった理由		問15-2	
区の経営改革への期待		問16	
公共施設にかかる経費削減のための重点施策		問17	
公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設		問18	
北区の印象・将来像	区のイメージ	問37	
	区の将来像	問38	
	地域の将来像	問39	
	区のイメージアップ施策	問40	
分野別項目(重点戦略)	区民とともに	区政参画等の状況	問19
		区政参画等しない理由	問19-2
		区政参画等の状況のための重点施策	問20
		区政参画等の内容	問19-1
	「子ども」・かがやき戦略	子育て支援のための重点施策	問21
		学校教育のための重点施策	問22
	「元気」・いきいき戦略	健康づくりのための重点施策	問23
		女性が活躍する社会のための重点施策	問24
		高齢者のための重点施策	問25
		障害者のための重点施策	問26
		産業活性化のための重点施策	問27
		地域文化振興のための重点施策	問28
		生涯学習のための重点施策	問29
		観光振興のための重点施策	問30
	国際化推進のための重点施策	問31	
	「花*みどり」・やすらぎ戦略	環境への配慮	問32
快適な都市環境のための重点施策		問33	
「安全・安心」・快適戦略	日常的な不安感	問34	
	不安を感じる内容	問34-1	
	安心なまちづくりのための重点施策	問35	
	安全なまちづくりのための重点施策	問36	

(2) 調査の実施要領

調査地域 北区全域

調査対象 平成28年5月20日現在の北区住民基本台帳に記載されている満20歳～80歳の男女

標本数 2,000人

標本抽出法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

調査方法 調査票を郵送にて配付後、郵送回収

調査期間 平成28年6月1日～6月30日

3 回収状況

有効回収数 874人

回収率 43.7%

有効回収率 44.0%

地区	標本数 A	宛先不明 B	有効発送数 C=(A-B)	回収無効票 D	有効回収数 E	回収率 F=E/A	有効回収率 G=E/C
浮間	132人	0人	132人	0票	56人	42.4%	42.4%
赤羽西	372人	4人	368人	0票	169人	45.4%	45.9%
赤羽東	310人	1人	309人	0票	118人	38.1%	38.2%
王子西	189人	2人	187人	0票	87人	46.0%	46.5%
王子東	401人	2人	399人	0票	169人	42.1%	42.4%
滝野川西	419人	3人	416人	0票	188人	44.9%	45.2%
滝野川東	177人	1人	176人	0票	53人	29.9%	30.1%
地区不明	—	—	—	1票	34人	—	—
合計	2,000人	13人	1,987人	1票	874人	43.7%	44.0%

4 調査結果の集計と分析について

(1) 標本誤差について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがある。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出される。
(信頼度95%)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数 (満 20~80 歳北区民)、n = 回答者数、P = 回答比率 (0 ≤ P ≤ 1)

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となっている。例えば、ある設問の回答者数 (n) が874人であり、その設問中の選択肢の回答比率 (P) が30%であった場合、その回答比率の誤差は±3.1%となり、26.9%~33.1%の範囲にあると考えられる。

回答比率 (P) \ 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,200 人	±1.7%	±2.3%	±2.6%	±2.8%	±2.9%
1,000 人	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
874 人	±2.0%	±2.7%	±3.1%	±3.3%	±3.4%
800 人	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
600 人	±2.4%	±3.3%	±3.7%	±4.0%	±4.1%

(2) 集計上の数字の取扱いについて

比率 (%) の集計は、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。そのため単一回答 (選択肢を一つだけ選ぶ設問) であっても見た目の数字を合算した場合に100%にならないことがある。

また、複数回答 (いくつかの選択肢を選んでもよい設問) の場合も見た目の数字を合算した場合に100%にならないことがある。

なお、報告書における n は回答者数を示している。

n (回答者数) が50未満については回答の信憑性が低いいため、グラフのみ掲載している。

(3) 本報告書における分析の視点

回収したアンケート結果については、必要に応じて基本属性等の項目ごとに（年齢、性別、居住地区、家族構成など）クロス集計を行った。

また、前回調査（平成25年の北区民意識・意向調査）と比較可能な設問については、区民の意識変化を分析するために結果を時系列で整理している。

なお、居住地区については区内を以下の7地区に区分して分析している。

地区名	該当する町丁目
1 浮間（A）	浮間1～5丁目
2 赤羽西（B）	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東（C）	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西（D）	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東（E）	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6 滝野川西（F）	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7 滝野川東（G）	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

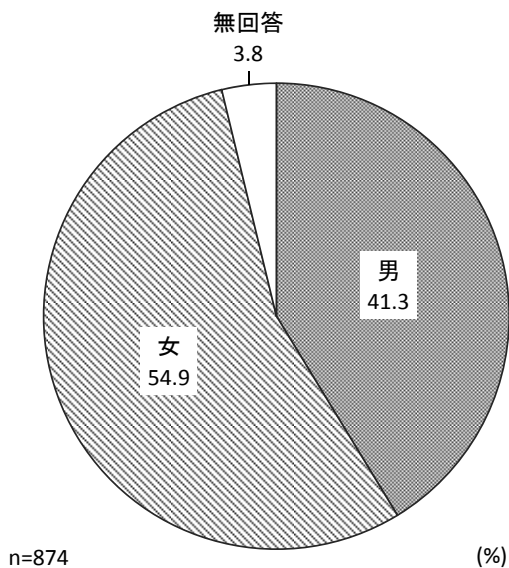


Ⅱ 調査結果の概要

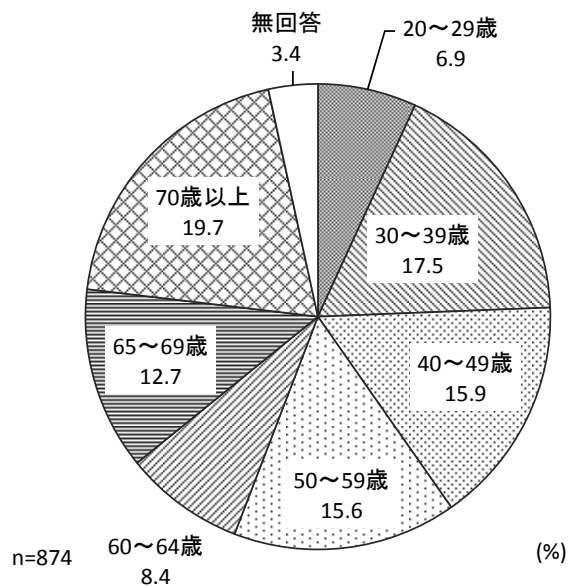
II 調査結果の概要

1 回答者の基本属性

(1) 性別

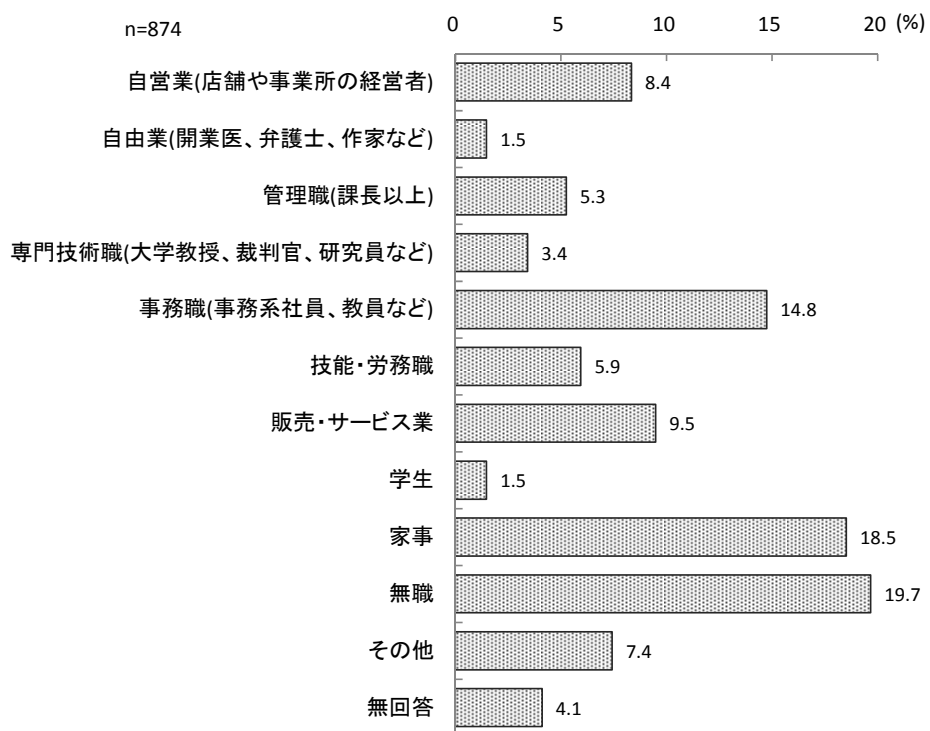


(2) 年齢



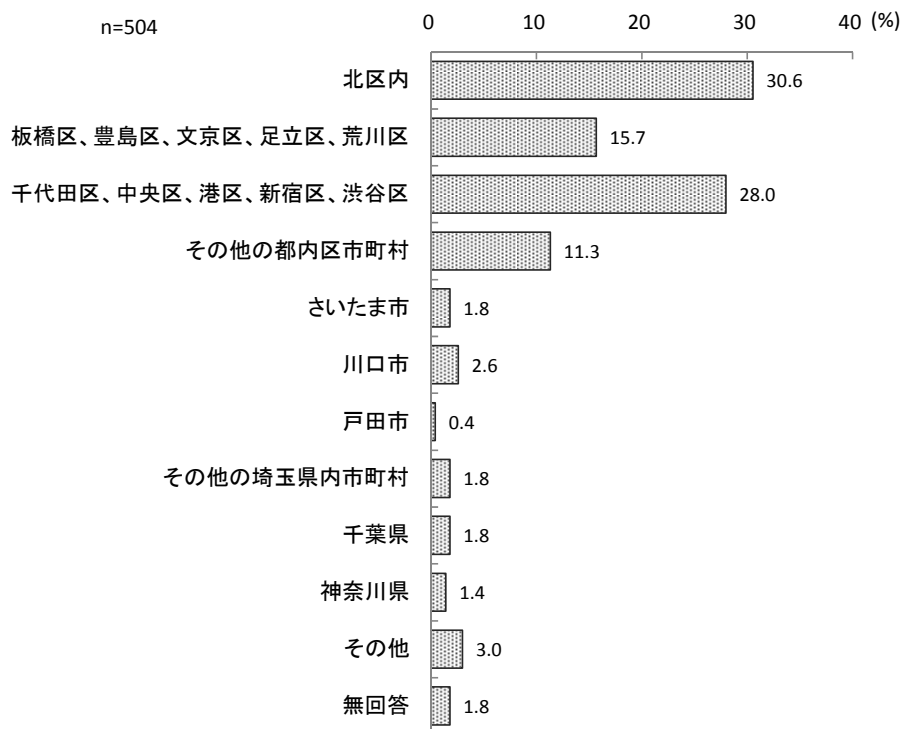
	全 体	20 ~ 29 歳	30 ~ 39 歳	40 ~ 49 歳	50 ~ 59 歳	60 ~ 64 歳	65 ~ 69 歳	70 歳 以上	無回答
合 計	100.0%	6.9%	17.5%	15.9%	15.6%	8.4%	12.7%	19.7%	3.4%
	874 人	60 人	153 人	139 人	136 人	73 人	111 人	172 人	30 人
男	100.0%	5.0%	19.9%	16.9%	14.1%	9.1%	13.3%	21.6%	0.0%
	361 人	18 人	72 人	61 人	51 人	33 人	48 人	78 人	0 人
女	100.0%	8.8%	16.9%	16.3%	17.5%	8.3%	13.1%	19.2%	0.0%
	480 人	42 人	81 人	78 人	84 人	40 人	63 人	92 人	0 人
無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%	90.9%
	33 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	2 人	30 人

(3) 職業

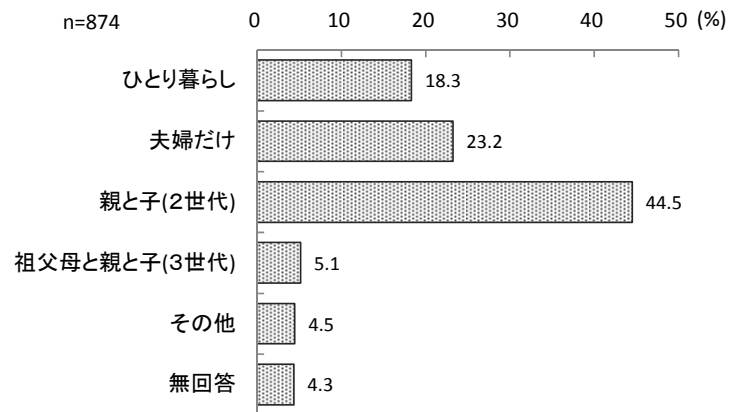


(4) 通勤先・通学先

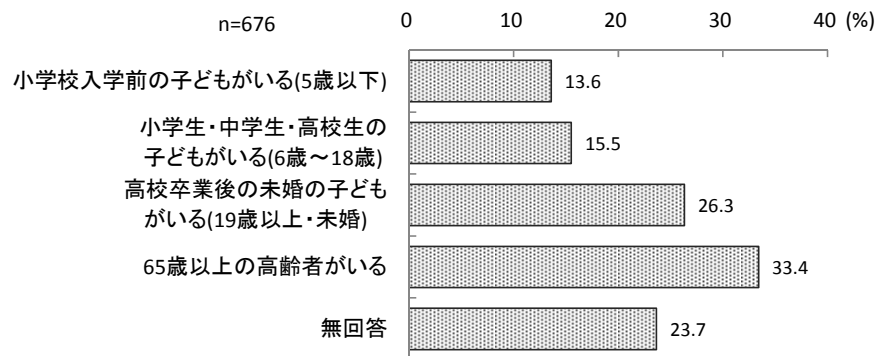
※職業において、「家事」、「無職」、「無回答」以外の回答者



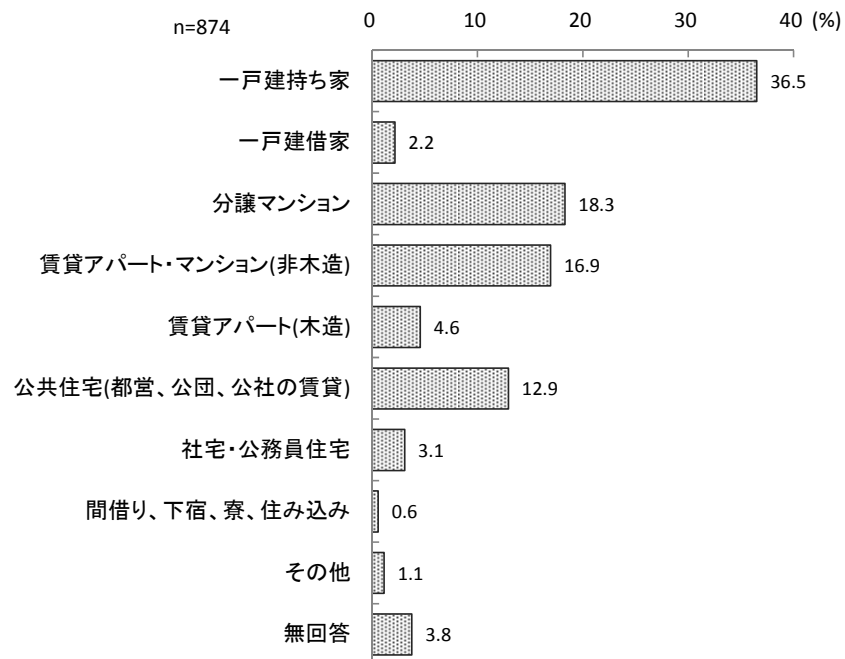
(5) 家族構成



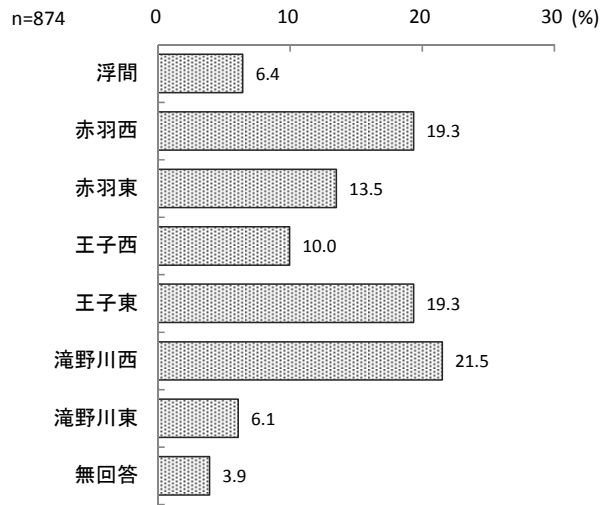
(6) 子ども・高齢者との居住の有無



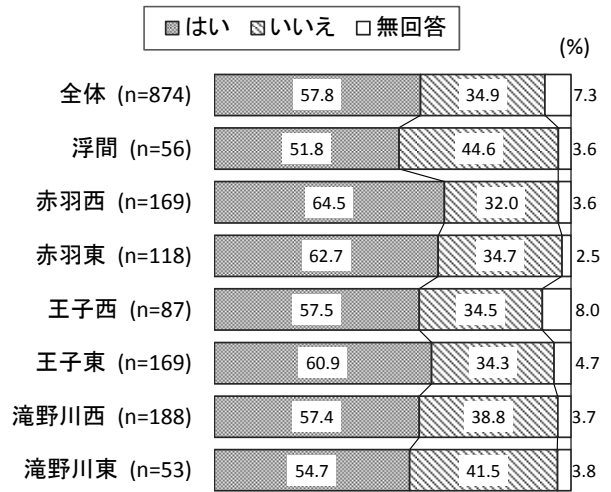
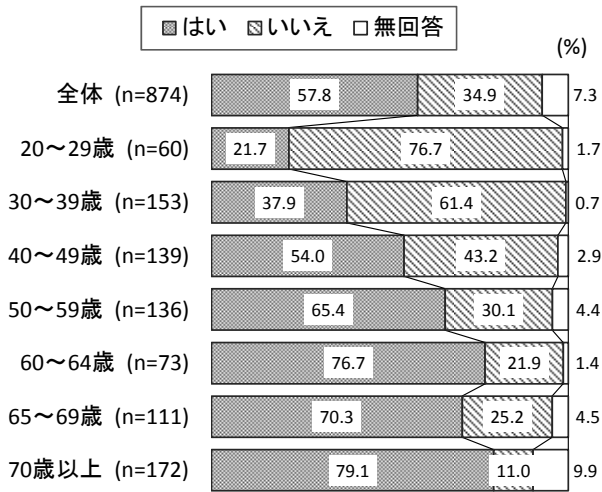
(7) 居住形態



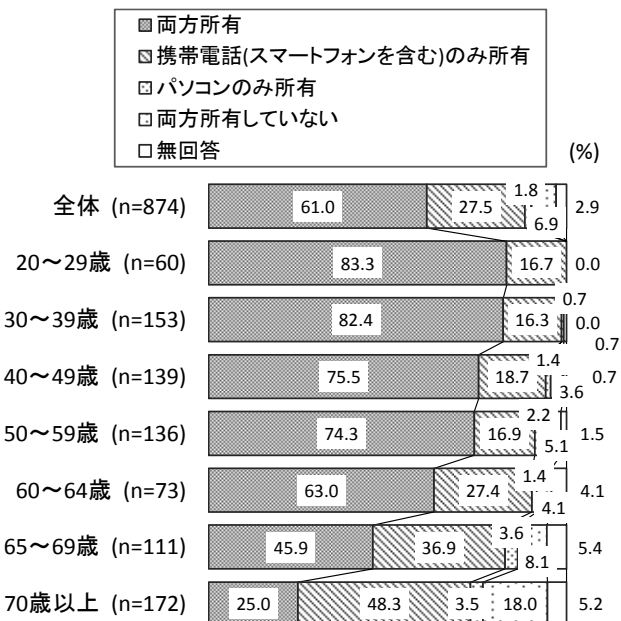
(8) 居住地区



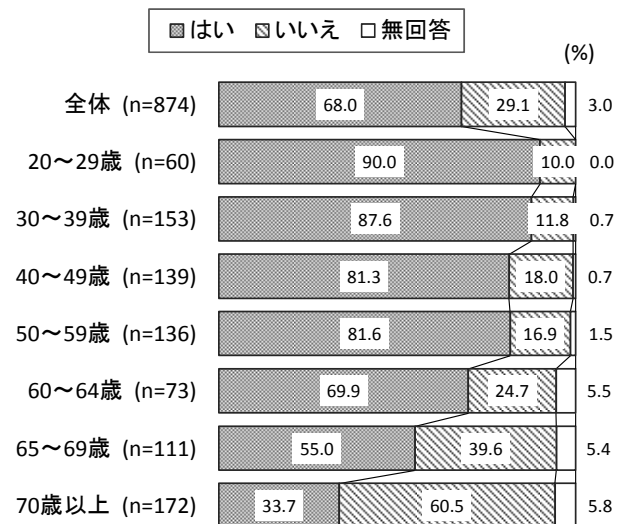
(9) 町会・自治会の加入状況(年齢別、居住地区別)



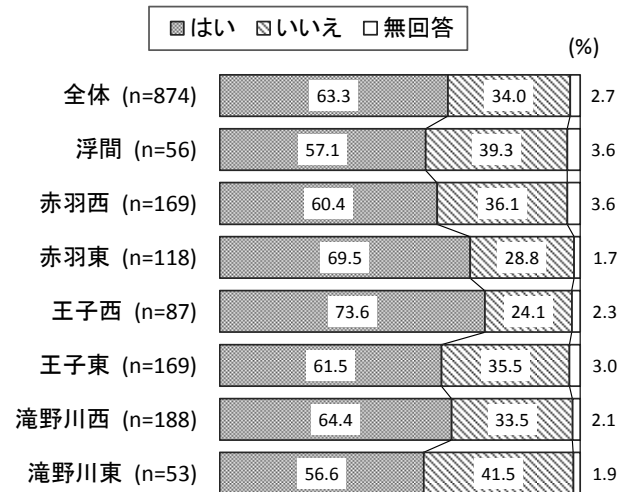
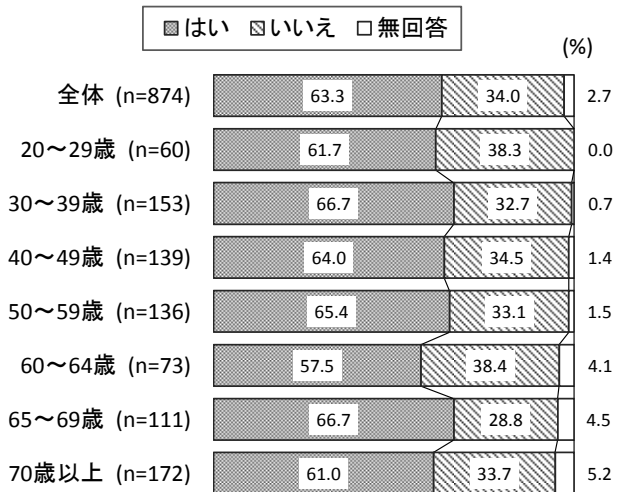
(10) 携帯電話・パソコンの所有状況(年齢別)



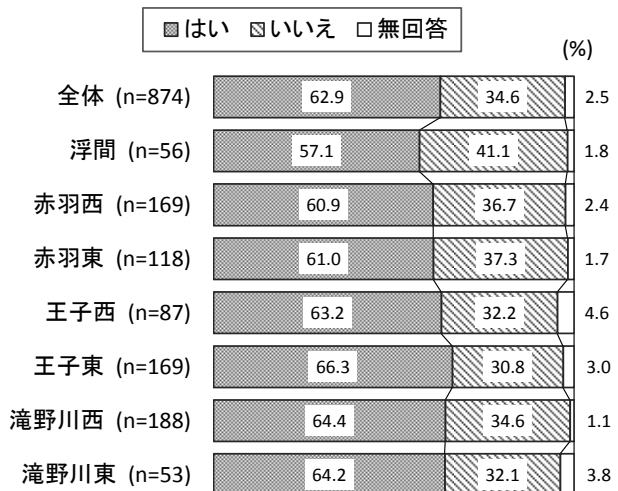
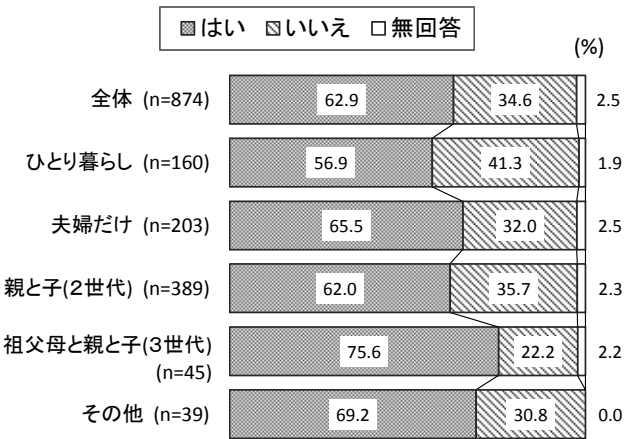
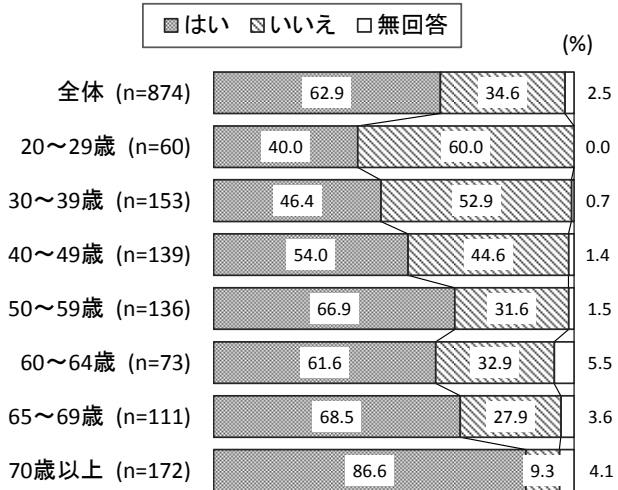
(11) インターネットへの接続の有無(年齢別)



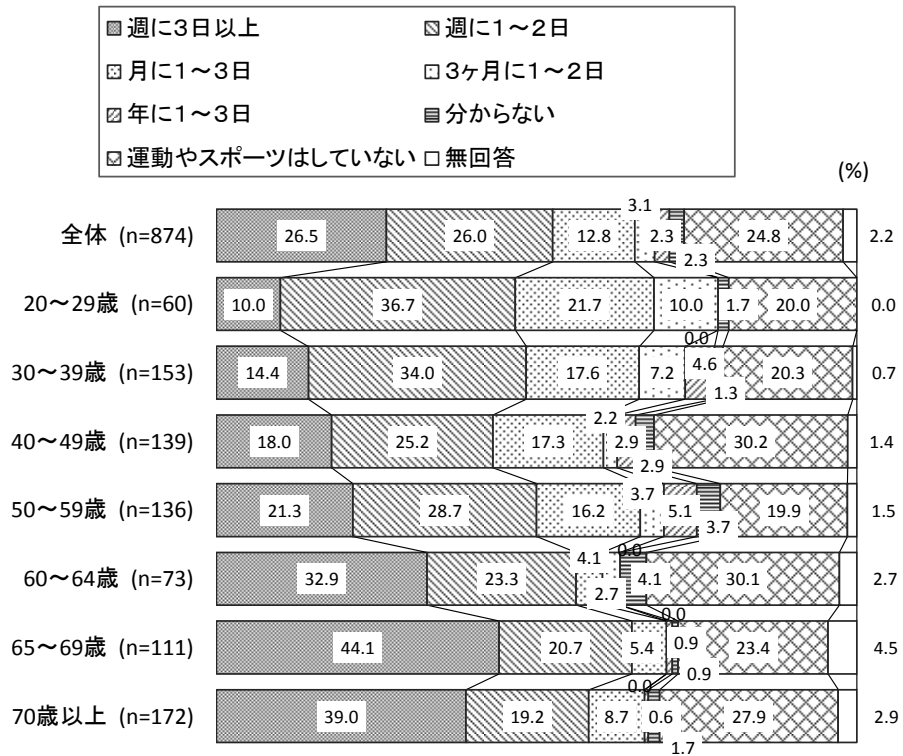
(12) 災害発生に対する備え(年齢別、居住地区別)



(13) かかりつけの医者(年齢別、家族構成別、居住地区別)



(14) 運動・スポーツ頻度(年齢別)

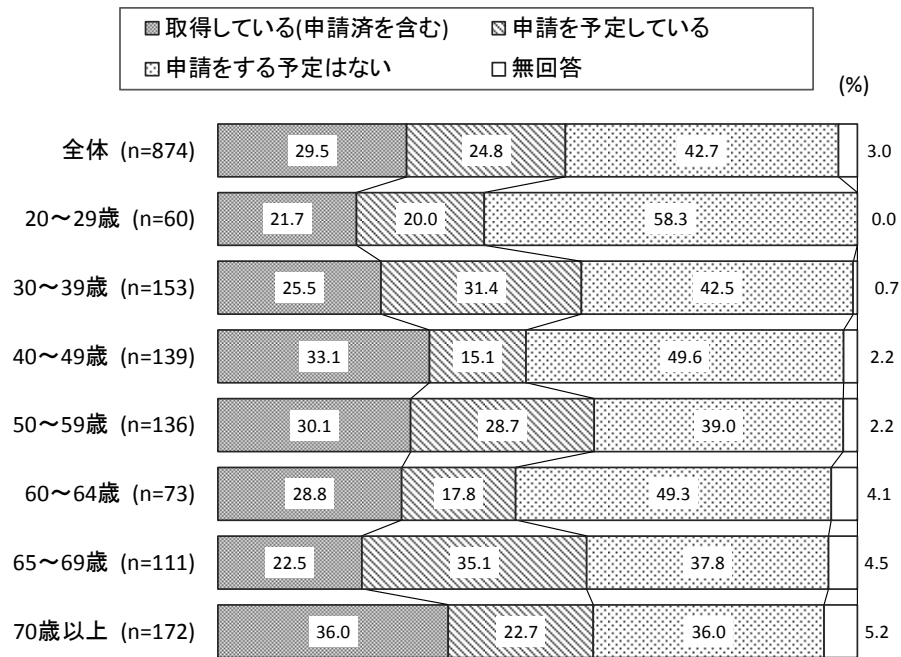


※補足表

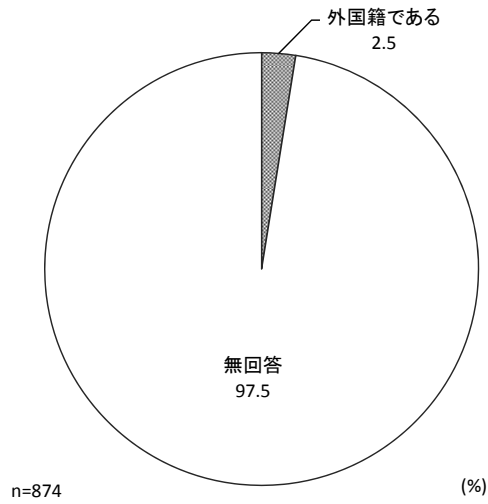
選択肢が多い、または、割合が小さくグラフが見つらい場合は、表を掲載(以下同様)。

区分	件数	週に3日以上	週に1~2日	月に1~3日	3ヶ月に1~2日	年に1~3日	分からない	運動やスポーツはしていない	無回答
全体	874	26.5	26.0	12.8	3.1	2.3	2.3	24.8	2.2
20~29歳	60	10.0	36.7	21.7	10.0	0.0	1.7	20.0	0.0
30~39歳	153	14.4	34.0	17.6	7.2	4.6	1.3	20.3	0.7
40~49歳	139	18.0	25.2	17.3	2.2	2.9	2.9	30.2	1.4
50~59歳	136	21.3	28.7	16.2	3.7	5.1	3.7	19.9	1.5
60~64歳	73	32.9	23.3	4.1	2.7	0.0	4.1	30.1	2.7
65~69歳	111	44.1	20.7	5.4	0.0	0.9	0.9	23.4	4.5
70歳以上	172	39.0	19.2	8.7	0.0	0.6	1.7	27.9	2.9
無回答	30	33.3	20.0	6.7	0.0	0.0	3.3	30.0	6.7

(15) マイナンバーカードの取得(年齢別)



(16) 国籍



2 調査結果のポイント

【1 定住意志】

(1) 居住年数

◇『短期』居住者が4割を超える

居住年数をみると、「平成23年以降から」(18.9%)が最も高くなっている。次いで、「昭和41～50年から」(13.4%)、「昭和51～60年から」(12.8%)が続いている。

また、居住歴を『長期』『中期』『短期』に区分すると、居住歴20年未満(平成8年以降)の『短期』(40.6%)が4割を超えて最も高く、居住歴40年以上(昭和50年以前)の『長期』(33.3%)が3割を超え、居住歴20年以上40年未満(昭和51～平成7年)の『中期』(23.3%)が2割を超えている。

前回調査と比較すると、『長期』と『中期』居住者は減少し、『短期』居住者が増加している。

(2) 前住地

◇「北区以外の特別区」が3割半ば

前住地をみると、「北区以外の特別区」(35.2%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「北区内の他の場所」(20.3%)、「現住所(生まれてからずっと)」(12.5%)が続いている。

前回調査と比較すると、「北区以外の特別区」、「特別区以外の東京都」、「千葉県」が増加している。

(2-1) 前住地(北区以外の特別区)

◇隣接区が半数近くを占める

前住地の特別区名を聞いたところ、「板橋区」(14.3%)と「豊島区」(14.3%)が最も高くなっている。次いで、「荒川区」(7.5%)、「足立区」(6.5%)と「文京区」(6.5%)が続いている。上位5位は北区に隣接している区が占めており、合わせると49.1%で半数近くを占めている。

前回調査と比較すると、「杉並区」からの転入割合が高くなっている。

(3) 定住意志

◇『定住意向』が8割を超える

定住意志をみると、「ずっと住み続けたい」(47.0%)が最も高くなっており、「当分は住み続けたい」(35.4%)と合わせた『定住意向』(82.4%)が8割を超えている。

一方、「いずれは転居したい」(14.0%)と「すぐにでも転居したい」(1.3%)を合わせた『転居意向』(15.3%)は1割半ばとなっている。

前回調査と比較すると、『定住意向』がわずかに減少している。

(4) 転居希望理由

◇「現在の住宅に不満があるから」が3割を超える

転居したい理由を聞いたところ、「現在の住宅に不満があるから」(30.1%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「自分の持ち家を持ちたいから」(22.6%)、「親や家族の事情から」(16.5%)、「現在のところに魅力や愛着がないから」(14.3%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「現在の住宅に不満があるから」が大きく増加し、「商売や事業に向かないから」、「近所付き合いや人間関係に不満があるから」などが減少している。

(5) 転居希望地

◇「北区内」が2割半ば

転居希望地を聞いたところ、「北区内」(24.8%)が2割半ばで最も高くなっている。次いで、「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」(13.5%)と「その他の都内区市町村」(13.5%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「北区内」、「さいたま市」などが増加し、「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」、「千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区」などが減少している。

(6) 区への愛着度

◇『愛着派』が8割近く

区への愛着度をみると、「どちらかというとな愛着を感じる」(42.8%)が最も高くなっており、「愛着を感じる」(35.6%)と合わせた『愛着派』(78.4%)が8割近くとなっている。

一方、「どちらかというとな愛着を感じない」(5.7%)と「愛着を感じない」(3.9%)を合わせた『非愛着派』(9.6%)は1割未満となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(7) 北区のブランドメッセージの認知度

◇「まったく知らない」が6割を超える

北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、「まったく知らない」(61.1%)が6割を超え最も高くなっている。次いで、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」(21.2%)、「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」(13.0%)となっている。

【2 生活圏・行動圏】

(1) 生活圏・行動圏

◇「公園、児童遊園、遊び場」が4割を超える

この1年間で利用したことがある区の施設をみると、「公園、児童遊園、遊び場」(40.4%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「図書館」(39.6%)、「北とぴあ・会館」(36.4%)、「区民事務所・分室」(29.2%)、「集会施設(区民センター・ふれあい館)」(18.9%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「区民事務所・分室」などが増加し、「図書館」などが減少している。

(2) 日用品や食料品の買物圏

◇「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」が8割半ば

日用品や食料品を買う場所をみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」(85.1%)が8割半ばと突出して高くなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

【3 生活環境評価】

(1) 生活環境評価

◇満足度が最も高いのは「通勤・通学の便利さ」

満足度が最も低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」

自宅周辺の生活環境の満足度について、項目ごとに平均評価点を算出したところ、満足度が高いのは「通勤・通学の便利さ」(1.2)、「日常の買い物の便利さ」(1.0)、「診療所や病院などの医療機関への便利さ」(0.8)、「ごみの収集・処理」(0.8)となっている。一方、満足度が低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」(-0.3)、「近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気」(-0.2)、「建物のこみぐあい」(-0.1)となっている。

(2) 自宅周辺の住みやすさ

◇『住みやすい』が8割半ば

自宅周辺の住みやすさをみると、「やや住みやすい」(42.7%)が最も高くなっており、「住みやすい」(42.1%)と合わせた『住みやすい』(84.8%)が8割半ばを占めている。

一方、「やや住みにくい」(7.1%)と「住みにくい」(2.1%)を合わせた『住みにくい』(9.2%)は1割未満となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(3) 住宅の満足度

◇『満足派』が7割半ば

住宅の満足度をみると、「やや満足」(41.5%)が最も高くなっており、「満足」(25.9%)と合わせた『満足派』(67.4%)が7割半ばとなっている。

一方、「やや不満」(15.1%)と「不満」(4.9%)を合わせた『不満派』(20.0%)は2割になっている。

前回調査と比較すると、「やや満足」が増加し、「不満」などが減少している。

(4) 住宅の不満理由

◇「建物が古い」が3割半ば

不満の理由を聞いたところ、「建物が古い」(26.9%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「住宅が狭い」(16.6%)、「家賃、地代が高い」(12.0%)、「騒音がひどい」(9.1%)の順が続いている。

前回調査との比較では、「無回答」の割合が増えたため比較できない。

【4 区政への関心・評価】

（１）区政への関心度

◇『関心』が5割半ば

区政への関心度をみると、「やや関心がある」（44.4%）が最も高くなっており、「大いに関心がある」（12.1%）と合わせた『関心』（56.5%）が5割半ばとなっている。

一方、「あまり関心はない」（34.1%）と「全く関心がない」（3.9%）を合わせた『無関心』（38.0%）は4割近くとなっている。

前回調査と比較すると、『無関心』が増加し、『関心』が減少した。

（２）区政情報の入手先

◇「北区ニュース」が8割半ば

区政情報の入手先をみると、「北区ニュース」（85.1%）が8割半ばと突出して高くなっている。次いで、「掲示板・回覧板」（30.9%）、「インターネット（北区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube 北区公式チャンネル等）」（18.0%）、「わたしの便利帳」（14.6%）の順で続いている。

前回調査と比較すると、「わたしの便利帳」が最も減少している。

（３）区の施策の満足度

◇満足度が最も高いのは「健康づくり（保健・医療体制）の充実」

区の施策の満足度について、各施策に対する満足度の平均評価点でみると、「健康づくり（保健・医療体制）の充実」（0.4）が最も高くなっている。次いで、「ごみ減量・リサイクルの推進」（0.2）、「芸術文化活動の振興」（0.2）、「高齢者・障害者の自立支援の推進」（0.2）が続いている。

（４）区の施策の重要度

◇重要度が高いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

区の施策の重要度について、各施策に対する重要度の平均評価点でみると、「防災対策の充実」（1.3）と「防犯対策の充実」（1.2）が高くなっている。次いで、「健康づくり（保健・医療体制）の充実」（1.1）の順で続いている。

（５）区の施策の満足度と重要度の相関

◇重要度は高いが満足度は低いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

区の施策の満足度と重要度の相関関係をみると、重要度・満足度ともに高いのは「健康づくり（保健・医療体制）の充実」となっている。また、重要度は高いが満足度は低いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」となっている。

(6) 窓口の利用

◇区の施設に「出かけたことがある」が5割を超える

この1年間の区の窓口の利用状況をみると、「出かけたことがある」(54.3%)が5割を超え最も高くなっており、次いで、「電話をかけたことがある」(10.1%)、「電子メールを出したことがある」(0.2%)と続いている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」(32.8%)は3割を超えている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(7) 職員の対応

◇「よかった」が約6割、「悪かった」は1割未満

対応した職員に対して、どのように感じたかを聞いたところ、「よかった」(61.9%)が約6割、「どちらとも言えない」(28.1%)が約3割、「悪かった」(8.3%)は1割未満となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(8) 職員の対応で良い印象を受けなかった理由

◇「職員の態度が横柄、機械的だった」が5割半ば

職員の対応が悪かったと感じた理由を聞いたところ、「職員の態度が横柄、機械的だった」(55.3%)が5割半ばと高くなっている。次いで、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」(27.7%)、「職員からの挨拶や案内の声かけがなかった」(14.9%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」が大きく増加し、「職員の態度が横柄、機械的だった」、「職員の説明が難しくてわかりづらかった」、が大きく減少している。

(9) 区の経営改革の手法

◇「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」が3割半ば

より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは、「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」(36.7%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」(34.8%)、「部や課を統合したり、職員を減らす」(24.1%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)推進を図る」、「窓口での職員の対応を向上させる(窓口サービス改善)」などが増加し、「部や課を統合したり、職員を減らす」が大きく減少している。

(10) 公共施設にかかる経費削減のための重点施策

◇「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」が4割を超える

公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは、「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」(43.7%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「公共施設に対する区民の新たなニーズへは、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」(38.7%)、「建物の適正な維持管理を行い、できるだけ長い期間、建物を使用することで、公共施設の建て替え経費を削減する」(36.8%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(11) 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設

◇「あまり利用されていない施設」が8割近く

公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設をみると、「あまり利用されていない施設」(79.6%)が8割近くと突出して高くなっている。次いで、「老朽化が著しい施設」(54.6%)、「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設」(51.6%)の順で続いている。

前回調査と比較して、「区民のニーズに合わなくなった施設」が大きく減少した。

【5 区民とともに】

(1) 区政参画等の状況

◇区政参画または地域活動に参加したことが「ある」は1割半ば

区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことの有無をみると、「ある」(15.2%)が1割半ば、「ない」(81.9%)が8割を超えている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(2) 区政参画等の内容

◇「町会・自治会活動」が7割近く

参加した活動の内容を聞いたところ、「町会・自治会活動」(67.7%)が7割近くで突出して高くなっている。次いで、「ボランティア活動」(23.3%)、「交通安全に関する活動」(21.1%)、「文化・芸術・スポーツに関する活動」(20.3%)、「防災に関する活動」(20.3%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「ボランティア活動」、「防災に関する活動」が大きく減少している。

(3) 区政参画等しない理由

◇「家事や仕事が忙しく時間がない」が3割を超える

活動に参加しない理由を聞いたところ、「家事や仕事が忙しく時間がない」(34.2%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「参加・活動するきっかけがない」(31.4%)、「興味がない」(17.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「興味がない」が増加している。

(4) 区政参画等のための重点施策

◇「情報公開など開かれた区政の推進」が3割を超える

区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは、「情報公開など開かれた区政の推進」(31.6%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「多様な手段を活用した区政の情報発信」(23.8%)、「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」(23.6%)、「NPO・ボランティアなどの自主的な活動への支援」(12.0%)、「パブリックコメント(区民意見公募手続)の推進」(11.2%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「情報公開など開かれた区政の推進」が最も減少している。

【6 「子ども」・かがやき戦略】

(1) 子育て支援のための重点施策

◇「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が4割近く

子どもたちの健やかな成長支援を推進するための子育て支援について、区が力をいれるべきだと思うことは、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」(37.3%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供」(26.5%)、「地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚」(20.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚」が大きく増加し、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」が大きく減少している。

(2) 学校教育のための重点施策

◇「道徳教育の推進」が4割を超える

子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは、「道徳教育の推進」(42.6%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「学力向上への取り組み」(27.6%)、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」(24.6%)、「特色ある教育の推進(英語など)」(21.5%)、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」(20.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」などが増加し、「道徳教育の推進」などが減少している。

【7 「元気」・いきいき戦略】

（1）健康づくりのための重点施策

◇「運動できる施設の開放や整備」が4割半ば

健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思ふことは、「運動できる施設の開放や整備」(46.5%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「散歩道や公園の整備」(38.3%)、「利用しやすい健康相談窓口の設置」(16.0%)、「健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供」(14.5%)、「健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援」(12.5%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「利用しやすい健康相談窓口の設置」などが増加し、「運動できる施設の開放や整備」などが減少している。

（2）女性が活躍する社会のための重点施策

◇「女性の就労の場や機会の拡大」が5割近く

今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思ふか聞いたところ、「女性の就労の場や機会の拡大」(48.9%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「子育て支援施策の充実」(42.1%)、「全ての世代で担う子育ての推進」(26.1%)、「女性の趣味・教養・文化・スポーツの支援」(24.1%)、「女性の就労における相談体制の充実」(21.7%)の順で続いている。

（3）高齢者のための重点施策

◇「高齢者の就労の場や機会の拡大」が4割を超える

高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思ふか聞いたところ、「高齢者の就労の場や機会の拡大」(42.4%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「高齢者の保健・医療サービスの充実」(22.2%)、「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」(21.5%)、「介護者に対する支援」(20.3%)、「高齢者の趣味・教養・文化・スポーツの支援」(19.1%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「高齢者の保健・医療サービスの充実」が最も減少している。

（4）障害者のための重点施策

◇「障害者の就労の場及び機会の拡大」が5割半ば

障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思ふか聞いたところ、「障害者の就労の場及び機会の拡大」(54.8%)が5割半ばと突出して高くなっている。次いで、「バリアフリーなどの生活環境の整備」(31.5%)、「障害及び障害者に対する理解の促進」(23.0%)、「障害者の相談体制の充実」(17.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「障害者の保健・医療サービスの充実」などが減少している。

(5) 産業活性化のための重点施策

◇【商店街の振興】

「空き店舗活用への支援」が3割近く

商店街の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「空き店舗活用への支援」(28.3%)、が3割近くと最も高く、次いで、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」(22.2%)、「楽しく買い物ができる商店街活動への支援」(18.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」が減少している。

◇【中小企業の振興】

「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」が3割を超える

中小企業の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」(30.0%)が3割と最も高く、次いで、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」(22.4%)、「地域の特性を活かした新たなブランドづくりへの支援」(13.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」などが減少している。

◇【区の産業全体】

「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」が2割を超える

区の産業全体のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」(23.2%)が2割を超え最も高く、次いで、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」(18.6%)、「区内に新たな産業分野を育てるための支援」(16.5%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「産学官連携を促すための支援」が増加し、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」などが減少している。

(6) 地域文化振興のための重点施策

◇「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が3割を超える

地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」(30.4%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「歴史的文化の保存・継承と活用」(27.5%)、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」(22.3%)、「北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援」(20.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「特になし」が増加し、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」などが減少している。

(7) 生涯学習のための重点施策

◇「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」が3割を超える

生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは、「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」(30.9%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」(27.9%)、「学習に関する情報の提供」(20.1%)、「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」(20.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「学習に関する情報の提供」、「学習の成果や能力を地域で活かす仕組みづくり」などが増加している。

(8) 観光振興のための重点施策

◇「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が5割近く

観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」(49.8%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」(30.4%)、「広報誌やインターネットなど様々な観光情報の発信」(26.5%)、「ものづくり現場の見学・体験(伝統産業や工場など)」(25.5%)、「観光イベントの開催・支援」(22.4%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」、「ものづくり現場の見学・体験(伝統産業や工場など)」などが増加している。

(9) 国際化推進のための重点施策

◇「国際交流ができる場や機会の拡大」が3割半ば

今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「国際交流ができる場や機会の拡大」(35.8%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」(32.4%)、「異文化理解に関する教育の推進」(30.2%)、「国際交流・協力ボランティアの育成・充実」(18.9%)、「外国人区民にきめ細かく対応できる相談体制の整備」(18.1%)の順で続いている。

【8 「花＊みどり」・やすらぎ戦略】

（1）環境への配慮

◇【日頃から実践している活動】

「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」が7割を超える

【今後取り組みたい活動】

「太陽光などの自然エネルギーを利用する」、「雨水を利用する」が5割を超える

日頃、地球温暖化対策として取り組んでいる活動は、「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」（70.5%）が7割を超え最も高くなっている。次いで、「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」（67.2%）の順で続いている。

また、今後取り組んでいきたいと思っている活動は、「太陽光などの自然エネルギーを利用する」（51.0%）が5割を超え最も高くなっている。次いで、「雨水を利用する」（50.0%）、「緑のカーテンや遮熱性塗料を導入する」（44.4%）の順で続いている。

（2）快適な都市環境のための重点施策

◇「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」が2割半ば

やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思ふことは、「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」（26.9%）が2割半ばと最も高くなっている。次いで、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」（22.0%）、「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」（21.3%）、「道路など公共の場所の美化の推進」（19.6%）の順で続いている。

【9 「安全・安心」・快適戦略】

（1）日常的な不安感

◇不安を『感じる』が3割を超える

居住地域で日常的に不安を感じるか聞いたところ、「感じる」（10.1%）と「やや感じる」（24.1%）を合わせた『感じる』（34.2%）が3割を超えている。

一方、「あまり感じない」（39.6%）と「感じない」（10.0%）を合わせた『感じない』（49.6%）は5割近くとなっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

（2）不安を感じる内容

◇「地震や水害などの自然災害」が6割近く

どのようなことに不安を感じるかを聞いたところ、「地震や水害などの自然災害」（59.9%）が6割近くと突出して高くなっている。次いで、「子どもの安全」（28.1%）、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」（25.8%）、「交通事故や鉄道事故などの交通災害」（22.4%）、「火災やガス爆発などの災害」（16.4%）の順で続いている。

前回調査と比較すると、「地震や水害などの自然災害」が増加し、「子どもの安全」が減少している。

(3) 安心なまちづくりのための重点施策

◇「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が4割半ば

居住地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」(45.1%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」(30.7%)、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」(27.3%)、「歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保」(23.5%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」、「歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保」が増加し、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」などが減少している。

(4) 安全なまちづくりのための重点施策

◇「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が5割を超える

地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」(50.5%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」(32.0%)、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」(31.9%)、「民間企業、警察・消防など関係機関等との連絡体制の整備」(23.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」が大きく増加している。

【10 北区の印象・将来像】

(1) 区のイメージ

◇「便利で住みやすいまち」が5割半ば

北区についてどのようなイメージを持っているかを聞いたところ、「便利で住みやすいまち」(55.3%)が5割半ばと突出して高くなっている。次いで、「古めかしいまち」(14.6%)、「人情味豊かなまち」(13.8%)、「緑豊かなまち」(13.7%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「高齢者や障害者にやさしいまち」、「人情味豊かなまち」が増加している。

(2) 区の将来像

◇「健やかに安心して暮らせるまち」が5割を超える

将来の北区はどのようなまちになれば良いと思うか聞いたところ、「健やかに安心して暮らせるまち」(52.1%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「安全で災害に強いまち」(39.0%)、「生活利便性の高いまち」(32.6%)、「快適な居住環境を育むまち」(22.5%)、「ふれあいと思いやりのあふれるまち」(17.8%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「快適な居住環境を育むまち」が増加し、「生活利便性の高いまち」などが減少している。

(3) 地域の将来像

◇「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が5割を超える

居住地域が将来どのようなまちに発展していくことを期待するか聞いたところ、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」(53.9%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「閑静で環境の良い住宅地」(41.4%)、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」(28.3%)、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」(21.9%)、「スポーツ施設や文化施設などが整備された文化的なまち」(14.4%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」などが増加している。

(4) 区のイメージアップ施策

◇「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」が4割を超える

北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」(40.5%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「多様なメディア媒体(新聞・雑誌・テレビ・インターネット)による北区に関する報道」(37.3%)、「北区ロケーション案内(映画、テレビなど)」(29.2%)、「北区アンバサダー制度の継続・拡充」(27.1%)、「北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催」(24.1%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」、「多様なメディア媒体(新聞・雑誌・テレビ・インターネット)による北区に関する報道」などが増加している。

Ⅲ 調查結果

Ⅲ 調査結果

1 定住意志

(1) 居住年数

◇ 『短期』 居住者が4割を超える

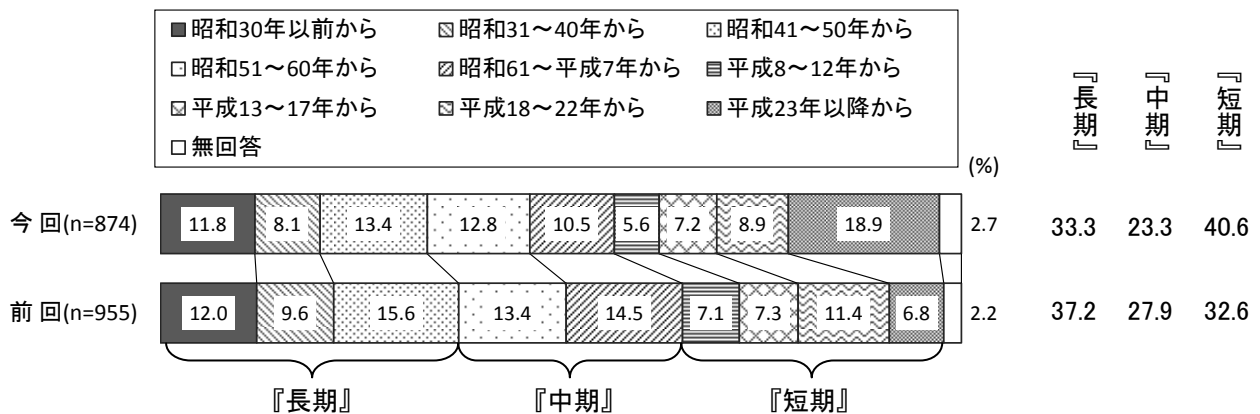
問1 あなたは、いつ頃から北区に住んでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

居住年数をみると、「平成23年以降から」(18.9%)が最も高くなっている。次いで、「昭和41～50年から」(13.4%)、「昭和51～60年から」(12.8%)が続いている。

また、居住歴を『長期』『中期』『短期』に区分すると、居住歴20年未満(平成8年以降)の『短期』(40.6%)が4割を超えて最も高く、居住歴40年以上(昭和50年以前)の『長期』(33.3%)が3割を超え、居住歴20年以上40年未満(昭和51～平成7年)の『中期』(23.3%)が2割を超えている。

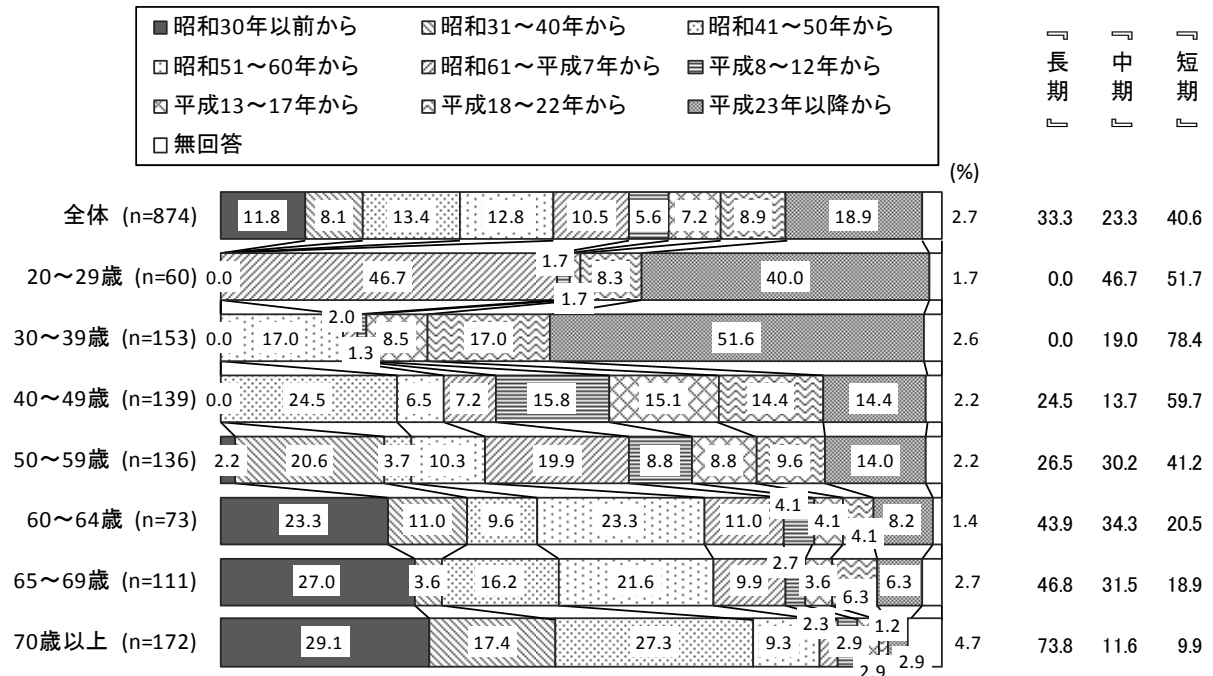
前回調査と比較すると、『長期』と『中期』居住者は減少し、『短期』居住者が増加している。(図表1-1-1)

図表1-1-1 居住年数



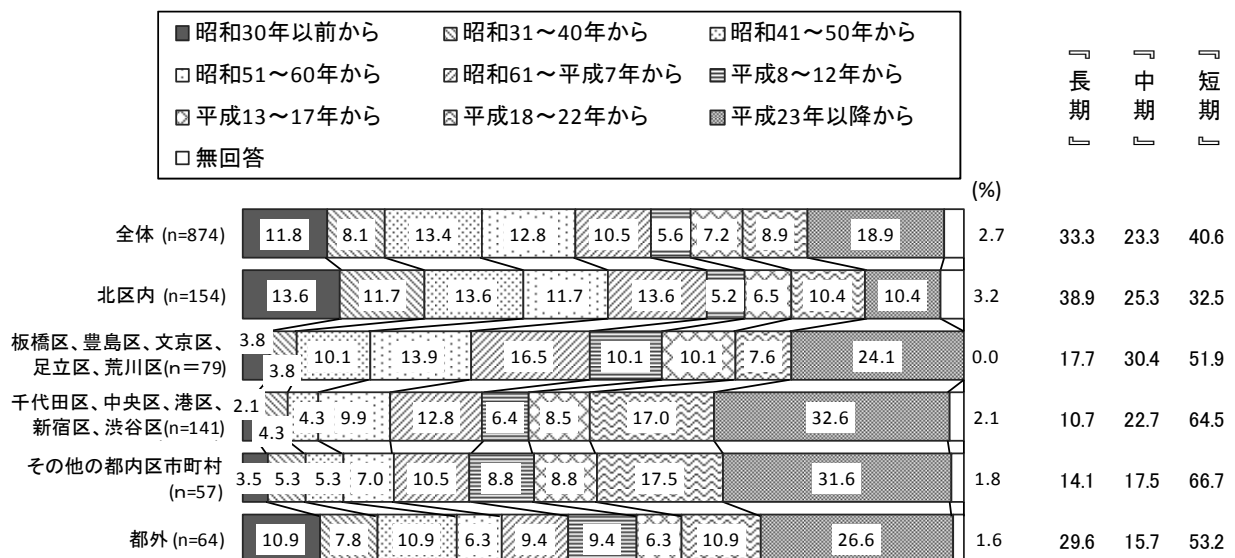
年齢別でみると、『長期』居住者はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、70歳以上（73.8%）で7割以上となっている。また、『中期』居住者は20～29歳（46.7%）で5割近くと高い。『短期』居住者は30～39歳（78.4%）で7割を超え高くなっている。（図表1-1-2）

図表1-1-2 居住年数-年齢別



通勤・通学先別でみると、『長期』居住者は“北区内”（38.9%）で約4割と高くなっている。また、『中期』居住者は“板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区”（30.4%）で3割と高く、『短期』居住者は“その他の都内区市町村”（66.7%）と“千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区”（64.5%）でともに6割以上を占める。（図表1-1-3）

図表1-1-3 居住年数-通勤・通学先別



居住地区別でみると、『長期』居住者は赤羽東（38.1%）で4割近くとなっている。『中期』居住者は赤羽東（29.7%）で約3割、王子西（26.4%）で3割弱と高くなっている。『短期』居住者は滝野川東（54.6%）で5割を超え高くなっている。（図表1-1-4）

図表1-1-4 居住年数-居住地区別



(2) 前住地

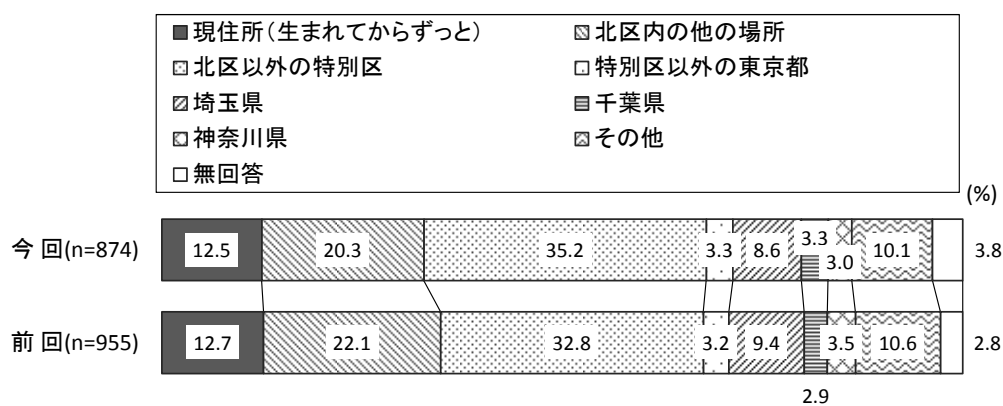
◇「北区以外の特別区」が3割を超える

問2 あなたは、現在のところに住む前は、どちらに住んでいましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

前住地をみると、「北区以外の特別区」(35.2%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「北区内の他の場所」(20.3%)、「現住所(生まれてからずっと)」(12.5%)と続いている。

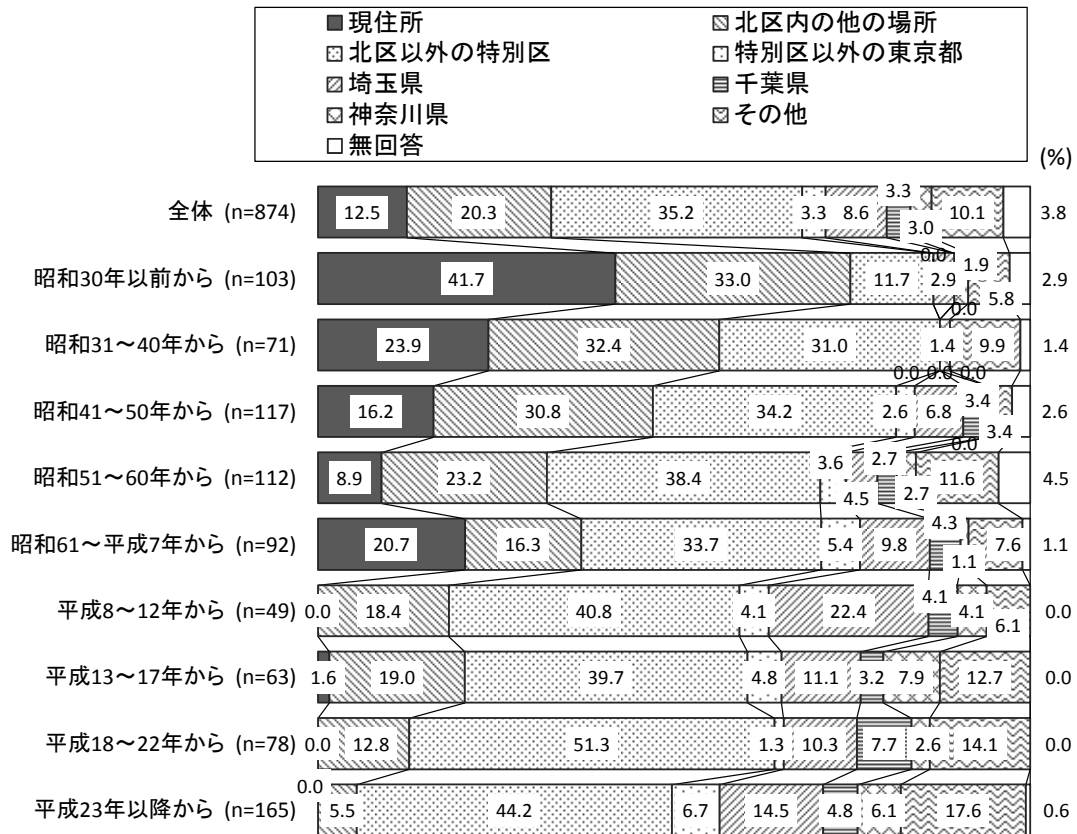
前回調査と比較すると、「北区以外の特別区」、「特別区以外の東京都」、「千葉県」が増加している。(図表1-2-1)

図表 1-2-1 前住地



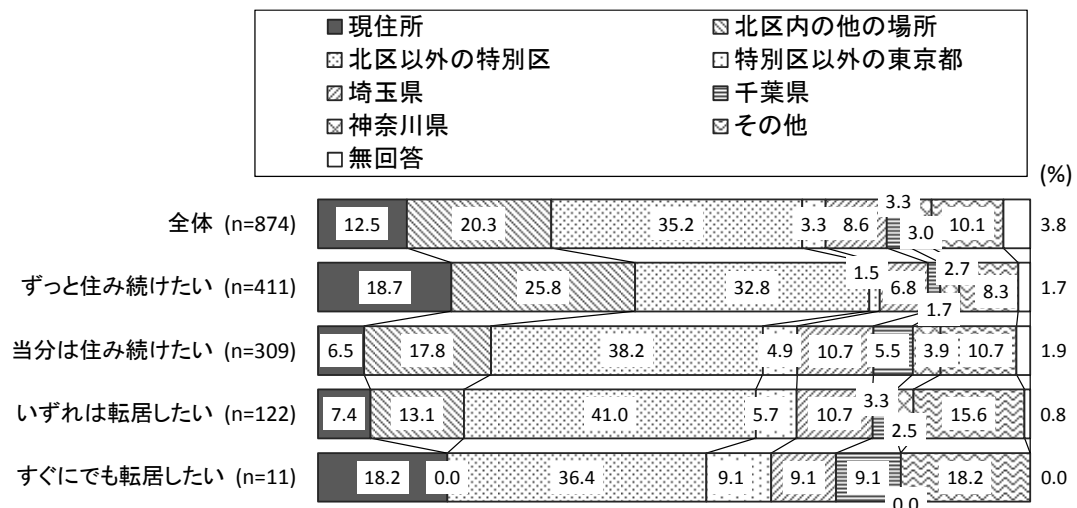
居住年数別でみると、「現住所」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、「昭和30年以前から」（41.7%）で4割を超え高くなっている。また、「北区以外の特別区」は短い居住年数で割合が高くなっている。（図表1-2-2）

図表1-2-2 前住地-居住年数別



定住意志別でみると、「北区以外の特別区」は「いずれは転居したい」（41.0%）で4割を超え高くなっている。また、「北区内の他の場所」は「ずっと住み続けたい」（25.8%）で2割半ばと高くなっている。（図表1-2-3）

図表1-2-3 前住地-定住意志別



(2-1) 前住地（北区以外の特別区）

◇隣接区が半数近くを占める

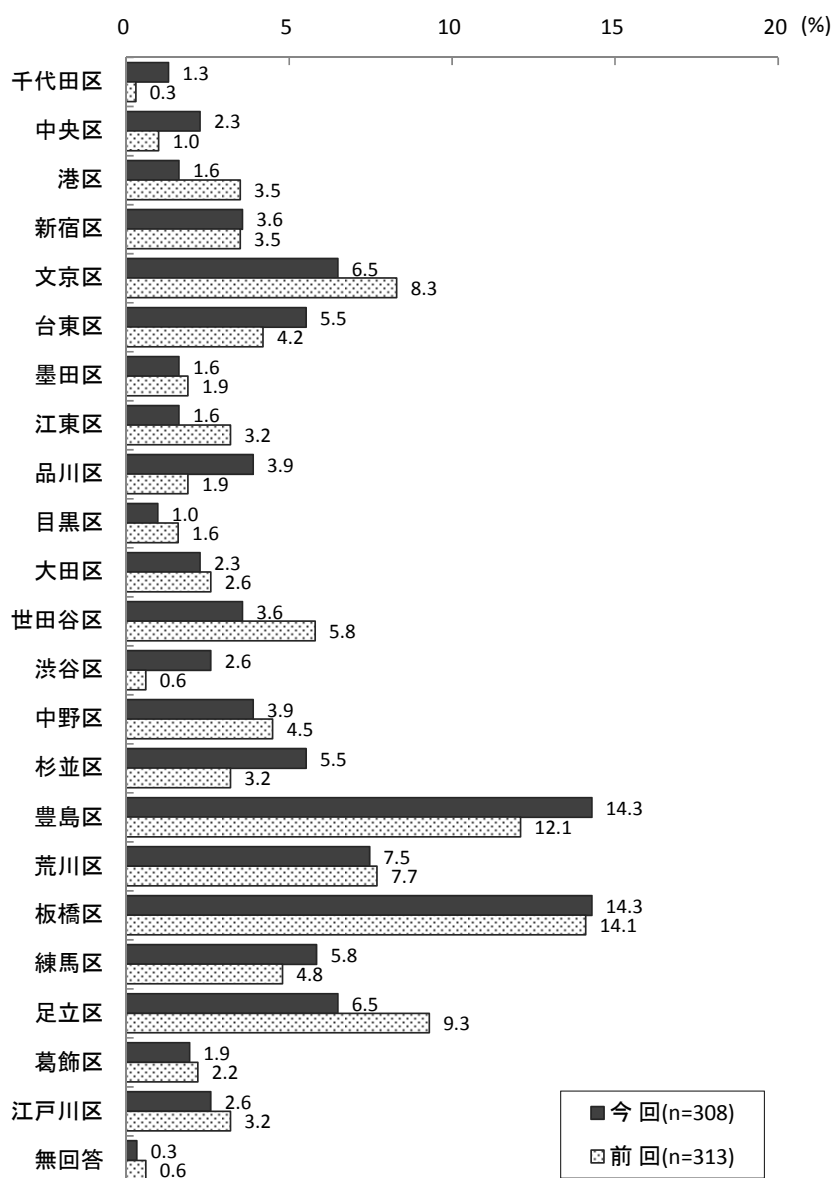
[問2で「北区以外の特別区」を選んだ方にうかがいます]

問2-1 何区ですか。

問2で、「北区以外の特別区」と答えた方（308人）に、前住地の特別区名を聞いたところ、「板橋区」（14.3%）と「豊島区」（14.3%）が最も高くなっている。次いで、「荒川区」（7.5%）、「足立区」（6.5%）と「文京区」（6.5%）と続いている。上位5位は北区に隣接している区が占めており、合わせると49.1%で半数近くを占めている。

前回調査と比較すると、「杉並区」からの転入割合が高くなっている。（図表1-2-4）

図表1-2-4 前住地（北区以外の特別区）



(3) 定住意志

◇『定住意向』が8割を超える

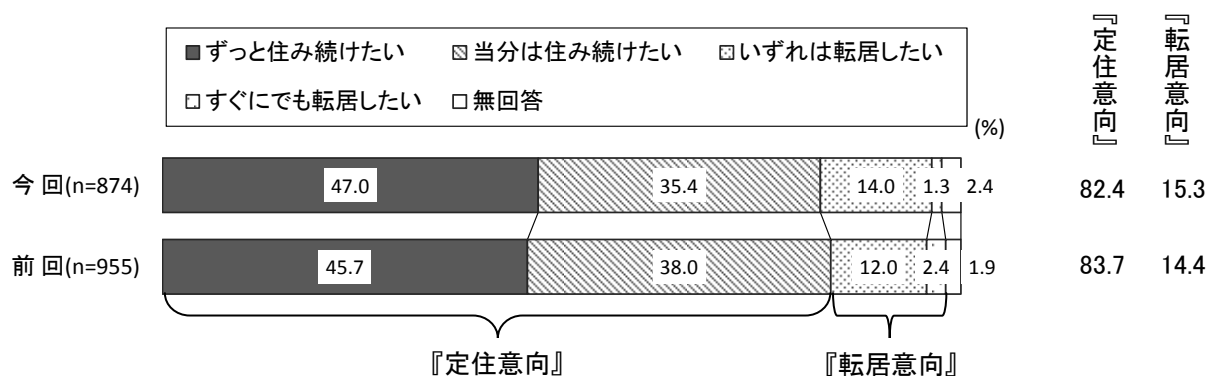
問3 あなたは、現在のところにこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

定住意志をみると、「ずっと住み続けたい」(47.0%)が最も高くなっており、「当分は住み続けたい」(35.4%)と合わせた『定住意向』(82.4%)が8割を超えている。

一方、「いずれは転居したい」(14.0%)と「すぐにでも転居したい」(1.3%)を合わせた『転居意向』(15.3%)は1割半ばとなっている。

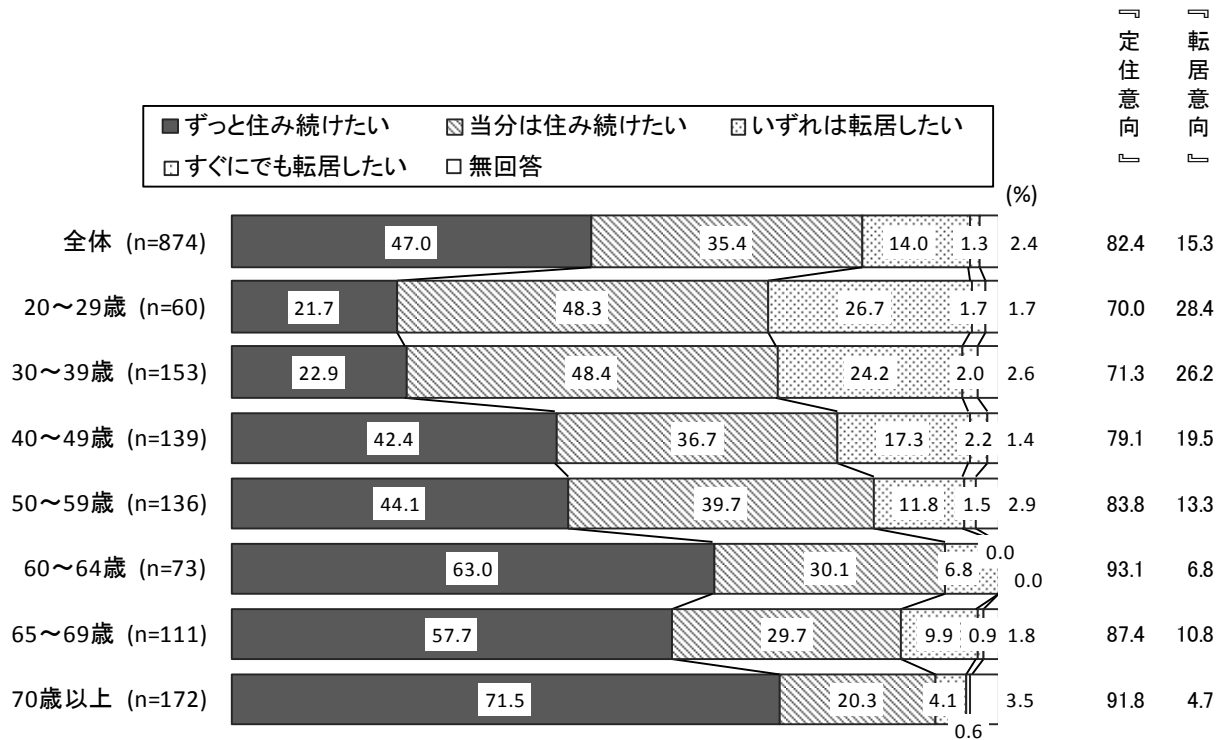
前回調査と比較すると、『定住意向』がわずかに減少している。(図表1-3-1)

図表 1-3-1 定住意志



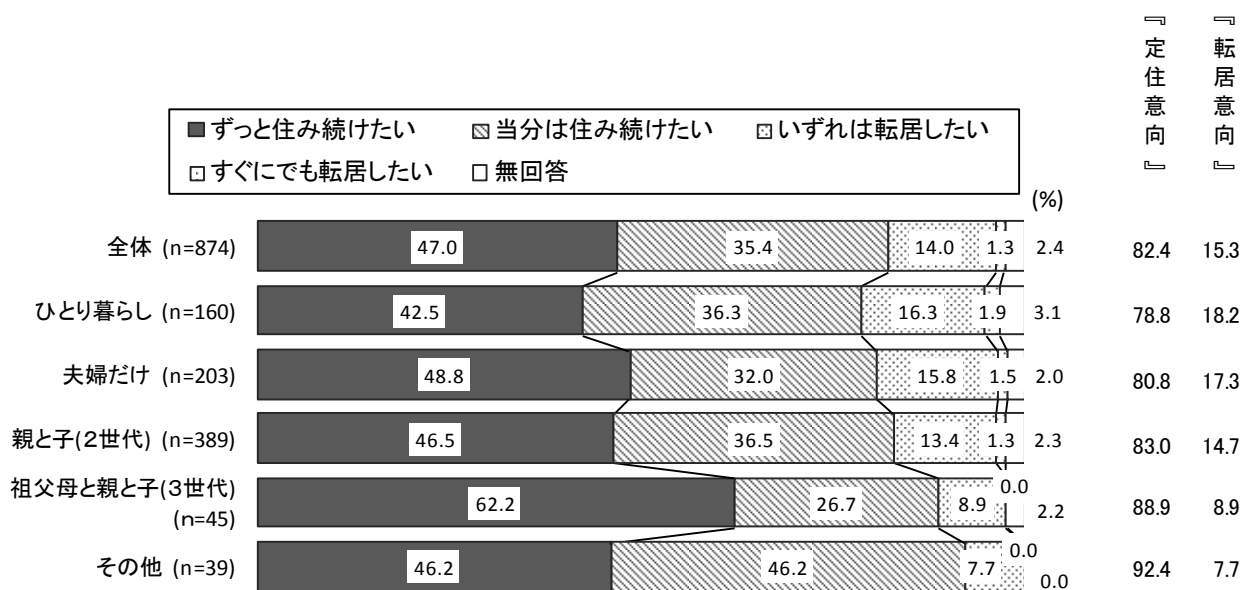
年齢別でみると、『定住意向』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、60～64歳（93.1%）と70歳以上（91.8%）で9割以上を占めている。一方、『転居意向』は20～29歳（28.4%）で3割近くと高くなっている。（図表1-3-2）

図表 1-3-2 定住意志-年齢別



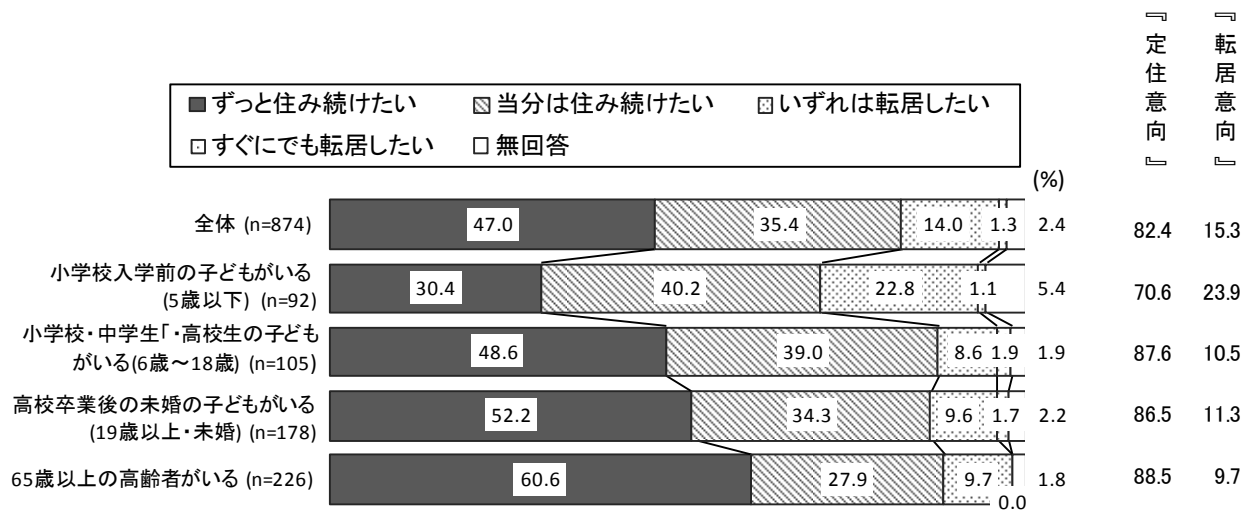
家族構成別でみると、『定住意向』は“祖父母と親と子（3世代）”（88.9%）で9割近くと高くなっている。一方、『転居意向』は“ひとり暮らし”（18.2%）で2割近くと高くなっている。（図表1-3-3）

図表 1-3-3 定住意志-家族構成別



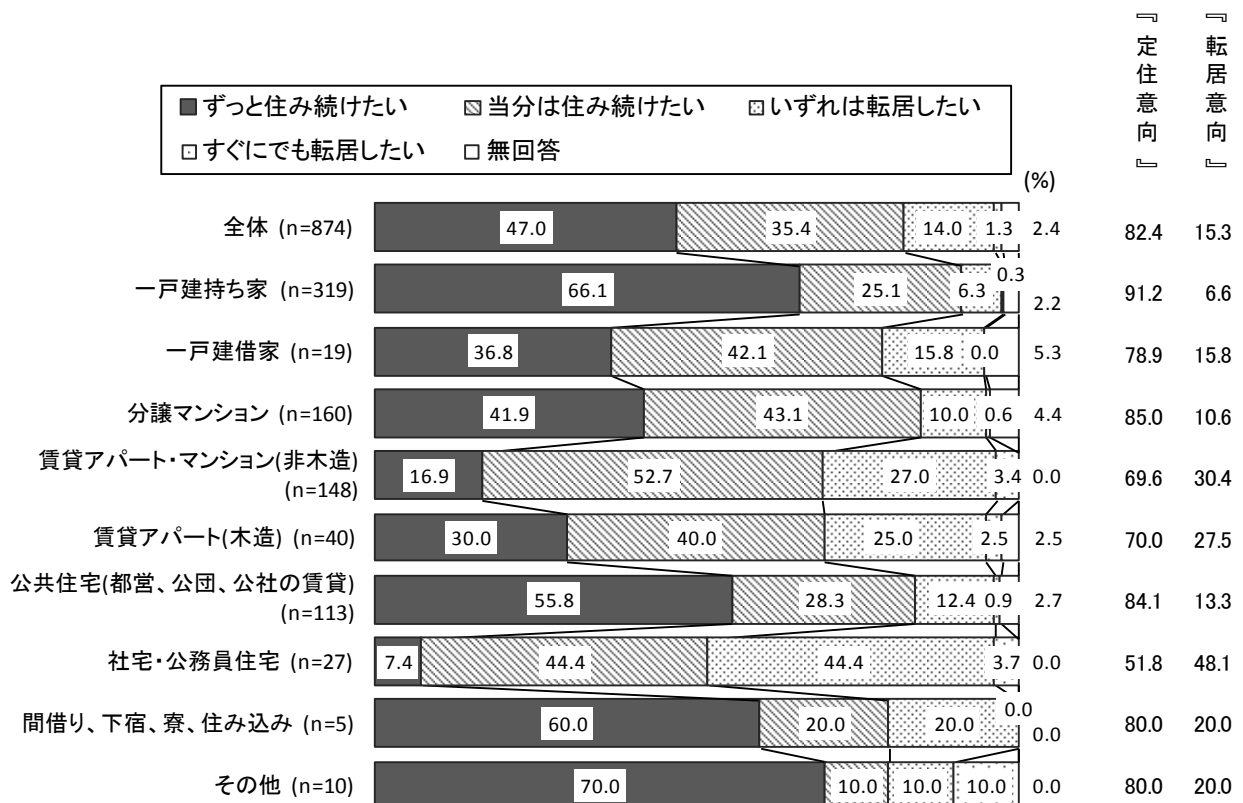
子ども・高齢者との居住の有無別でみると、『定住意向』は“65歳以上の高齢者がいる”（88.5%）で9割近くと高くなっている。一方、『転居意向』は子どもの年齢が低くなるほど割合が高くなっており、“小学校入学前の子どもがいる（5歳以下）”（23.9%）で2割を超え高くなっている。（図表1-3-4）

図表1-3-4 定住意志-子ども・高齢者との居住の有無別



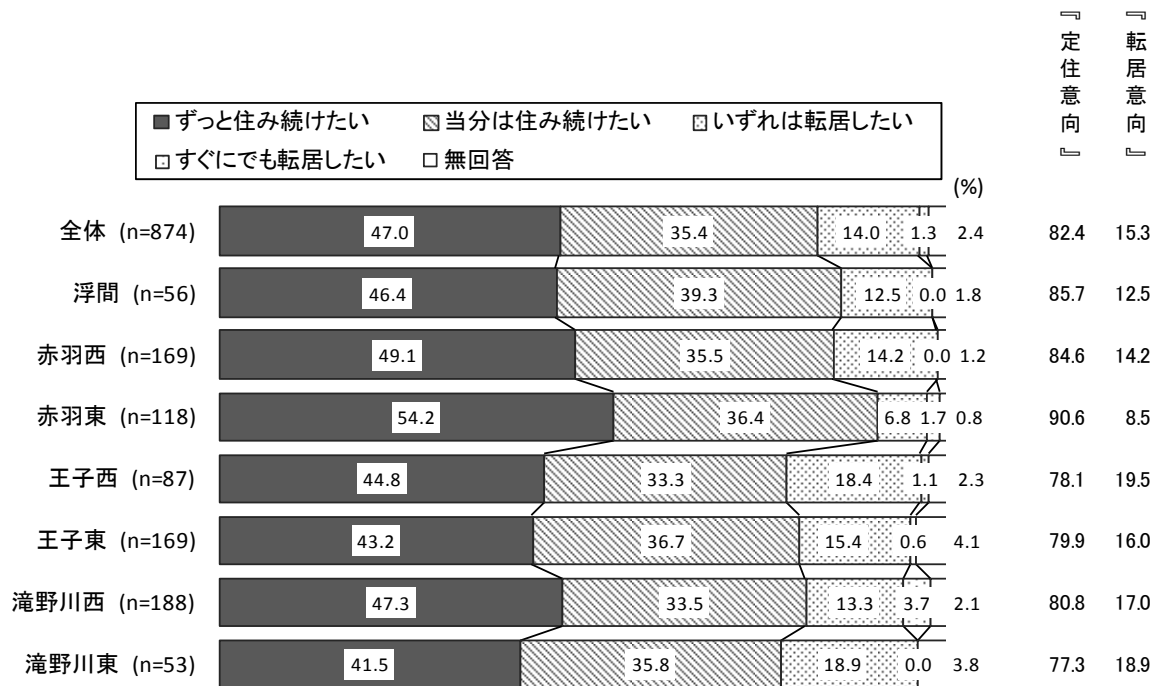
居住形態別でみると、『定住意向』は“一戸建持ち家”（91.2%）が9割超え、“分譲マンション”（85.0%）と“公共住宅（都営、公団、公社の賃貸）”（84.1%）で8割半ばと高くなっている。一方、『転居意向』は“賃貸アパート・マンション（非木造）”（30.4%）で3割超えと高くなっている。（図表1-3-5）

図表1-3-5 定住意志-居住形態別



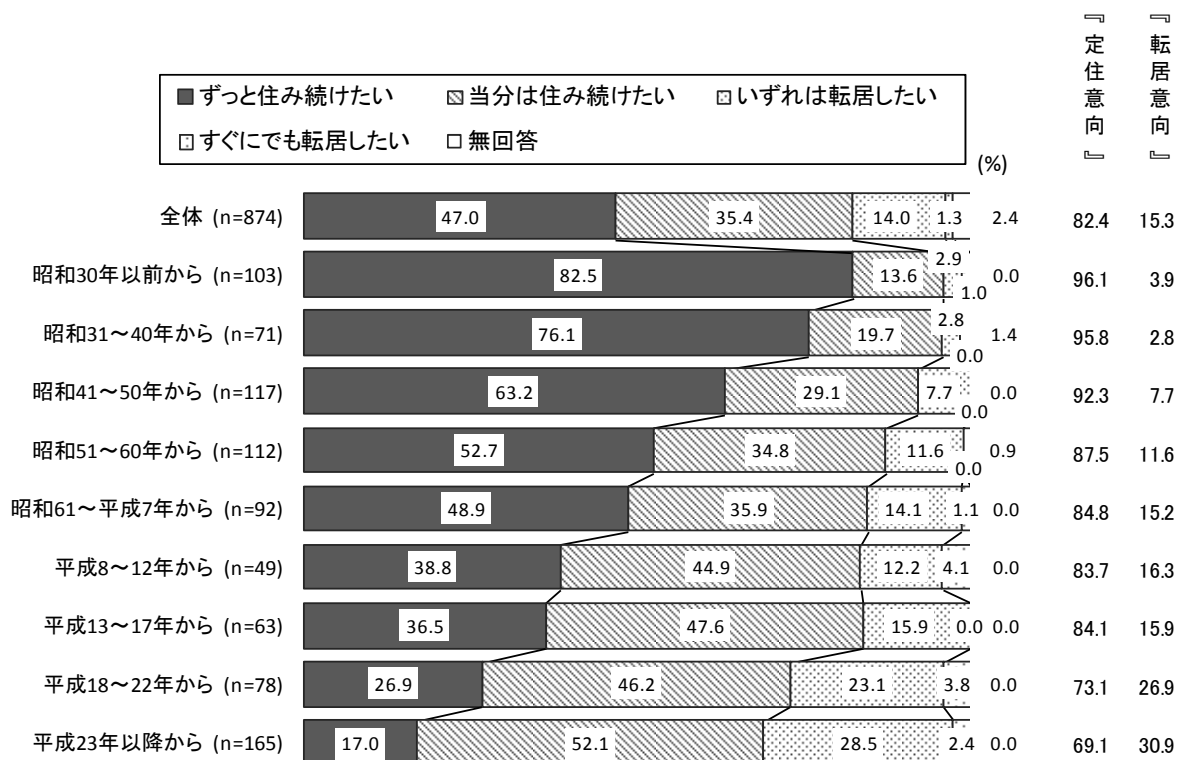
居住地区別でみると、『定住意向』は赤羽東（90.6%）で9割超えと高くなっている。（図表1-3-6）

図表1-3-6 定住意志-居住地区別



居住年数別でみると、『定住意向』はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、“昭和30年以前から”（96.1%）、“昭和31～40年から”（95.8%）、“昭和41～50年から”（92.3%）で9割以上を占める。一方、『転居意向』は“平成23年以降から”（30.9%）が3割超えで高い。（図表1-3-7）

図表1-3-7 定住意志-居住年数別



(4) 転居希望理由

◇「現在の住宅に不満があるから」が3割を超える

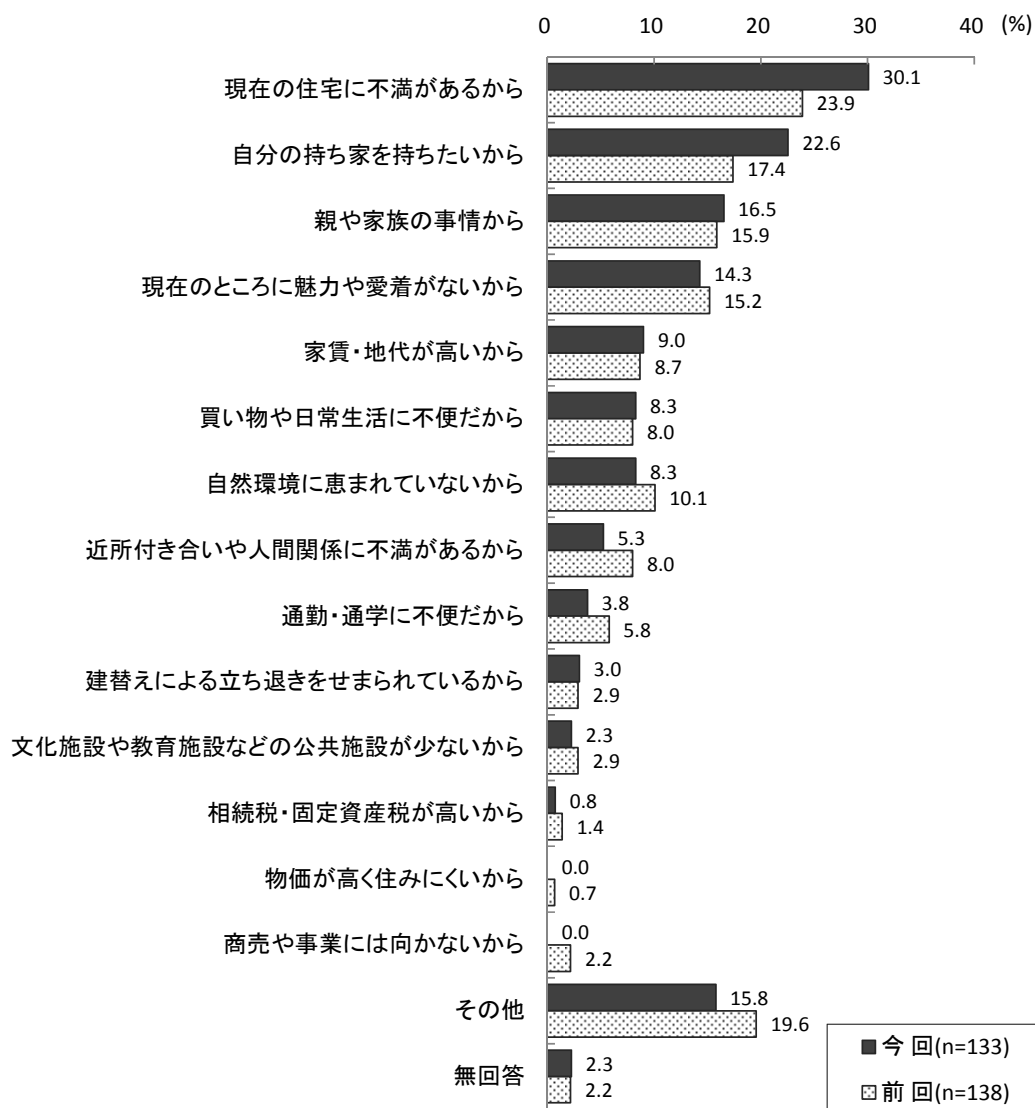
[問3で「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」とお答えの方にかがいます]

問3-1 その主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問3で、「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた方(133人)に、その理由を聞いたところ、「現在の住宅に不満があるから」(30.1%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「自分の持ち家を持ちたいから」(22.6%)、「親や家族の事情から」(16.5%)、「現在のところに魅力や愛着がないから」(14.3%)の順で続いている。

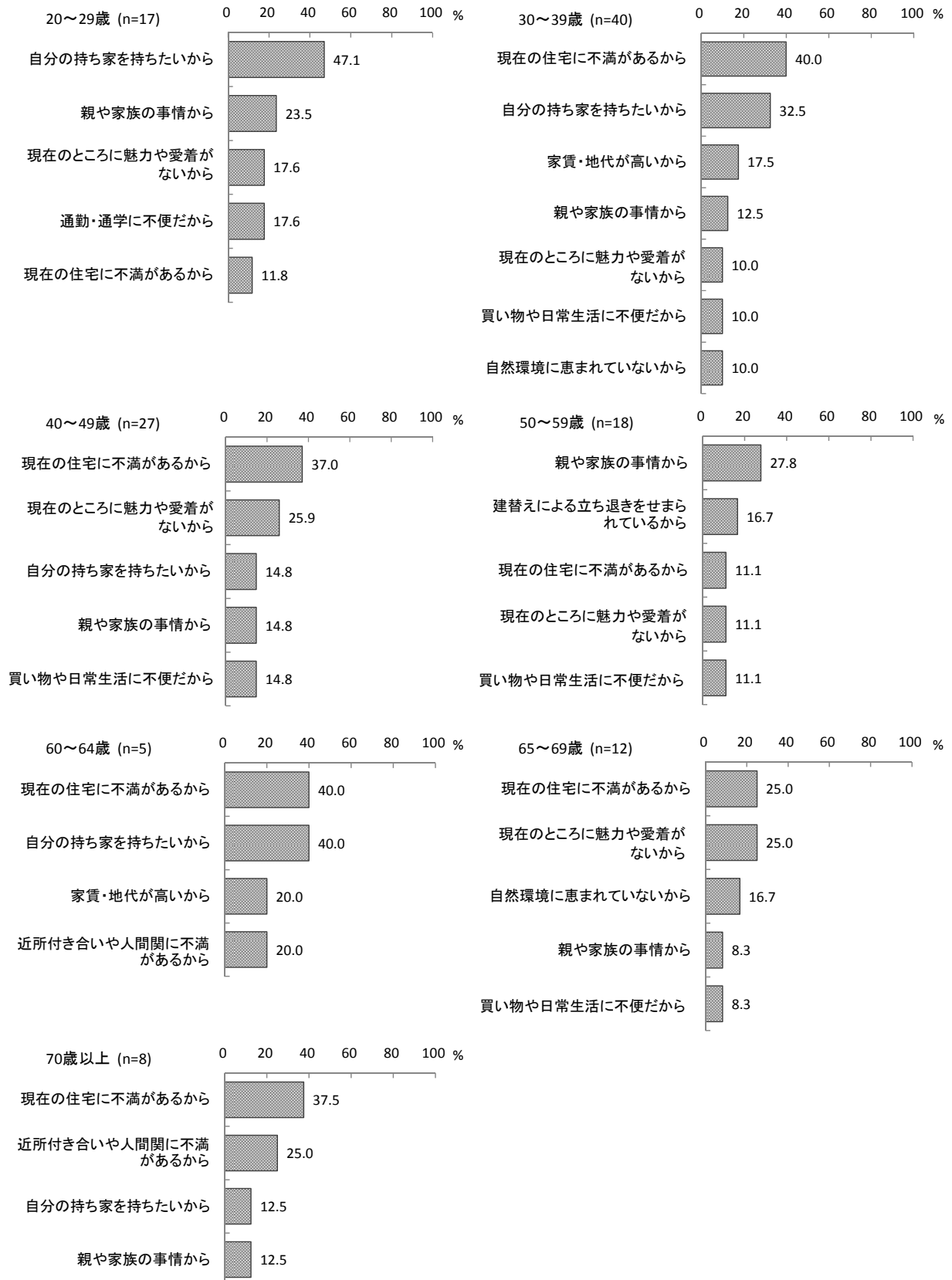
前回調査と比較すると、「現在の住宅に不満があるから」が大きく増加し、「近所付き合いや人間関係に不満があるから」などが減少している。(図表1-4-1)

図表1-4-1 転居希望理由



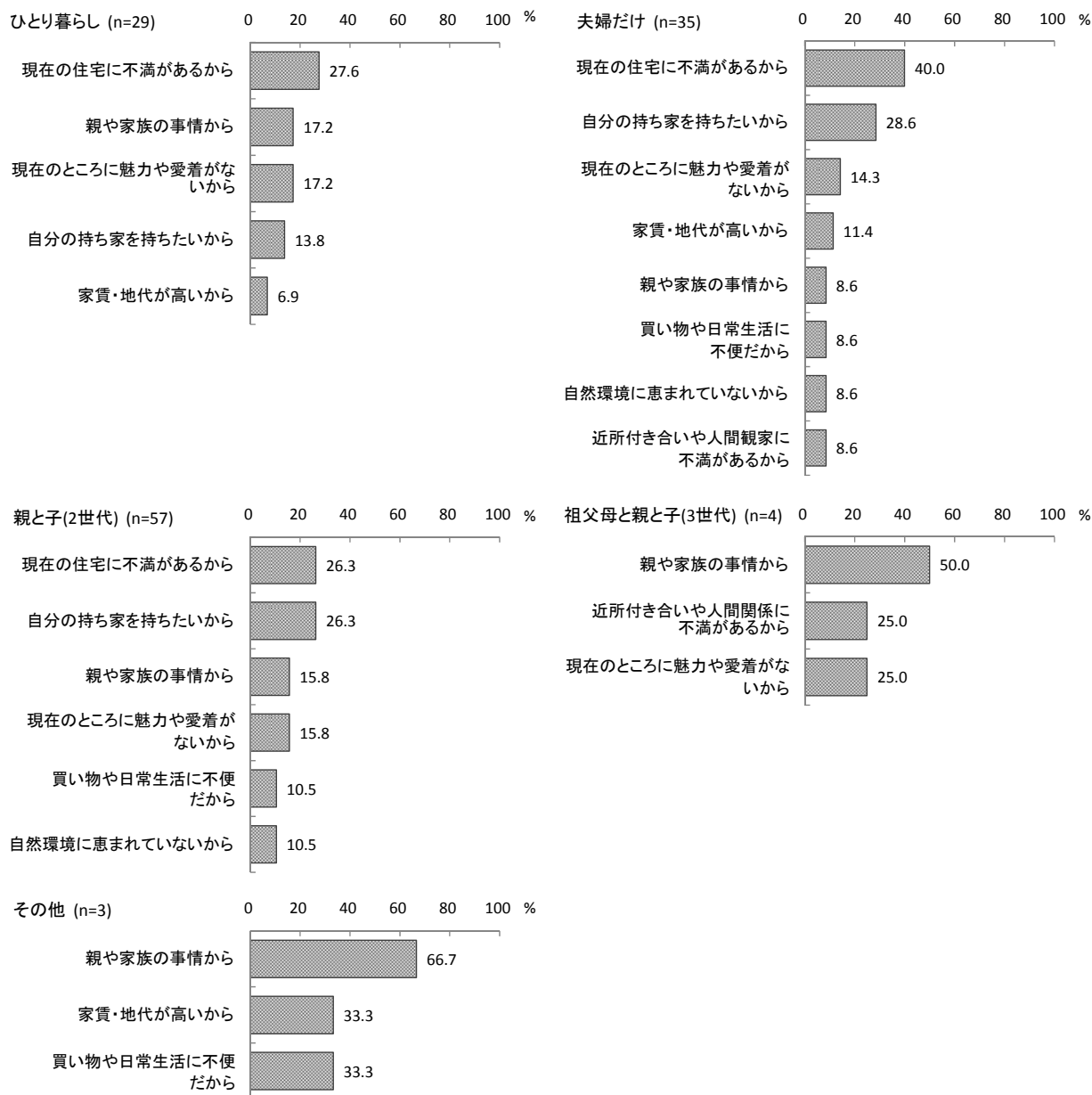
年齢別でみると、20～29歳と50～59歳を除く年齢層で「現在の住宅に不満があるから」が高くなっている。(図表1-4-2)

図表1-4-2 転居希望理由-年齢別(上位5項目)



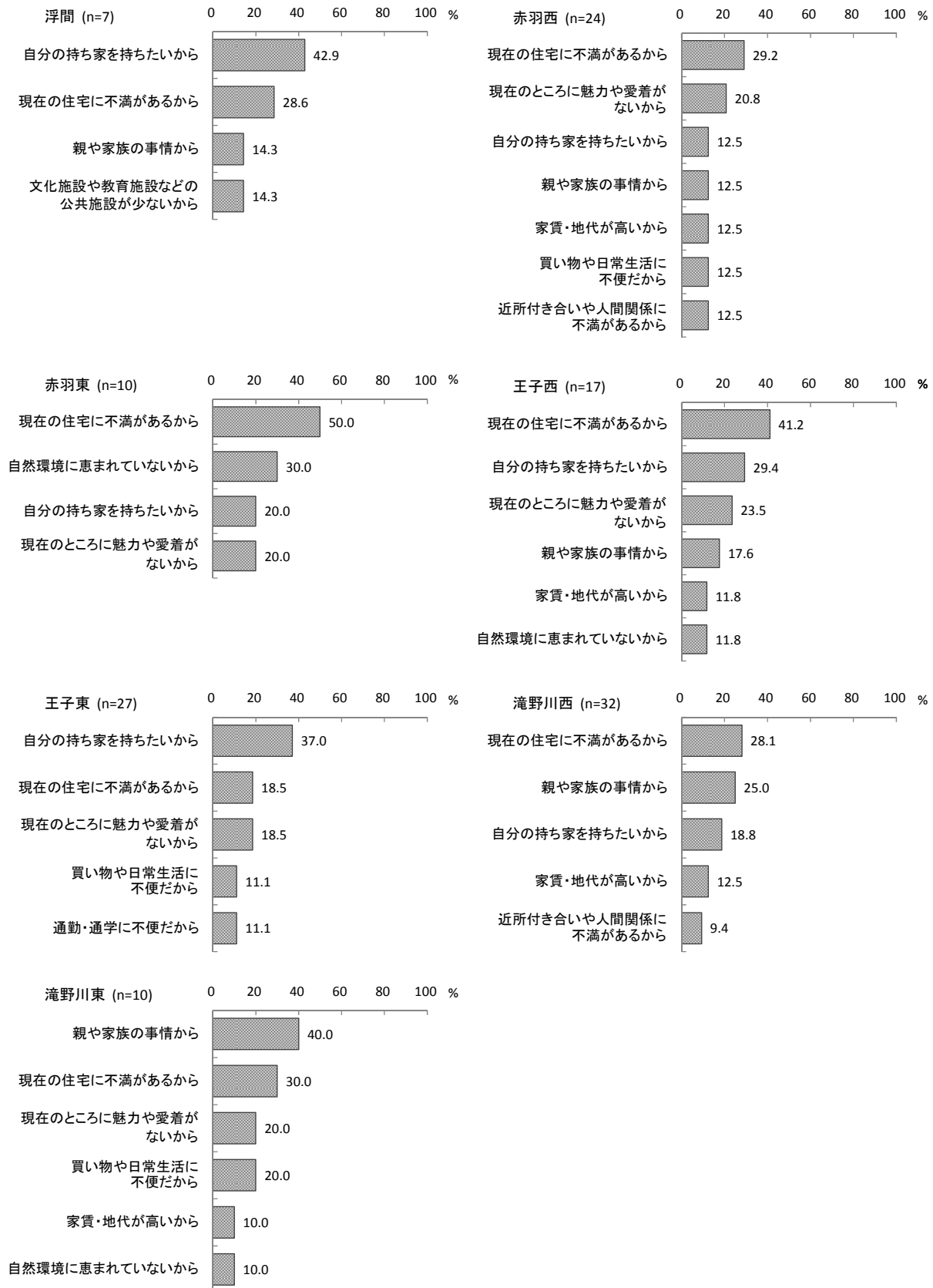
家族構成別でみると、“ひとり暮らし”、“夫婦だけ”、“親と子（2世代）”で、「現在の住宅に不満があるから」が高くなっている。また、“親と子（2世代）”では、「自分の持ち家を持ちたいから」が「現在の住宅に不満があるから」と同率で高くなっている。（図表1-4-3）

図表1-4-3 転居希望理由-家族構成別（上位5項目）



居住地区別でみると、半数以上の地区では「現在の住宅に不満があるから」が最も高くなっている。また、浮間と王子東では「自分の持ち家を持ちたいから」が最も高く、滝野川東では、「親や家族の事情から」が最も高くなっている。(図表1-4-4)

図表1-4-4 転居希望理由-居住地区別(上位5項目)



(5) 転居希望地

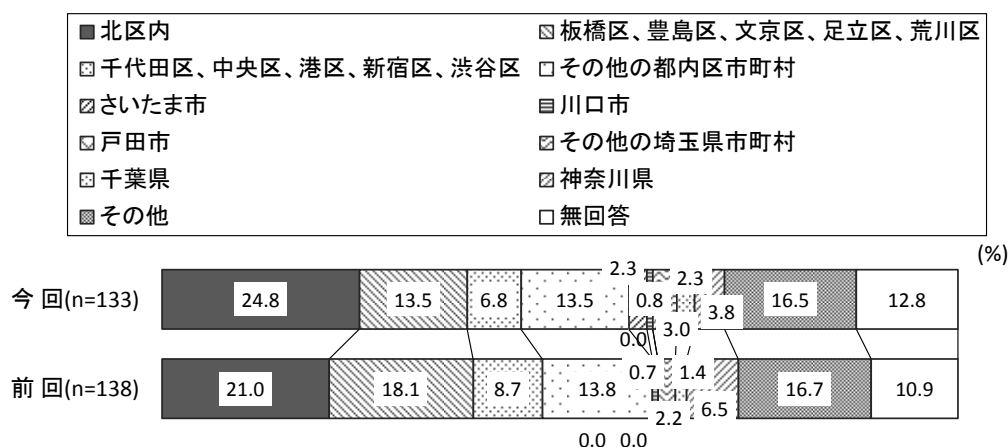
◇「北区内」が2割半ば

[問3で「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」とお答えの方にかがいます]
 問3-2 できたらどこへ転居したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問3で、「いずれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた方(133人)に転居希望地を聞いたところ、「北区内」(24.8%)が2割半ばで最も高くなっている。次いで、「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」(13.5%)と「その他の都内区市町村」(13.5%)の順が続いている。

前回調査と比較すると、「北区内」、「さいたま市」などが増加し、「板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区」、「千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区」などが減少している。(図表1-5-1)

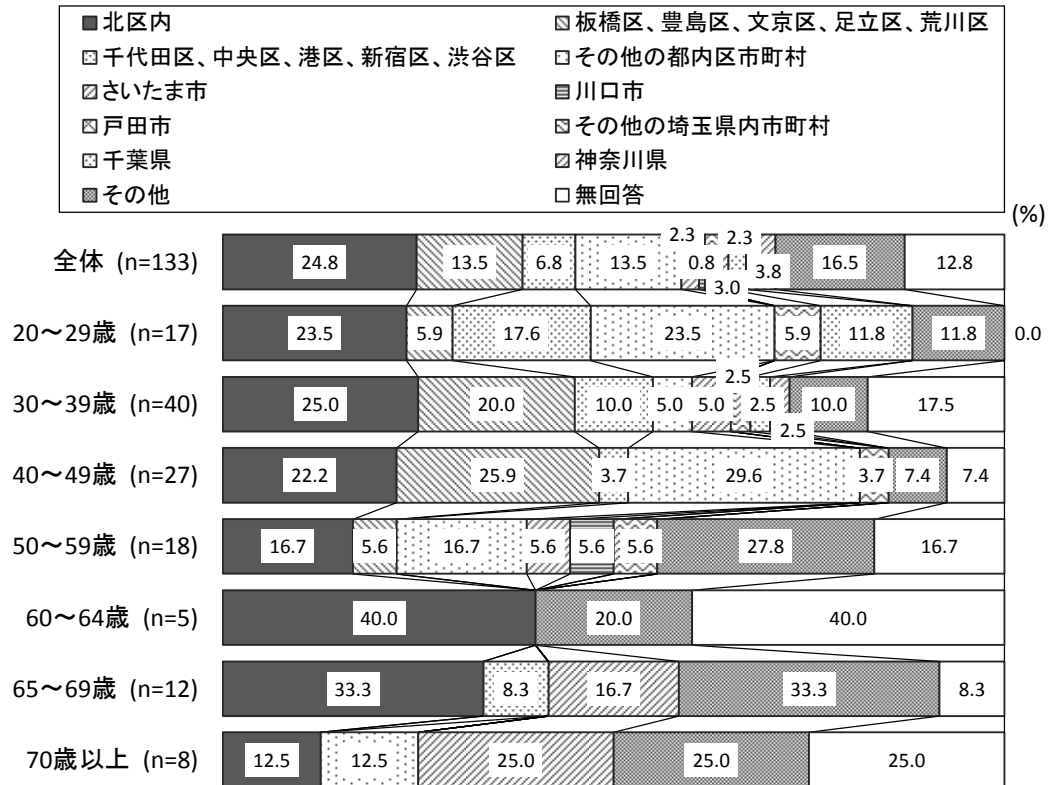
図表1-5-1 転居希望地



※補足表

区分	今回	前回
件数	133	138
北区内	24.8	21.0
板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区	13.5	18.1
千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区	6.8	8.7
その他の都内区市町村	13.5	13.8
さいたま市	2.3	0.0
川口市	0.8	0.7
戸田市	0.0	0.0
その他の埼玉縣市町村	3.0	2.2
千葉県	2.3	1.4
神奈川県	3.8	6.5
その他	16.5	16.7
無回答	12.8	10.9

図表 1-5-2 転居希望地-年齢別



※補足表

区分	件数	北区内	足立区、荒川区	板橋区、豊島区、文京区、	新宿区、渋谷区	千代田区、中央区、港区、	その他の都内区市町村	さいたま市	川口市	戸田市	その他の埼玉県内市町村	千葉県	神奈川県	その他	無回答
全体	133	24.8	13.5	6.8	13.5	2.3	0.8	3.0	2.3	3.8	16.5	12.8	0.0		
20~29歳	17	23.5	5.9	17.6	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0		
30~39歳	40	25.0	20.0	10.0	5.0	5.0	2.5	2.5	10.0	17.5					
40~49歳	27	22.2	25.9	3.7	29.6	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4	7.4			
50~59歳	18	16.7	5.6	16.7	5.6	5.6	5.6	27.8	16.7						
60~64歳	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0			
65~69歳	12	33.3	8.3	16.7	33.3	8.3									
70歳以上	8	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0									
無回答	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		

(6) 区への愛着度

◇『愛着派』が8割近く

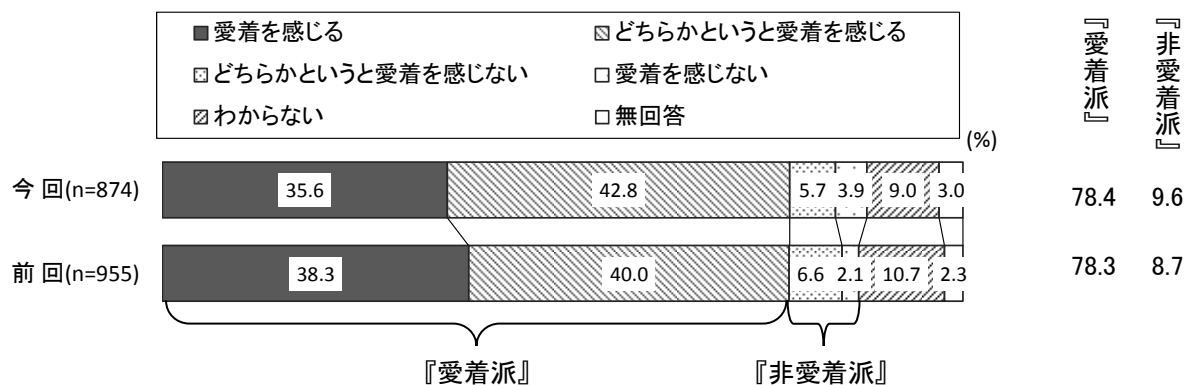
問4 あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

区への愛着度をみると、「どちらかというとな愛着を感じる」(42.8%)が最も高くなっており、「愛着を感じる」(35.6%)と合わせた『愛着派』(78.4%)が8割近くとなっている。

一方、「どちらかというとな愛着を感じない」(5.7%)と「愛着を感じない」(3.9%)を合わせた『非愛着派』(9.6%)は1割未満となっている。

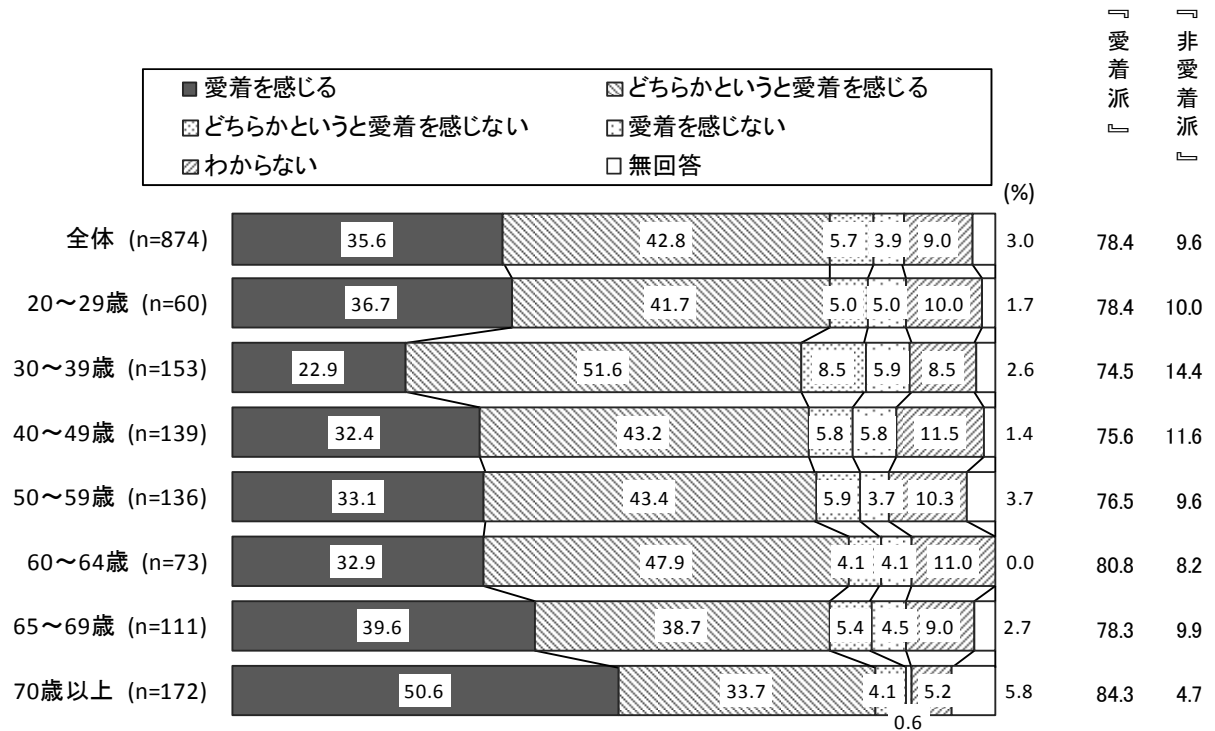
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表1-6-1)

図表1-6-1 区への愛着度



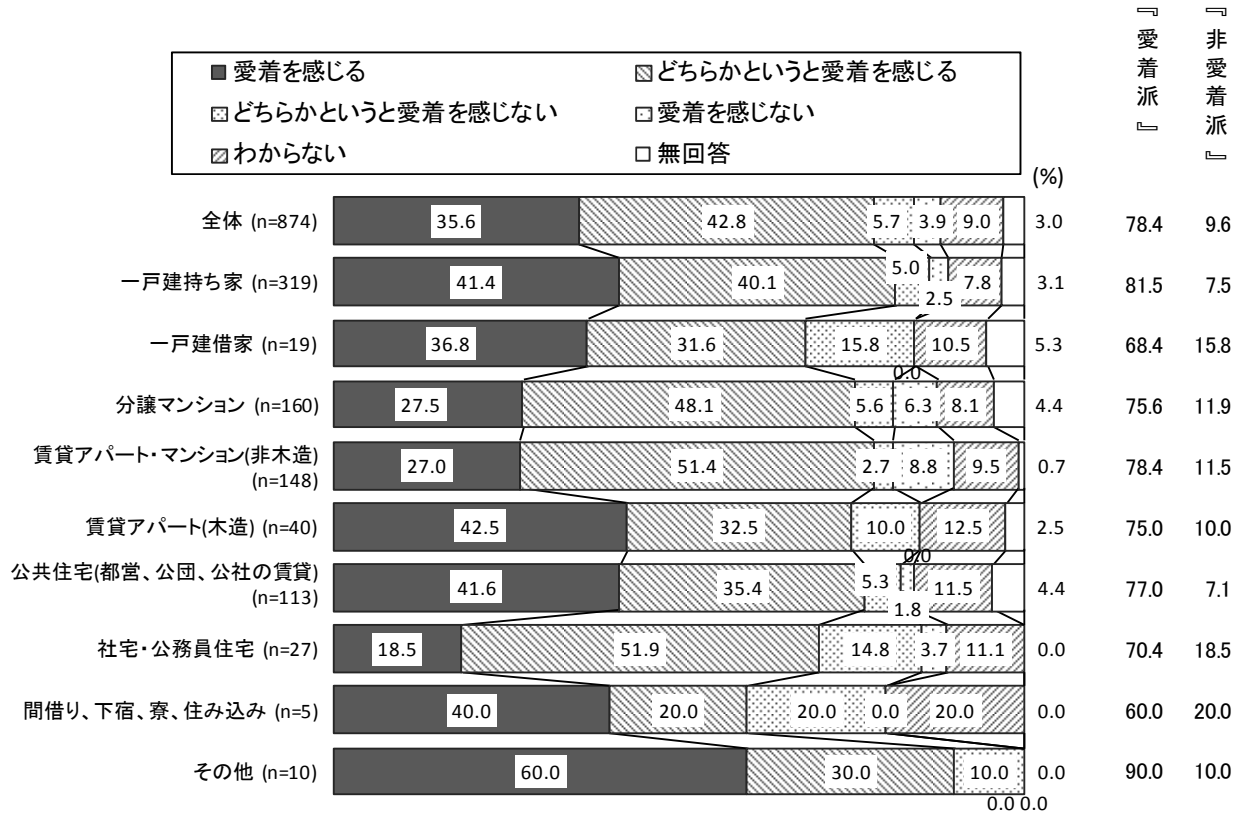
年齢別でみると、『愛着派』は70歳以上（84.3%）と60～64歳（80.8%）で8割を超え高くなっている。一方、『非愛着派』は30～39歳（14.4%）で1割半ばとなっている。（図表1-6-2）

図表1-6-2 区への愛着度-年齢別



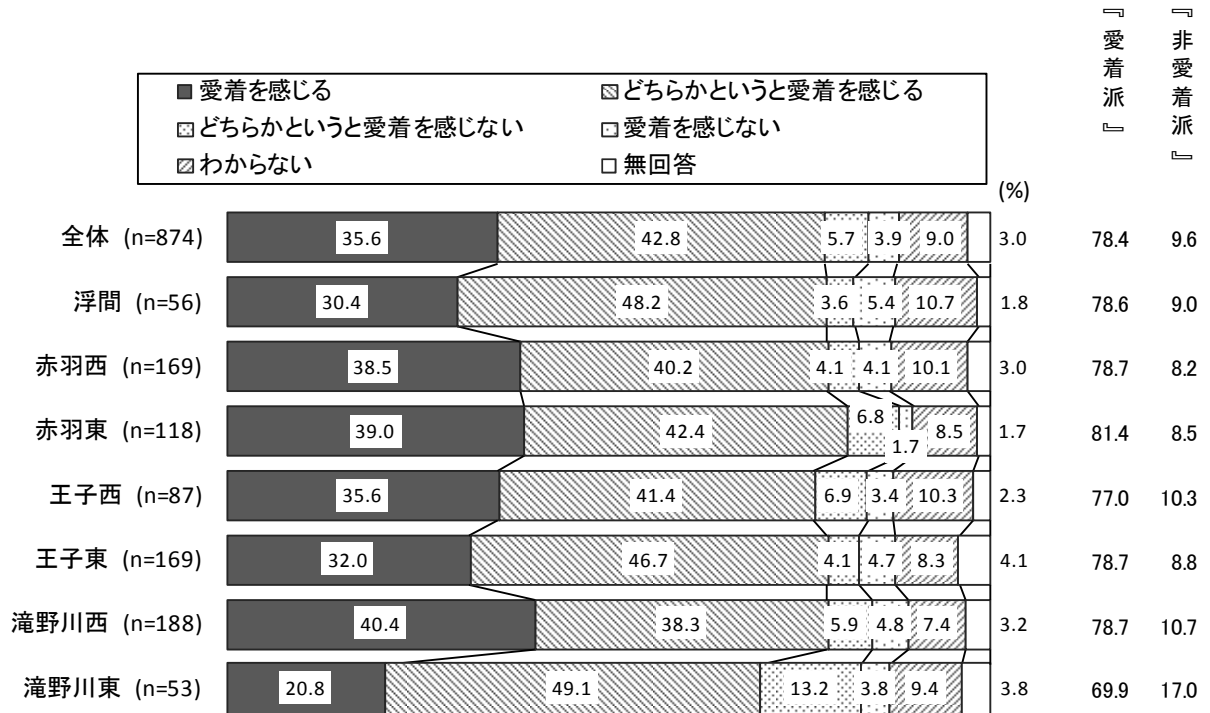
居住形態別でみると、『愛着派』は“一戸建持ち家”（81.5%）で8割を超え高くなっている。（図表1-6-3）

図表 1-6-3 区への愛着度-居住形態別



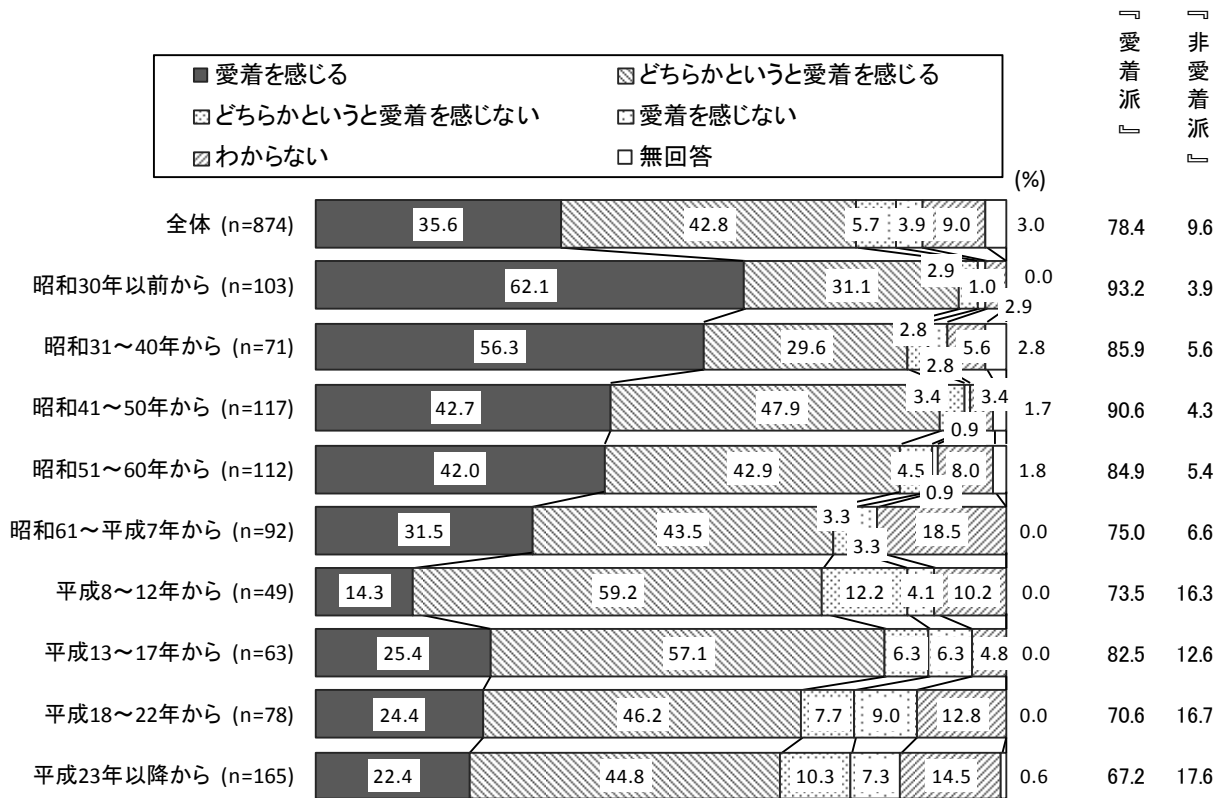
居住地区別でみると、『愛着派』は赤羽東（81.4%）で8割を超え高くなっている。一方、『非愛着派』は滝野川東（17.0%）で2割半ばと高くなっている。（図表1-6-4）

図表1-6-4 区への愛着度-居住地区別



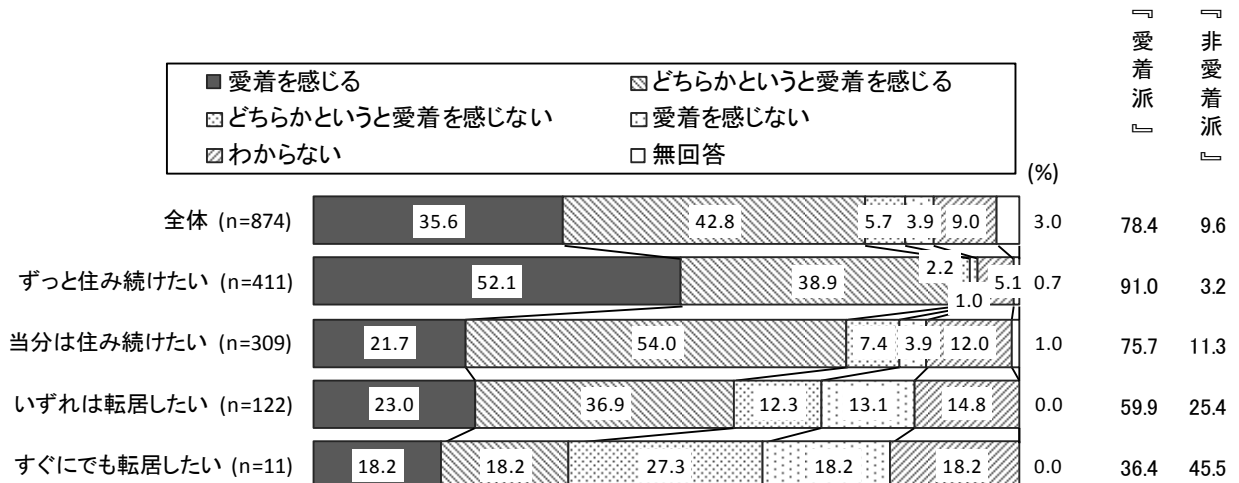
居住年数別でみると、『愛着派』はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなる傾向を示しており、“昭和30年以前から”（93.2%）と“昭和41～50年から”（90.6%）で9割を超え高くなっている。一方、『非愛着派』は“平成18～22年から”（16.7%）と“平成23年以降から”（17.6%）でともに2割半ばとなっている。（図表1-6-5）

図表1-6-5 区への愛着度-居住年数別



定住意志別でみると、『愛着派』は定住意志が強いほど割合が高くなっており、“ずっと住み続けたい”（91.0%）で9割を超えている。一方、『非愛着派』は“すぐにも転居したい”（45.5%）で4割半ばとなっている。（図表1-6-6）

図表1-6-6 区への愛着度-定住意志別



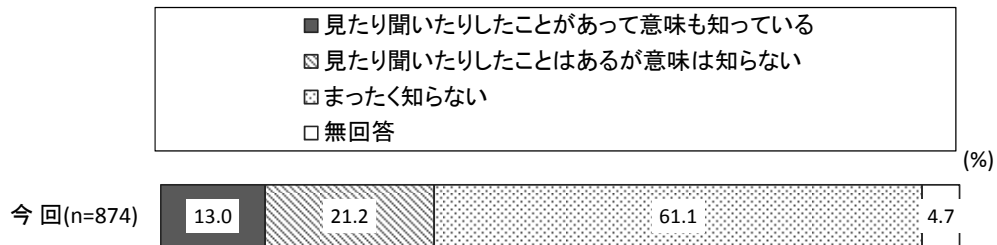
(7) 北区のブランドメッセージの認知度

◇「まったく知らない」が6割を超える

問5 北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

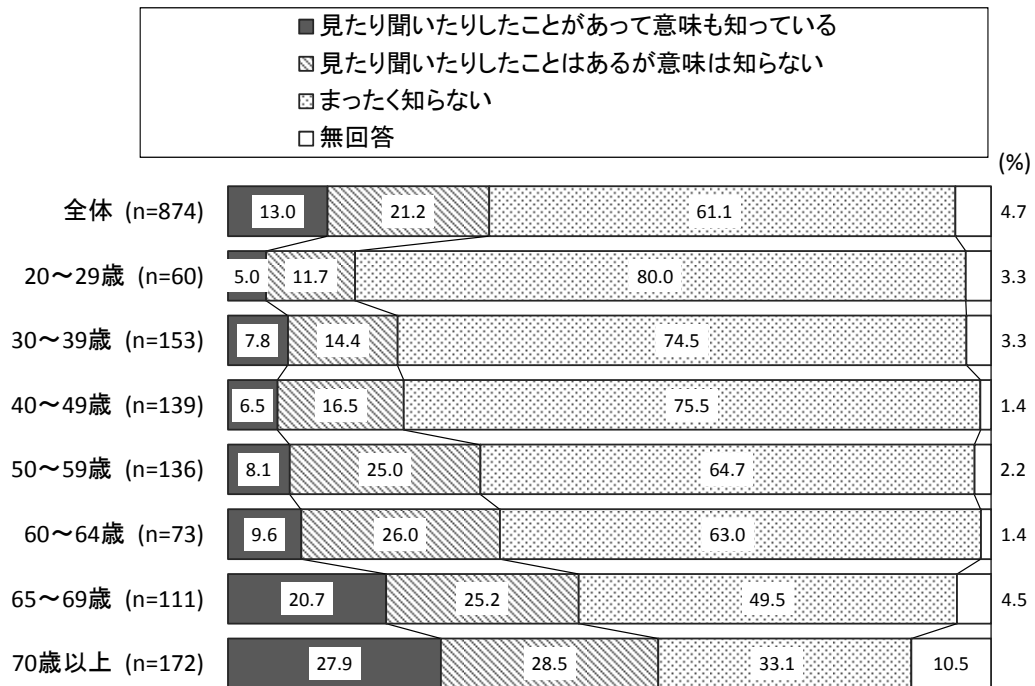
北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、「まったく知らない」(61.1%)が6割を超え最も高くなっている。次いで、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」(21.2%)、「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」(13.0%)となっている。(図表1-7-1)

図表1-7-1 北区のブランドメッセージの認知度



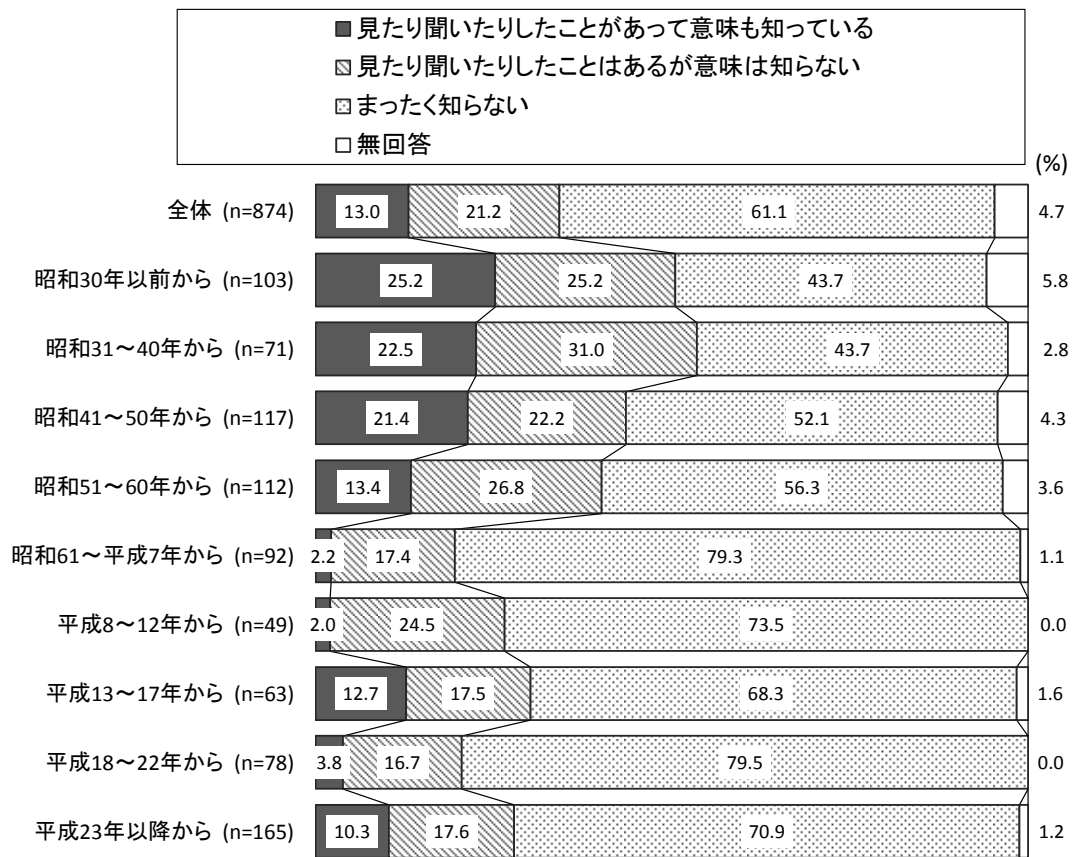
年齢別でみると、おおむね年齢層が高くなるほど「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」の割合が高い傾向を示している。(図表1-7-2)

図表1-7-2 北区のブランドメッセージの認知度-年齢別



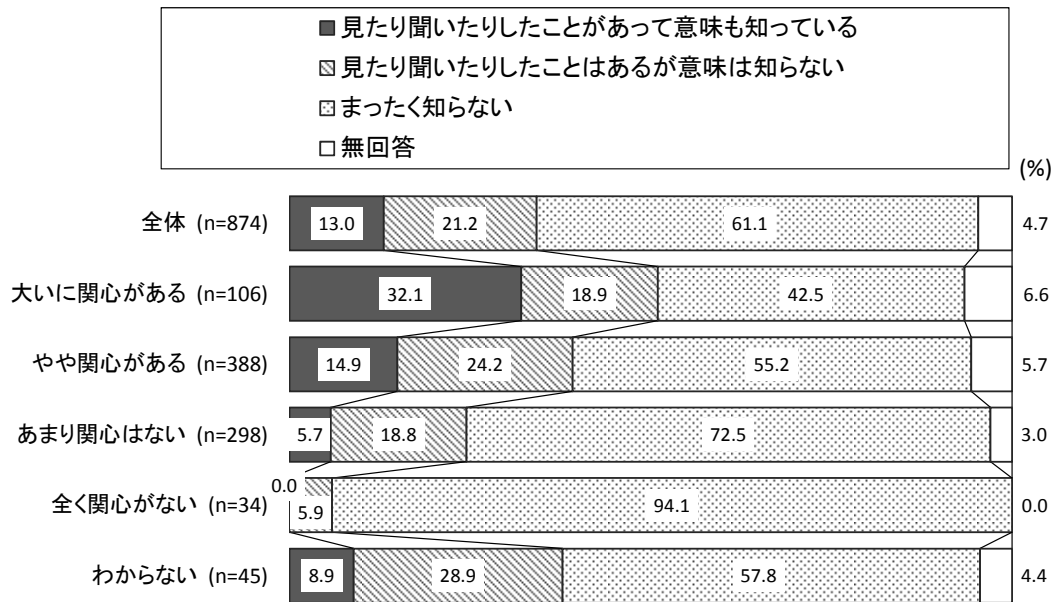
居住年数別でみると、全ての居住年数で「まったく知らない」が高くなっているが、居住年数が長くなるほど「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」、「見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない」の割合が高い傾向を示している。(図表1-7-3)

図表 1-7-3 北区のブランドメッセージの認知度-居住年数別



区政への関心度別で見ると、関心が高いほど「見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている」の割合が高くなる傾向を示しており、“大いに関心がある”（32.1%）で3割を超えている。（図表1-7-4）

図表 1-7-4 北区のブランドメッセージの認知度-区政への関心度別



2 生活圏・行動圏

(1) 生活圏・行動圏

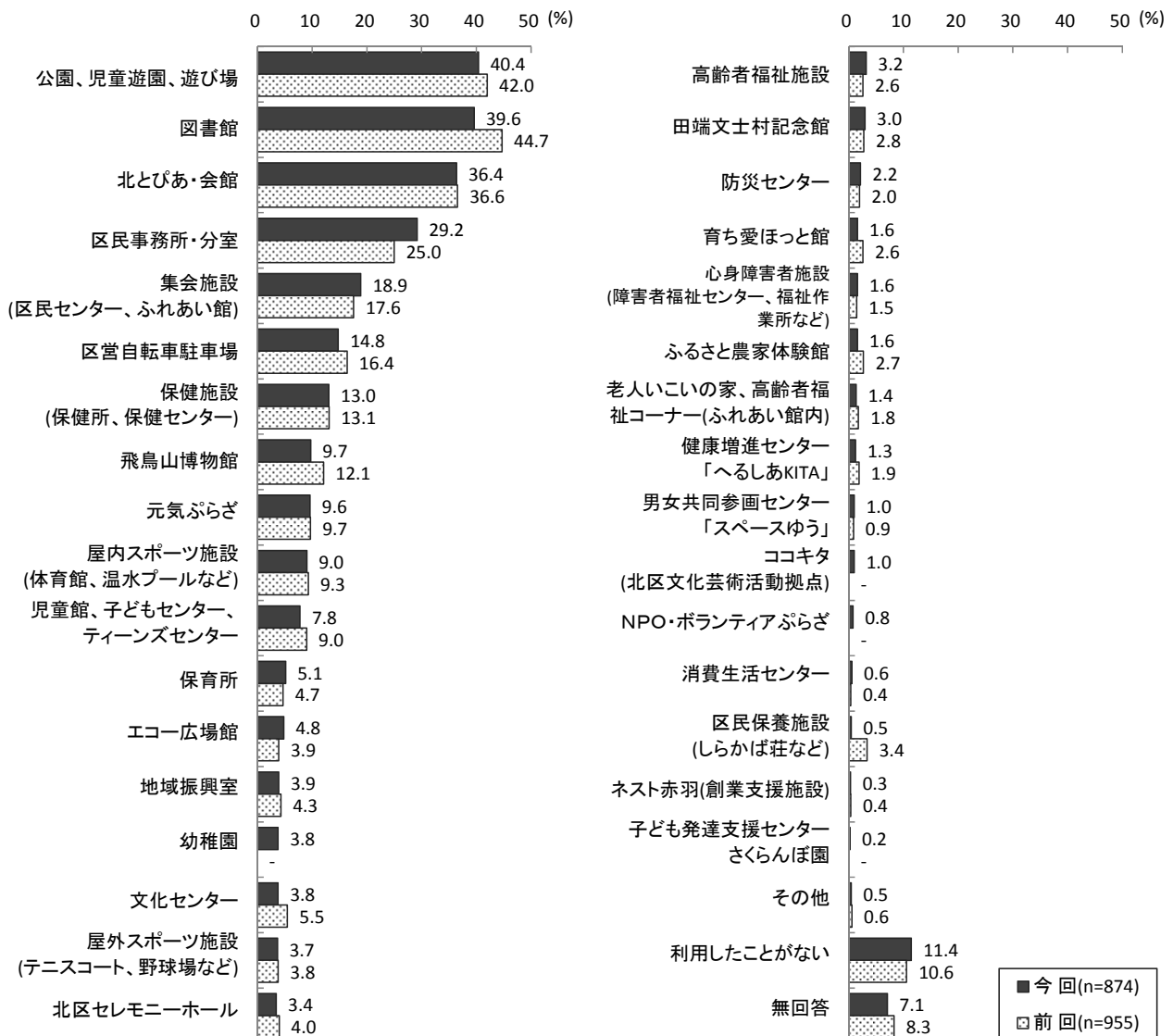
◇「公園、児童遊園、遊び場」が4割を超える

問6 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用したことがあるものをすべて選んで○をつけてください。

この1年間で利用したことがある区の施設をみると、「公園、児童遊園、遊び場」(40.4%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「図書館」(39.6%)、「北とびあ・会館」(36.4%)、「区民事務所・分室」(29.2%)、「集会施設(区民センター・ふれあい館)」(18.9%)の順で続いている。

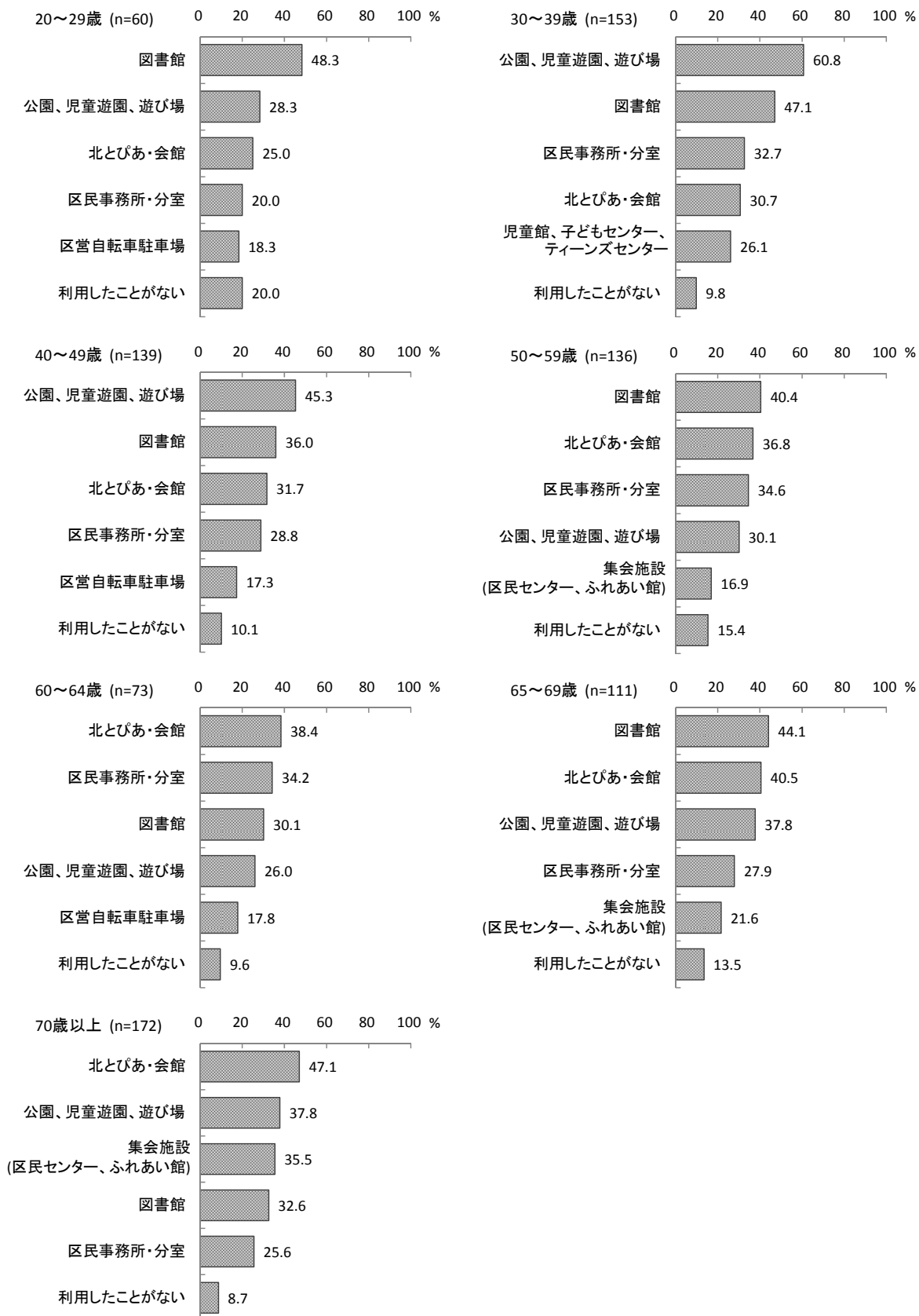
前回調査と比較すると、「区民事務所・分室」などが増加し、「図書館」などが減少している。(図表2-1-1)

図表2-1-1 生活圏・行動圏



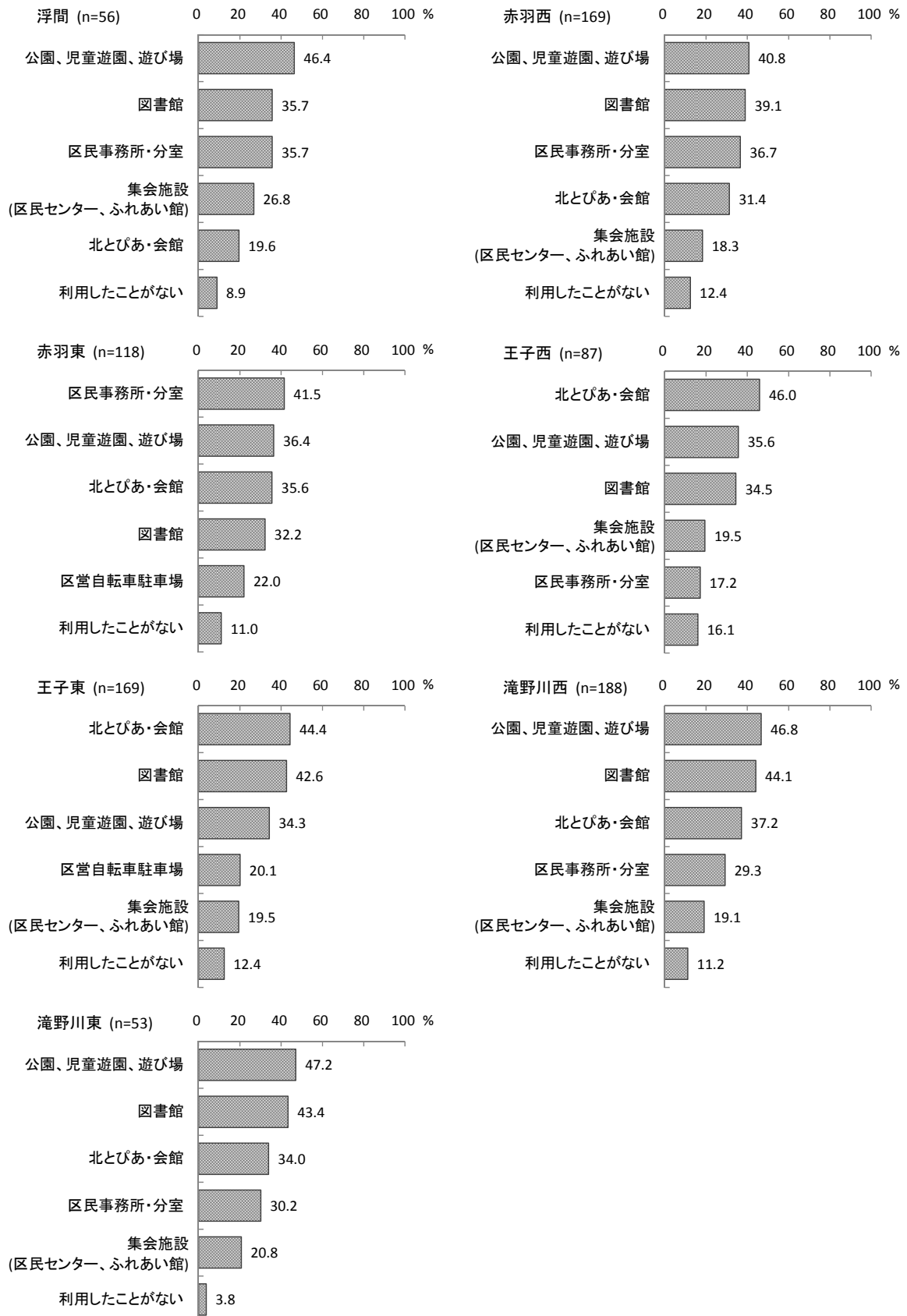
年齢別でみると、20～29歳、50～59歳、65～69歳で「図書館」が、30～39歳と40～49歳では「公園、児童遊園、遊び場」が、60～64歳と70歳以上では「北とぴあ・会館」が最も高くなっている。（図表2-1-2）

図表2-1-2 生活圏・行動圏-年齢別（上位5項目+「利用したことがない」）



居住地区別でみると、浮間、赤羽西、滝野川西、滝野川東では「公園、児童遊園、遊び場」が最も高く、王子西、王子東では「北とぴあ・会館」が最も高くなっている。(図表2-1-3)

図表2-1-3 生活圏・行動圏-居住地区別(上位5項目+「利用したことがない」)



(2) 日用品や食料品の買物圏

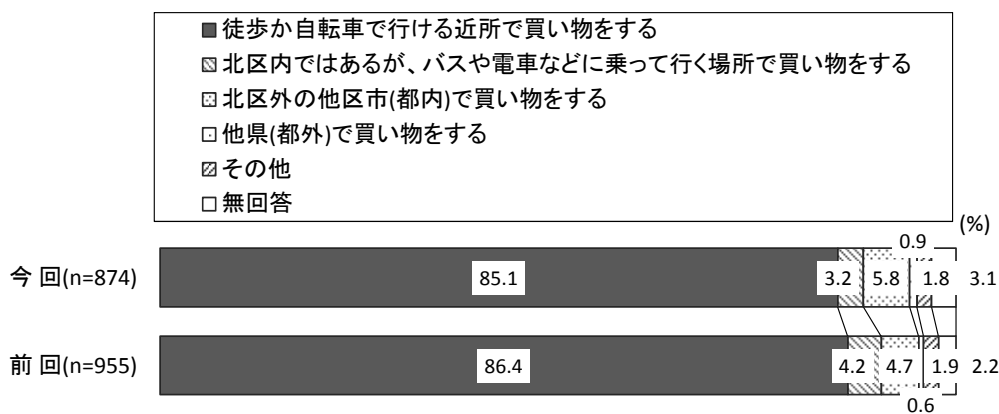
◇「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」が8割半ば

問7 あなたは、普段どのような場所で日用品や食料品を買いますか。もっとも多くあてはまるものに、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

日用品や食料品を買う場所をみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」(85.1%)が8割半ばと突出して高くなっている。

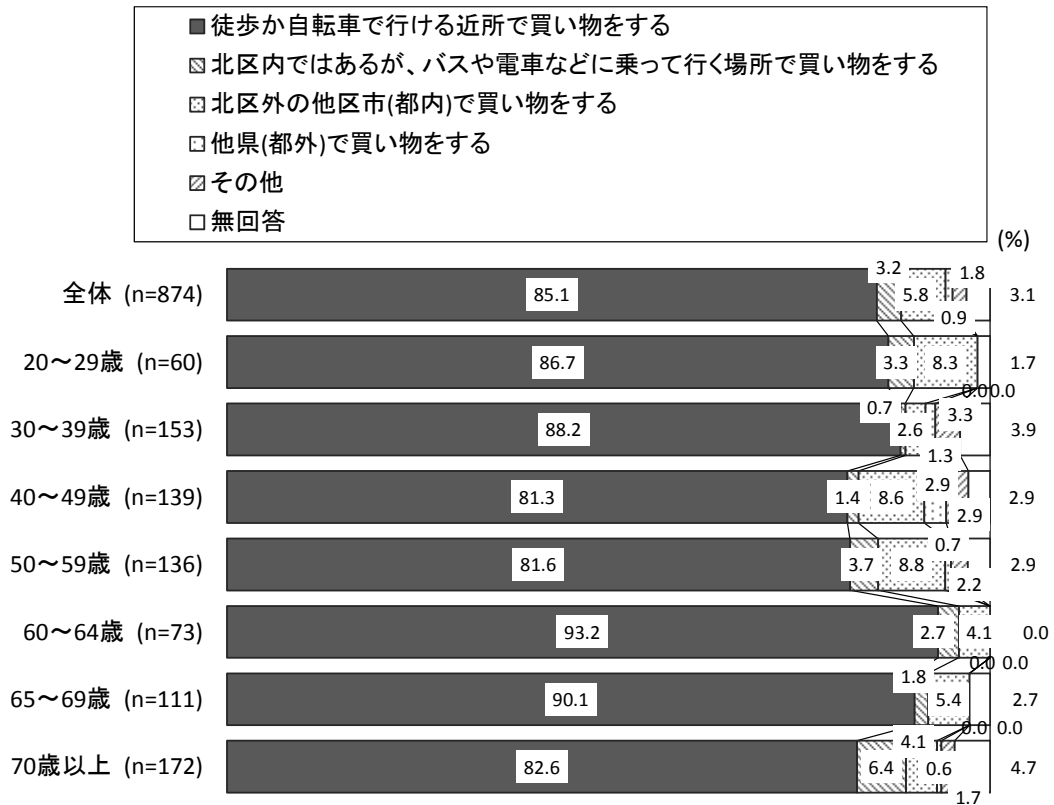
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表2-2-1)

図表2-2-1 日用品や食料品の買物圏



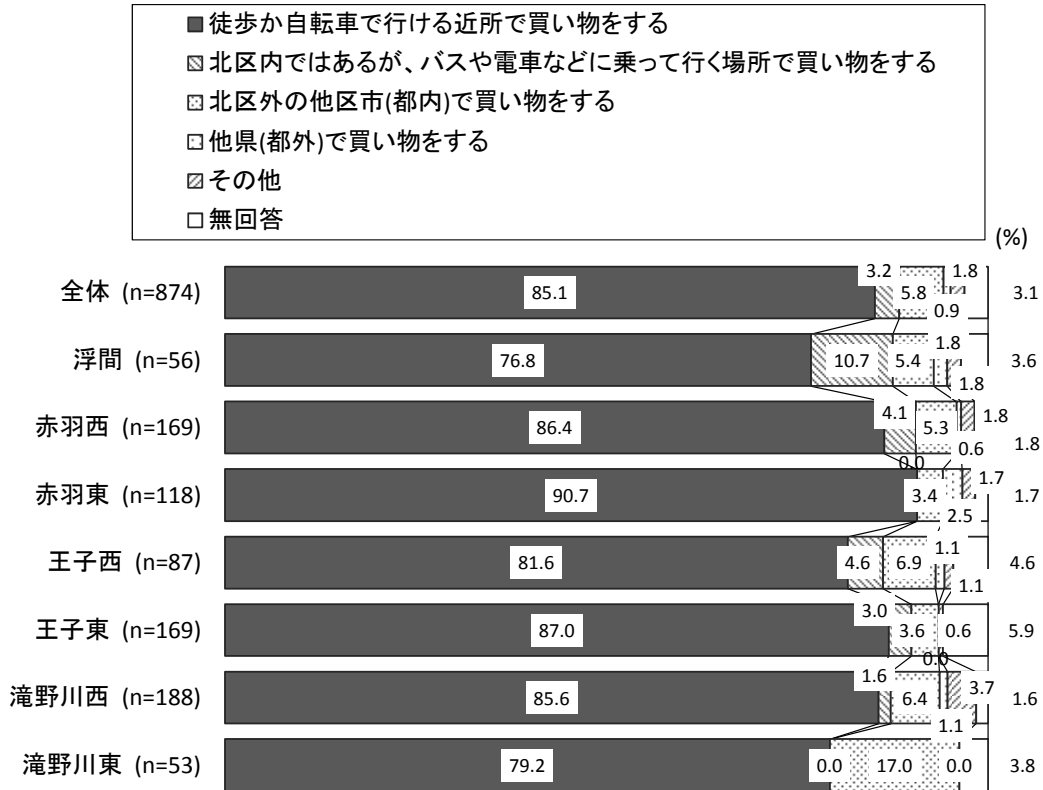
年齢別でみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」がすべての年齢で最も高くなっている。とくに60～64歳（93.2%）と65～69歳（90.1%）で9割を超え高くなっている。（図表2-2-2）

図表2-2-2 日用品や食料品の買物圏-年齢別



居住地区別でみると、「徒歩か自転車で行ける近所で買い物をする」がすべての地区で最も高くなっている。(図表2-2-3)

図表2-2-3 日用品や食料品の買物圏-居住地区別



3 生活環境評価

(1) 生活環境評価

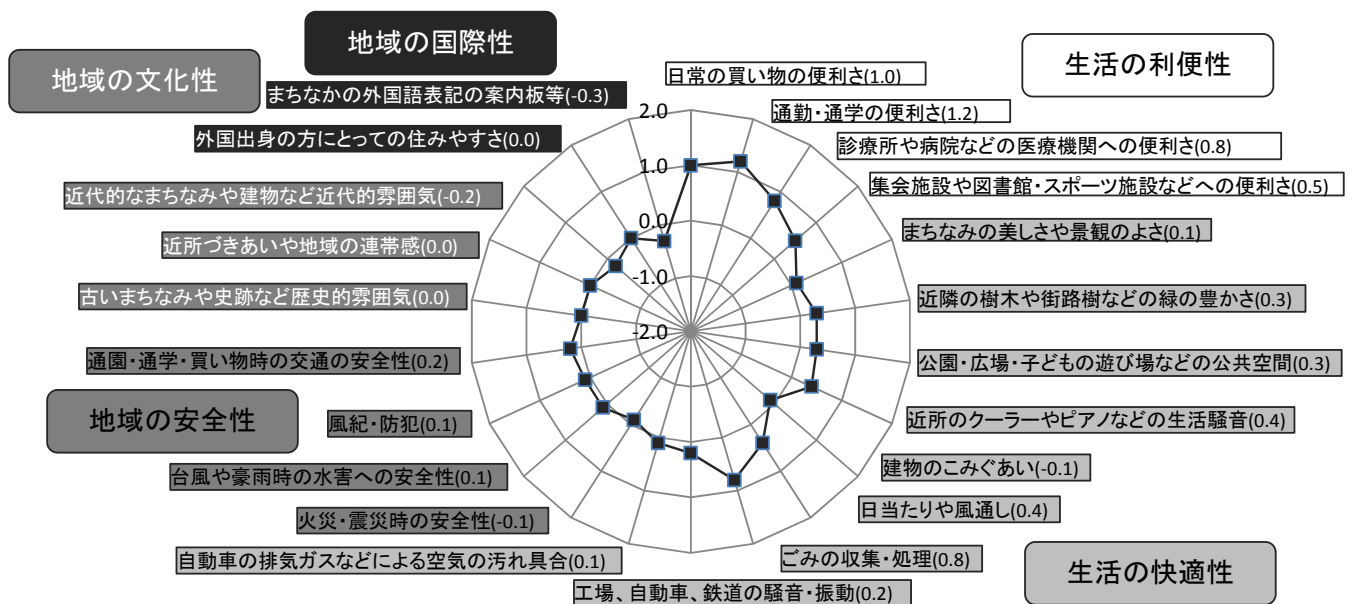
◇満足度が最も高いのは「通勤・通学の便利さ」

満足度が最も低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」

問8 あなたの自宅周辺の生活環境について、どのように感じていますか。例に従い、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

自宅周辺の生活環境の満足度について、項目ごとに平均評価点を算出したところ、満足度が高いのは「通勤・通学の便利さ」(1.2)、「日常の買い物の便利さ」(1.0)、「診療所や病院などの医療機関への便利さ」(0.8)、「ごみの収集・処理」(0.8)となっている。一方、満足度が低いのは「まちなかの外国語表記の案内板等」(-0.3)、「近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気」(-0.2)、「建物のこみぐあい」(-0.1)となっている。(図表3-1-1)

図表3-1-1 生活環境評価



注) 平均評価点

= {「よい」と答えた人数×2点+「ややよい」と答えた人数×1点
+「普通」と答えた人数×0点+「ややわるい」と答えた人数×-1点
+「わるい」と答えた人数×-2点} ÷無回答を除く全回答者数

平均評価点は、2.0に近いほど満足度が高く、-2.0に近いほど満足度が低いこととなる

居住地区別でみると、満足度が最も高いのは、浮間、赤羽東では「日常の買い物の便利さ」、赤羽西、王子西、王子東、滝野川西、滝野川東では「通勤・通学の便利さ」となっている。一方、滝野川東を除くすべての地区で「まちなかの外国語表記の案内板等」の満足度が低くなっている。滝野川東では「工場、自動車、鉄道の騒音・振動」の満足度が低くなっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 生活環境評価-居住地区別

地域		浮間	赤羽西	赤羽東	王子西	王子東	滝野川西	滝野川東
生活の 利便性	1 日常の買い物の便利さ	1.0	0.9	1.4	1.2	1.0	0.9	0.4
	2 通勤・通学の便利さ	0.7	1.0	1.4	1.3	1.0	1.4	1.3
	3 診療所や病院などの医療機関への便利さ	0.6	0.9	1.1	0.9	0.8	0.8	0.5
	4 集会施設や図書館・スポーツ施設などへの便利さ	0.2	0.5	0.7	0.7	0.4	0.6	0.0
生活の 快適性	5 まちなみの美しさや景観のよさ	0.5	0.2	-0.3	0.2	0.1	0.3	-0.1
	6 近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ	0.7	0.5	-0.1	0.3	0.2	0.5	-0.2
	7 公園・広場・子どもの遊び場などの公共空間	0.6	0.3	0.0	0.3	0.2	0.5	-0.1
	8 近所のクーラーやピアノなどの生活騒音	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	0.5	0.1
	9 建物のこみぐあい	0.2	0.2	-0.4	-0.3	-0.1	-0.2	-0.3
	10 日当たりや風通し	0.7	0.7	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5
	11 ごみの収集・処理	0.8	0.9	0.7	0.4	0.8	0.9	0.9
	12 工場、自動車、鉄道の騒音・振動	0.2	0.4	0.2	0.3	0.1	0.4	-0.5
	13 自動車の排気ガスなどによる空気の汚れ具合	0.3	0.2	-0.1	0.1	-0.1	0.2	-0.4
地域の 安全性	14 火災・震災時の安全性	-0.1	0.1	-0.2	-0.3	-0.1	0.1	-0.1
	15 台風や豪雨時の水害への安全性	-0.4	0.4	-0.2	0.1	-0.1	0.5	-0.1
	16 風紀・防犯	-0.1	0.2	-0.2	0.1	0.1	0.3	0.1
地域の 文化性	17 通園・通学・買い物時の交通の安全性	0.4	0.3	0.0	0.1	0.2	0.4	0.1
	18 古いまちなみや史跡など歴史的雰囲気	-0.3	0.0	-0.2	0.1	-0.1	0.3	-0.2
	19 近所づきあいや地域の連帯感	-0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	-0.1
	20 近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気	-0.3	-0.1	-0.3	-0.2	-0.3	-0.2	-0.3
国際性 地域の	21 外国出身の方にとっての住みやすさ	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1
	22 まちなかの外国語表記の案内板等	-0.5	-0.4	-0.4	-0.3	-0.4	-0.3	-0.3

(2) 自宅周辺の住みやすさ

◇『住みやすい』が8割半ば

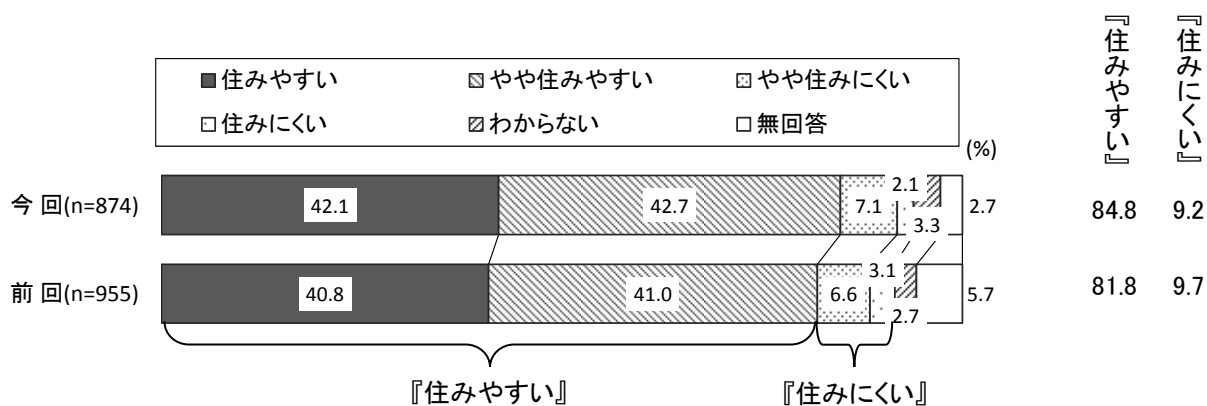
問9 あなたの自宅周辺は、全体的に見て住みやすいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

自宅周辺の住みやすさをみると、「やや住みやすい」(42.7%)が最も高くなっており、「住みやすい」(42.1%)と合わせた『住みやすい』(84.8%)が8割半ばを占めている。

一方、「やや住みにくい」(7.1%)と「住みにくい」(2.1%)を合わせた『住みにくい』(9.2%)は1割未満となっている。

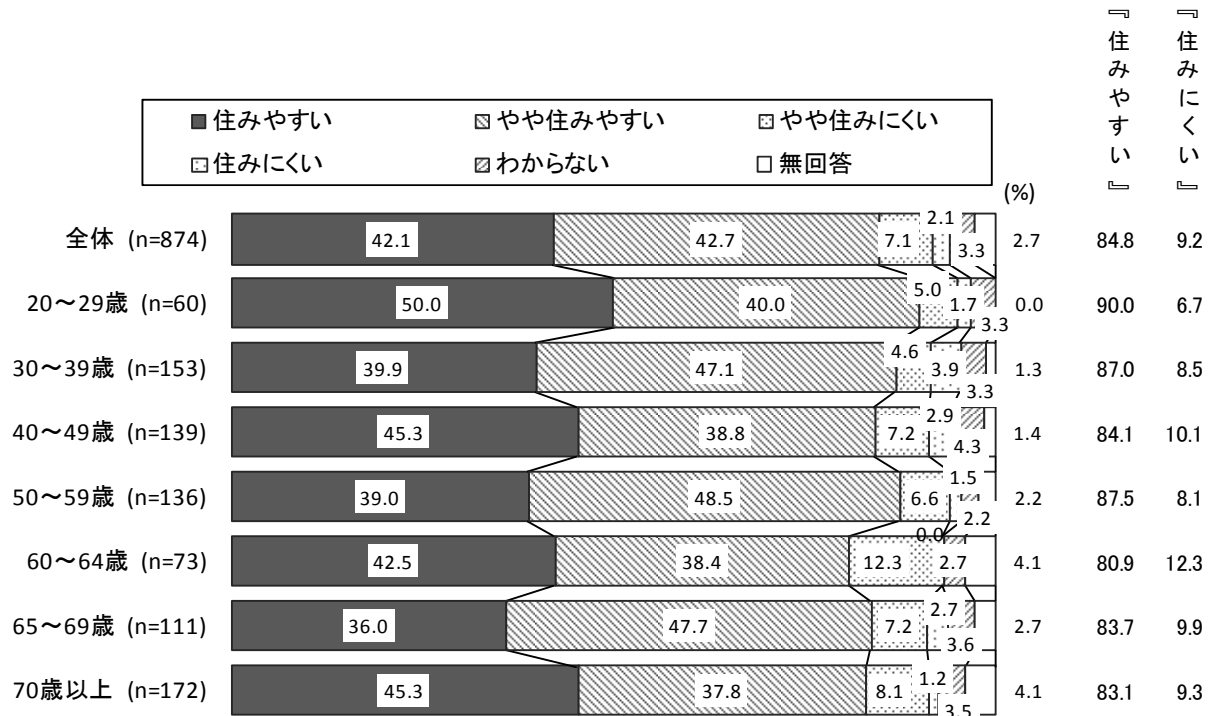
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表3-2-1)

図表3-2-1 自宅周辺の住みやすさ



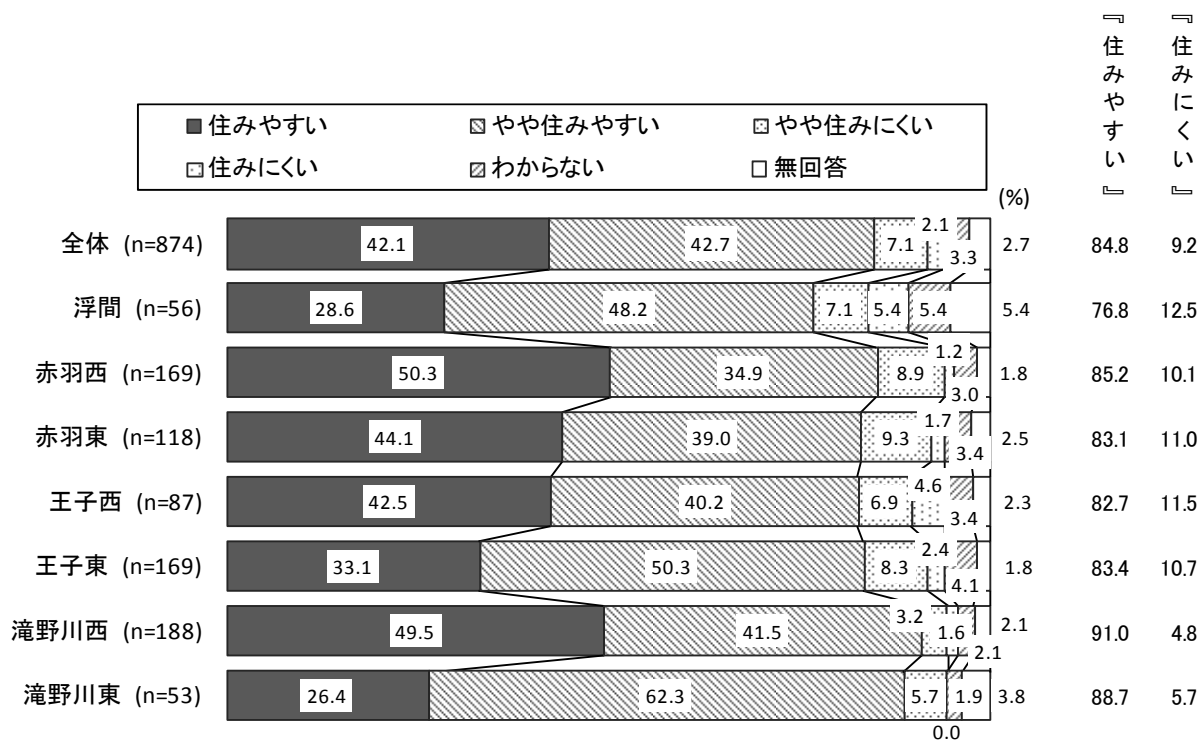
年齢別でみると、『住みやすい』はすべての年齢層で8割以上となっており、とくに20～29歳(90.0%)で9割を占める。一方、『住みにくい』は60～64歳(12.3%)と40～49歳(10.1%)で1割を超えている。(図表3-2-2)

図表3-2-2 自宅周辺の住みやすさ-年齢別



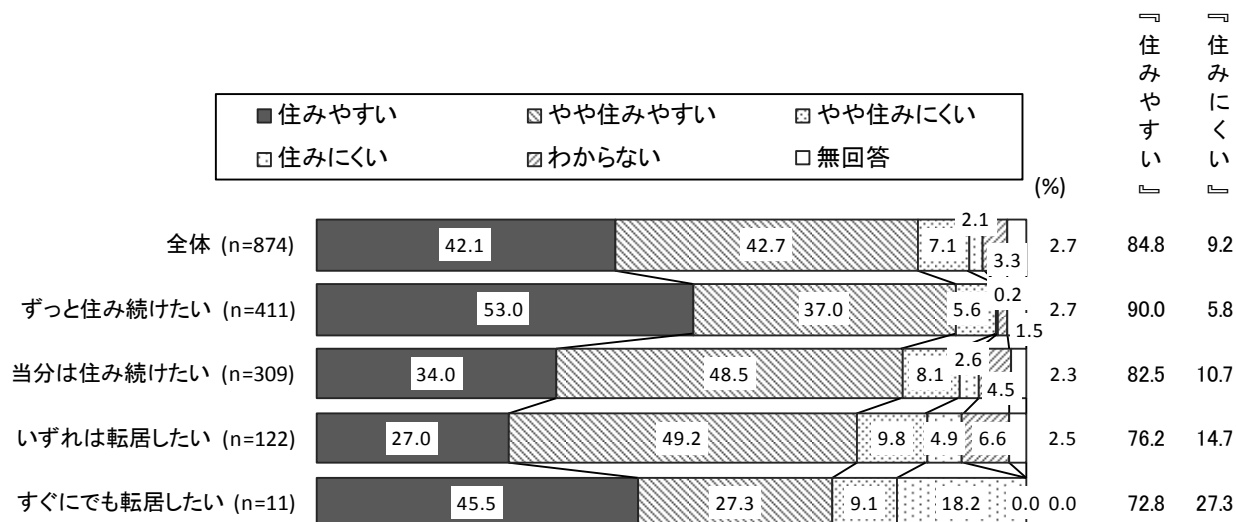
居住地区別でみると、『住みやすい』は滝野川西（91.0%）で9割を超え高くなっている。

図表 3-2-3 自宅周辺の住みやすさ-居住地区別



定住意志別でみると、『住みやすい』は定住意志が強くなるほど割合が高くなっており、“ずっと住み続けたい”（90.0%）で9割と高くなっている。（図表 3-2-4）

図表 3-2-4 自宅周辺の住みやすさ-定住意志別



(3) 住宅の満足度

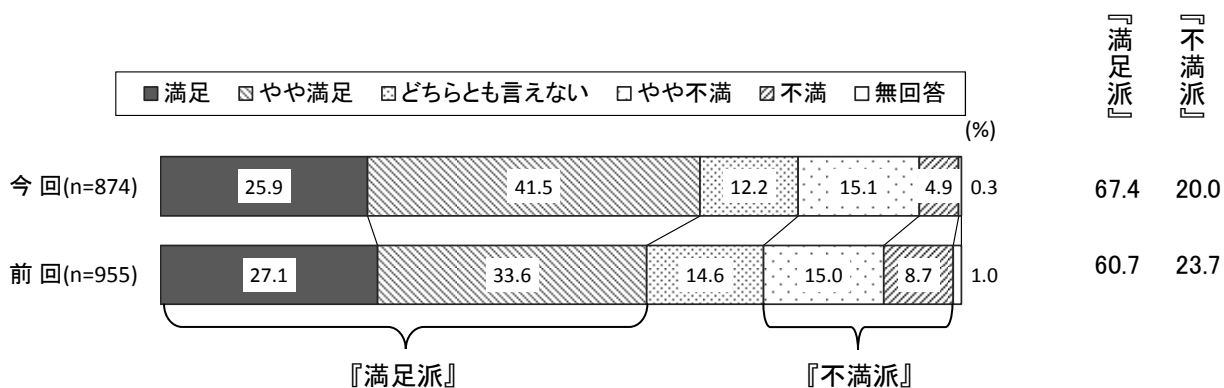
◇『満足派』が6割半ば

問10 あなたは、今住んでいる住宅に満足していますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

住宅の満足度をみると、「やや満足」(41.5%)が最も高くなっており、「満足」(25.9%)と合わせた『満足派』(67.4%)が6割半ばとなっている。

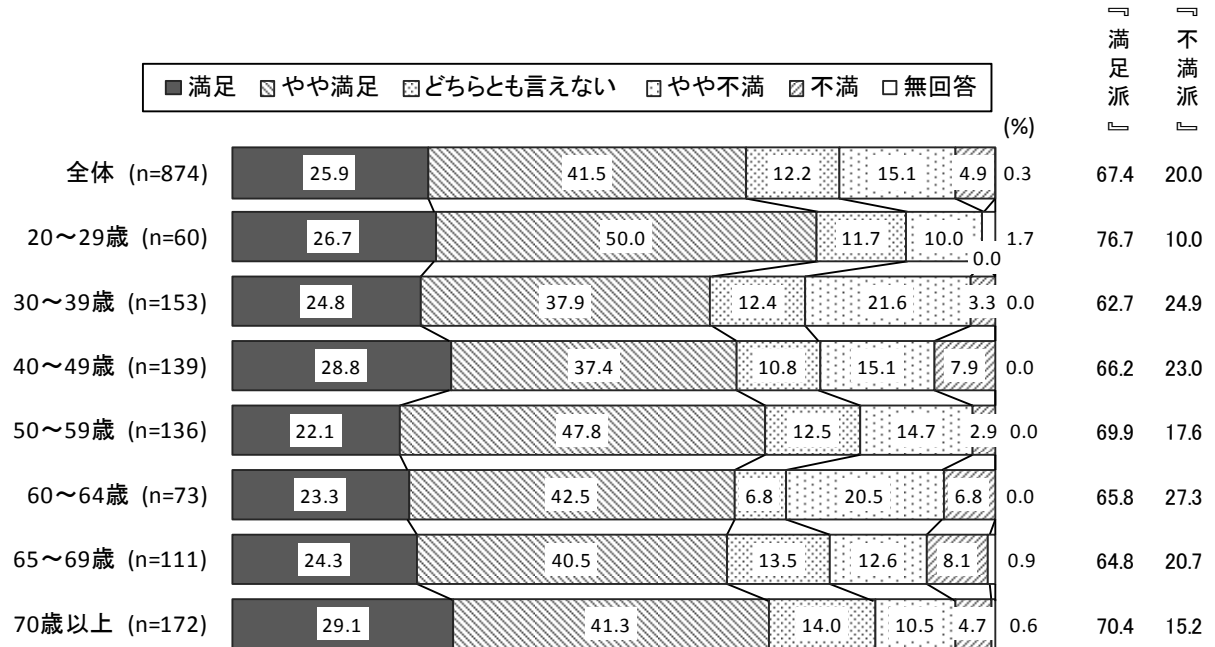
一方、「やや不満」(15.1%)と「不満」(4.9%)を合わせた『不満派』(20.0%)は2割になっている。前回調査と比較すると、「やや満足」が増加し、「不満」などが減少している。(図表3-3-1)

図表3-3-1 住宅の満足度



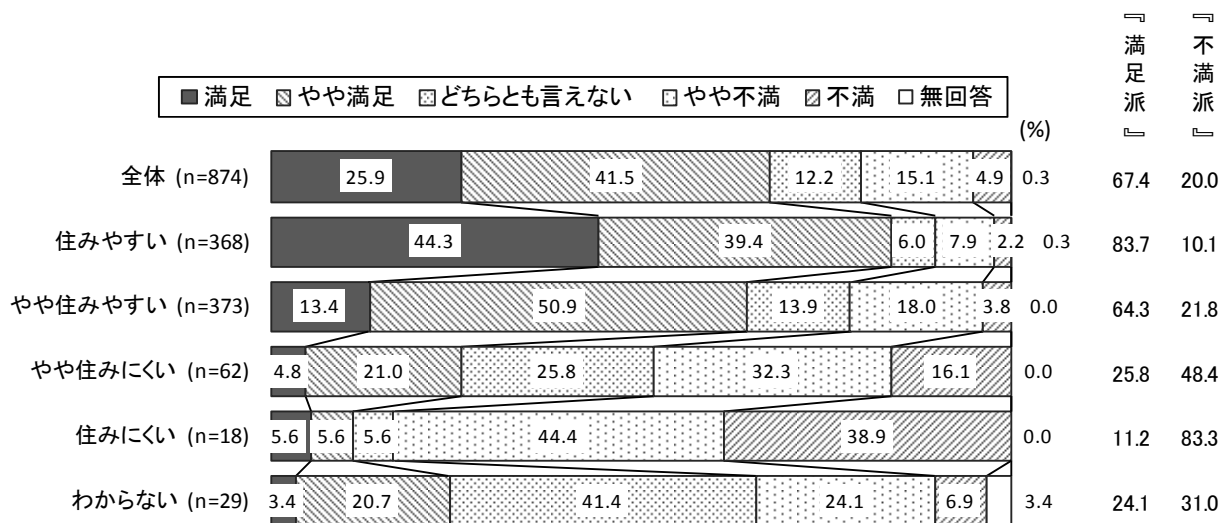
年齢別でみると、『満足派』は20～29歳（76.7%）と70歳以上（70.4%）で7割以上と高くなっている。一方、『不満派』は60～64歳（27.3%）で2割半ばとなっている。（図表3-3-2）

図表3-3-2 住宅の満足度-年齢別



自宅周辺の住みやすさ別でみると、『満足派』は自宅周辺を住みやすいと感じる人ほど割合が高くなっており、“住みやすい”（83.7%）で8割を超え高くなっている。（図表3-3-3）

図表3-3-3 住宅の満足度-自宅周辺の住みやすさ別



(4) 住宅の不满理由

◇「建物が古い」が3割半ば

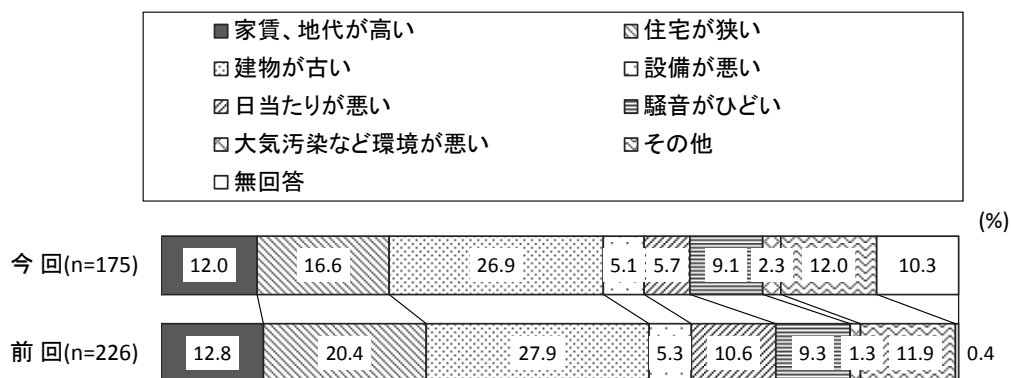
[問 10 で「やや不满」、「不满」とお答えの方にかがいます]

問 10-1 住宅に対する不满の理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問 10 で、「やや不满」、「不满」と答えた方 (175 人) にその理由を聞いたところ、「建物が古い」(26.9%) が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「住宅が狭い」(16.6%)、「家賃、地代が高い」(12.0%)、「騒音がひどい」(9.1%) の順で続いている。

前回調査との比較では、「無回答」の割合が増えたため比較できない。(図表 3-4)

図表 3-4 住宅の不满理由



4 区政への関心・評価

(1) 区政への関心度

◇『関心』が5割半ば

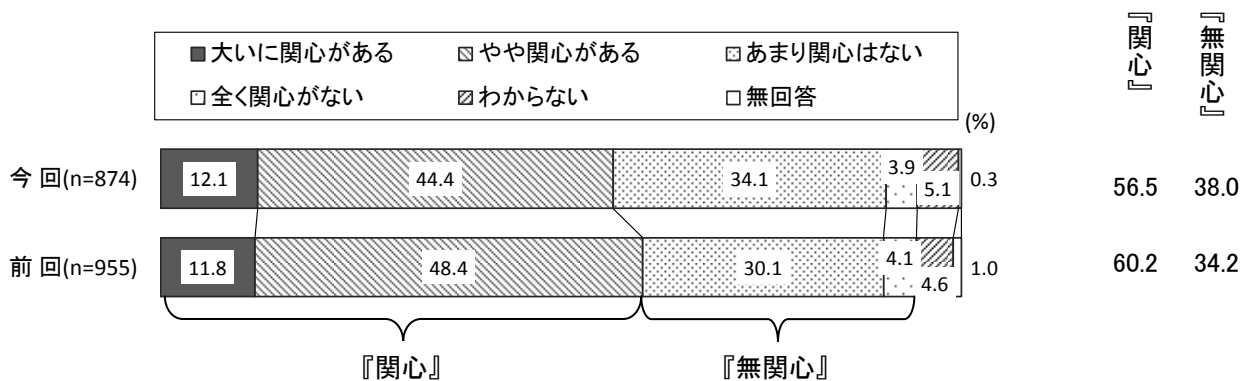
問11 あなたは、北区政にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

区政への関心度をみると、「やや関心がある」(44.4%)が最も高くなっており、「大いに関心がある」(12.1%)と合わせた『関心』(56.5%)が5割半ばとなっている。

一方、「あまり関心はない」(34.1%)と「全く関心がない」(3.9%)を合わせた『無関心』(38.0%)は4割近くとなっている。

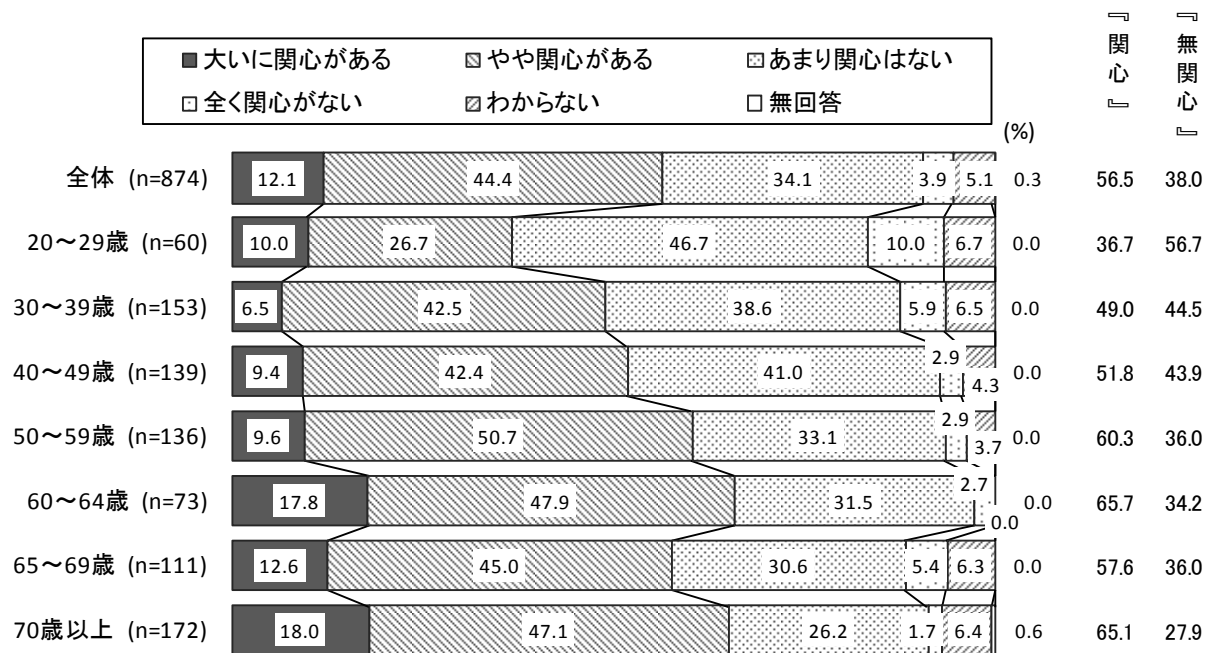
前回調査と比較すると、『無関心』が増加し、『関心』が減少した。(図表4-1-1)

図表4-1-1 区政への関心度



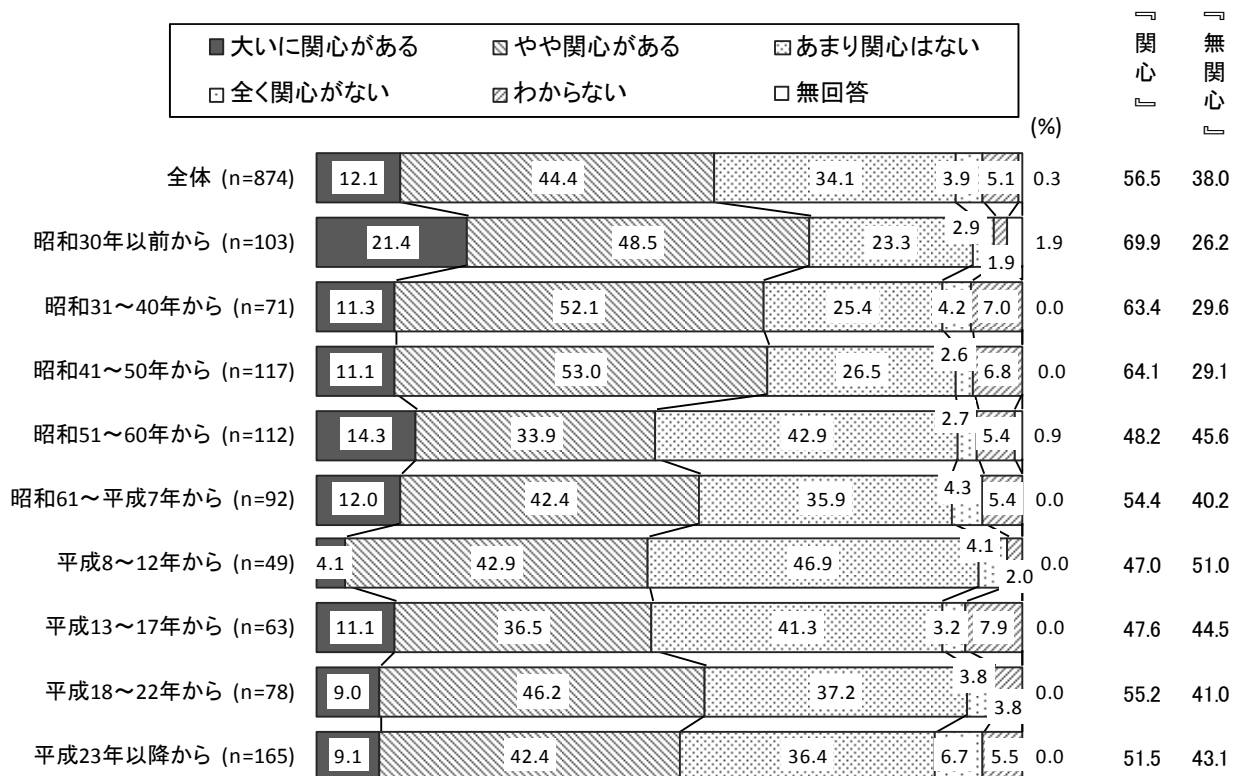
年齢別でみると、『関心』はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。一方、『無関心』は20～29歳（56.7%）で5割半ばとなっている。（図表4-1-2）

図表4-1-2 区政への関心度-年齢別



居住年数別でみると、『関心』はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高い傾向を示しており、とくに“昭和30年以前から”（69.9%）で約7割と高くなっている。（図表4-1-3）

図表4-1-3 区政への関心度-居住年数別



(2) 区政情報の入手先

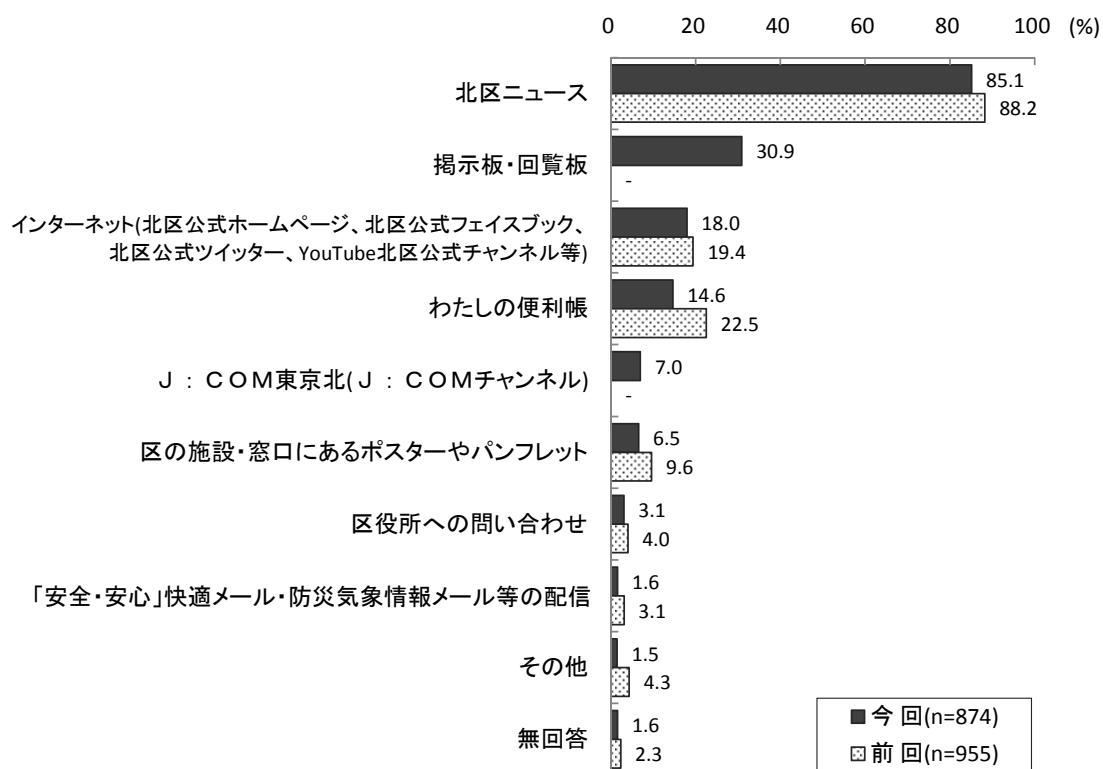
◇「北区ニュース」が8割半ば

問12 あなたは、北区政情報を主に何から入手していますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

区政情報の入手先をみると、「北区ニュース」(85.1%)が8割半ばと突出して高くなっている。次いで、「掲示板・回覧板」(30.9%)、「インターネット(北区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube北区公式チャンネル等)」(18.0%)、「わたしの便利帳」(14.6%)の順で続いている。

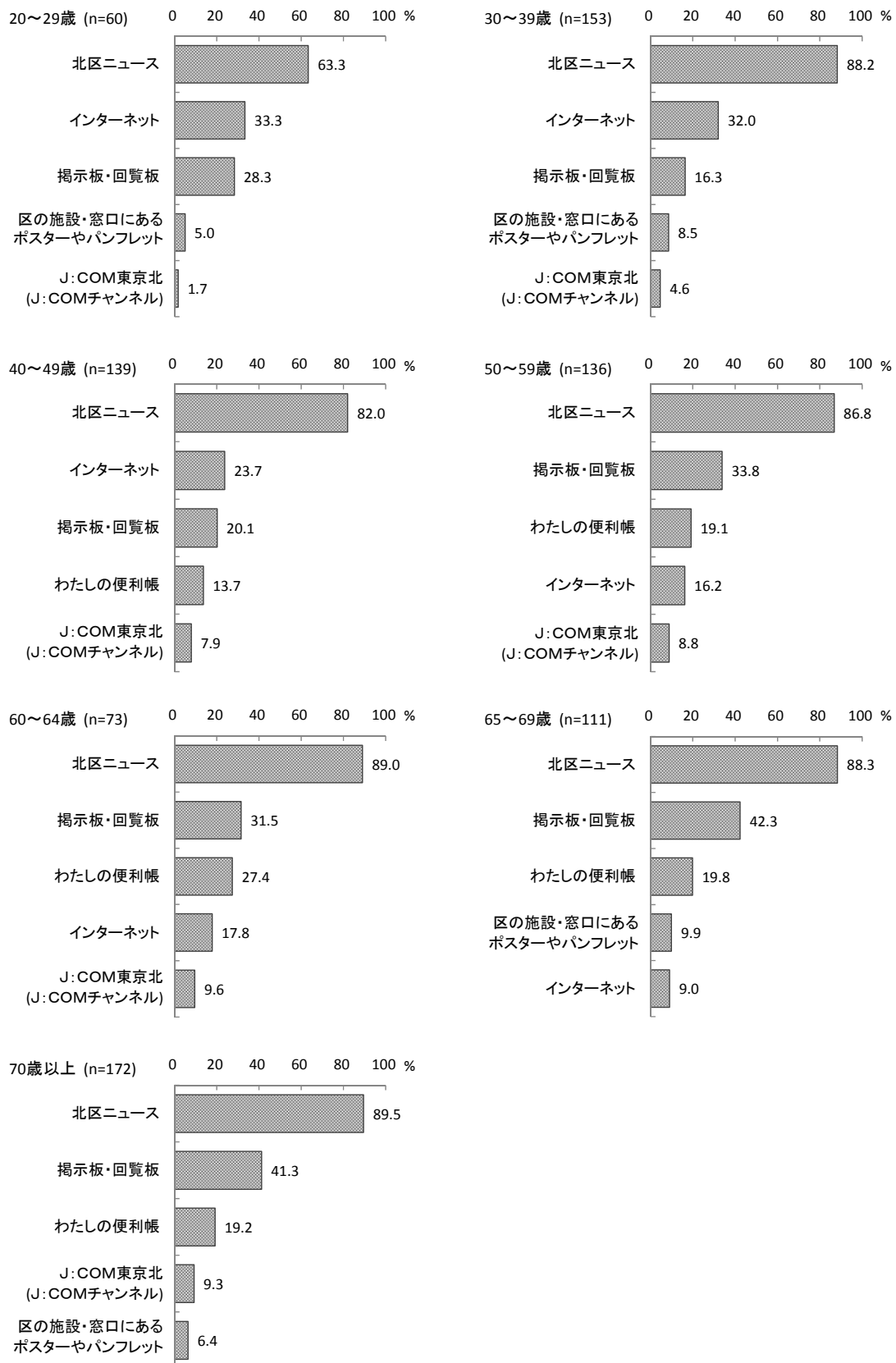
前回調査と比較すると、「わたしの便利帳」が最も減少している。(図表4-2-1)

図表4-2-1 区政情報の入手先



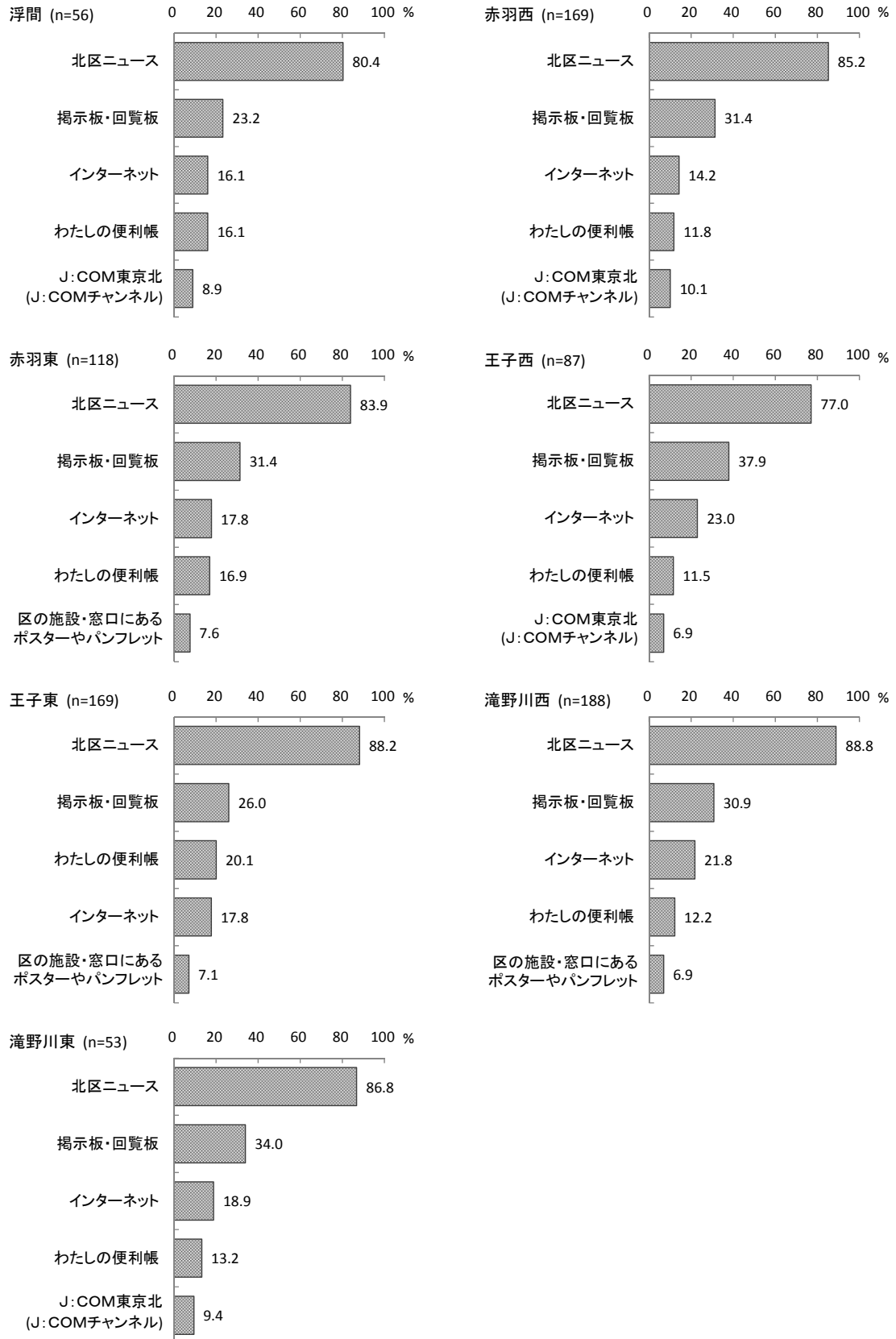
年齢別でみると、すべての年齢で「北区ニュース」が突出して高くなっている。また、49歳以下の年齢では「インターネット」、50歳以上の年齢では「掲示板・回覧板」がそれぞれ第2位となっている。（図表4-2-2）

図表4-2-2 区政情報の入手先-年齢別（上位5項目）



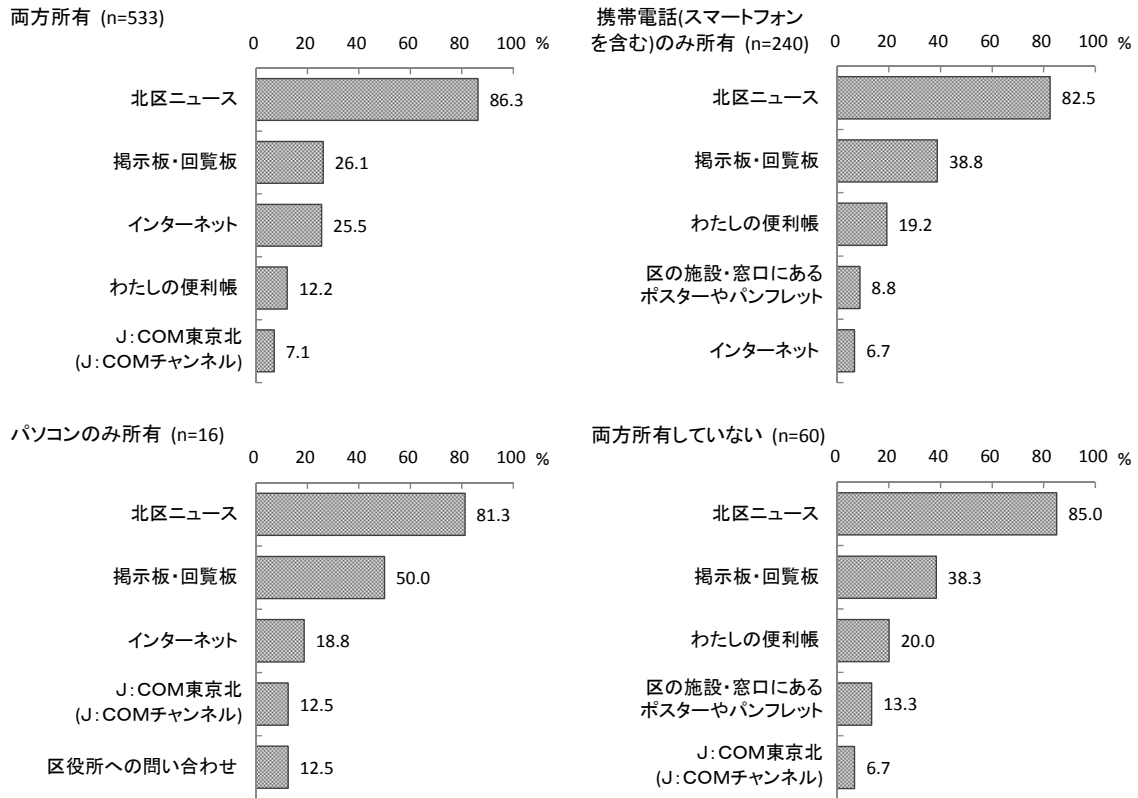
居住地区別でみると、すべての地区で「北区ニュース」が突出して高くなっている。また、全ての地区で「掲示板・回覧板」が第2位となっている。(図表4-2-3)

図表4-2-3 区政情報の入手先-居住地区別(上位5項目)



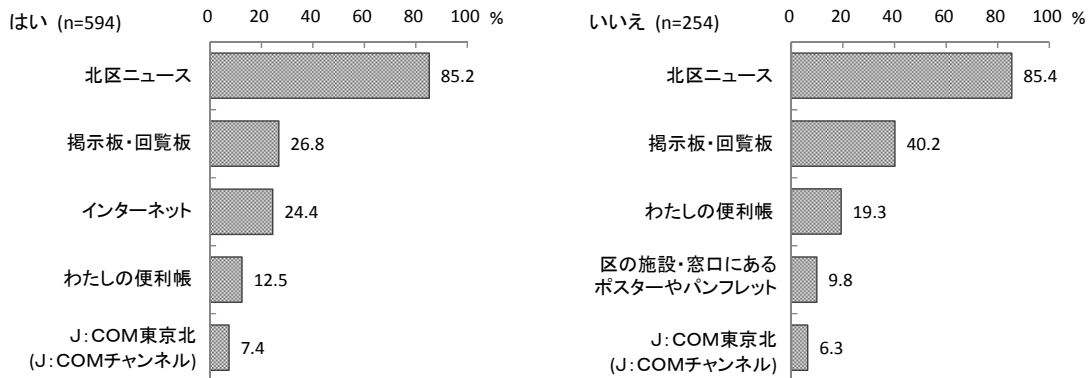
携帯電話・パソコンの所有状況別でみると、携帯電話、パソコンの所有状況に関係なく「北区ニュース」が突出して高くなっている。また、所有状況に関係なく「掲示板・回覧板」が第2位となっている。(図表4-2-4)

図表4-2-4 区政情報の入手先-携帯電話・パソコンの所有状況別(上位5項目)



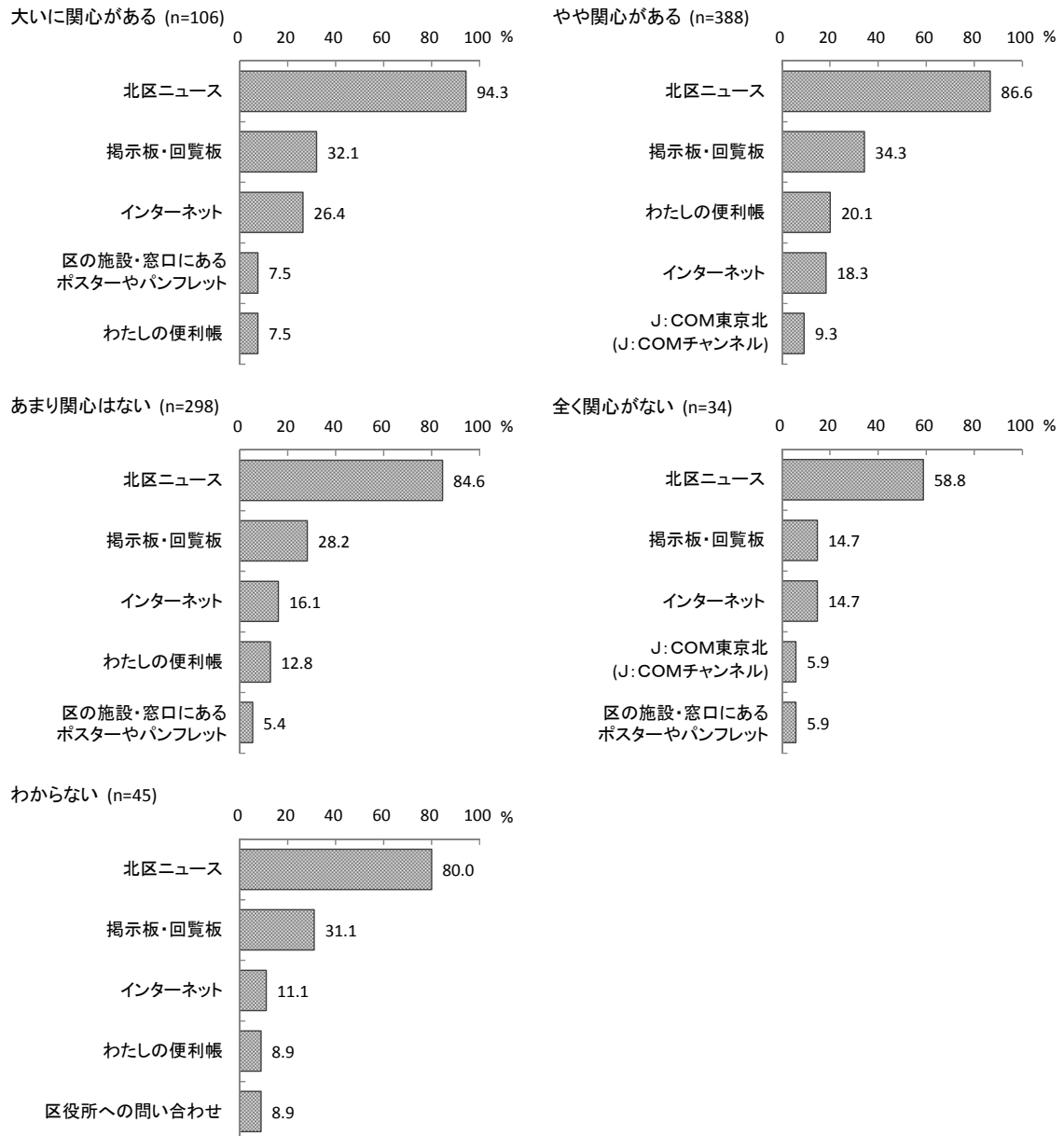
インターネットへの接続の有無別でみると、インターネットへの接続状況に関係なく「北区ニュース」が突出して高くなっている。ただし、「インターネットを接続している」で「インターネット」が第3位となっている。(図表4-2-4)

図表4-2-5 区政情報の入手先-インターネットへの接続の有無別(上位5項目)



区政への関心度別でみると、関心度に関係なく「北区ニュース」が最も高くなっている。(図表4-2-6)

図表4-2-6 区政情報の入手先-区政への関心度別(上位5項目)



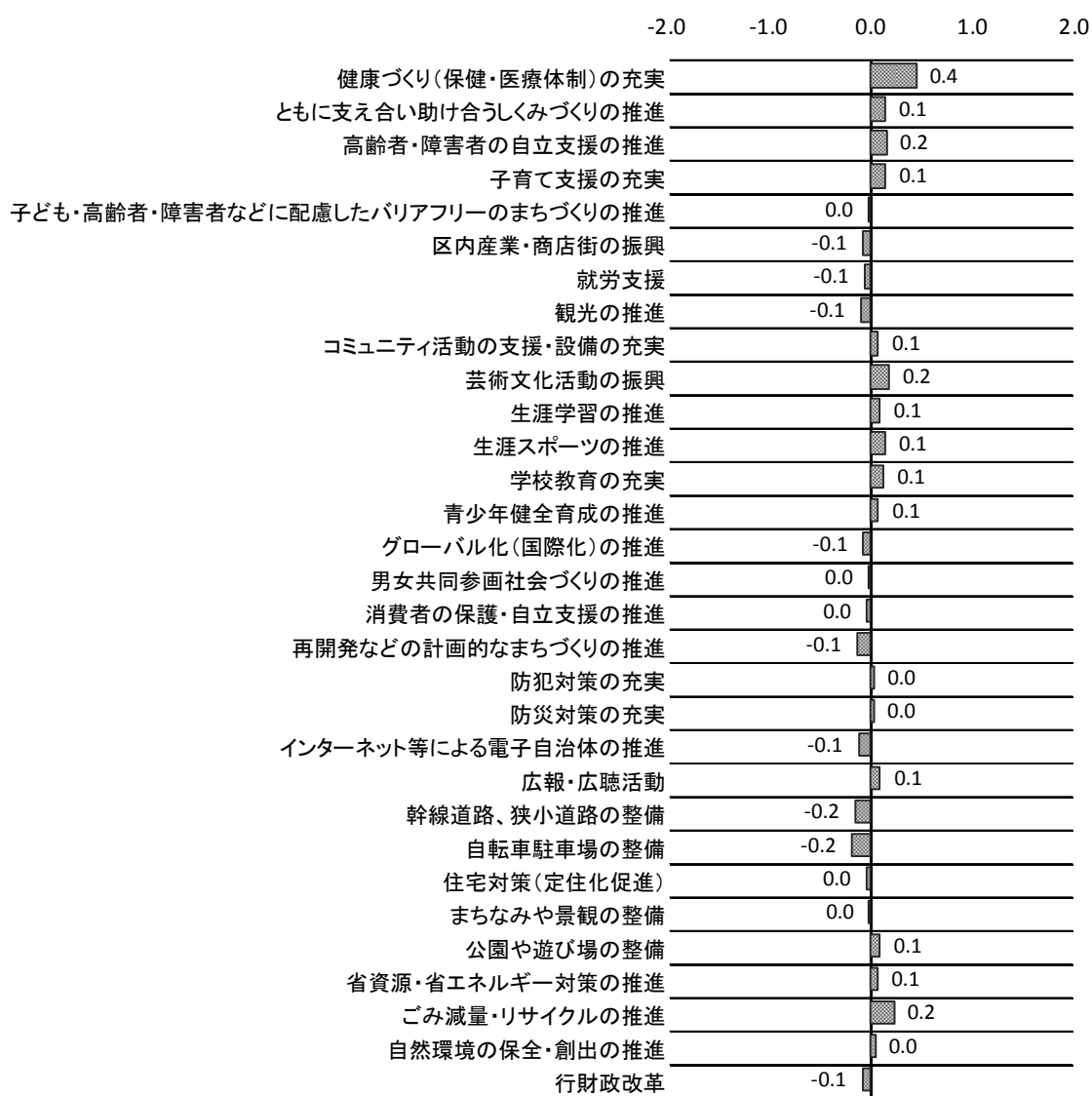
(3) 区の施策の満足度

◇満足度が最も高いのは「健康づくり（保健・医療体制）の充実」

問 13 区が取り組んでいるそれぞれの施策について、あなたはどれくらい満足していますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

区の施策の満足度について、各施策に対する満足度の平均評価点でみると、「健康づくり（保健・医療体制）の充実」(0.4)が最も高くなっている。次いで、「ごみ減量・リサイクルの推進」(0.2)、「芸術文化活動の振興」(0.2)、「高齢者・障害者の自立支援の推進」(0.2)が続いている。(図表4-3-1)

図表 4-3-1 区の施策の満足度



注) 平均評価点

= {「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点

+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「やや不満」と答えた人数×-1点

+「不満」と答えた人数×-2点} ÷無回答を除く全回答者数

平均評価点は、2.0に近いほど満足度が高く、-2.0に近いほど満足度が低いこととなる

年齢別でみると、すべての年齢で「健康づくり（保健・医療体制）の充実」の満足度が高くなっている。一方、30～39歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳で「自転車駐車場の整備」、20～29歳で「インターネット等による電子自治体の推進」、40～49歳で「再開発などの計画的なまちづくりの推進」、70歳以上で「区内産業・商店街の振興」の満足度が低くなっている。（図表4-3-2）

図表4-3-2 区の施策の満足度-年齢別

年齢		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
1	健康づくり(保健・医療体制)の充実	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6
2	ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3
3	高齢者・障害者の自立支援の推進	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3
4	子育て支援の充実	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2
5	子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.1
6	区内産業・商店街の振興	0.0	0.0	0.0	-0.2	-0.1	-0.1	-0.1
7	就労支援	0.0	-0.1	0.0	-0.1	0.0	0.0	-0.1
8	観光の推進	0.0	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	0.0	0.1
9	コミュニティ活動の支援・設備の充実	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2
10	芸術文化活動の振興	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3
11	生涯学習の推進	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2
12	生涯スポーツの推進	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3
13	学校教育の充実	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3
14	青少年健全育成の推進	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2
15	グローバル化(国際化)の推進	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.1
16	男女共同参画社会づくりの推進	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.1
17	消費者の保護・自立支援の推進	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.1
18	再開発などの計画的なまちづくりの推進	-0.1	-0.2	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	0.1
19	防犯対策の充実	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.2	0.2
20	防災対策の充実	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.2
21	インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1
22	広報・広聴活動	-0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3
23	幹線道路、狭小道路の整備	0.0	-0.2	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	0.0
24	自転車駐車場の整備	-0.2	-0.3	-0.2	-0.3	-0.2	-0.2	0.1
25	住宅対策(定住化促進)	0.2	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	-0.1	0.1
26	まちなみや景観の整備	0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.1	0.0	0.2
27	公園や遊び場の整備	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3
28	省資源・省エネルギー対策の推進	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2
29	ごみ減量・リサイクルの推進	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5
30	自然環境の保全・創出の推進	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
31	行財政改革	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0

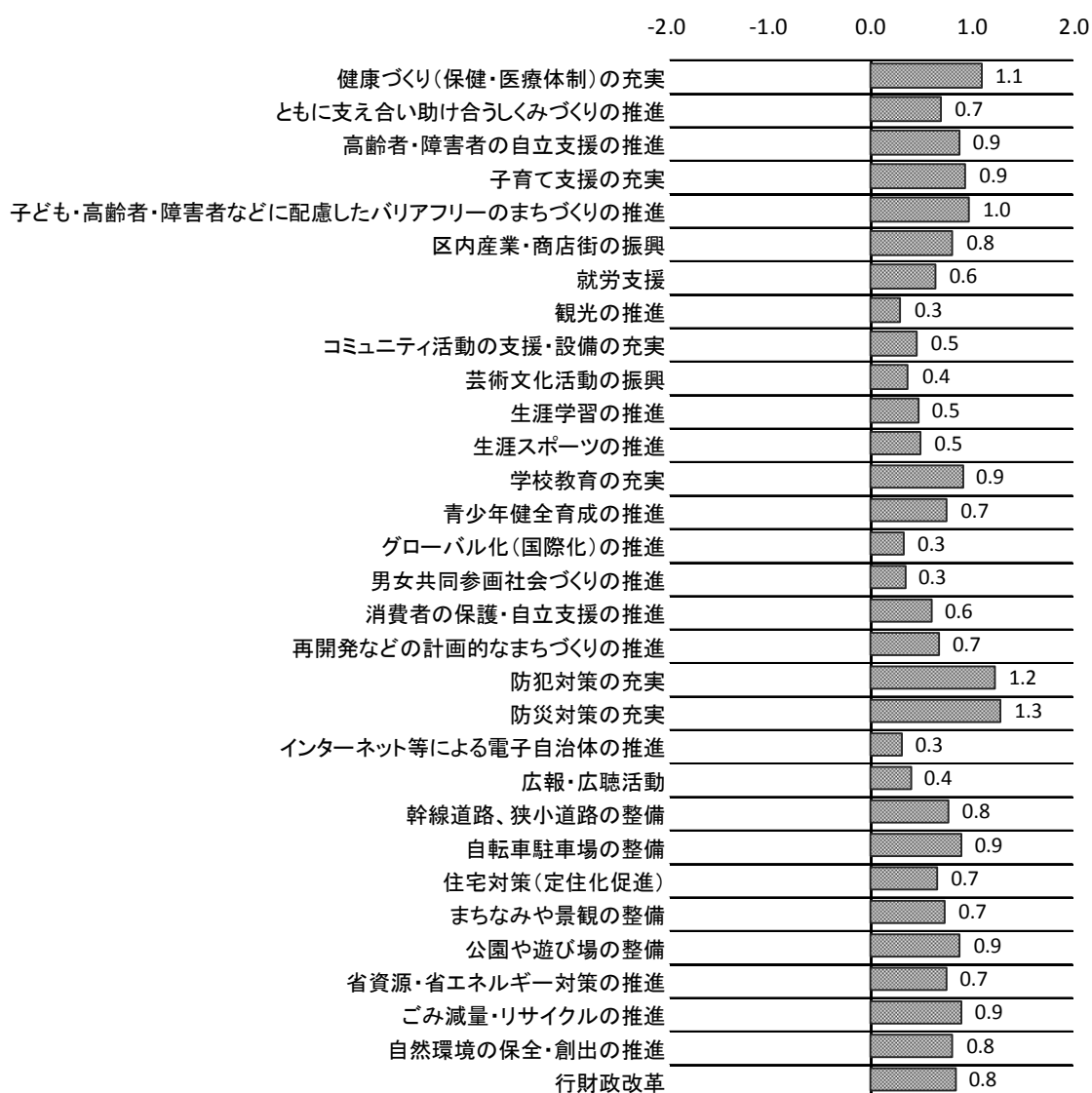
(4) 区の施策の重要度

◇重要度が高いのは「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」

問 14 区が取り組んでいるそれぞれの施策は、あなたにとってどれくらい重要であると思いますか。
例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

区の施策の重要度について、各施策に対する重要度の平均評価点でみると、「防災対策の充実」(1.3)と「防犯対策の充実」(1.2)が高くなっている。次いで、「健康づくり(保健・医療体制)の充実」(1.1)の順で続いている。(図表4-4-1)

図表 4-4-1 区の施策の重要度



注) 平均評価点

= {「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点
+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「やや重要でない」と答えた人数×-1点
+「重要でない」と答えた人数×-2点} ÷ 無回答を除く全回答者数
平均評価点は、2.0に近いほど重要度が高く、-2.0に近いほど重要度が低いこととなる

年齢別でみると、すべての年齢で「防災対策の充実」と「防犯対策の充実」の重要度が高くなっている。(図表4-4-2)

図表4-4-2 区の施策の重要度-年齢別

年齢		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
1	健康づくり(保健・医療体制)の充実	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.2
2	ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	0.6	0.5	0.6	0.7	0.8	0.7	0.9
3	高齢者・障害者の自立支援の推進	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	0.9	1.1
4	子育て支援の充実	1.0	1.4	0.9	0.6	0.7	0.8	1.0
5	子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	0.9	1.2	0.9	0.8	1.0	0.9	1.0
6	区内産業・商店街の振興	0.8	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8
7	就労支援	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7	0.6	0.8
8	観光の推進	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5
9	コミュニティ活動の支援・設備の充実	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6
10	芸術文化活動の振興	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.6
11	生涯学習の推進	0.3	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.7
12	生涯スポーツの推進	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6
13	学校教育の充実	1.0	1.2	0.8	0.6	0.8	0.9	1.0
14	青少年健全育成の推進	0.7	0.9	0.6	0.5	0.7	0.8	0.9
15	グローバル化(国際化)の推進	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6
16	男女共同参画社会づくりの推進	0.5	0.3	0.2	0.1	0.4	0.4	0.6
17	消費者の保護・自立支援の推進	0.5	0.5	0.5	0.4	0.8	0.7	0.8
18	再開発などの計画的なまちづくりの推進	0.6	0.8	0.7	0.5	0.6	0.7	0.7
19	防犯対策の充実	1.4	1.4	1.3	1.1	1.2	1.1	1.2
20	防災対策の充実	1.3	1.5	1.4	1.2	1.2	1.1	1.2
21	インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
22	広報・広聴活動	0.0	0.3	0.2	0.3	0.5	0.5	0.7
23	幹線道路、狭小道路の整備	0.7	0.8	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9
24	自転車駐車場の整備	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.8	1.0
25	住宅対策(定住化促進)	0.6	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7
26	まちなみや景観の整備	0.7	0.9	0.8	0.5	0.8	0.6	0.8
27	公園や遊び場の整備	0.8	1.2	0.9	0.6	0.8	0.7	0.9
28	省資源・省エネルギー対策の推進	0.8	0.7	0.7	0.7	0.9	0.8	0.8
29	ごみ減量・リサイクルの推進	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	1.2
30	自然環境の保全・創出の推進	1.0	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	1.0
31	行財政改革	0.7	0.7	0.8	0.8	1.0	0.8	1.0

(6) 窓口の利用

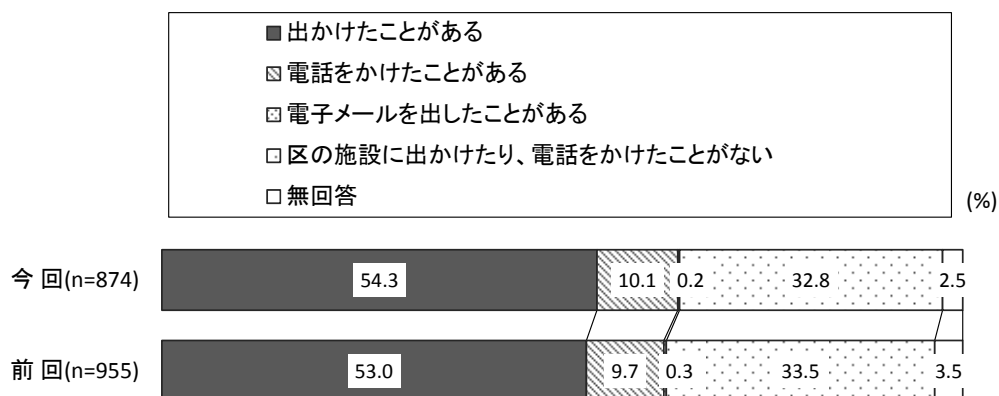
◇区の施設に「出かけたことがある」が5割を超える

問 15 あなたは、この1年間に区の施設に出かけたり、電話をかけたりしたことなどがありますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

この1年間の区の窓口の利用状況をみると、「出かけたことがある」(54.3%)が5割を超え最も高くなっており、次いで、「電話をかけたことがある」(10.1%)、「電子メールを出したことがある」(0.2%)と続いている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」(32.8%)は3割を超えている。

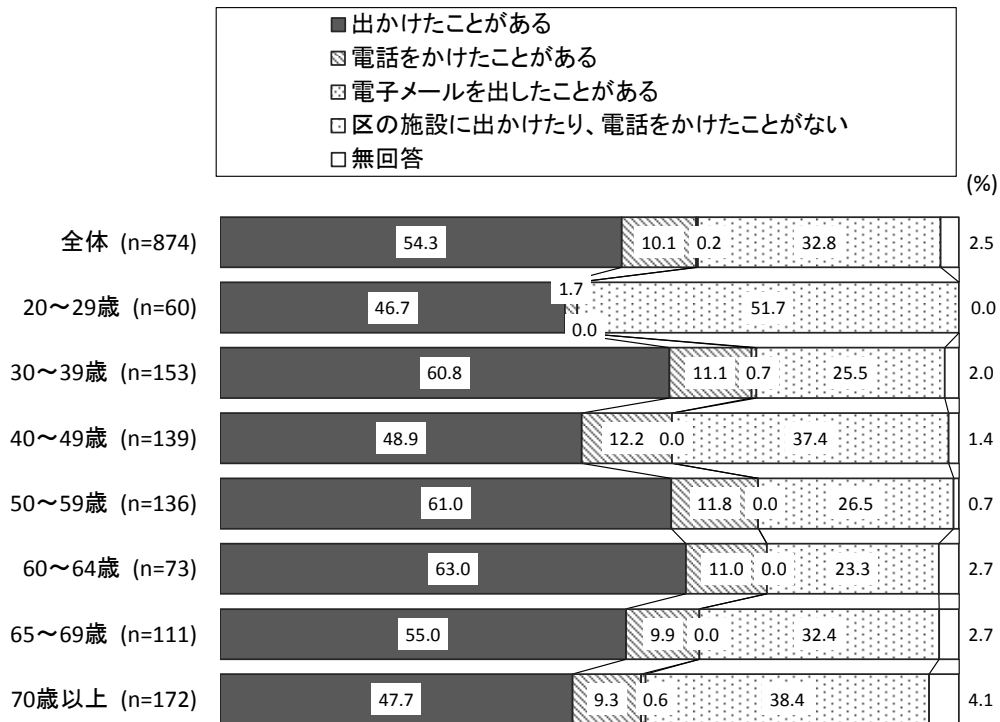
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表4-6-1)

図表4-6-1 窓口の利用



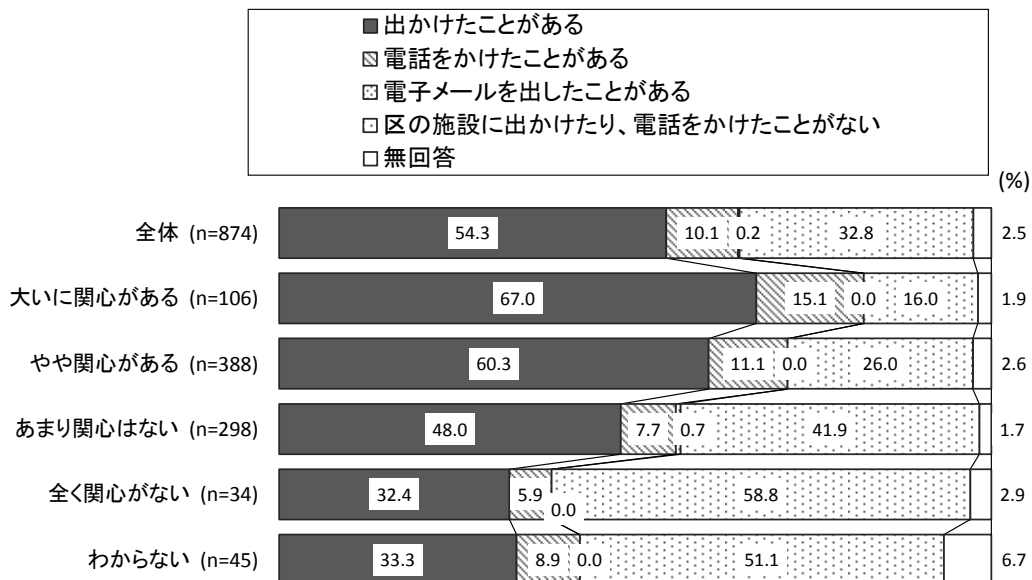
年齢別でみると、「出かけたことがある」は60～64歳（63.0%）、50～59歳（61.0%）、30～39歳（60.8%）でともに6割以上と高くなっている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」は20～29歳（51.7%）で5割を超え高くなっている。（図表4-6-2）

図表4-6-2 窓口の利用-年齢別



区政への関心度別でみると、「出かけたことがある」は関心度が高くなるほど割合が高く、「大いに関心がある」（67.0%）で6割半ばと高くなっている。一方、「区の施設に出かけたり、電話をかけたことがない」は関心度が低くなるほど割合が高く、「全く関心がない」（58.8%）で6割近くと高くなっている。（図表4-6-3）

図表4-6-3 窓口の利用-区政への関心度別



(7) 職員の対応

◇「よかった」が約6割、「悪かった」は1割未満

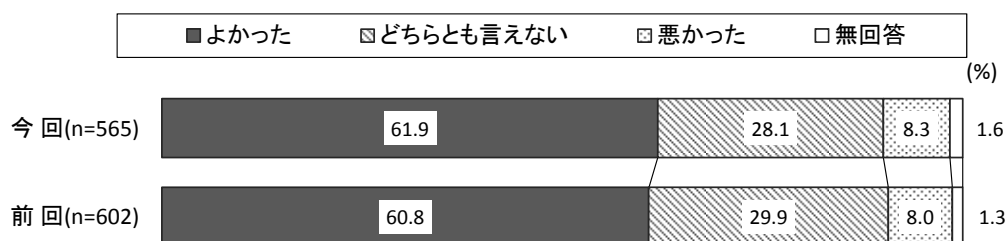
[問 15 で「出かけたことがある」「電話をかけたことがある」「電子メールを出したことがある」を選んだ方にうかがいます]

問 15-1 その時に対応した職員に対して、あなたはどのように感じましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問 15 で、「出かけたことがある」、「電話をかけたことがある」、「電子メールを出したことがある」と答えた方(565人)に、対応した職員に対して、どのように感じたかを聞いたところ、「よかった」(61.9%)が約6割、「どちらとも言えない」(28.1%)が約3割、「悪かった」(8.3%)は1割未満となっている。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表4-7-1)

図表 4-7-1 職員の対応



(8) 職員の対応で良い印象を受けなかった理由

◇「職員の態度が横柄、機械的だった」が5割半ば

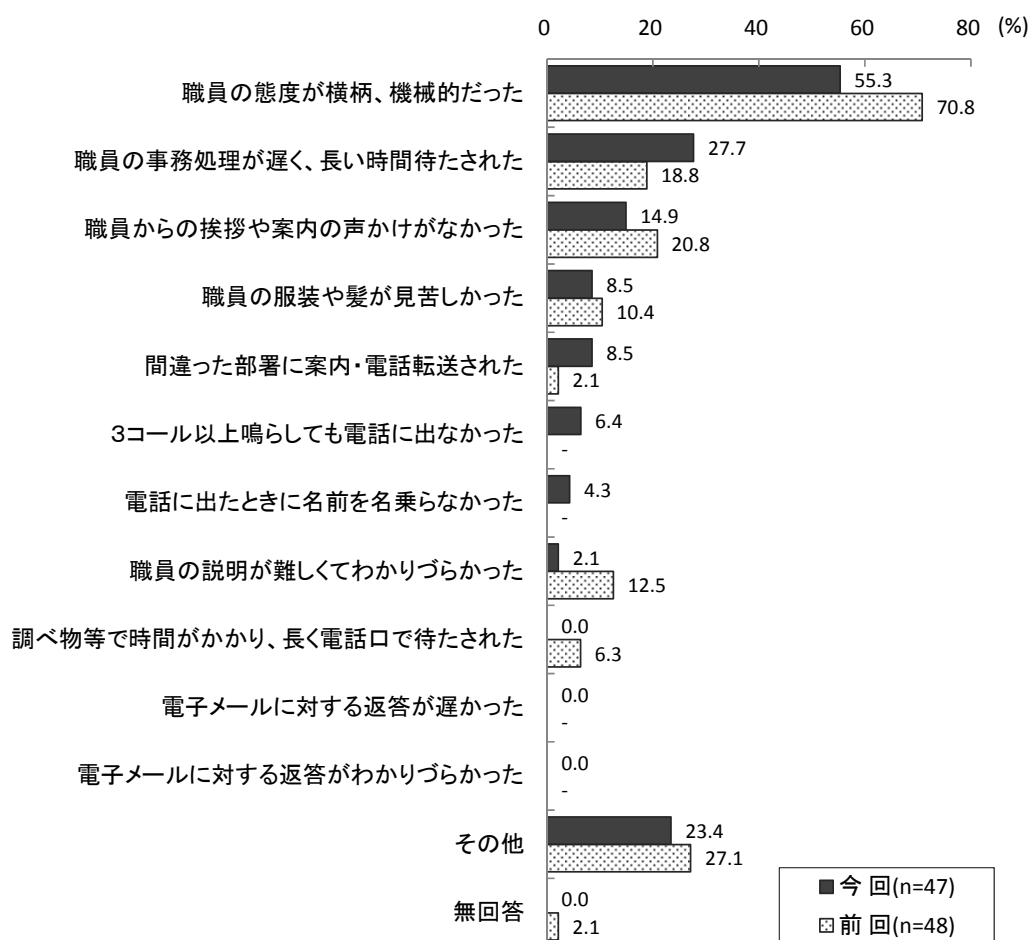
[問 15-1 で「悪かった」を選んだ方にかがいます]

問 15-2 悪かった理由は、何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問 15-1 で、「悪かった」と答えた方（47 人）に、職員の対応が悪かったと感じた理由を聞いたところ、「職員の態度が横柄、機械的だった」（55.3%）が約 5 割半ばと高くなっている。次いで、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」（27.7%）、「職員からの挨拶や案内の声かけがなかった」（14.9%）の順で続いている。

前回調査と比較すると、「職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた」が大きく増加し、「職員の態度が横柄、機械的だった」、「職員の説明が難しくてわかりづらかった」、が大きく減少している。（図表 4-8）

図表 4-8 職員の対応で良い印象を受けなかった理由



(9) 区の経営改革の手法

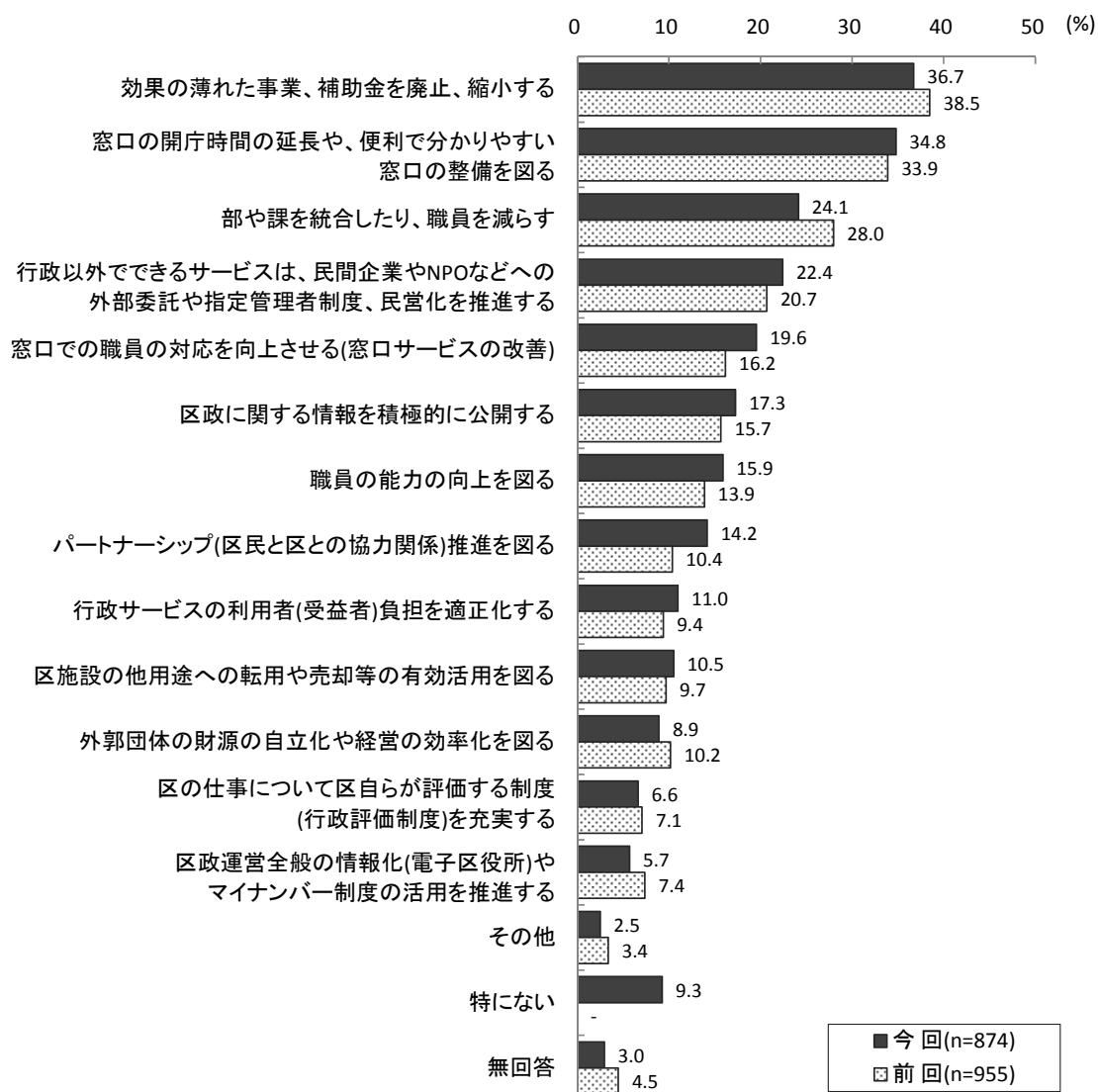
◇「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」が3割半ば

問 16 北区では、これまで事業や組織の見直しなど経営改革に取り組んできました。今後、より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは、「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」(36.7%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」(34.8%)、「部や課を統合したり、職員を減らす」(24.1%)の順で続いている。

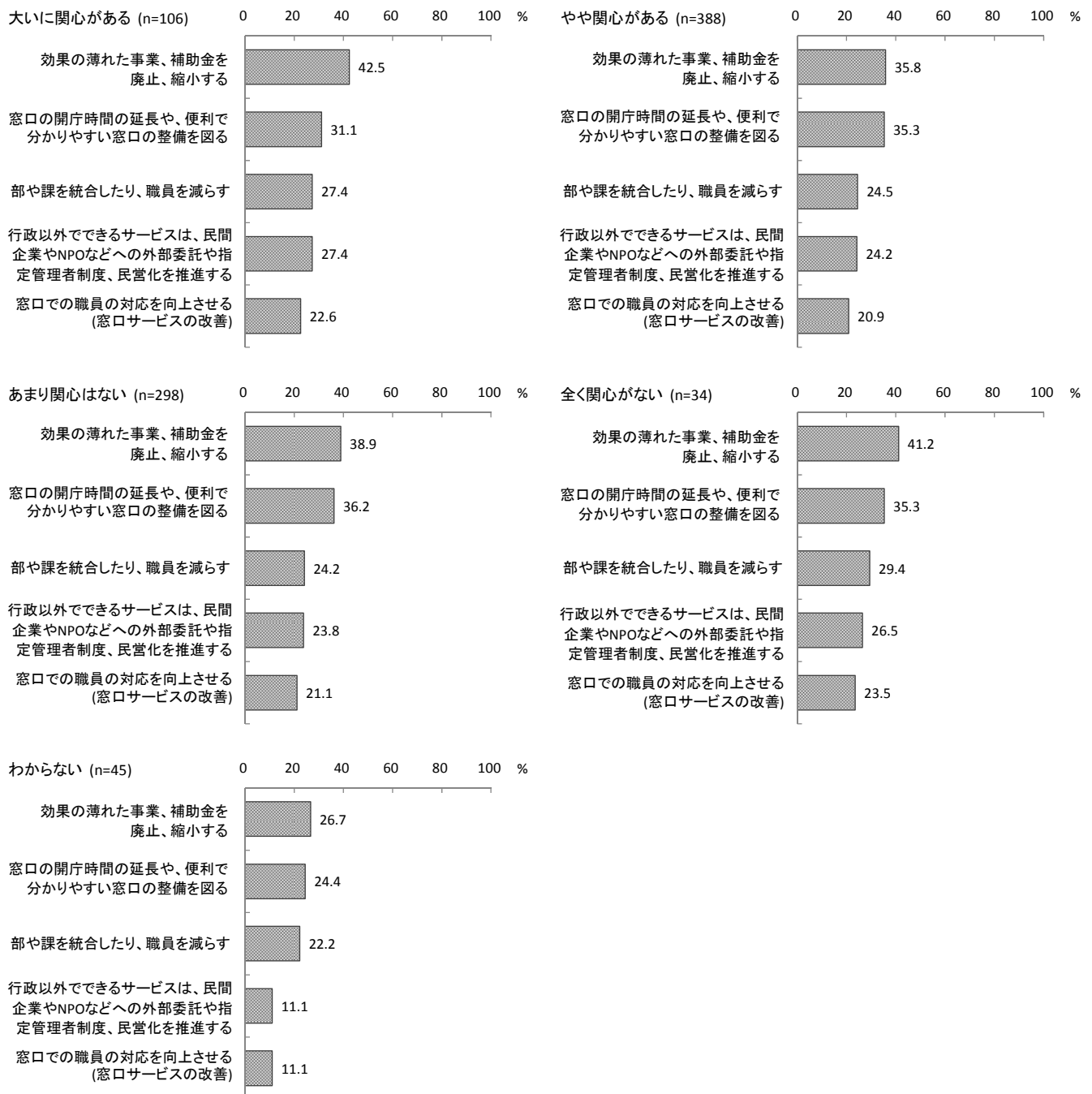
前回調査と比較すると、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)推進を図る」、「窓口での職員の対応を向上させる(窓口サービス改善)」などが増加し、「部や課を統合したり、職員を減らす」が大きく減少している。(図表4-9-1)

図表 4-9-1 区の経営改革の手法



区政への関心度別でみると、関心度に関わらず「効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する」、「窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る」、「部や課を統合したり、職員を減らす」が3位までを占めている。(図表4-9-2)

図表4-9-2 区の経営改革の手法-区政への関心度別(上位5項目)



(10) 公共施設にかかる経費削減のための重点施策

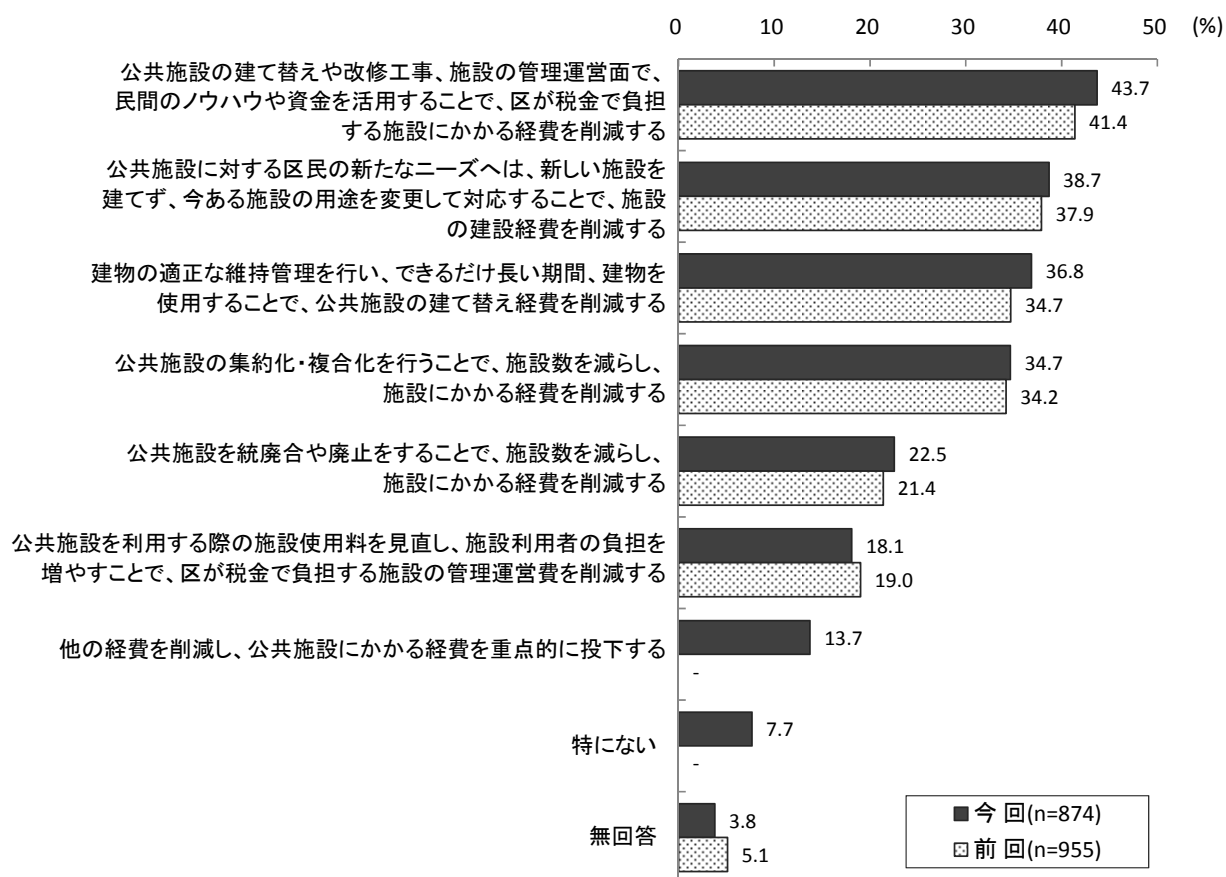
◇「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」が4割を超える

問17 北区では、公共施設の老朽化が進行しており、その改築・改修に伴う経費の増加が財政状況を圧迫する可能性があります。今後、公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは、「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」(43.7%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「公共施設に対する区民の新たなニーズへは、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」(38.7%)、「建物の適正な維持管理を行い、できるだけ長い期間、建物を使用することで、公共施設の建て替え経費を削減する」(36.8%)の順で続いている。

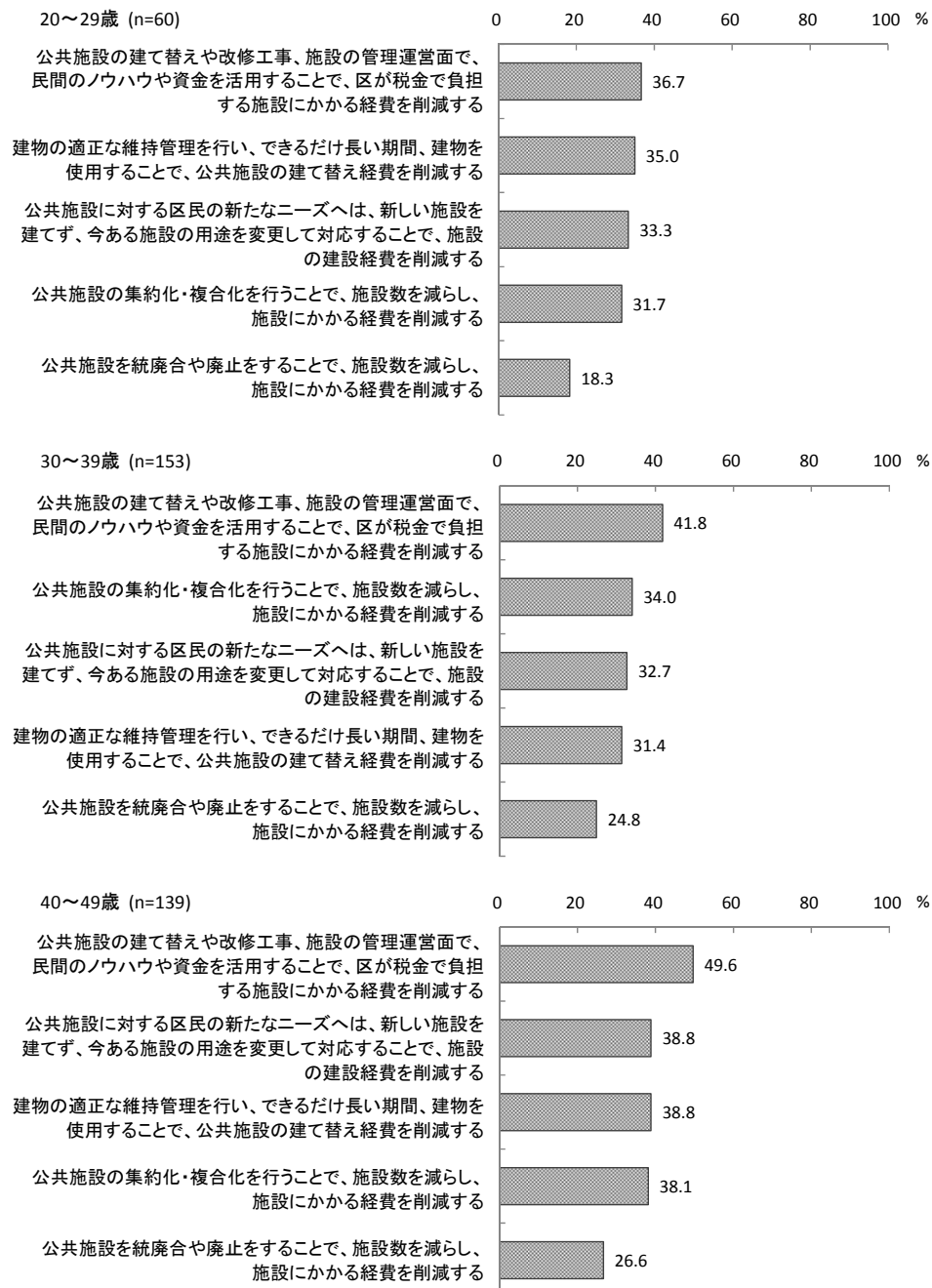
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表4-10-1)

図表4-10-1 公共施設にかかる経費削減のための重点施策

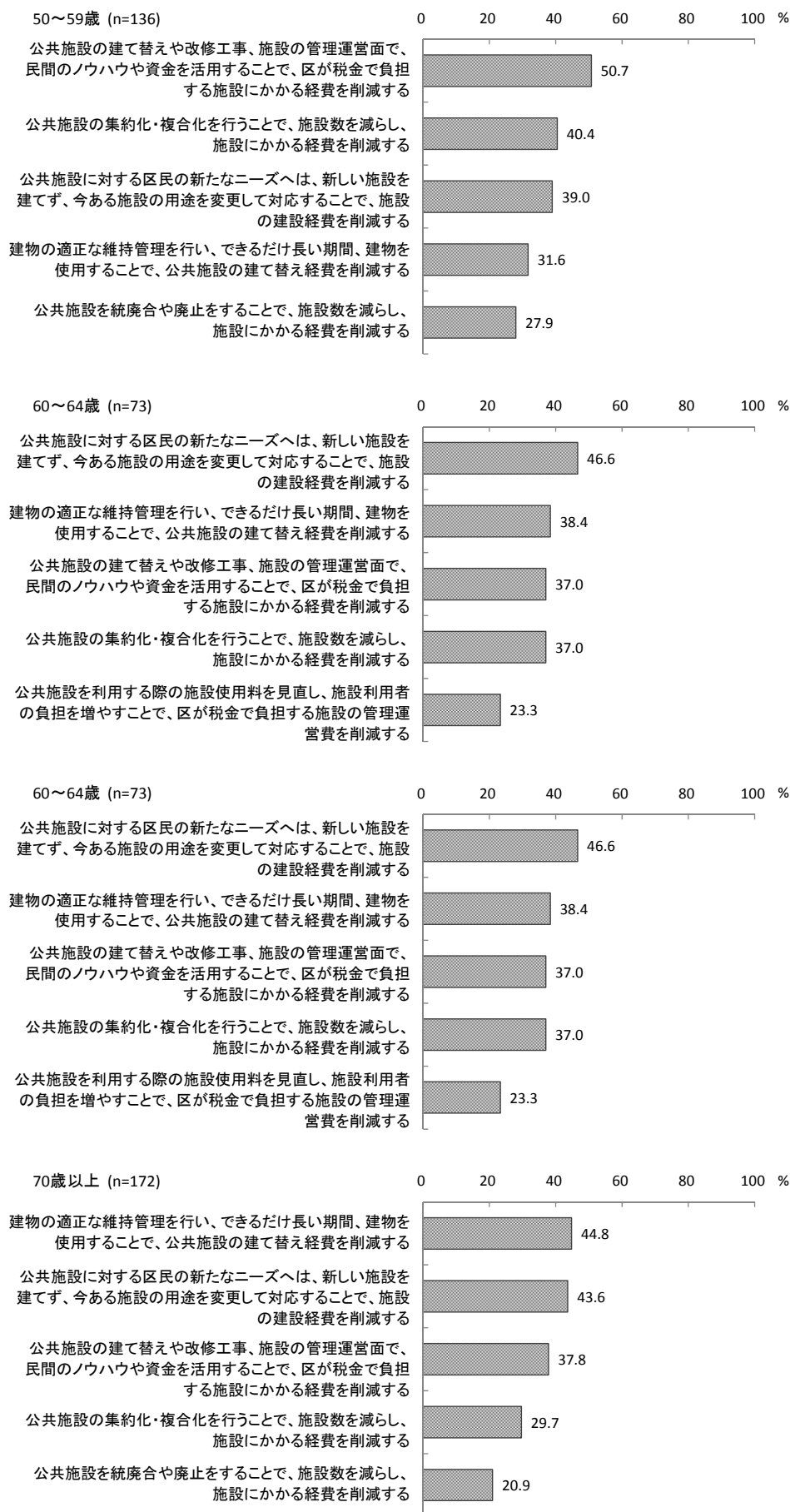


年齢別でみると、59歳以下の年齢層で「公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する」が最も高くなっている。60歳代では「公共施設に対する区民の新たなニーズへは、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する」が、70歳以上では「建物の適正な維持管理を行い、できるだけ長い期間、建物を使用することで、公共施設の建て替え経費を削減する」が最も高かった。(図表4-10-2)

図表4-10-2 公共施設にかかる経費削減のための重点施策-年齢別(上位5項目)



図表 4-10-2 公共施設にかかる経費削減のための重点施策-年齢別（上位5項目）



(11) 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設

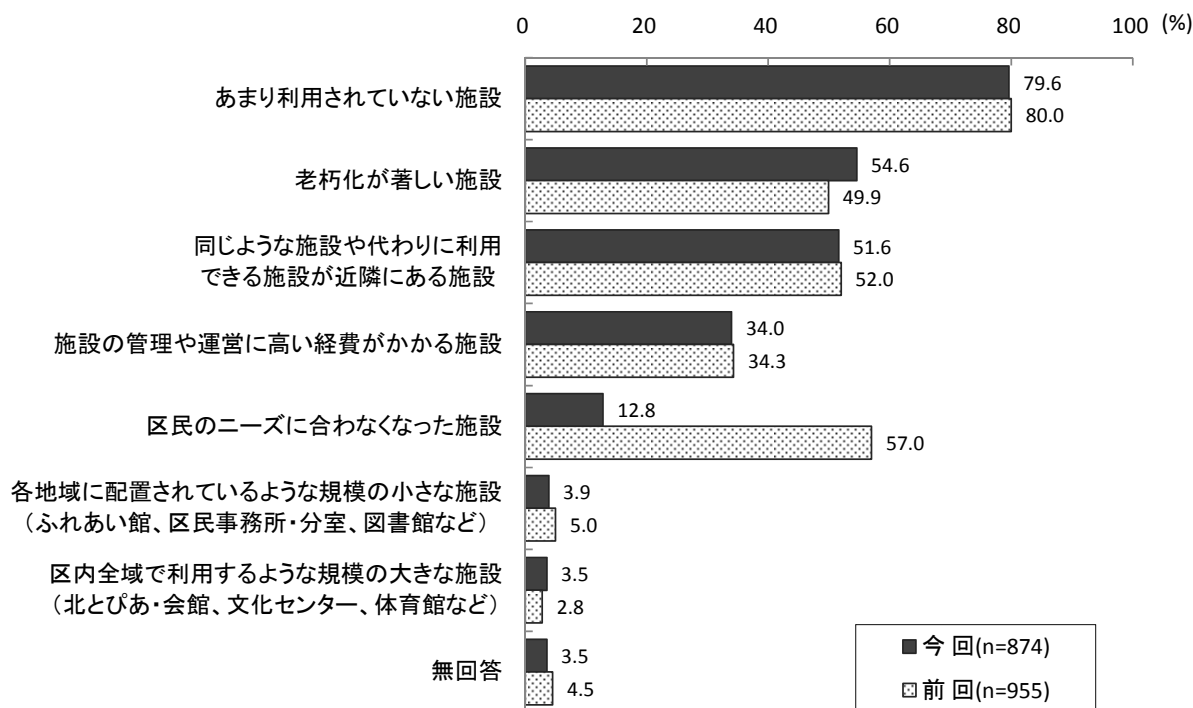
◇「あまり利用されていない施設」が8割近く

問 18 公共施設にかかる経費を削減するために、施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような状況の施設から削減していけば良いと考えますか。次の中からあてはまるものをすべてに○をつけてください。

公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設をみると、「あまり利用されていない施設」(79.6%)が8割近くと突出して高くなっている。次いで、「老朽化が著しい施設」(54.6%)、「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設」(51.6%)の順が続いている。

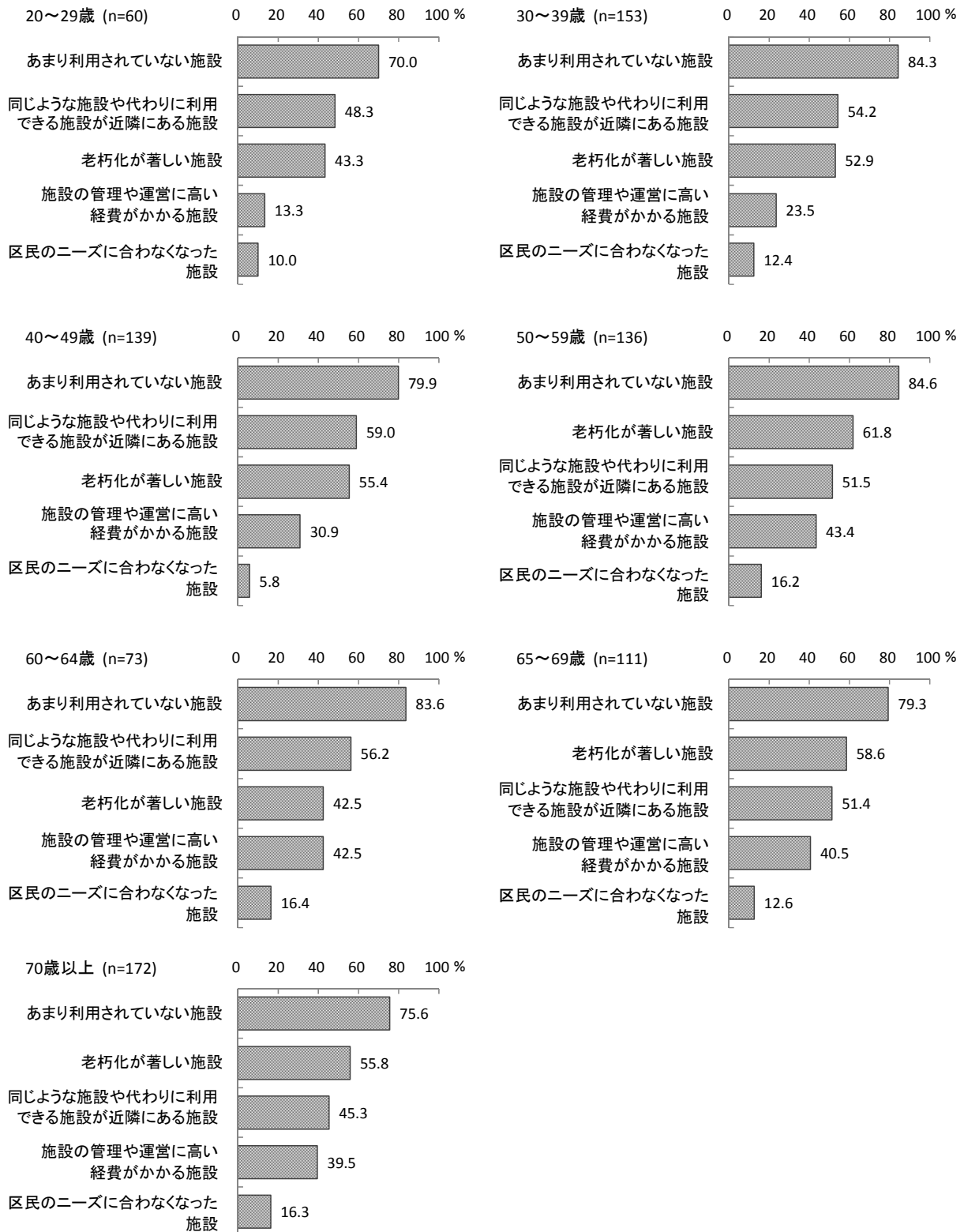
前回調査と比較して、「区民のニーズに合わなくなった施設」が大きく減少した。(図表4-11-1)

図表 4-11-1 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設



年齢別でみると、すべての年齢で「あまり利用されていない施設」が高くなっている。また、49歳以下及び60～64歳の年齢では「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設」、50歳以上(60～64歳を除く)では、「老朽化が著しい施設」がそれぞれ第2位となっている。(図表4-11-2)

図表4-11-2 公共施設にかかる経費を削減するために減らすべき施設-年齢別(上位5項目)



5 区民とともに

(1) 区政参画等の状況

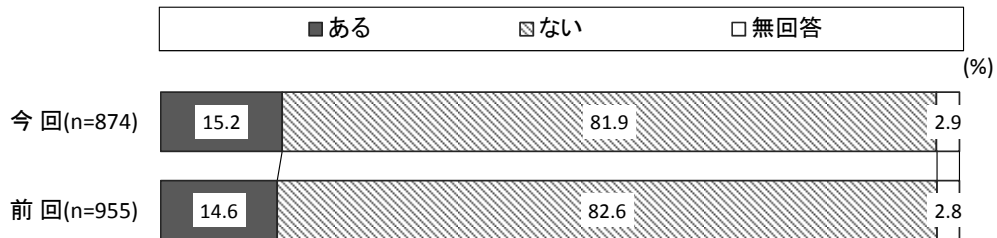
◇区政参画または地域活動に参加したことが「ある」は1割半ば

問19 今までに、区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことがありますか。

区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことの有無をみると、「ある」(15.2%)が1割半ば、「ない」(81.9%)が8割を超えている。

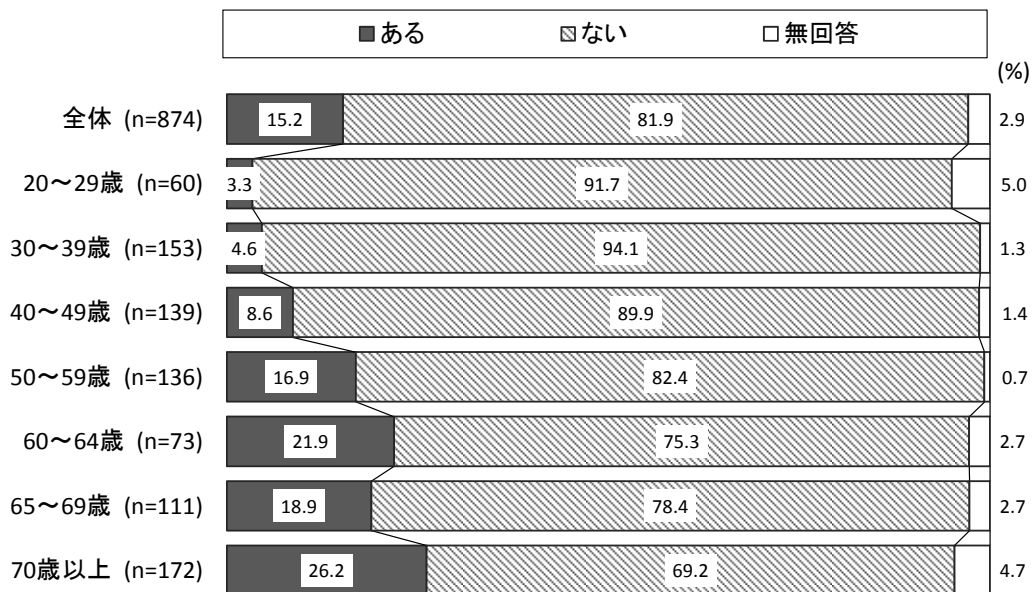
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表5-1-1)

図表5-1-1 区政参画等の状況



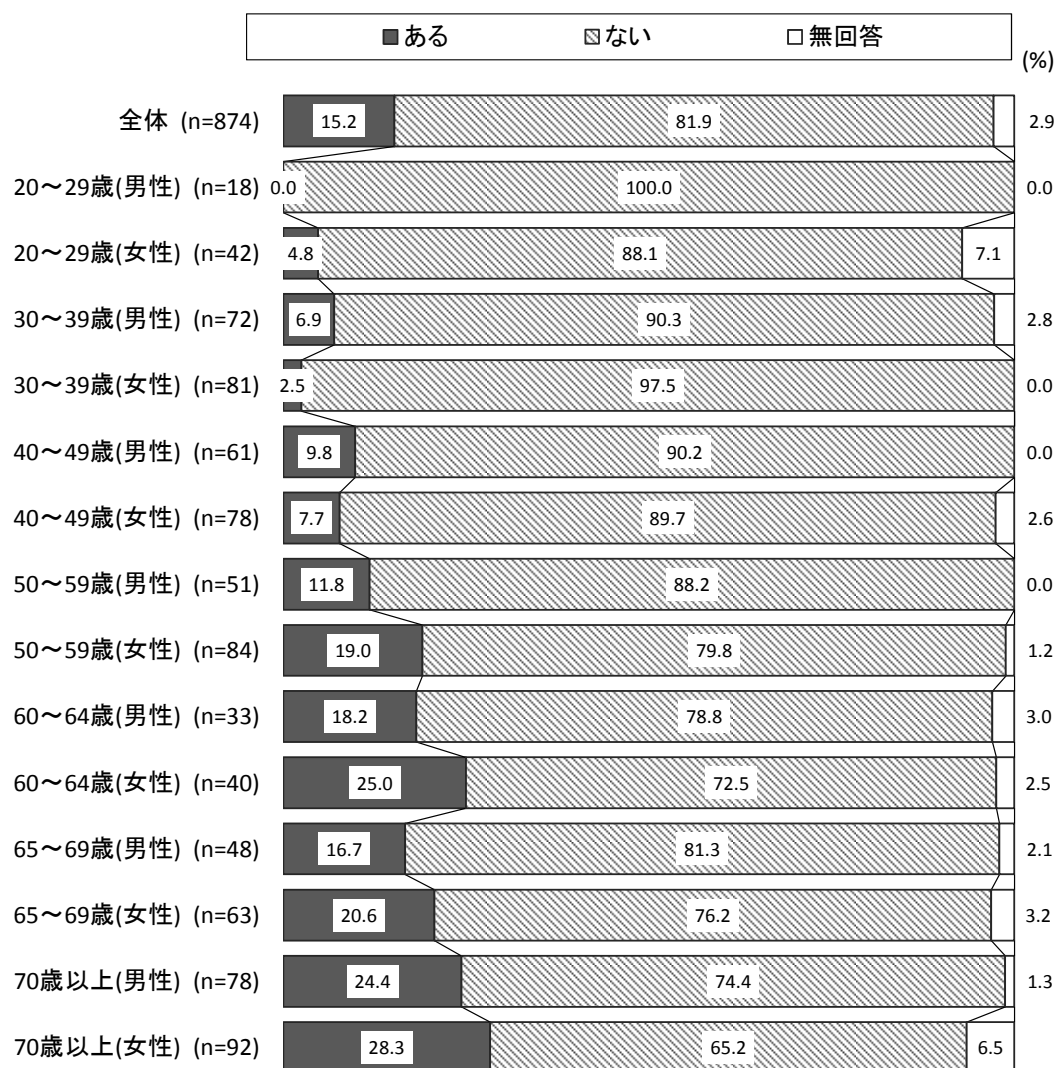
年齢別でみると、区政参画または地域活動に参加したことが「ある」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなっており、70歳以上（26.2%）で2割半ば、60～64歳（21.9%）で2割を超え高くなっている。一方、区政参画または地域活動に参加したことが「ない」は30～39歳（94.1%）と20～29歳（91.7%）で9割を超え高くなっている。（図表5-1-2）

図表5-1-2 区政参画等の状況-年齢別



性別・年齢別でみると、区政参画または地域活動に参加したことが「ある」は男性の70歳以上(24.4%)、女性の70歳以上(28.3%)、60～64歳(25.0%)、65～69歳(20.6%)で2割以上と高くなっている。一方、区政参画または地域活動に参加したことが「ない」は、件数が少ないが、男性の20～29歳が100.0%となっている。(図表5-1-3)

図表5-1-3 区政参画等の状況-性別・年齢別



(2) 区政参画等の内容

◇「町会・自治会活動」が7割近く

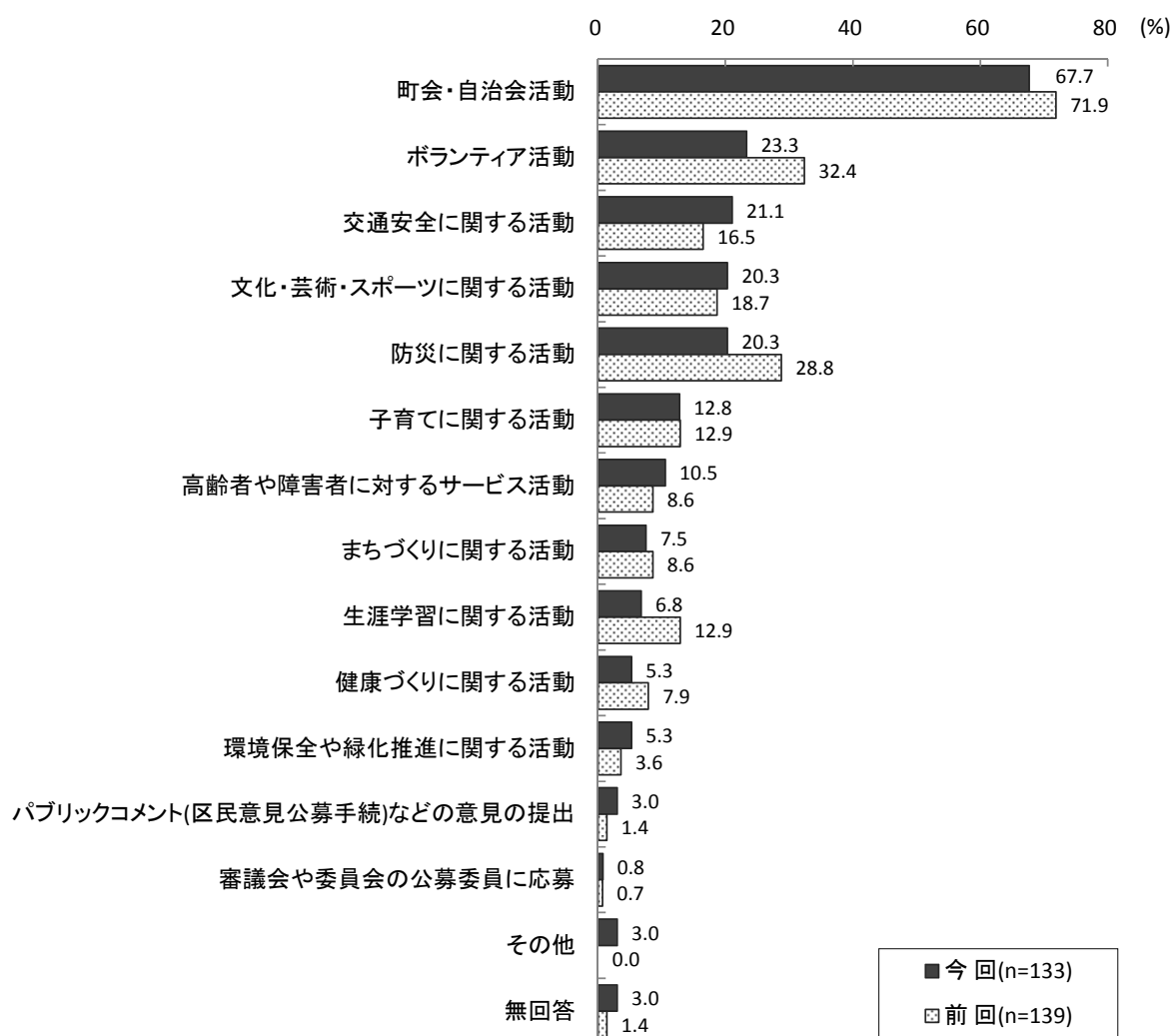
[問 19 で「ある」を選んだ方にうかがいます]

問 19-1 どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

問 19 で、「ある」と答えた方 (133 人) に、参加した活動の内容を聞いたところ、「町会・自治会活動」(67.7%) が7割近くで突出して高くなっている。次いで、「ボランティア活動」(23.3%)、「交通安全に関する活動」(21.1%)、「文化・芸術・スポーツに関する活動」(20.3%)、「防災に関する活動」(20.3%)、の順で続いている。

前回調査と比較すると、「ボランティア活動」、「防災に関する活動」が大きく減少している。(図表 5-2)

図表 5-2 区政参画等の内容



(3) 区政参画等しない理由

◇「家事や仕事が忙しく時間がない」が3割を超える

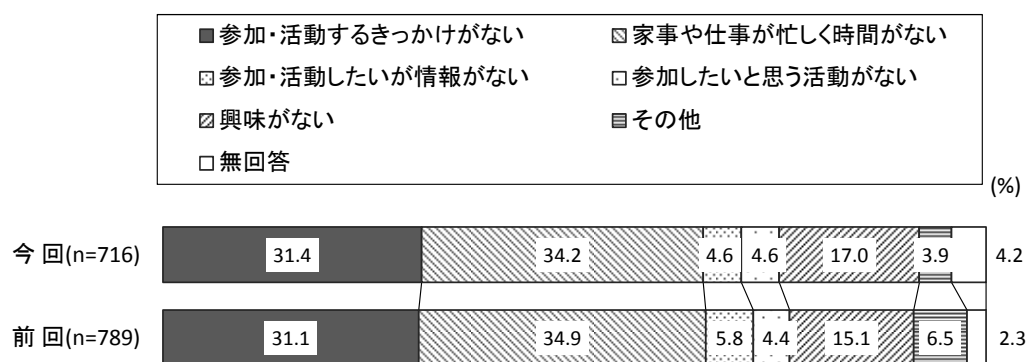
[問 19 で「ない」を選んだ方にうかがいます]

問 19-2 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

問 19 で、「ない」と答えた方 (716 人) に、活動に参加しない理由を聞いたところ、「家事や仕事が忙しく時間がない」(34.2%) が3割を超え最も高くなっている。次いで、「参加・活動するきっかけがない」(31.4%)、「興味がない」(17.0%) の順で続いている。

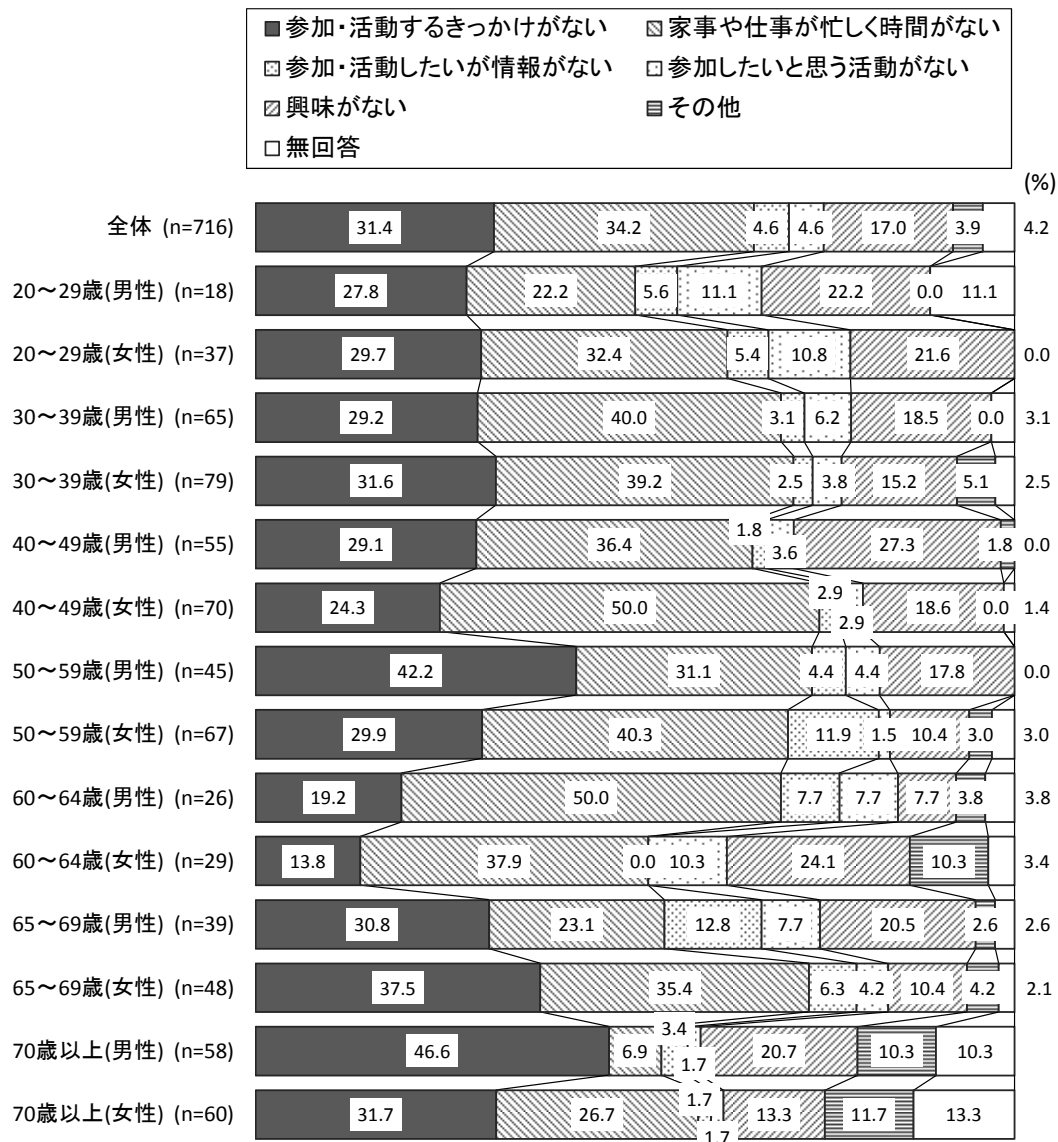
前回調査と比較すると、「興味がない」が増加している。(図表 5-3-1)

図表 5-3-1 区政参画等しない理由



性別・年齢別でみると、女性の40～49歳（50.0%）と男性の60～64歳（50.0%）で「家事や仕事が忙しく時間がない」が5割と高くなっている。また、男性の50～59歳（42.2%）と70歳以上（46.6%）で「参加・活動するきっかけがない」が4割以上と高くなっている。（図表5-3-2）

図表5-3-2 区政参画等しない理由-性別・年齢別



(4) 区政参画等のための重点施策

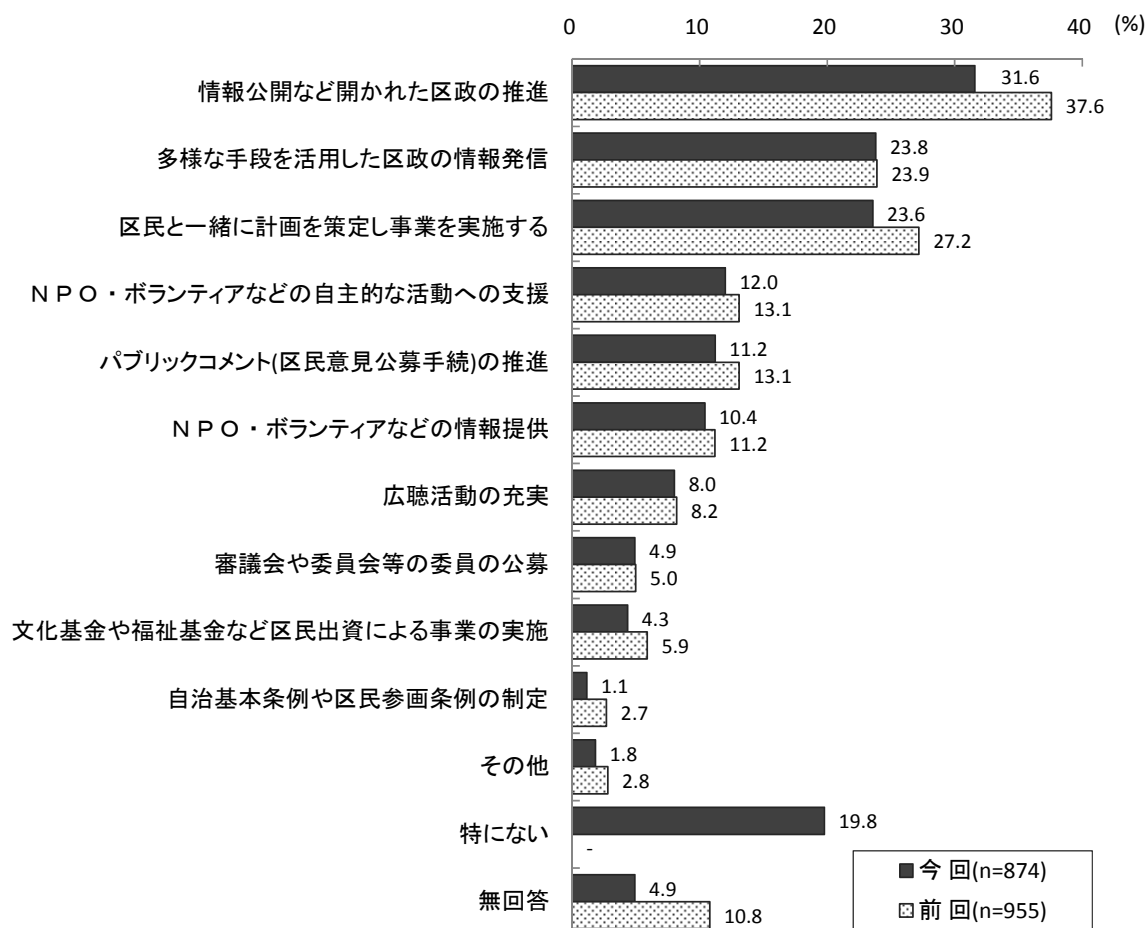
◇「情報公開など開かれた区政の推進」が3割を超える

問 20 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは、「情報公開など開かれた区政の推進」(31.6%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「多様な手段を活用した区政の情報発信」(23.8%)、「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」(23.6%)、「NPO・ボランティアなどの自主的な活動への支援」(12.0%)、「パブリックコメント(区民意見公募手続)の推進」(11.2%)の順で続いている。

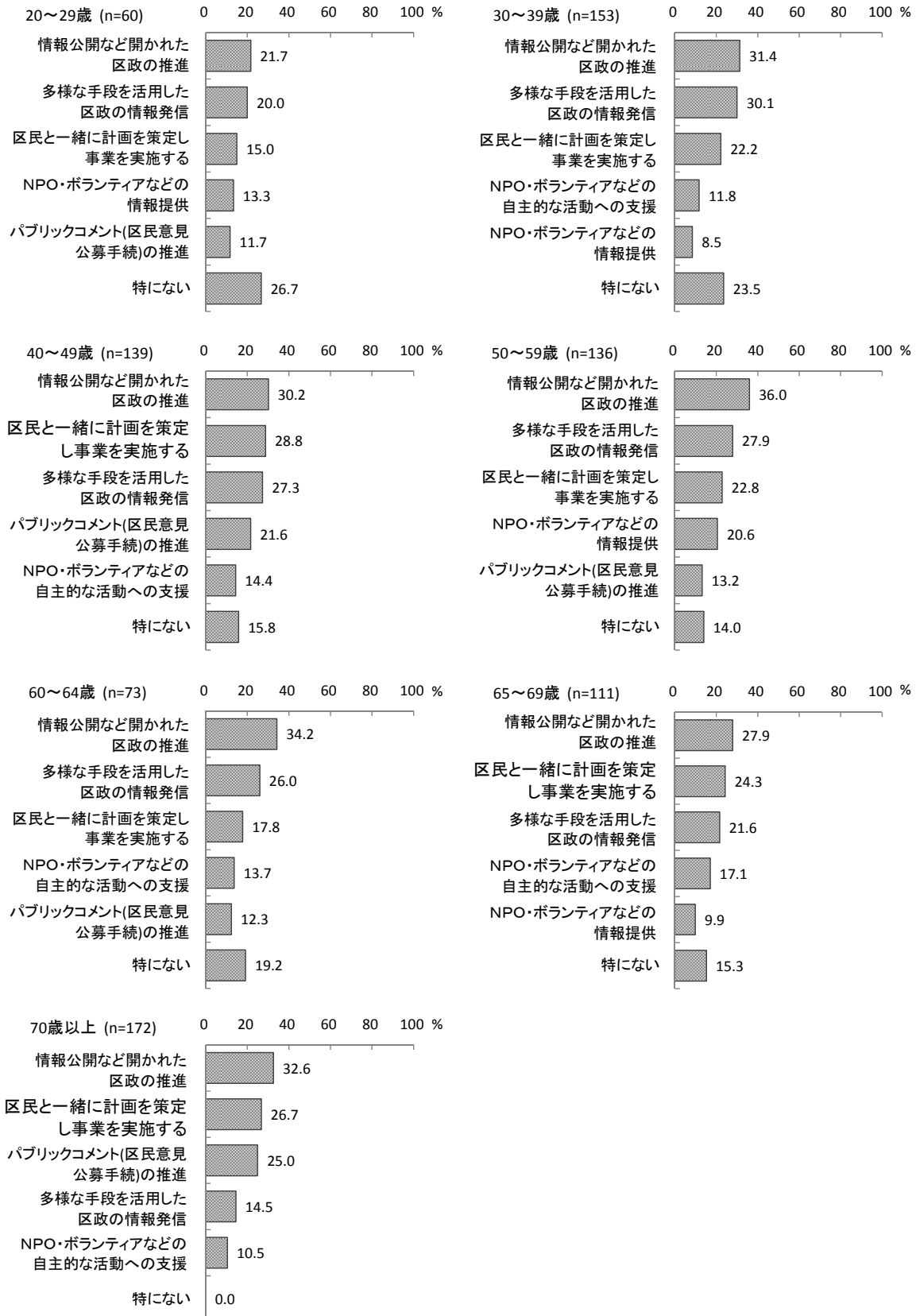
前回調査と比較すると、「情報公開など開かれた区政の推進」が最も減少している。(図表5-4-1)

図表5-4-1 区政参画等のための重点施策



年齢別でみると、全ての年齢で「情報公開など開かれた区政の推進」が最も高くなっている。(図表5-4-2)

図表5-4-2 区政参画等のための重点施策-年齢別(上位5項目+「特にない」)



6 「子ども」・かがやき戦略

(1) 子育て支援のための重点施策

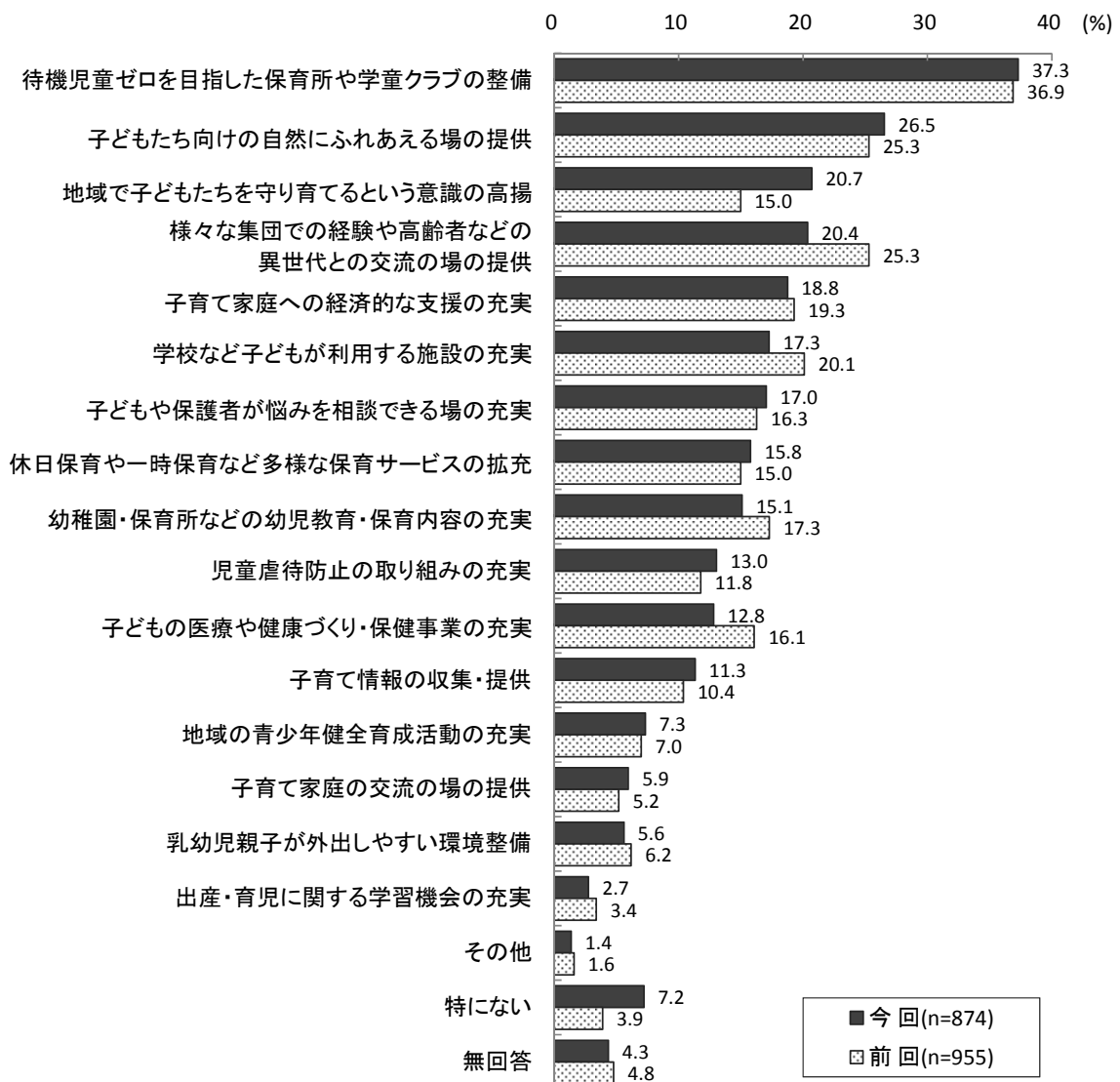
◇「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が3割半ば

問 21 今後、子どもたちの健やかな成長支援を推進するための子育て支援について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

子どもたちの健やかな成長支援を推進するための子育て支援について、区が力をいれるべきだと思うことは、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」(37.3%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供」(26.5%)、「地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚」(20.7%)の順で続いている。

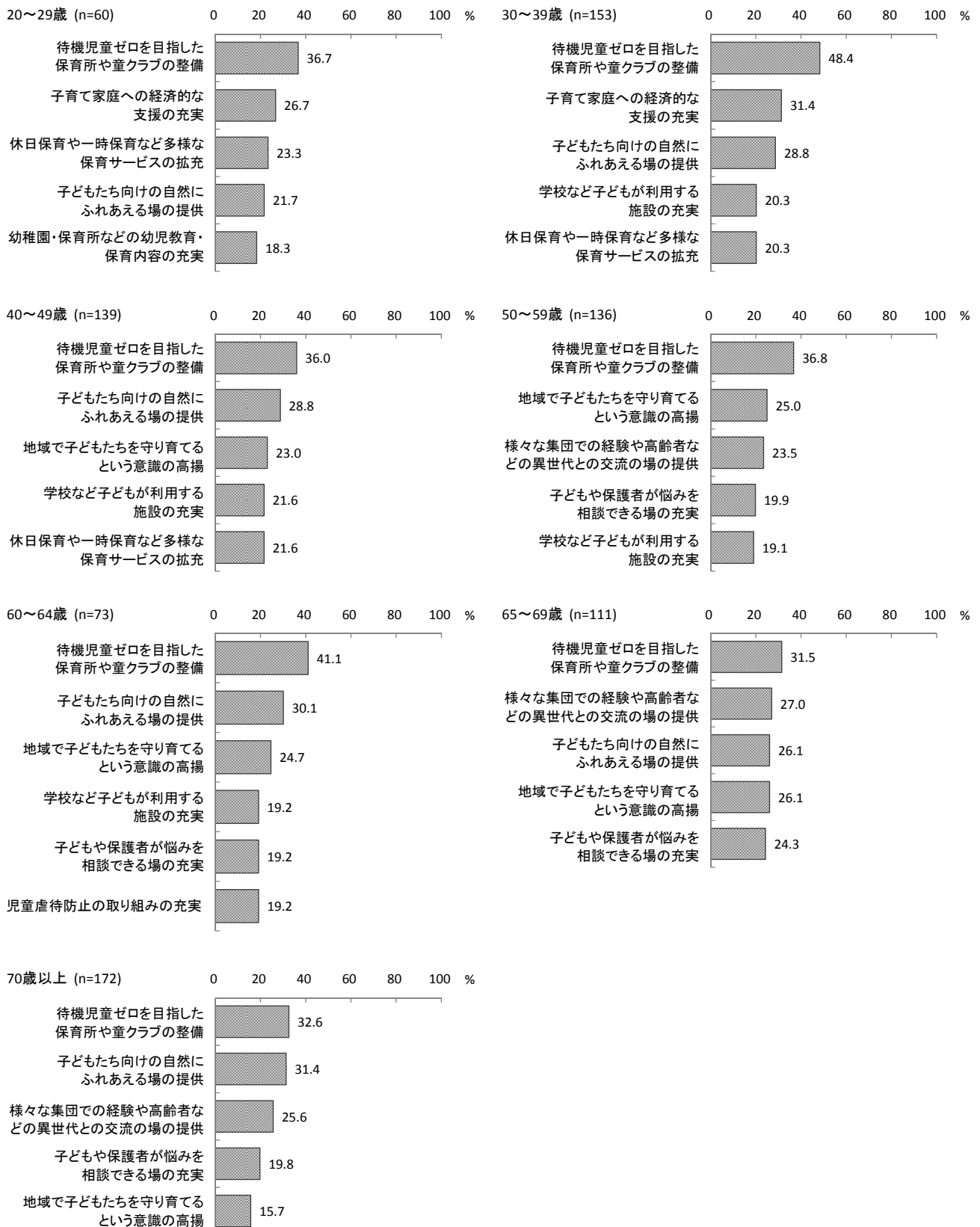
前回調査と比較すると、「地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚」が大きく増加し、「様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供」が大きく減少している。(図表6-1-1)

図表6-1-1 子育て支援のための重点施策



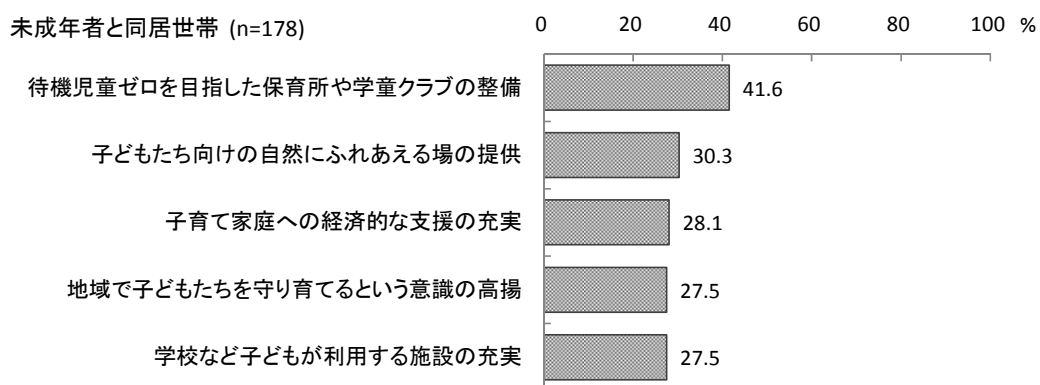
年齢別でみると、全ての年齢で「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」が最も高くなっている。また、39歳以下の年齢で「子育て家庭への経済的な支援の充実」が第2位となっている。(図表6-1-2)

図表6-1-2 子育て支援のための重点施策-年齢別(上位5項目)



未成年者と同居別で見ると、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」(41.6%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供」(30.3%)、「子育て家庭への経済的な支援の充実」(28.1%)の順で続いている。(図表6-1-3)

図表6-1-3 子育て支援のための重点施策-未成年者と同居別(上位5項目)



(2) 学校教育のための重点施策

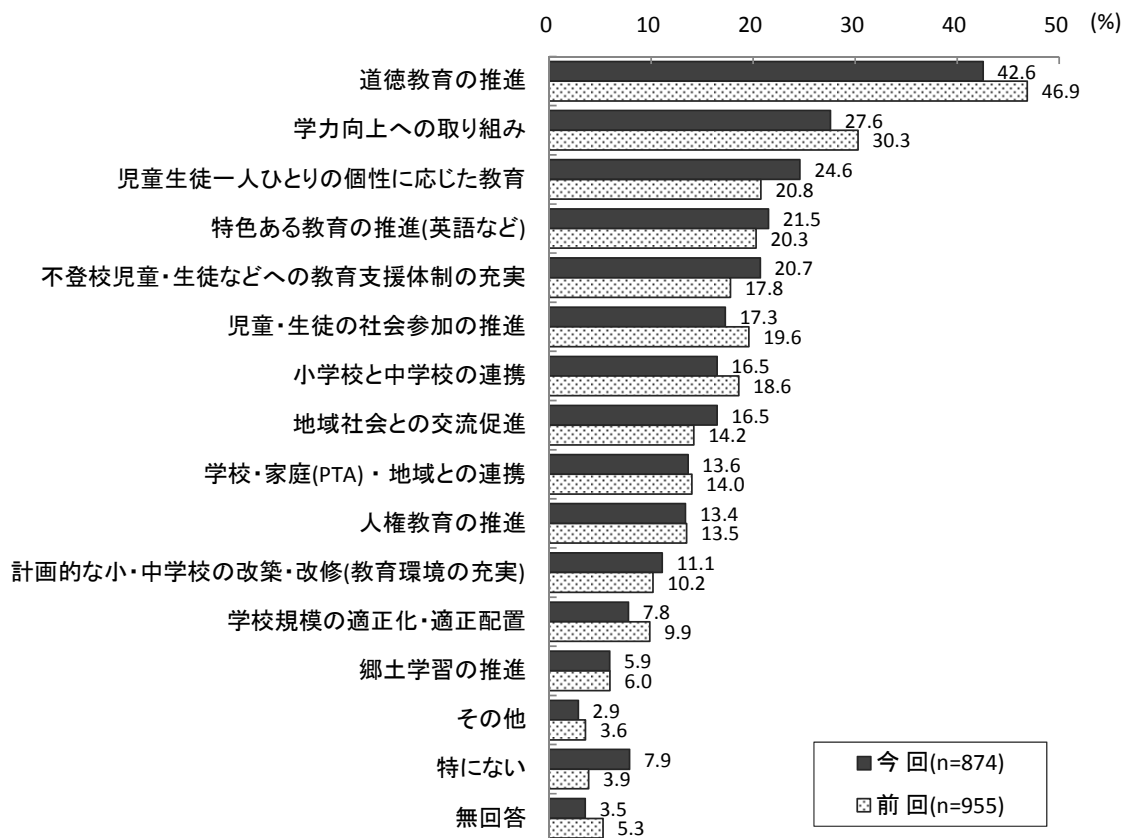
◇「道徳教育の推進」が4割を超える

問 22 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは、「道徳教育の推進」(42.6%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「学力向上への取り組み」(27.6%)、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」(24.6%)、「特色ある教育の推進(英語など)」(21.5%)、「不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実」(20.7%)の順で続いている。

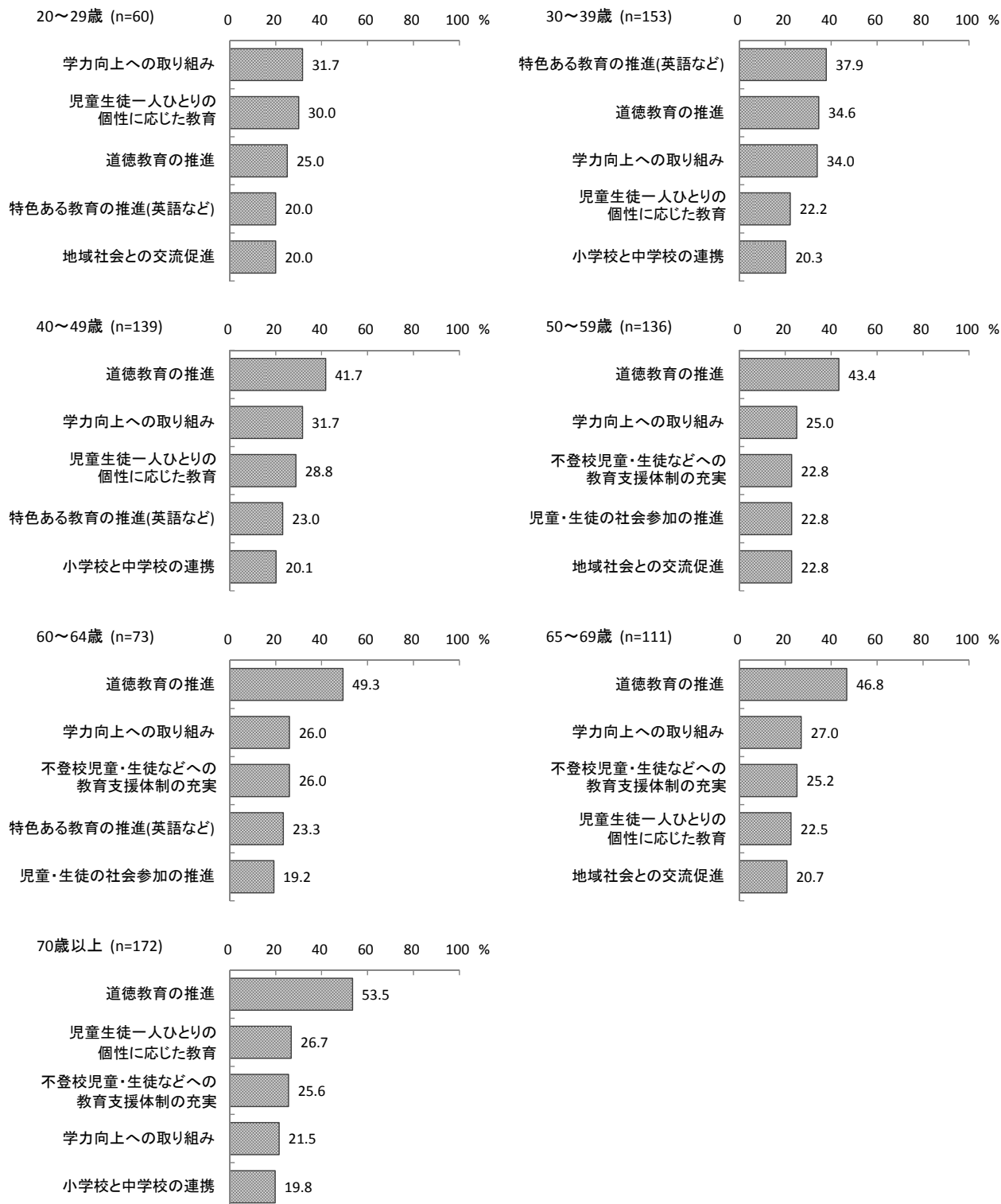
前回調査と比較すると、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育」などが増加し、「道徳教育の推進」などが減少している。(図表6-2-1)

図表6-2-1 学校教育のための重点施策



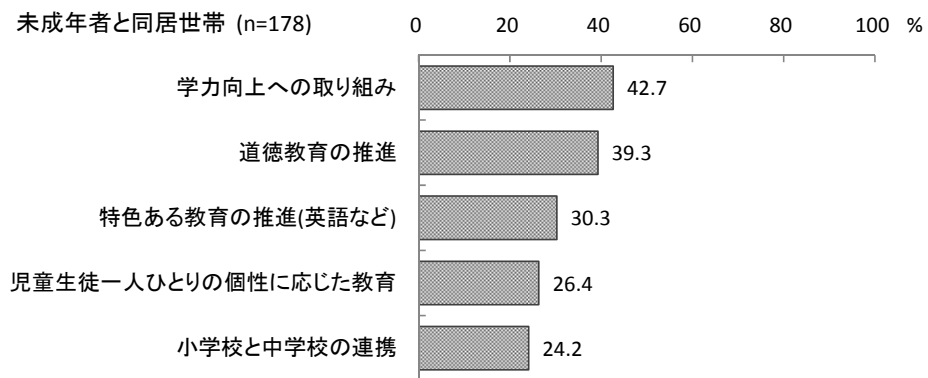
年齢別でみると、40歳以上の年齢で「道德教育の推進」が最も高くなっており、年齢が高くなるほどその割合が高くなる傾向を示している。また、30～39歳では「特色ある教育の推進(英語など)」、20～29歳では「学力向上への取り組み」が高くなっている。(図表6-2-2)

図表6-2-2 学校教育のための重点施策-年齢別(上位5項目)



未成年者と同居別で見ると、「学力向上への取り組み」(42.7%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「道德教育の推進」(39.3%)、「特色ある教育の推進(英語など)」(30.3%)の順が続いている。(図表6-2-3)

図表6-2-3 学校教育のための重点施策-未成年者と同居別(上位5項目)



7 「元気」・いきいき戦略

(1) 健康づくりのための重点施策

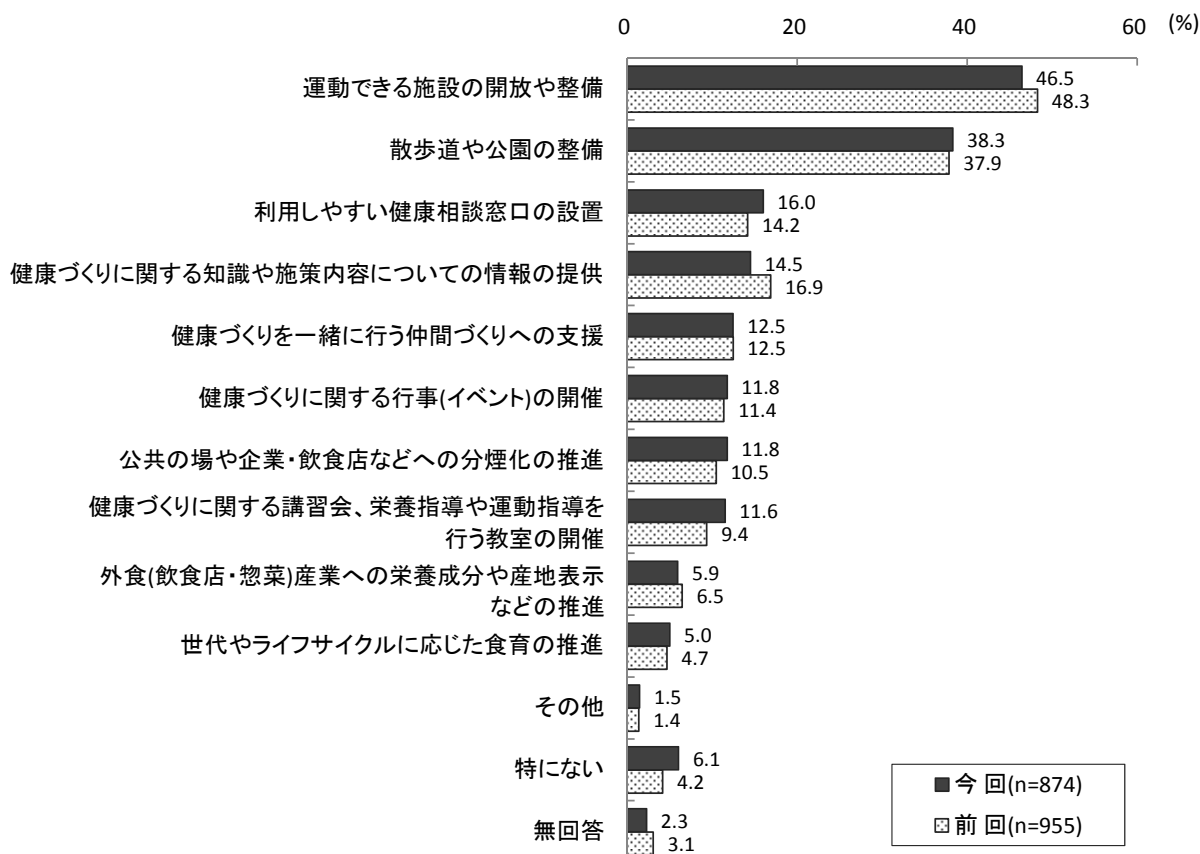
◇「運動できる施設の開放や整備」が4割半ば

問 23 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは、「運動できる施設の開放や整備」(46.5%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「散歩道や公園の整備」(38.3%)、「利用しやすい健康相談窓口の設置」(16.0%)、「健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供」(14.5%)、「健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援」(12.5%)の順で続いている。

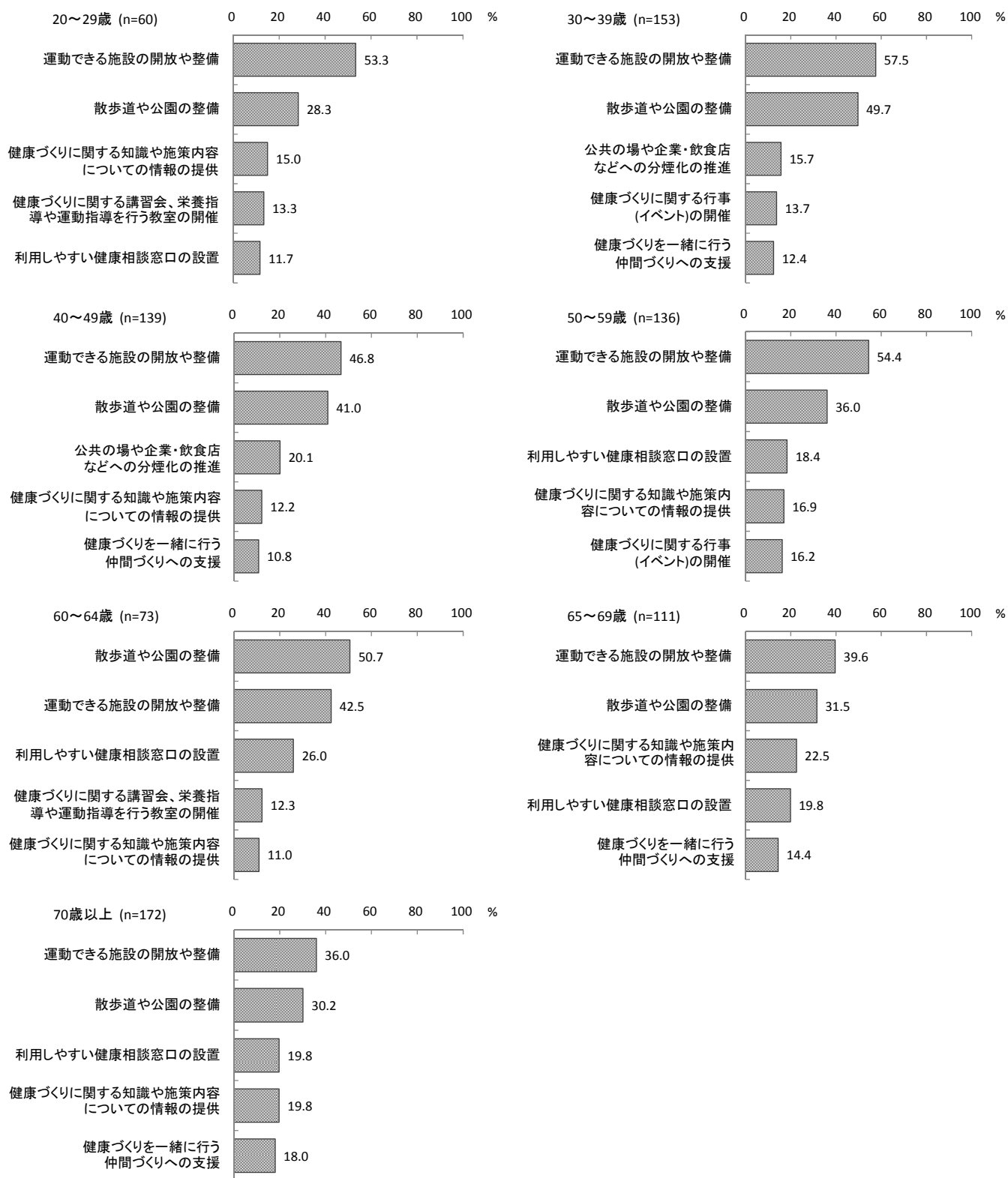
前回調査と比較すると、「利用しやすい健康相談窓口の設置」などが増加し、「運動できる施設の開放や整備」などが減少している。(図表7-1-1)

図表7-1-1 健康づくりのための重点施策



年齢別でみると、全ての年齢で「運動できる施設の開放や整備」、「散歩道や公園の整備」の割合が高く第1位、2位を占めている。60～64歳では「散歩道や公園の整備」が最も高く、それ以外の年齢で「運動できる施設の開放や整備」が最も高くなっている。（図表7-1-2）

図表7-1-2 健康づくりのための重点施策-年齢別（上位5項目）



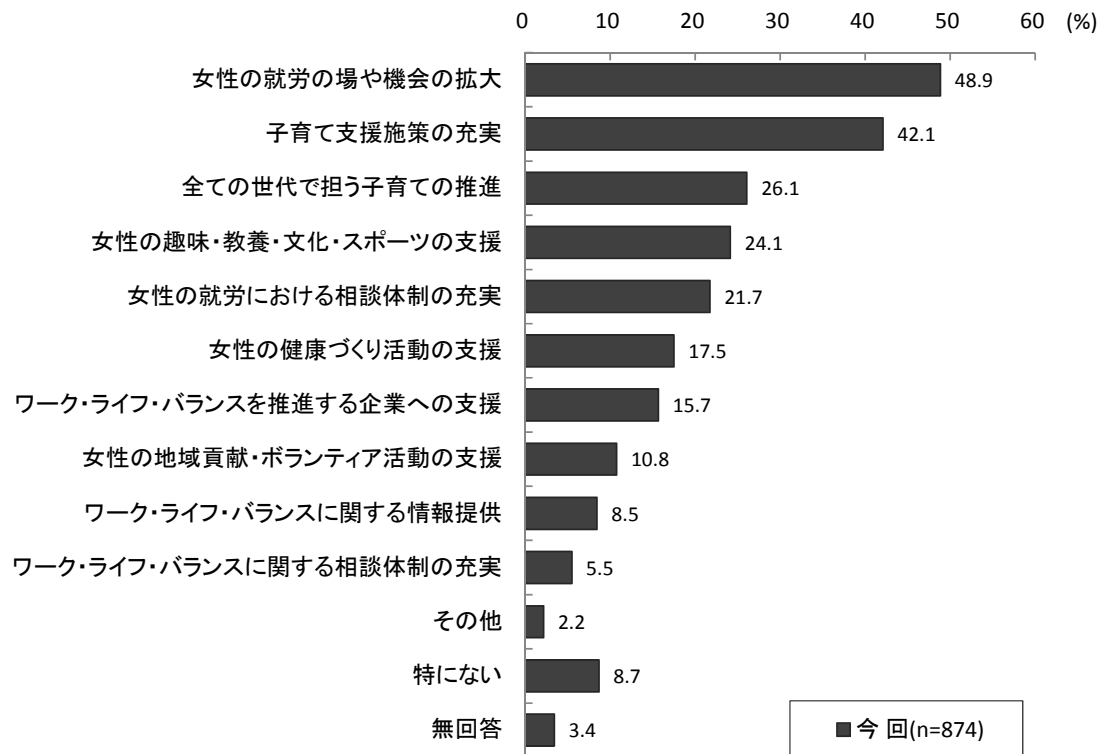
(2) 女性が活躍する社会のための重点施策

◇「女性の就労の場や機会の拡大」が5割近く

問 24 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

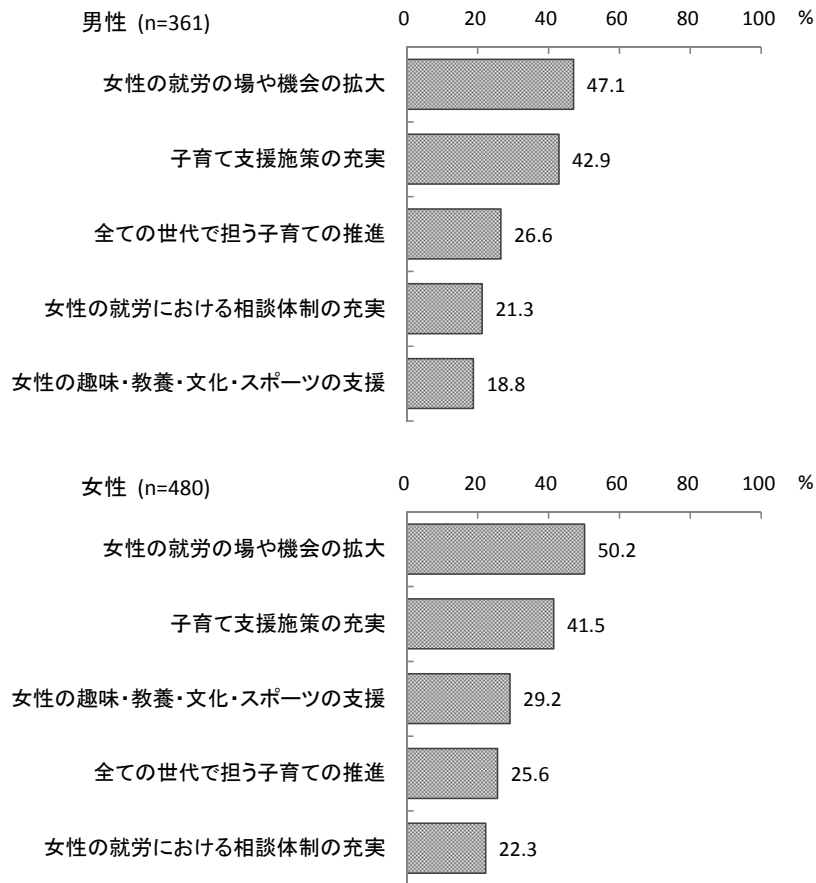
今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思うか聞いたところ、「女性の就労の場や機会の拡大」(48.9%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「子育て支援施策の充実」(42.1%)、「全ての世代で担う子育ての推進」(26.1%)、「女性の趣味・教養・文化・スポーツの支援」(24.1%)、「女性の就労における相談体制の充実」(21.7%)の順で続いている。(図表7-2-1)

図表 7-2-1 女性が活躍する社会のための重点施策



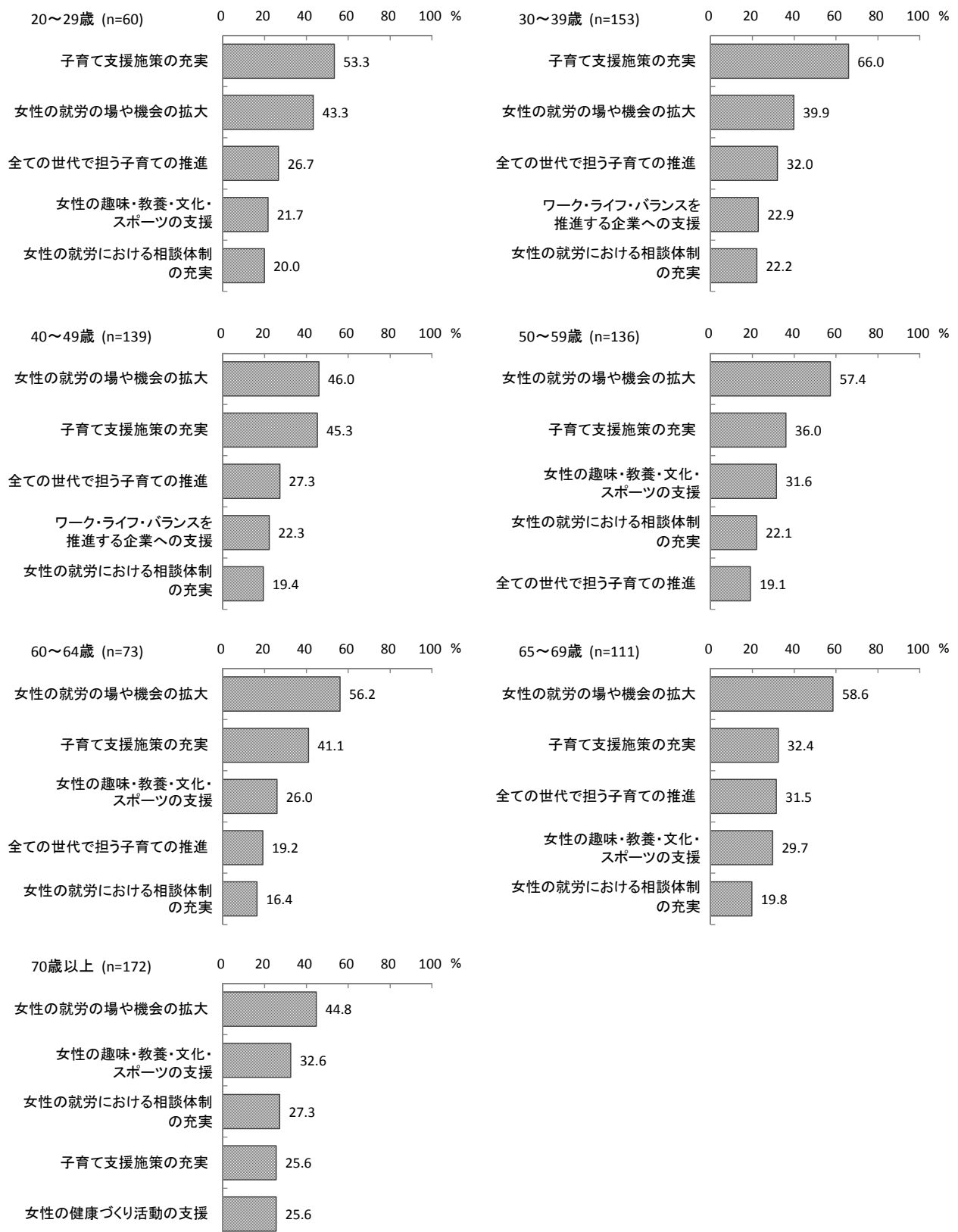
性別でみると、男女とも「女性の就労の場や機会の拡大」が最も高くなっており、「子育て支援施策の充実」が第2位になっている。(図表7-2-2)

図表7-2-2 女性が活躍する社会のための重点施策-性別（上位5項目）



年齢別でみると、40歳以上の年齢では「女性の就労の場や機会の拡大」が最も高く、39歳以下では「子育て支援施策の充実」が最も高くなっている。(図表7-2-2)

図表7-2-2 女性が活躍する社会のための重点施策-年齢別(上位5項目)



(3) 高齢者のための重点施策

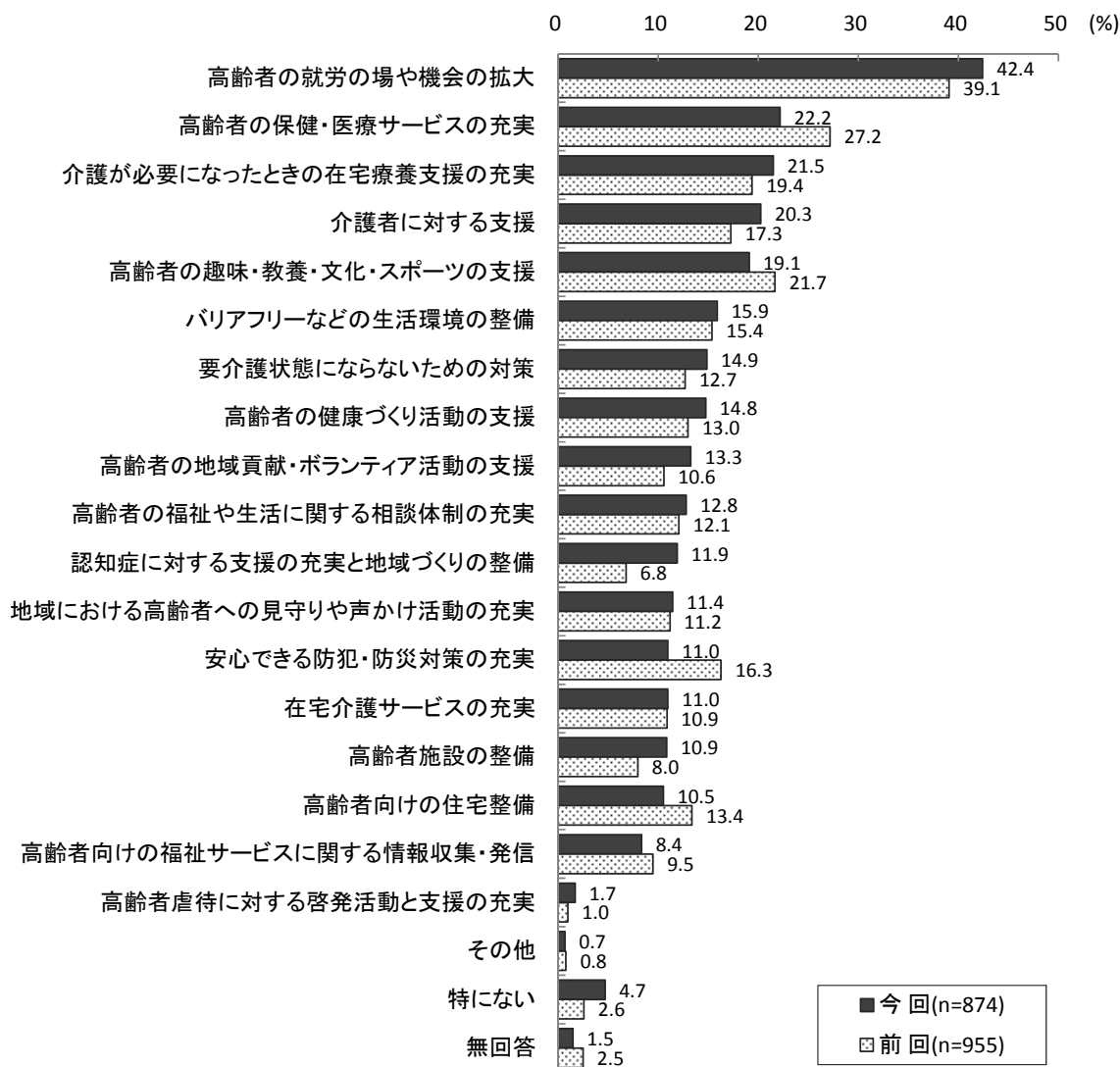
◇「高齢者の就労の場や機会の拡大」が4割超える

問 25 今後、高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「高齢者の就労の場や機会の拡大」(42.4%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「高齢者の保健・医療サービスの充実」(22.2%)、「介護が必要になったときの在宅療養支援の充実」(21.5%)、「介護者に対する支援」(20.3%)、「高齢者の趣味・教養・文化・スポーツの支援」(19.1%)の順で続いている。

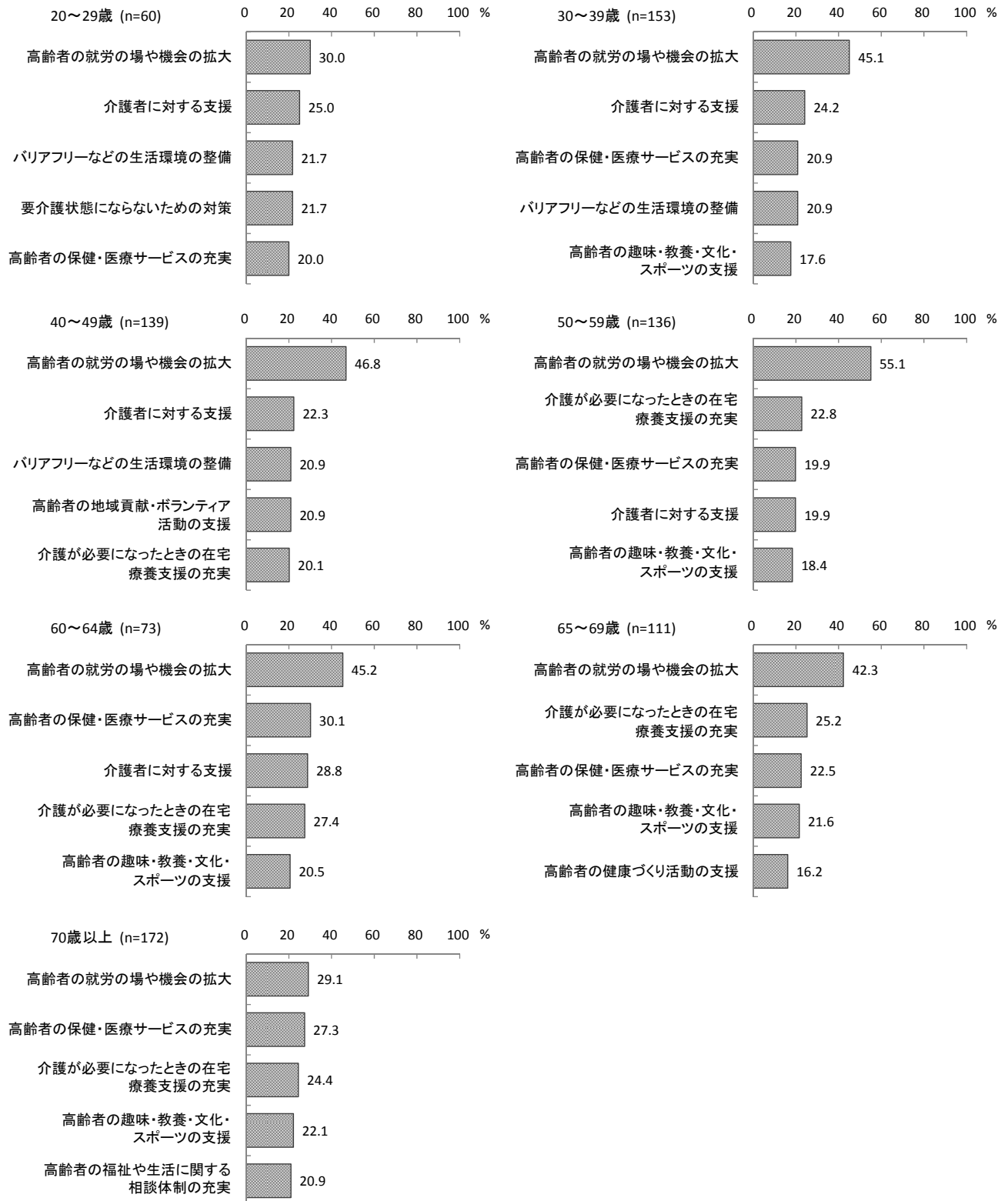
前回調査と比較すると、「高齢者の保健・医療サービスの充実」が最も減少している。(図表7-3-1)

図表7-3-1 高齢者のための重点施策



年齢別でみると、全ての年齢で「高齢者の就労の場や機会の拡大」が最も高く、49歳以下では「介護者に対する支援」が第2位となっている。(図表7-3-2)

図表7-3-2 高齢者のための重点施策-年齢別(上位5項目)



(4) 障害者のための重点施策

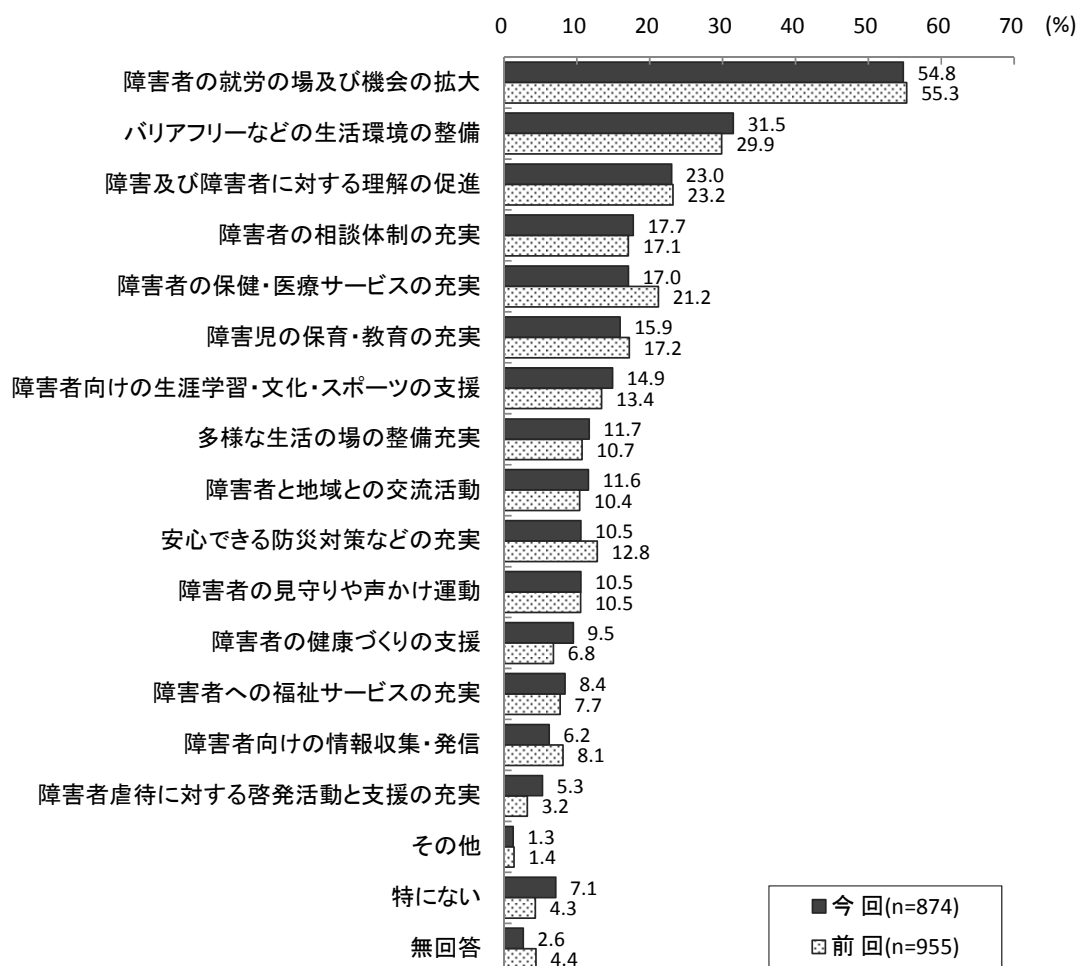
◇「障害者の就労の場及び機会の拡大」が5割半ば

問 26 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「障害者の就労の場及び機会の拡大」(54.8%)が5割半ばと突出して高くなっている。次いで、「バリアフリーなどの生活環境の整備」(31.5%)、「障害及び障害者に対する理解の促進」(23.0%)、「障害者の相談体制の充実」(17.7%)の順で続いている。

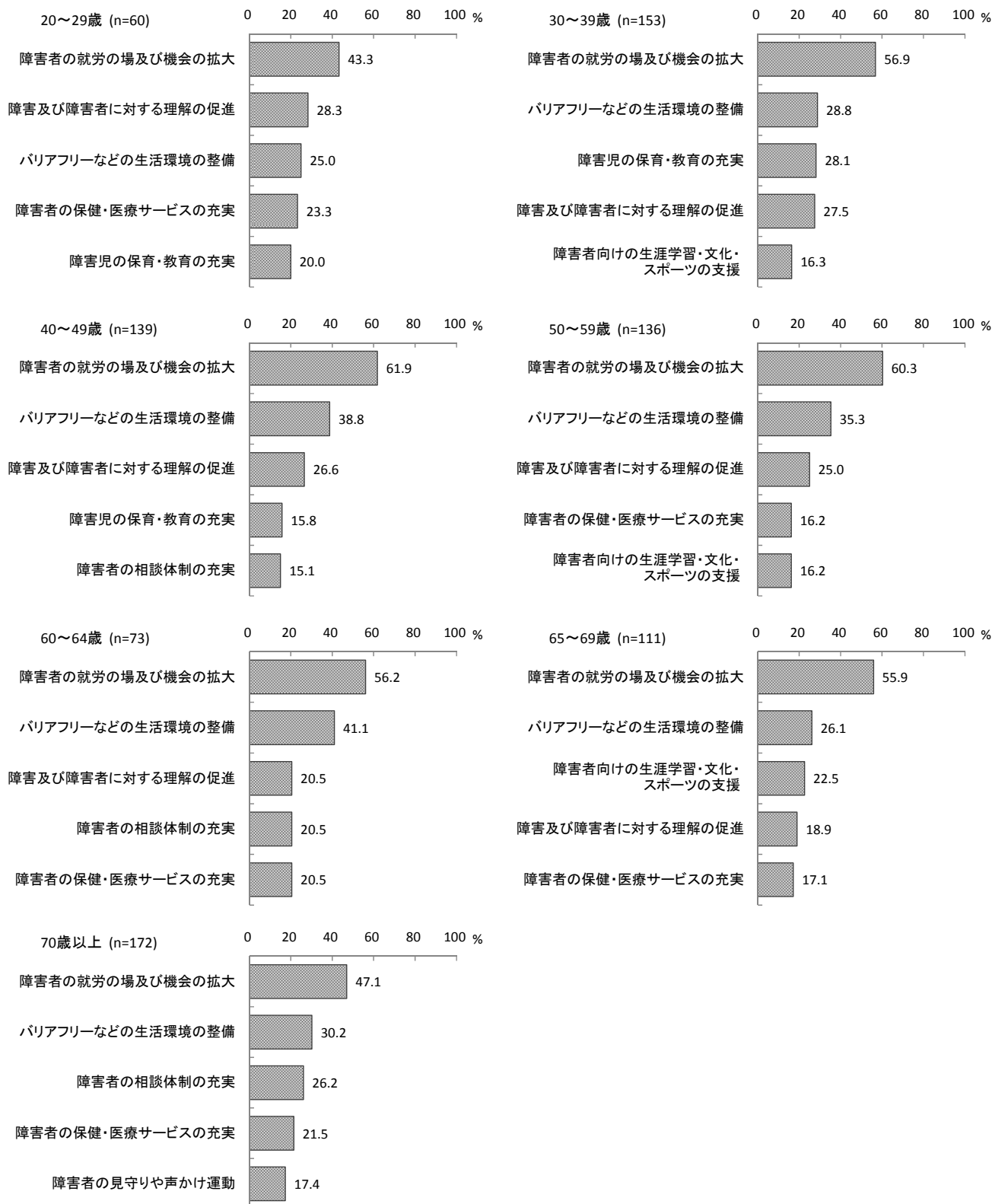
前回調査と比較すると、「障害者の保健・医療サービスの充実」などが減少している。(図表7-4-1)

図表7-4-1 障害者のための重点施策



年齢別でみると、すべての年齢で「障害者の就労の場及び機会の拡大」が最も高くなっている。また、30歳以上の年齢では「バリアフリーなどの生活環境の整備」が、29歳以下の年齢では「障害及び障害者に対する理解の促進」がそれぞれ第2位となっている。（図表7-4-2）

図表7-4-2 障害者のための重点施策-年齢別（上位5項目）



(5) 産業活性化のための重点施策

◇【商店街の振興】

「空き店舗活用への支援」が3割近く

【中小企業の振興】

「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」が3割を超える

【区の産業全体】

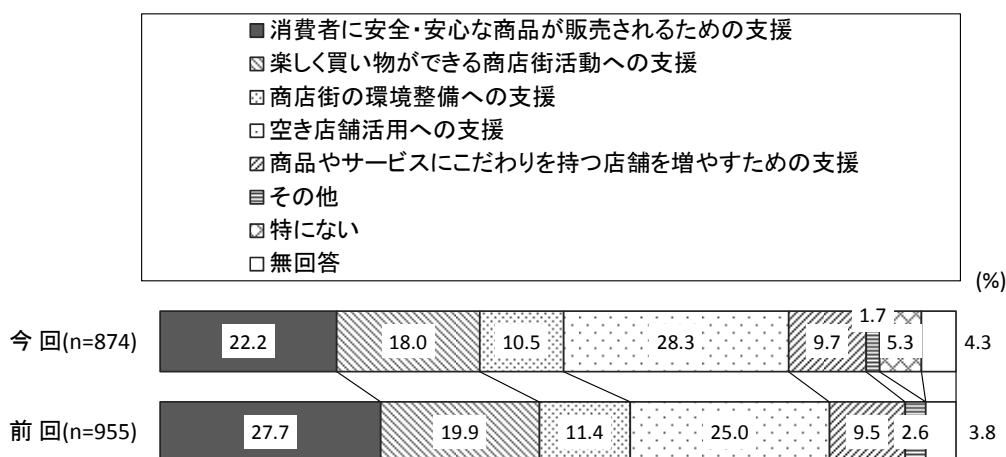
「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」が2割を超える

問 27 今後、産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。各テーマから1つずつ選んで○をつけてください。

商店街の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「空き店舗活用への支援」(28.3%)、が3割近くと最も高く、次いで、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」(22.2%)、「楽しく買い物ができる商店街活動への支援」(18.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」が減少している。(図表 7-5-1)

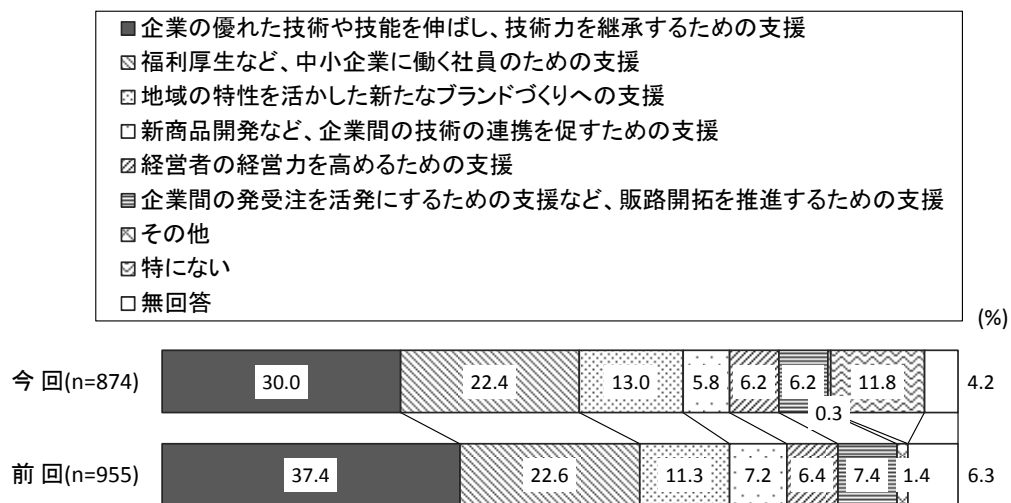
図表 7-5-1 産業活性化のための重点施策 【商店街の振興】



中小企業の振興のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」(30.0%)が3割と最も高く、次いで、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」(22.4%)、「地域の特性を活かした新たなブランドづくりへの支援」(13.0%)の順で続いている。

前回調査と比較すると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」などが減少している。(図表7-5-2)

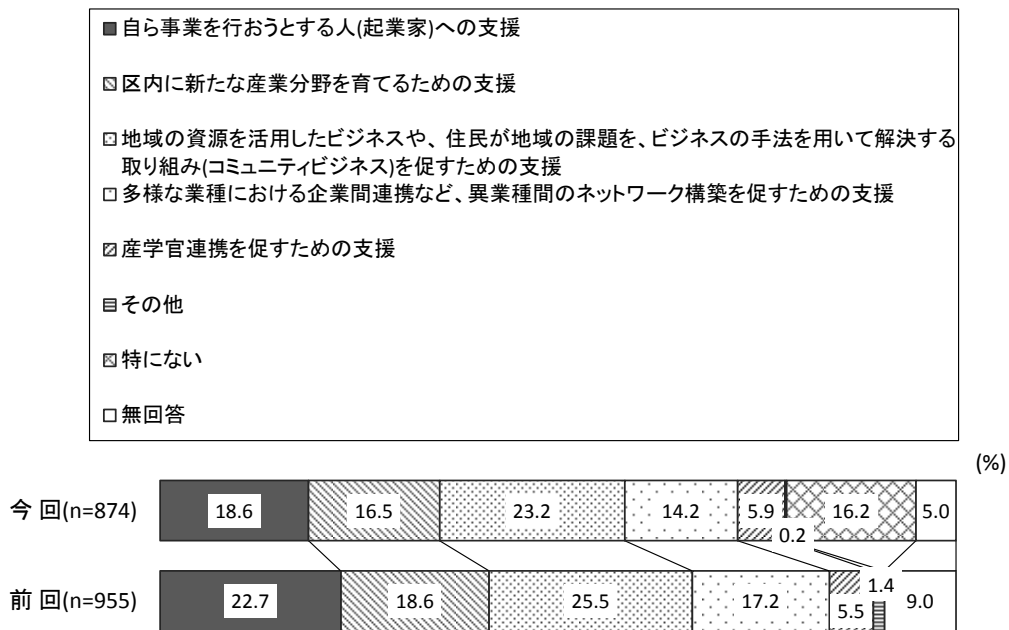
図表7-5-2 産業活性化のための重点施策 【中小企業の振興】



区の産業全体のため、区が力をいれるべきだと思うことを聞いたところ、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」（23.2%）が2割を超え最も高く、次いで、「自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援」（18.6%）、「区内に新たな産業分野を育てるための支援」（16.5%）の順で続いている。

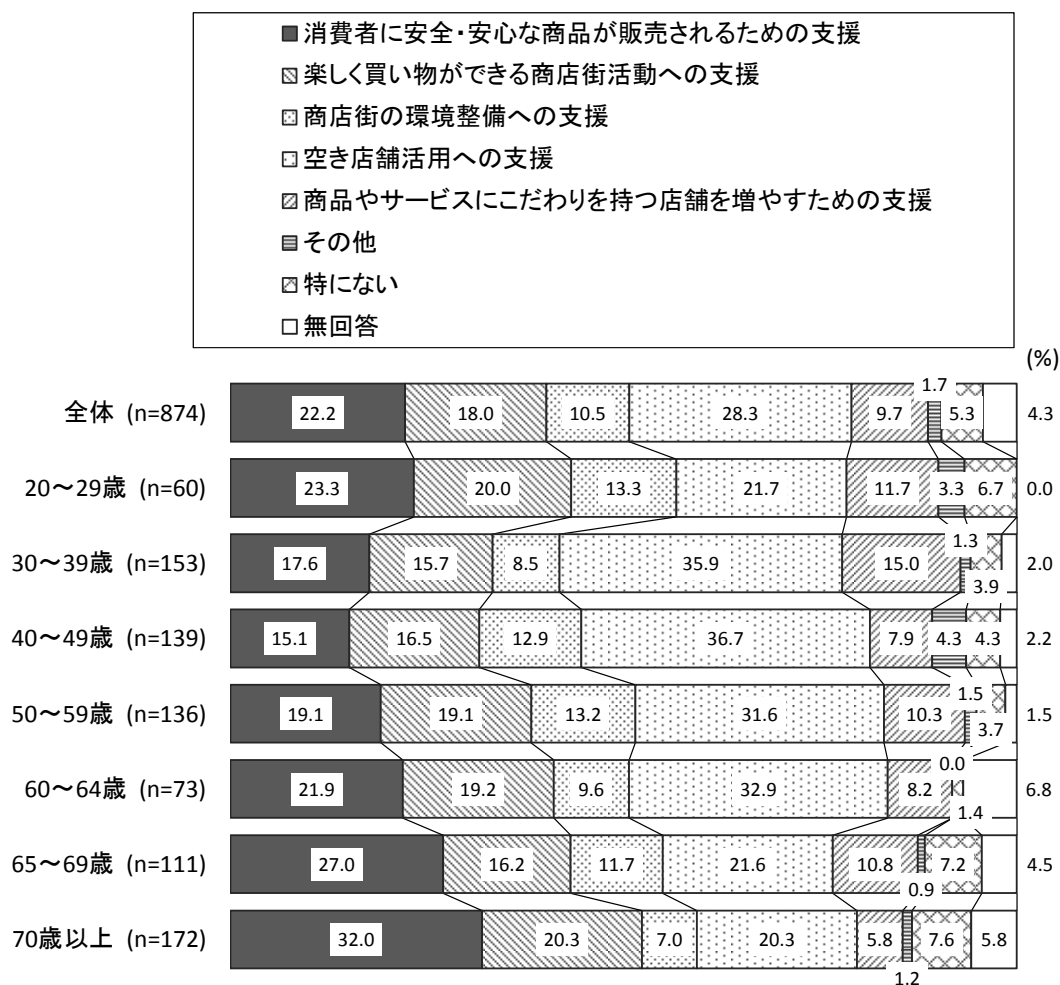
前回調査と比較すると、「産学官連携を促すための支援」が増加し、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」などが減少している。（図表7-5-3）

図表7-5-3 産業活性化のための重点施策 【区の産業全体】



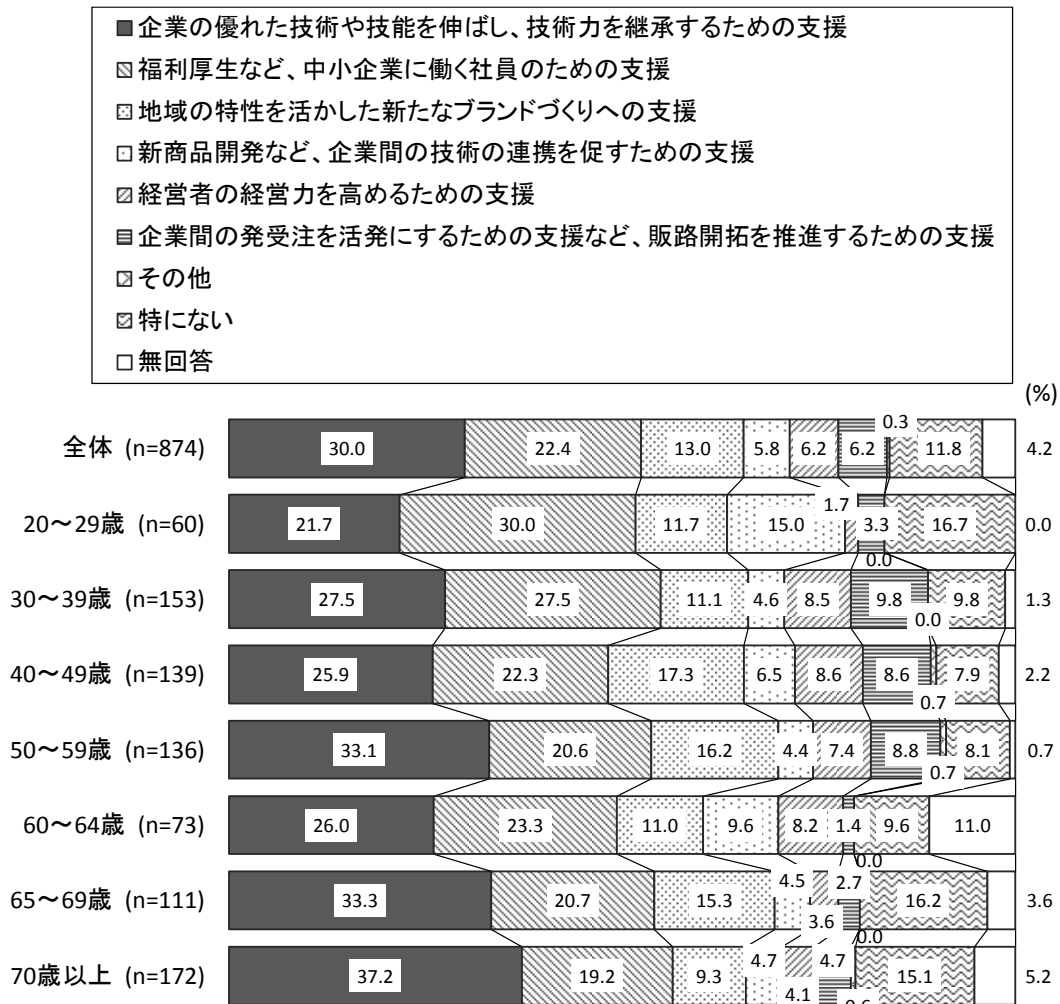
商店街の振興のための重点施策を年齢別で見ると、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」は70歳以上（32.0%）で3割を超え高くなっている。また、「空き店舗活用への支援」は40～49歳（36.7%）、30～39歳（35.9%）、60～64歳（32.9%）、50～59歳（31.6%）で3割以上と高くなっている。（図表7-5-4）

図表7-5-4 産業活性化のための重点施策-年齢別 【商店街の振興】



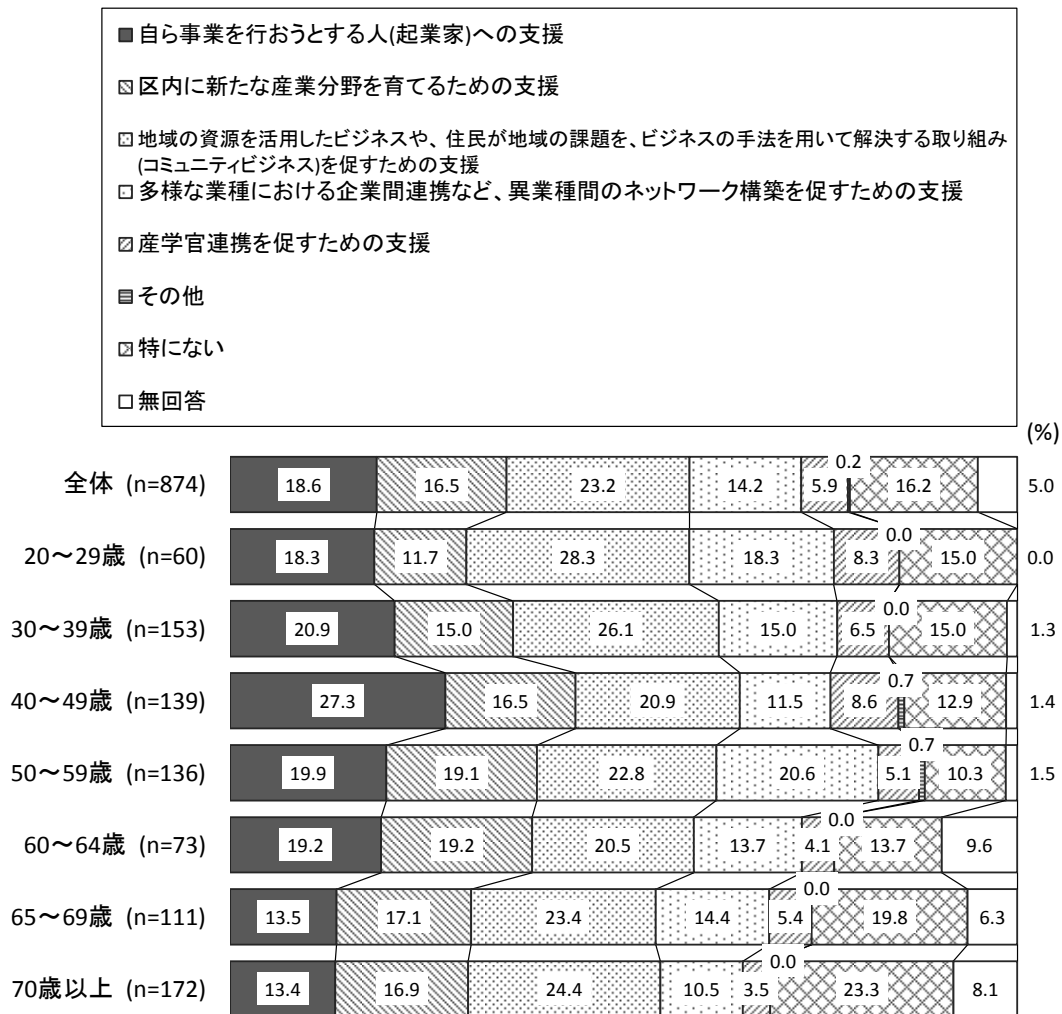
中小企業の振興のための重点施策を年齢別で見ると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」は70歳以上（37.2%）、65～69歳（33.3%）、50～59歳（33.1%）で3割以上と高くなっている。また、「福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援」は20～29歳（30.0%）で3割と高くなっている。（図表7-5-5）

図表7-5-5 産業活性化のための重点施策-年齢別 【中小企業の振興】



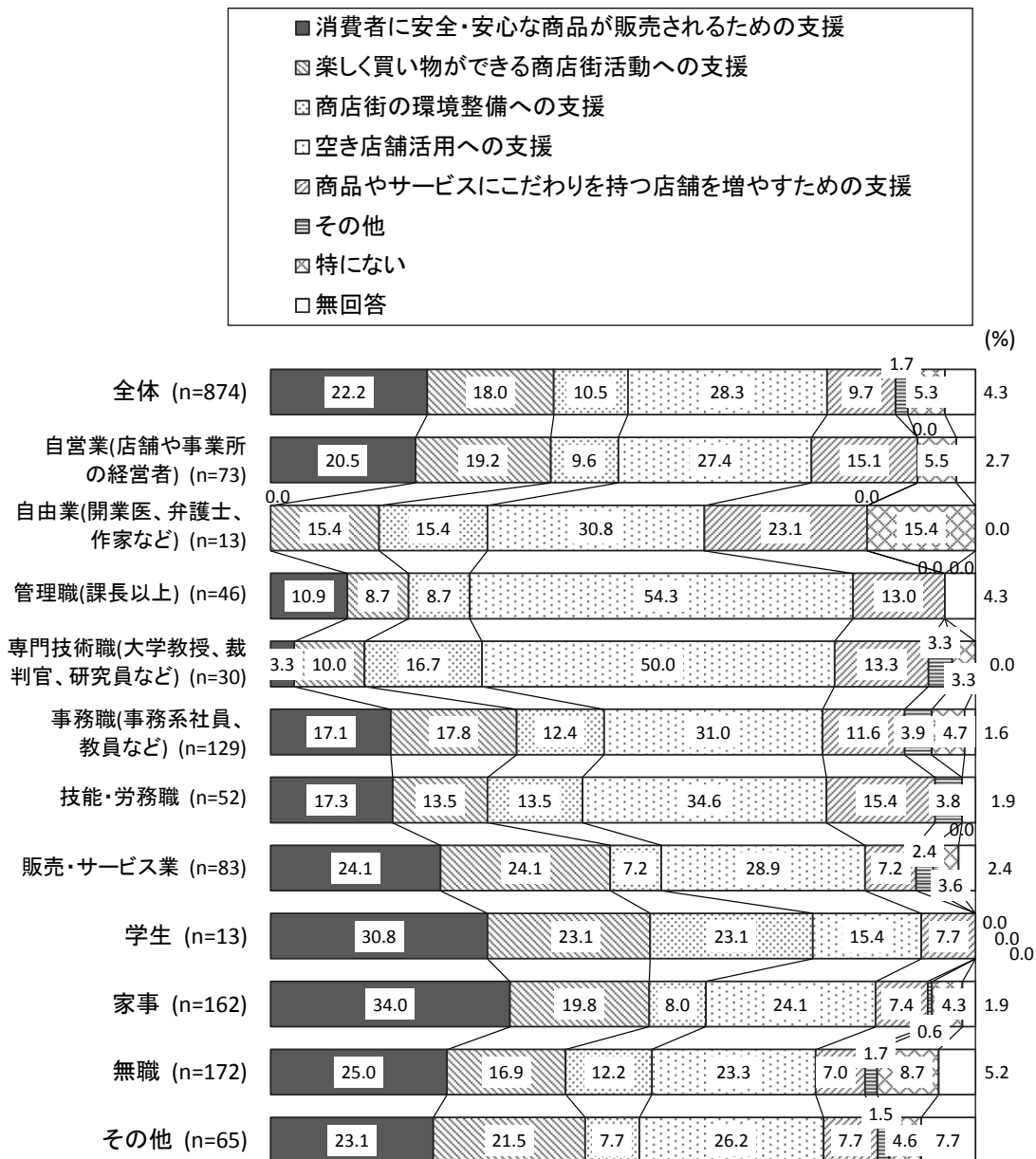
区の産業全体の振興のための重点施策を年齢別でみると、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」は20～29歳（28.3%）で3割近くと高くなっている。また、「自ら事業を行なおうとする人（企業家）への支援」は40～49歳（27.3%）で2割半ばと高くなっている。（図表7-5-6）

図表7-5-6 産業活性化のための重点施策-年齢別 【区の産業全体】



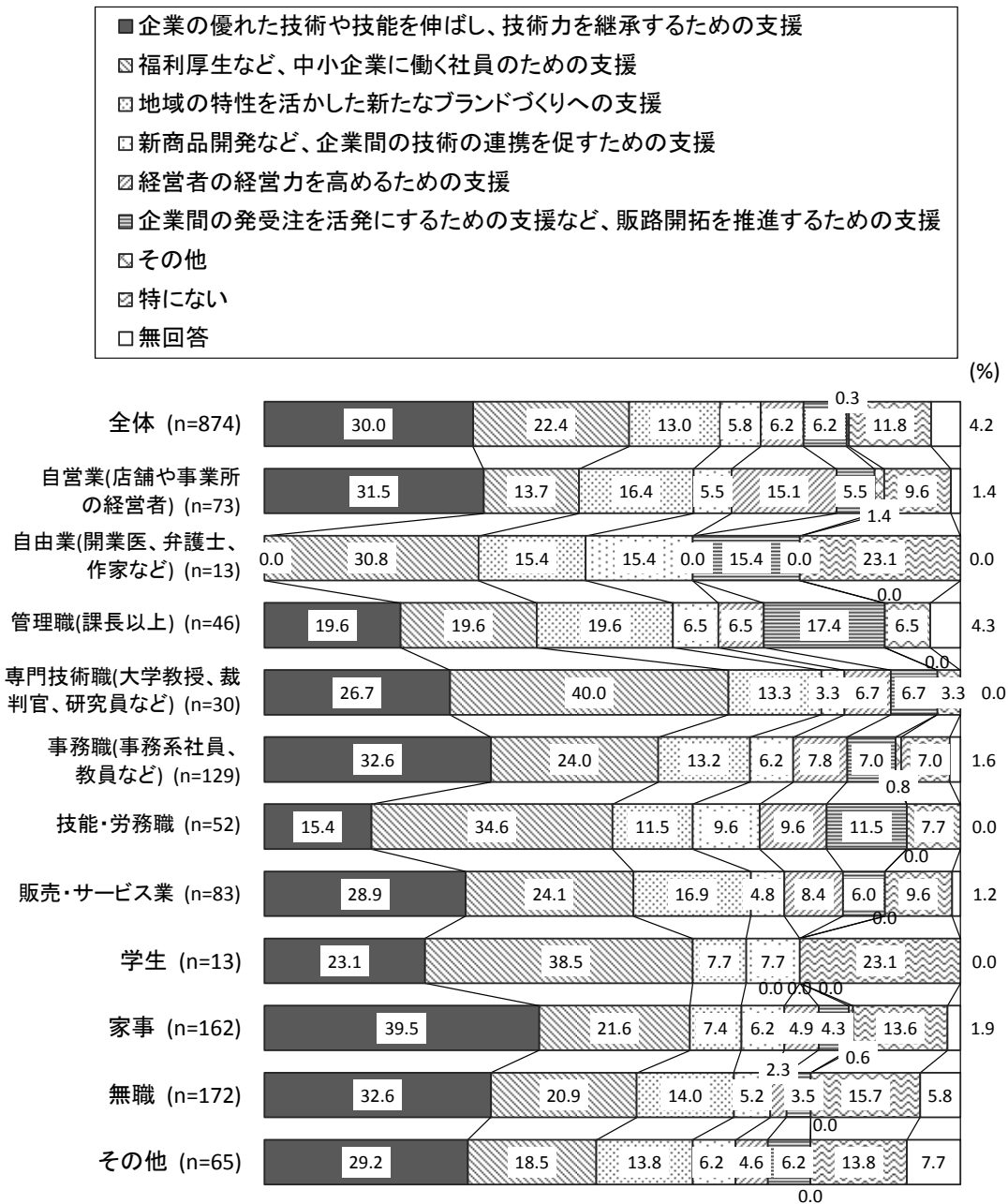
商店街の振興のための重点施策を職業別で見ると、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」は“家事”（34.0%）で3割を超え高くなっている。また、「空き店舗活用への支援」は“管理職（課長以上）”（54.3%）と“専門技術職（大学教授、裁判官、研究員など）”（50.0%）で5割以上と高くなっている。（図表7-5-7）

図表7-5-7 産業活性化のための重点施策-職業別 【商店街の振興】



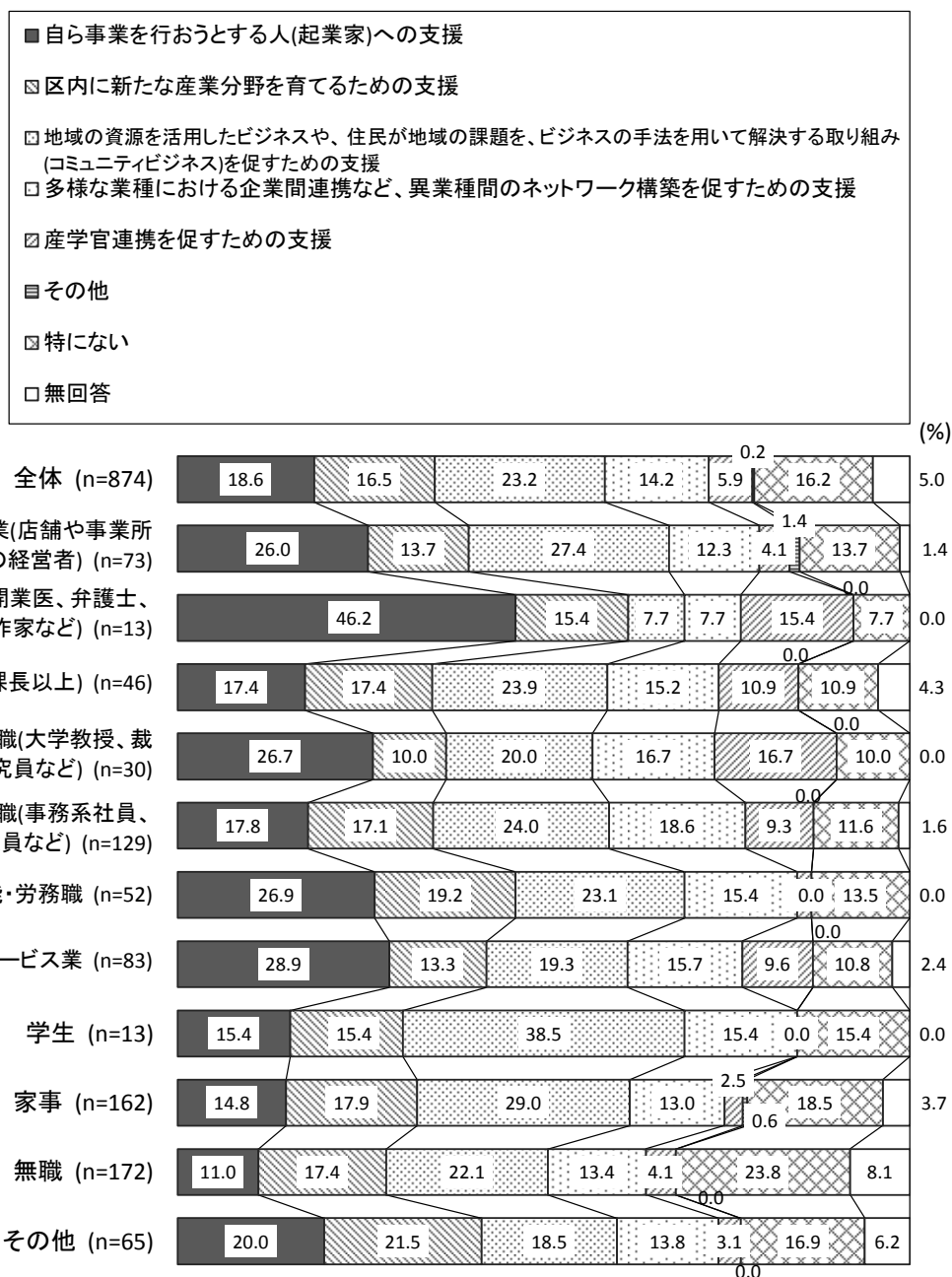
中小企業の振興のための重点施策を職業別で見ると、「企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援」は「家事」(39.5%)で4割近くと高くなっている。(図表7-5-8)

図表7-5-8 産業活性化のための重点施策-職業別 【中小企業の振興】



区の産業全体の振興のための重点施策を職業別でみると、「地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援」は“家事”（29.0%）で3割近くと高くなっている。（図表7-5-9）

図表7-5-9 産業活性化のための重点施策-職業別 【区の産業全体】



(6) 地域文化振興のための重点施策

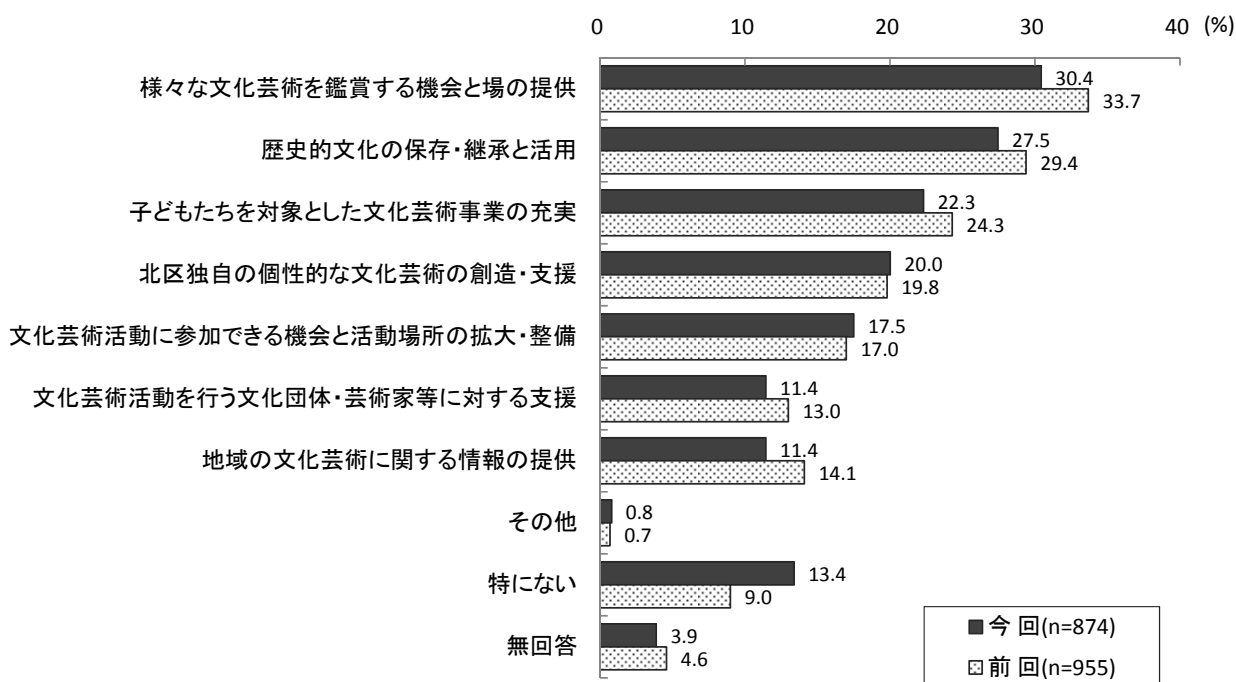
◇「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が3割を超える

問 28 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」(30.4%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「歴史的文化の保存・継承と活用」(27.5%)、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」(22.3%)、「北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援」(20.0%)の順で続いている。

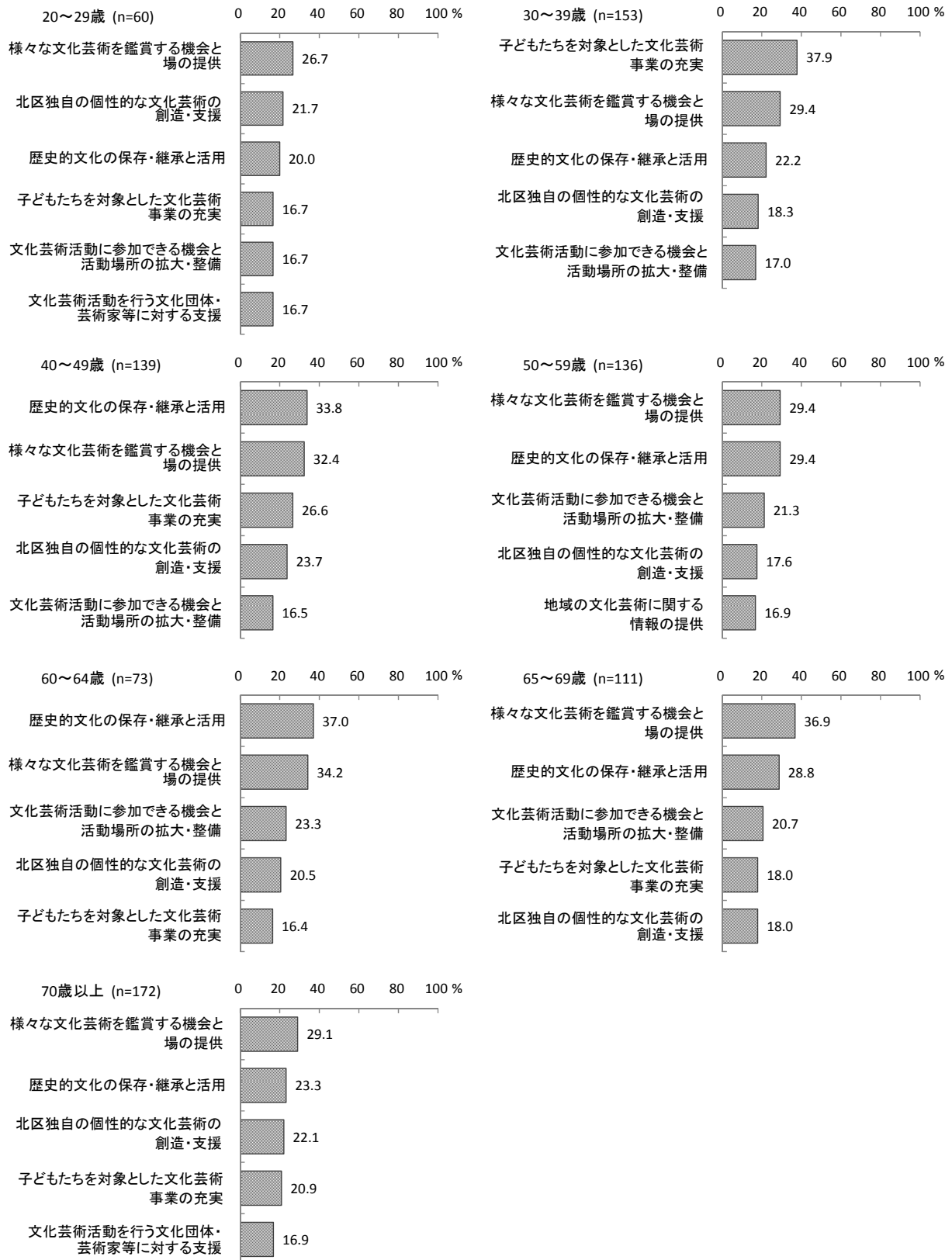
前回調査と比較すると、「特にない」が増加し、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」などが減少している。(図表7-6-1)

図表7-6-1 地域文化振興のための重点施策



年齢別でみると、30～39歳では「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」が最も高くなっている。また、40～49歳と60～64歳では「歴史的文化の保存・継承と活用」が最も高くなっている。それ以外の年齢では「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が最も高くなっている。(図表7-6-2)

図表7-6-2 地域文化振興のための重点施策-年齢別(上位5項目)



(7) 生涯学習のための重点施策

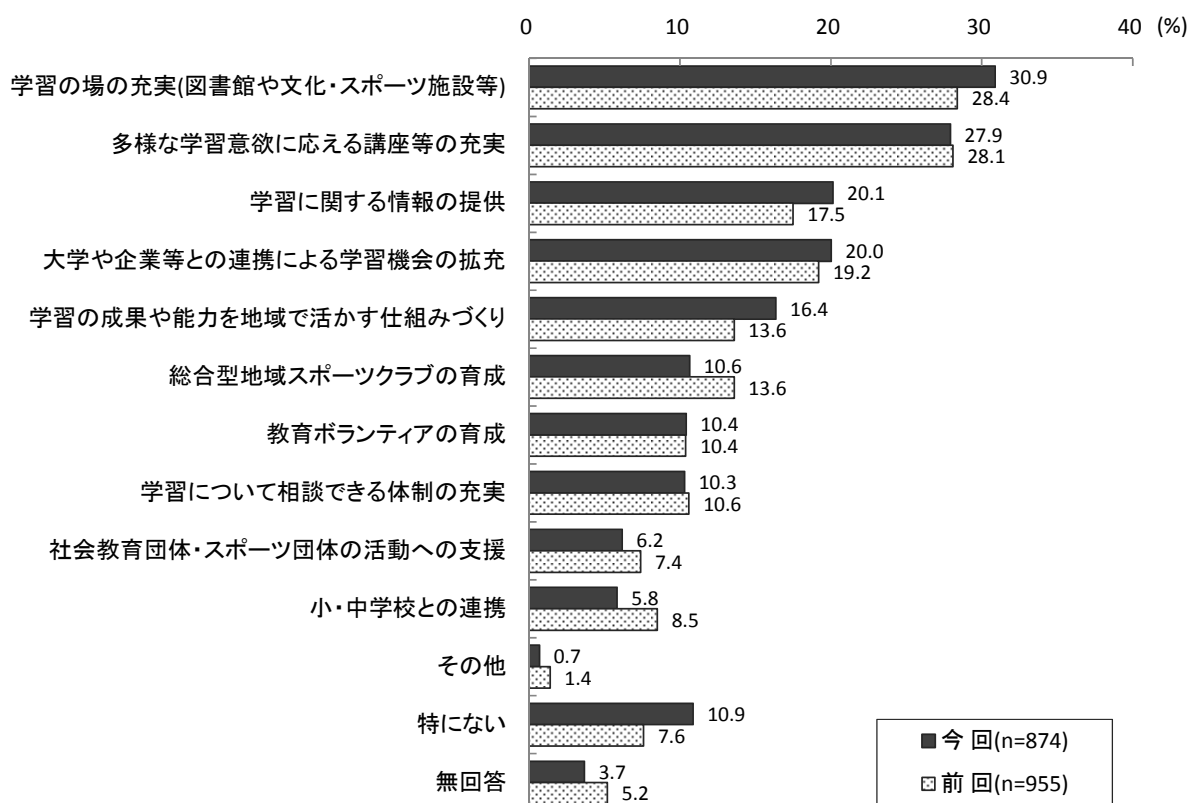
◇「学習の場の充実(図書館や文化・スポーツ施設等)」が3割を超える

問 29 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは、「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」（30.9%）が3割を超え最も高くなっている。次いで、「多様な学習意欲に応える講座等の充実」（27.9%）、「学習に関する情報の提供」（20.1%）、「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」（20.0%）の順で続いている。

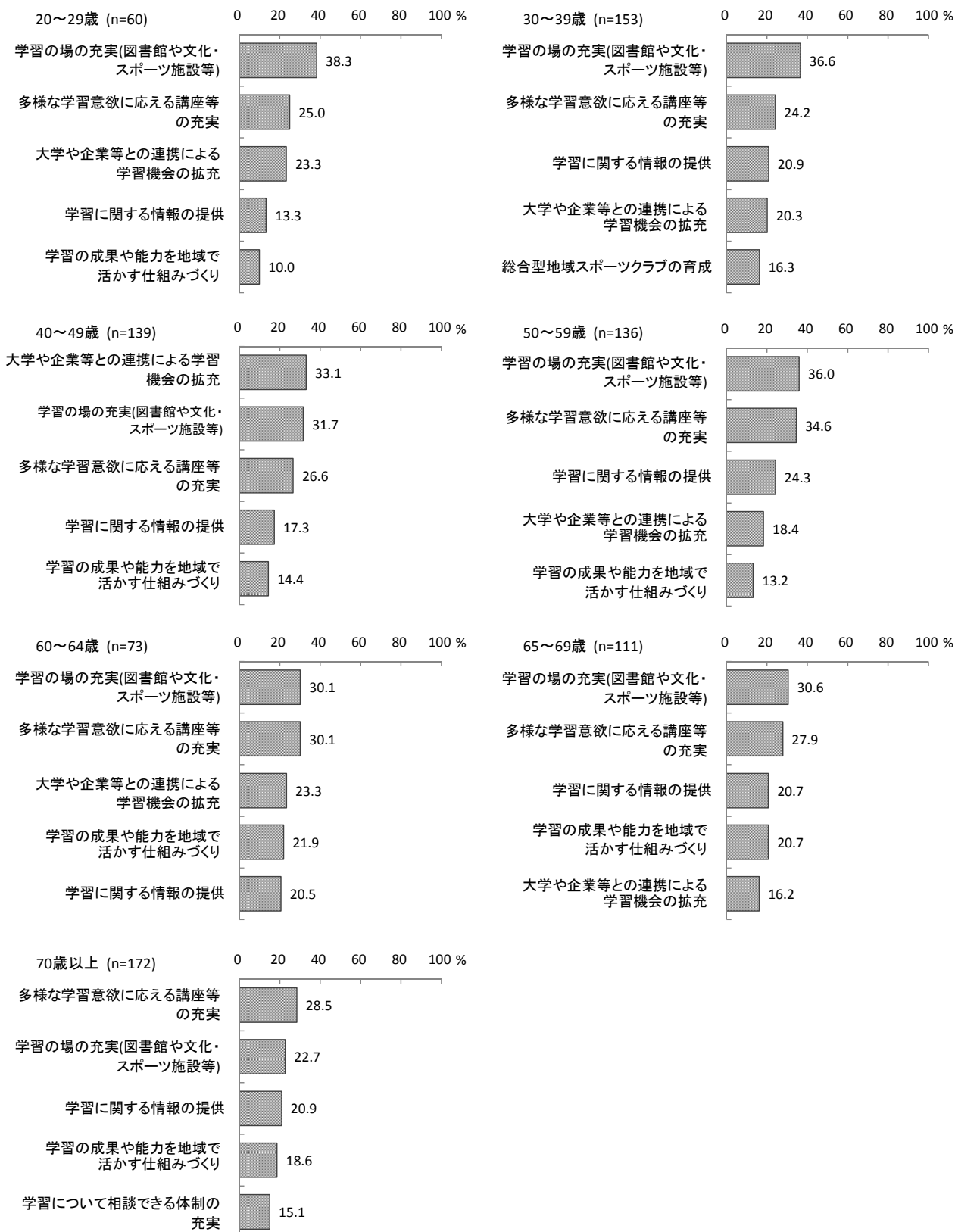
前回調査と比較すると、「学習に関する情報の提供」、「学習の成果や能力を地域で活かす仕組みづくり」などが増加している。（図表 7-7-1）

図表 7-7-1 生涯学習のための重点施策



年齢別でみると、40～49歳では「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」が最も高くなっている。70歳以上の年齢では「多様な学習意欲に応える講座等の充実」が最も高くなっている。それ以外の年齢では「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」が最も高くなっている。（図表7-7-2）

図表7-7-2 生涯学習のための重点施策-年齢別（上位5項目）



(8) 観光振興のための重点施策

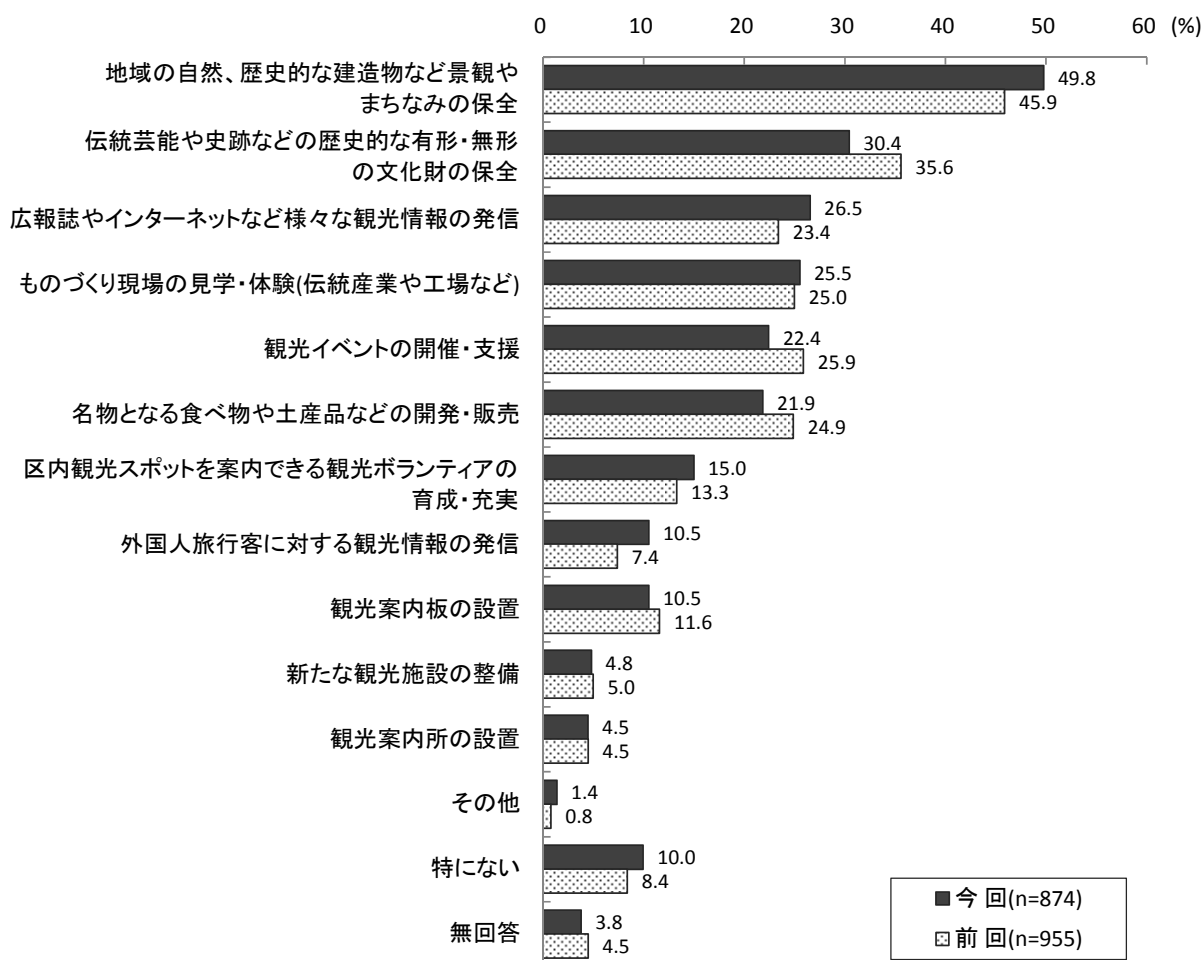
◇「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が5割近く

問 30 北区の観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。
次の中から3つまで選んで○をつけてください。

観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」(49.8%) が5割近くと最も高くなっている。次いで、「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」(30.4%)、「広報誌やインターネットなど様々な観光情報の発信」(26.5%)、「ものづくり現場の見学・体験(伝統産業や工場など)」(25.5%)、「観光イベントの開催・支援」(22.4%)の順で続いている。

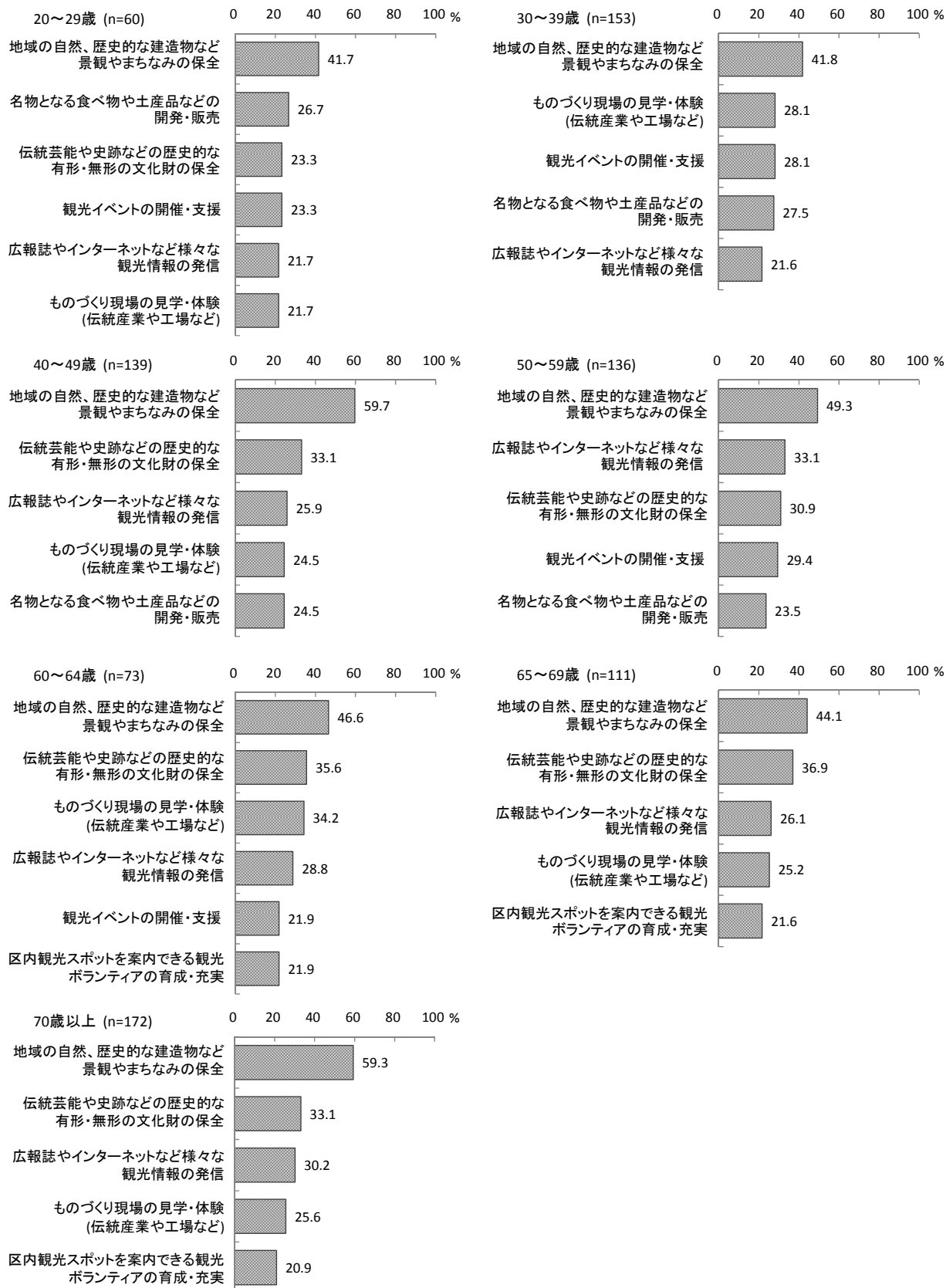
前回調査と比較すると、「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」、「広報誌やインターネットなど様々な観光情報の発信」などが増加している。(図表7-8-1)

図表7-8-1 観光振興のための重点施策



年齢別でみると、すべての年齢で「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」が最も高くなっている。また、50～59歳を除く40歳以上の年齢では「伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全」が第2位となっている。（図表7-8-2）

図表7-8-2 観光振興のための重点施策-年齢別（上位5項目）



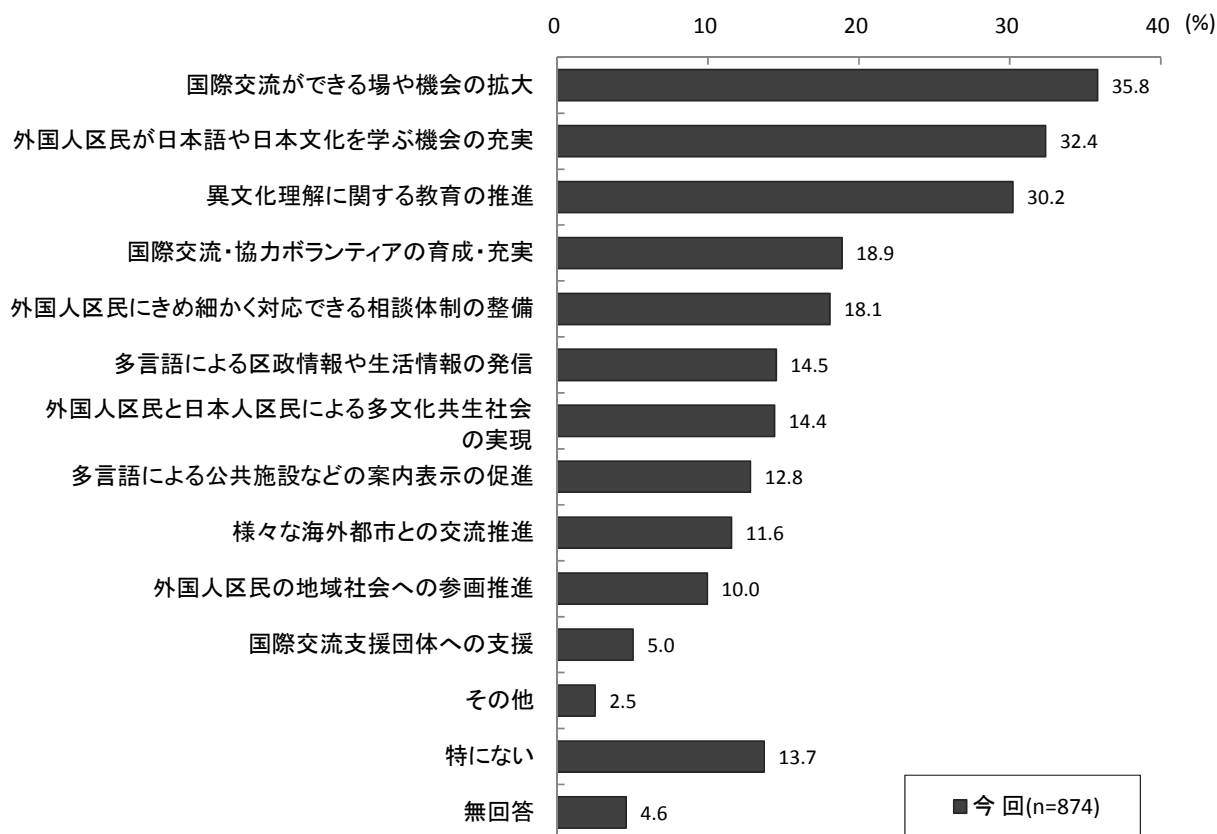
(9) 国際化推進のための重点施策

◇「国際交流ができる場や機会の拡大」が3割半ば

問31 今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

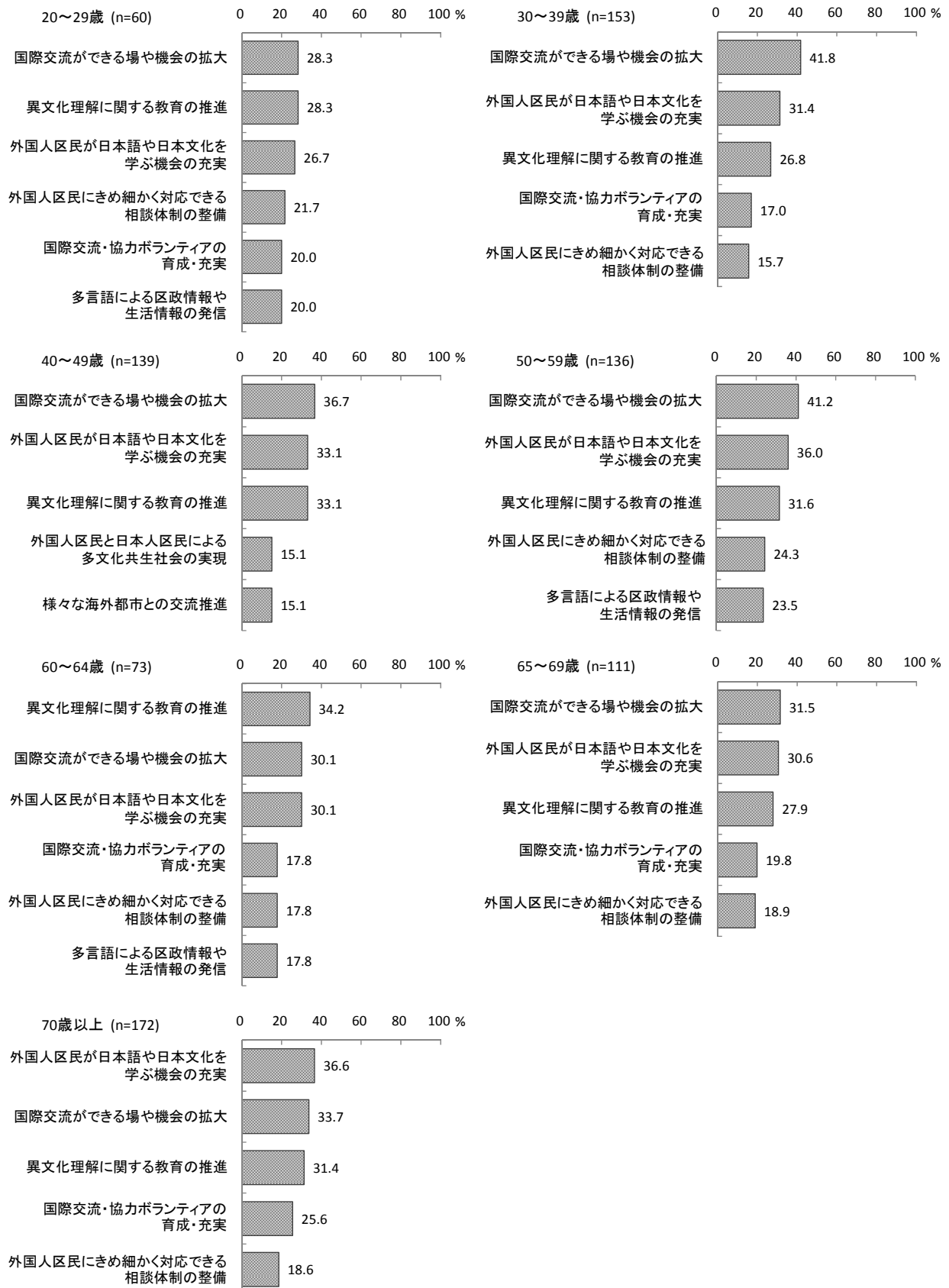
今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは、「国際交流ができる場や機会の拡大」(35.8%)が3割半ばで最も高くなっている。次いで、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」(32.4%)、「異文化理解に関する教育の推進」(30.2%)、「国際交流・協力ボランティアの育成・充実」(18.9%)、「外国人区民にきめ細かく対応できる相談体制の整備」(18.1%)の順で続いている。(図表7-9-1)

図表7-9-1 国際化推進のための重点施策



年齢別でみると、60～64歳では「異文化理解に関する教育の推進」、70歳以上の年齢では「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」がそれぞれ最も高くなっており、それ以外の年齢では「国際交流ができる場や機会の拡大」が最も高くなっている。（図表7-9-2）

図表7-9-2 国際化推進のための重点施策-年齢別（上位5項目）



8 「花*みどり」・やすらぎ戦略

(1) 環境への配慮

◇【日頃から実践している活動】

「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」が7割を超える

【今後取り組みたい活動】

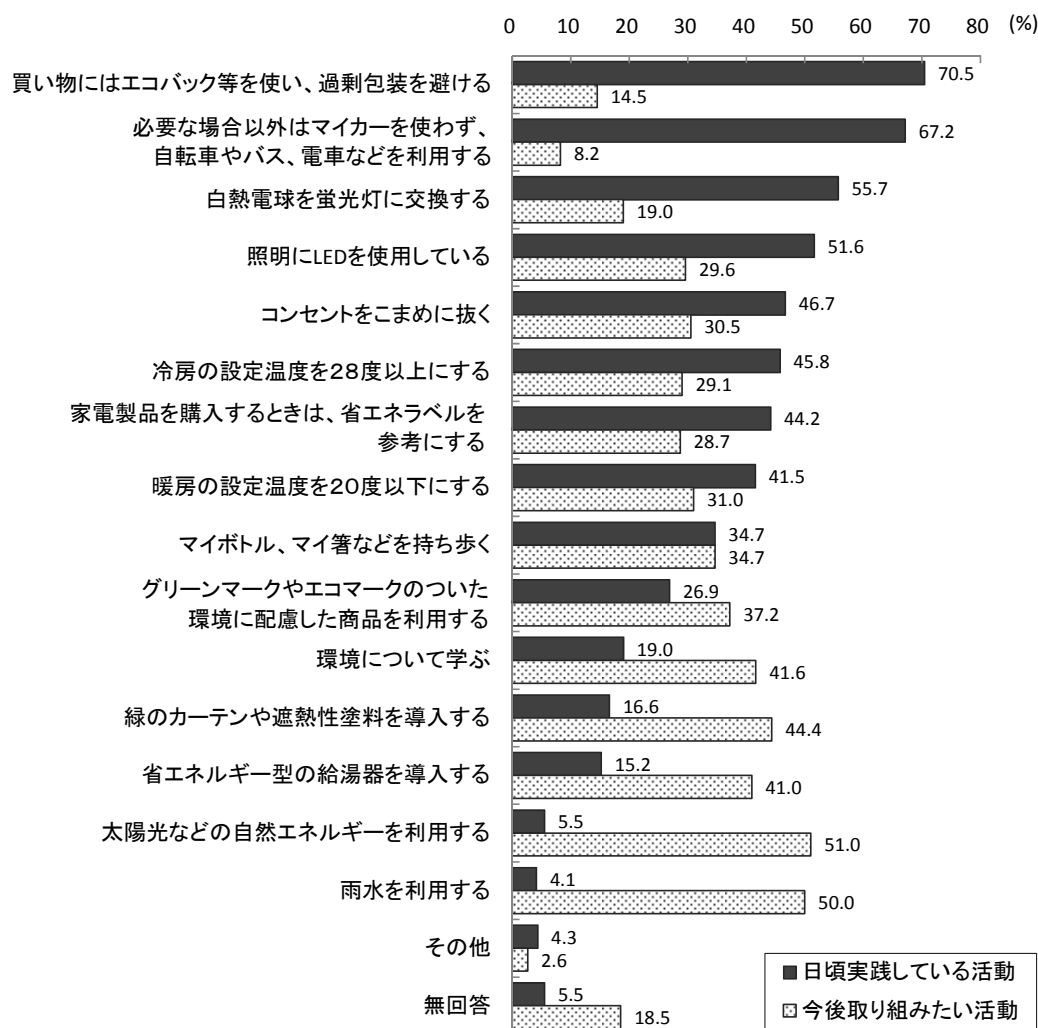
「太陽光などの自然エネルギーを利用する」「雨水を利用する」が5割を超える

問 32 あなたが、日頃、地球温暖化対策として取り組んでいる活動は何ですか。また、あなたが、今後、取り組んでいきたいと思っている活動は何ですか。それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

日頃、地球温暖化対策として取り組んでいる活動は、「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」(70.5%)が7割を超え最も高くなっている。次いで、「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」(67.2%)の順で続いている。

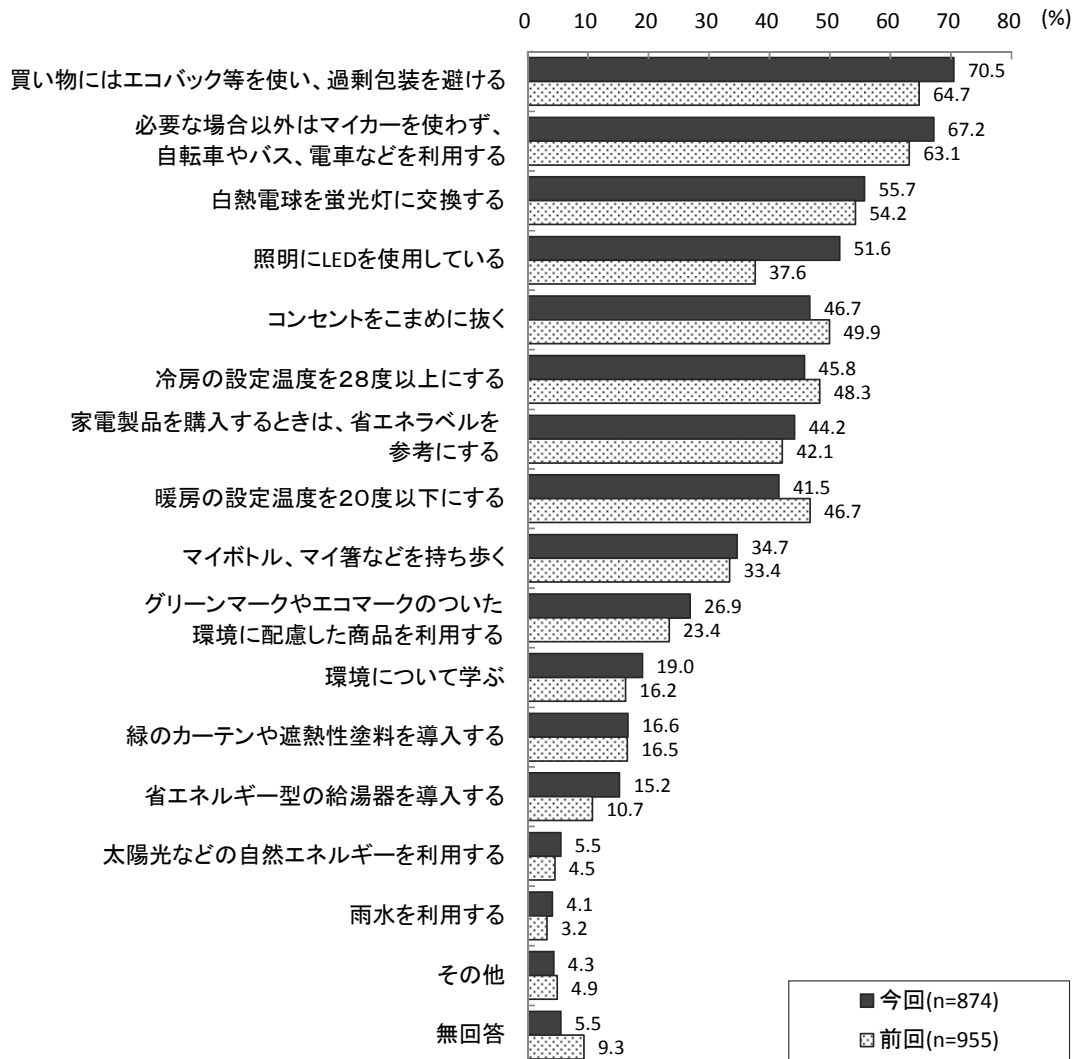
また、今後取り組んでいきたいと思っている活動は、「太陽光などの自然エネルギーを利用する」(51.0%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「雨水を利用する」(50.0%)、「緑のカーテンや遮熱性塗料を導入する」(44.4%)の順で続いている。(図表8-1-1)

図表8-1-1 環境への配慮



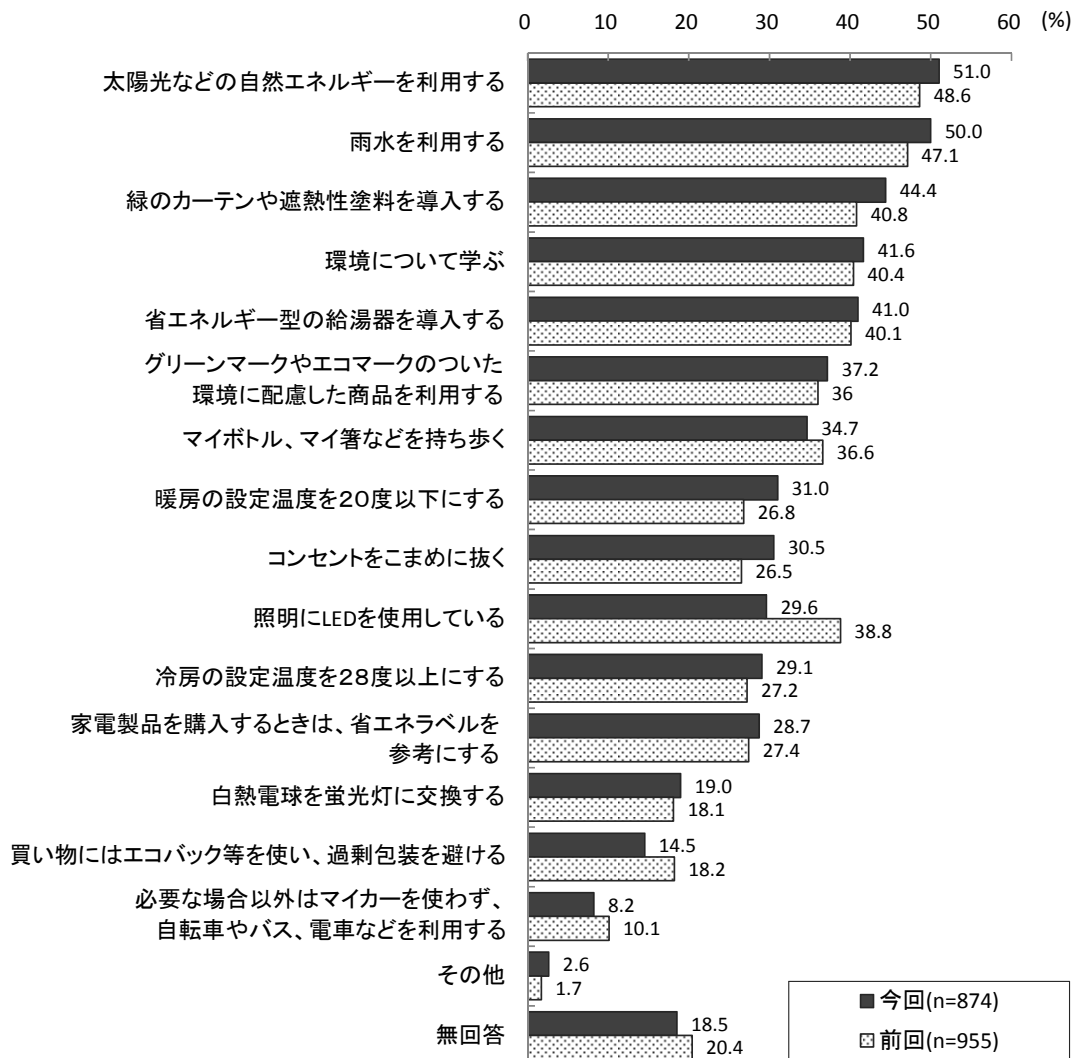
日頃から実践している活動を前回調査と比較すると、「買い物にはエコバッグ等を使い、過剰包装を避ける」などが増加し、「コンセントをこまめに抜く」、「冷房の設定温度を28度以上にする」、「暖房の設定温度を20度以下にする」が減少している。(図表8-1-2)

図表8-1-2 環境への配慮 【日頃から実践している活動】



今後取り組んでいきたいと思っている活動を前回調査と比較すると、全体的に増加しているが、「照明にLEDを使用している」が大きく減少している。(図表8-1-3)

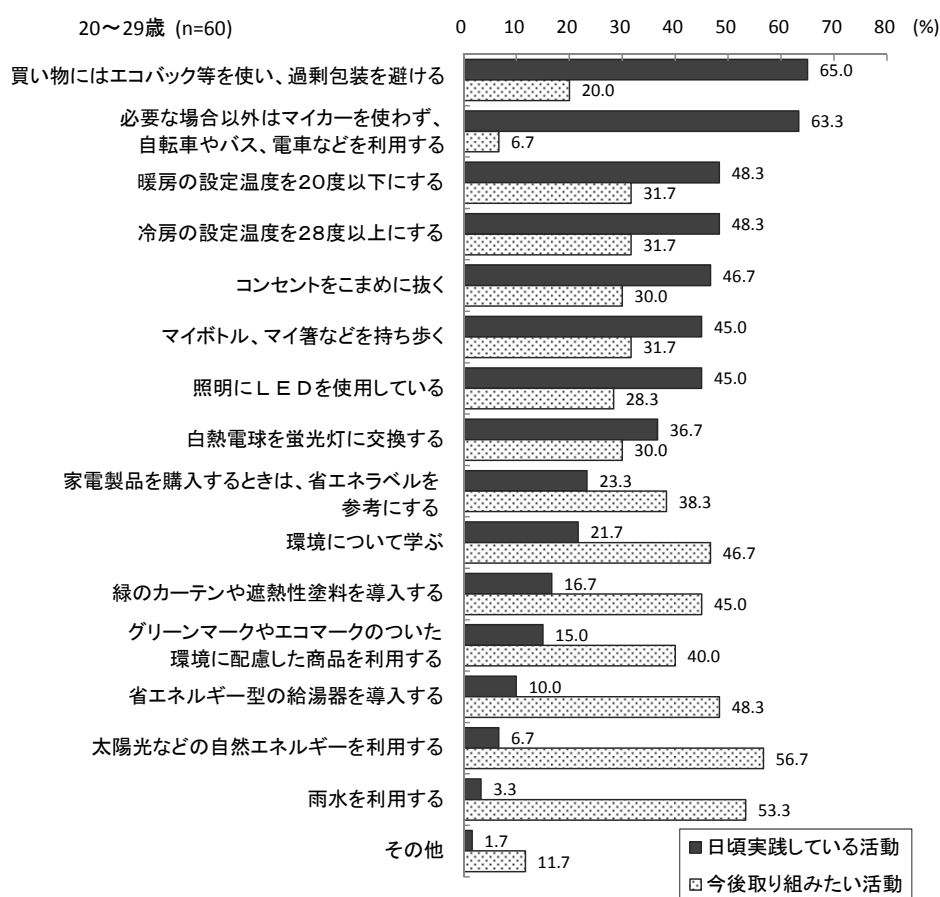
図表8-1-3 環境への配慮 【今後取り組みたい活動】



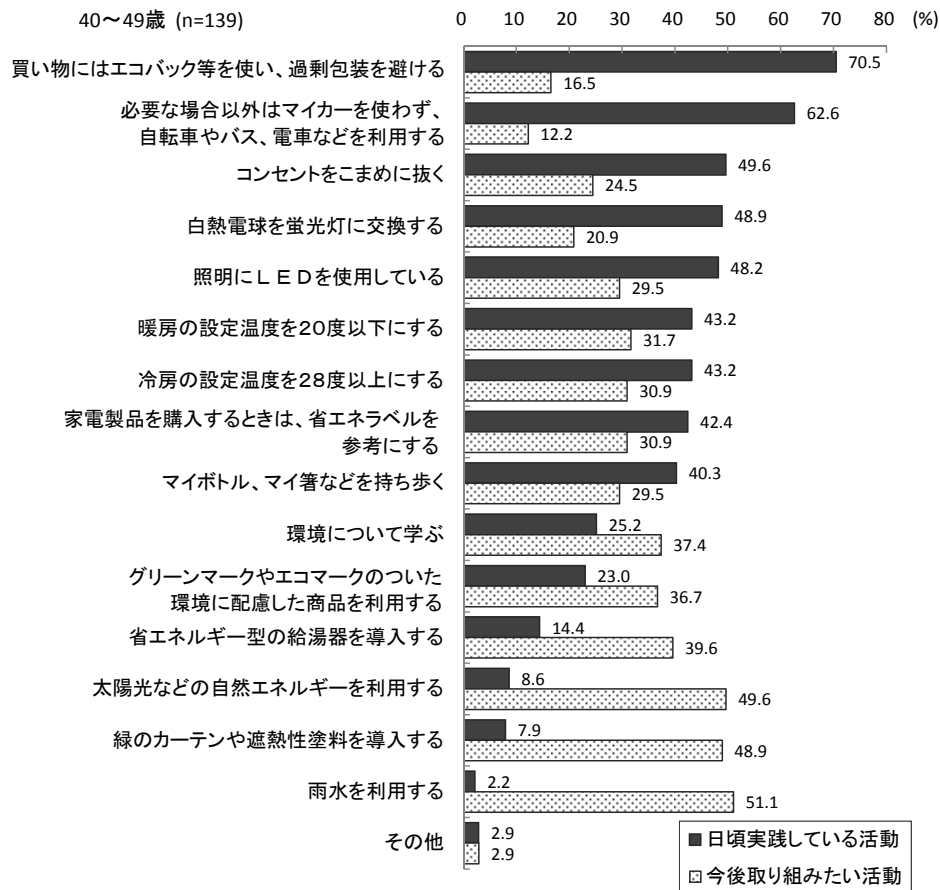
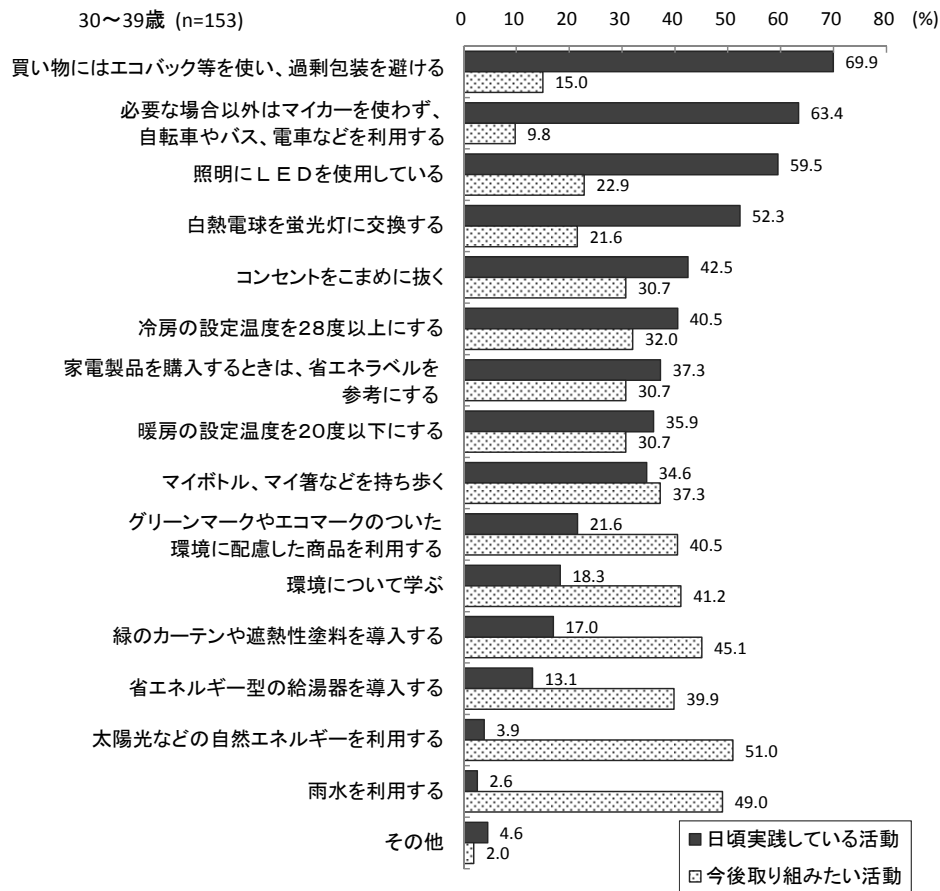
年齢別でみると、日頃から実践している活動は、69歳以下の年齢では「買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける」が最も高くなっており、70歳以上の年齢でも第2位となっている。また、70歳以上の年齢では「必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する」が最も高くなっており、69歳以下では第2位となっている。

今後取り組んでいきたいと思っている活動は、39歳以下の年齢と50～59歳で「太陽光などの自然エネルギーを利用する」、40～49歳と65～69歳で「雨水を利用する」が最も高くなっている。60～64歳では、「太陽光などの自然エネルギーを利用する」と「緑のカーテンや遮熱性塗料を導入する」が同率で最も高く、70歳以上の年齢では「太陽光などの自然エネルギーを利用する」、「雨水を利用する」が同率で最も高くなっている。(図表8-1-4)

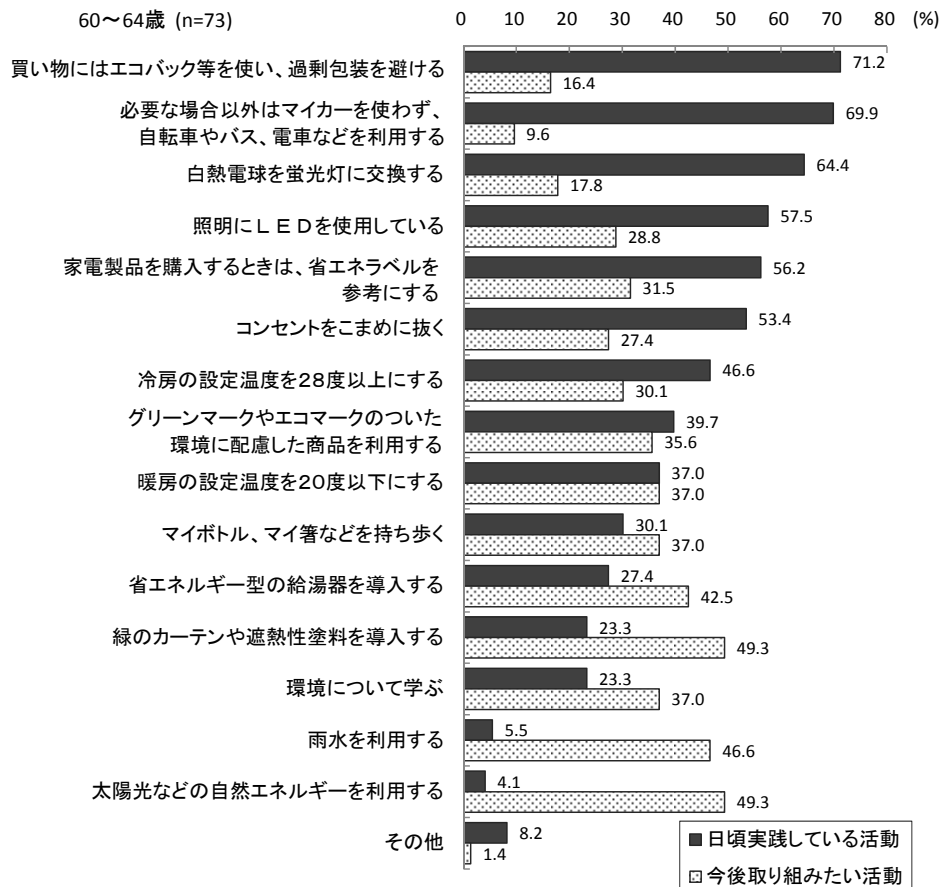
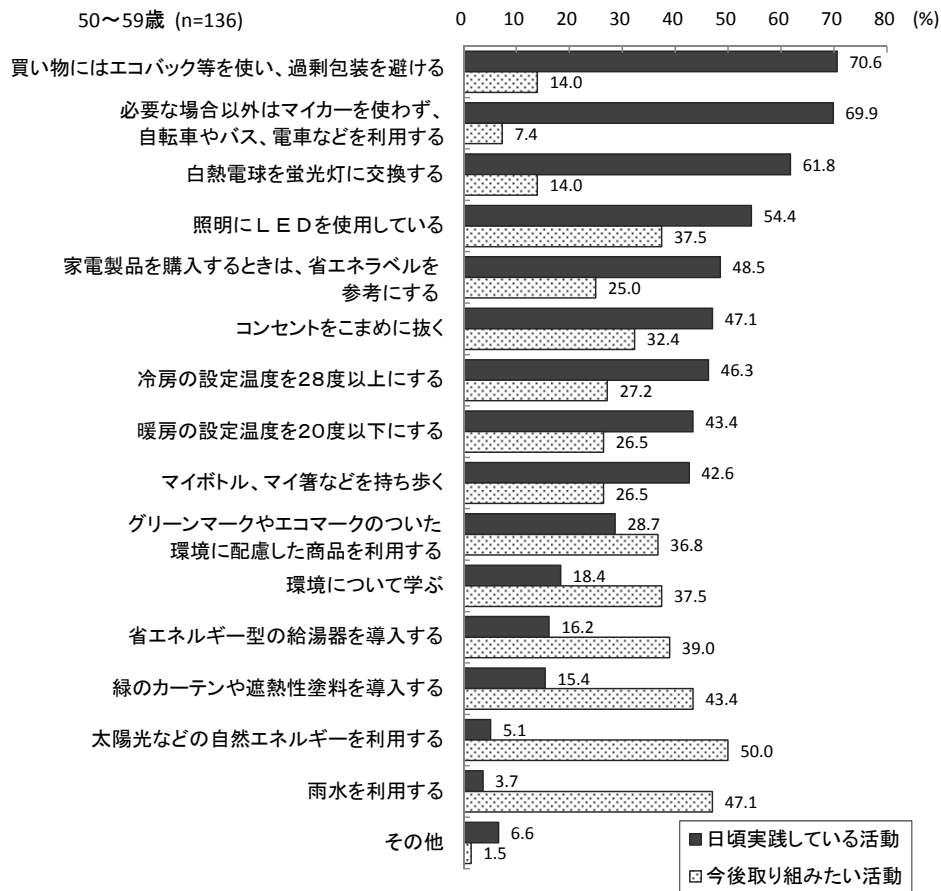
図表8-1-4 環境への配慮-年齢別



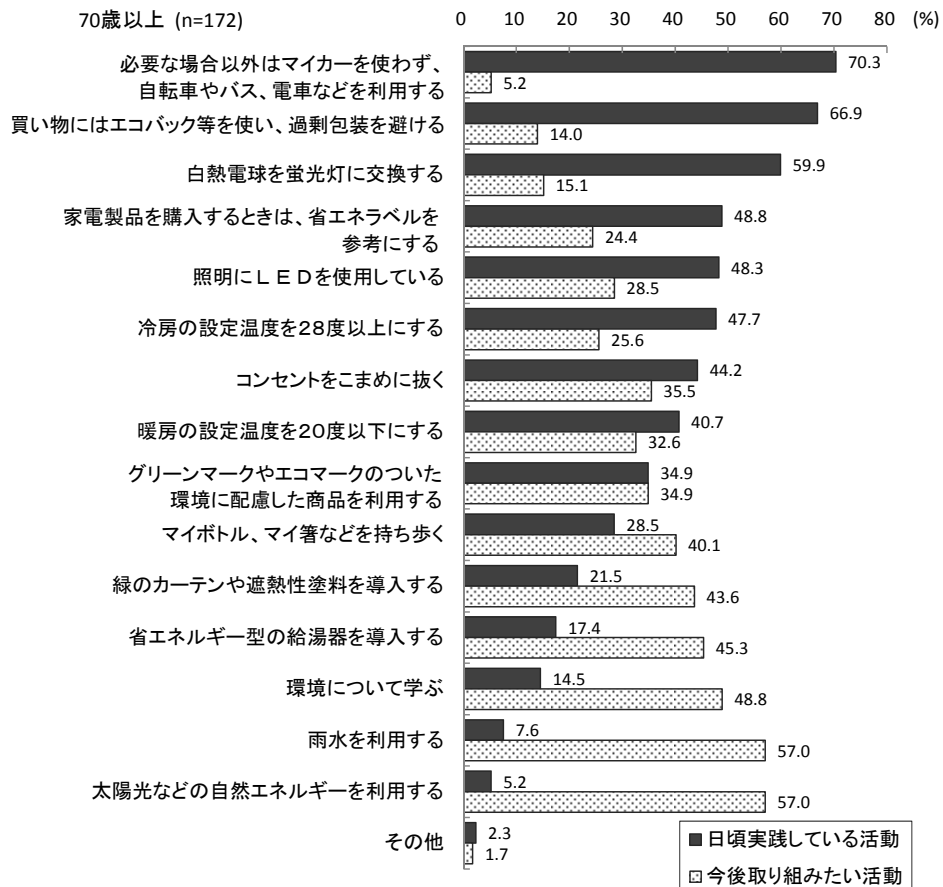
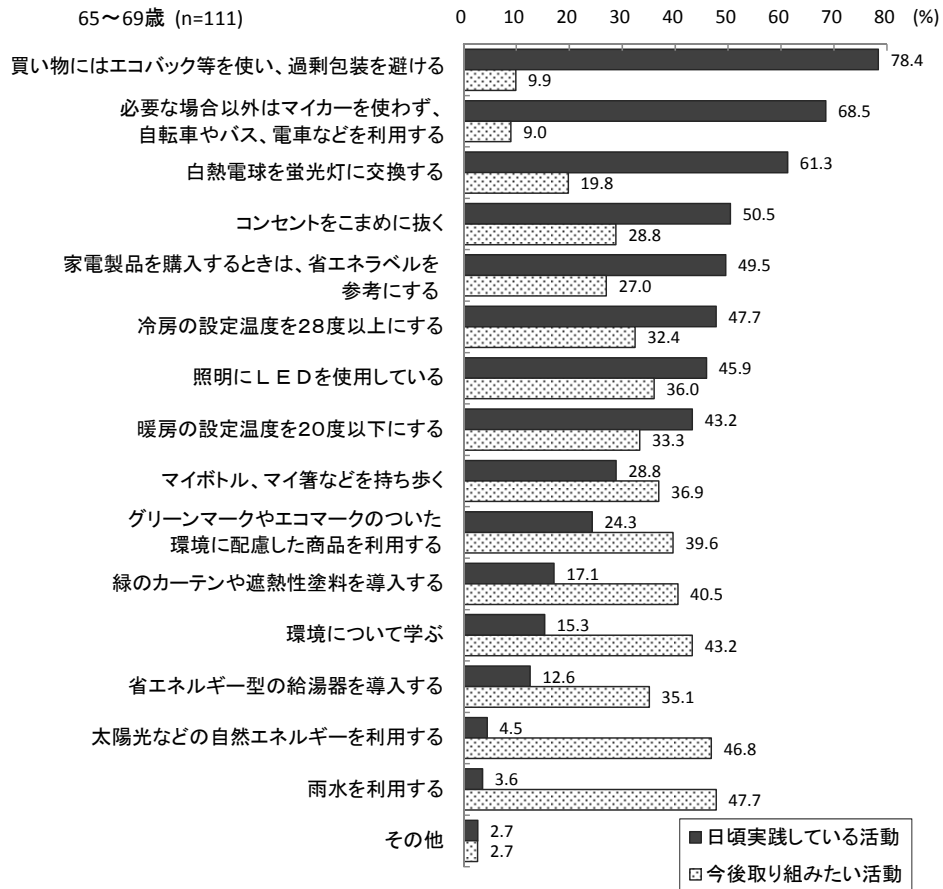
図表 8-1-4 環境への配慮-年齢別



図表 8-1-4 環境への配慮-年齢別



図表 8-1-4 環境への配慮-年齢別



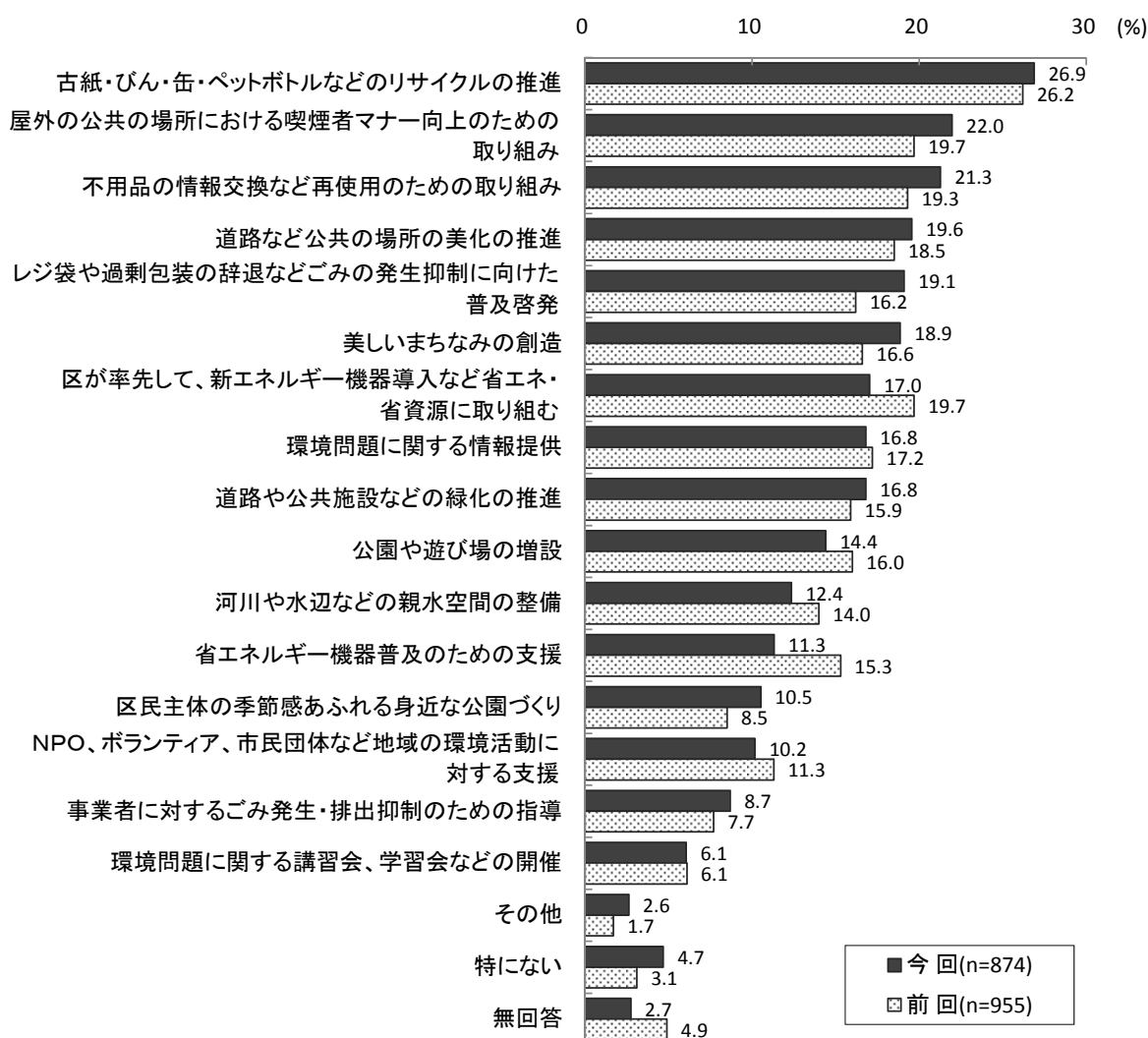
(2) 快適な都市環境のための重点施策

◇「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」が2割半ば

問 33 今後、やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

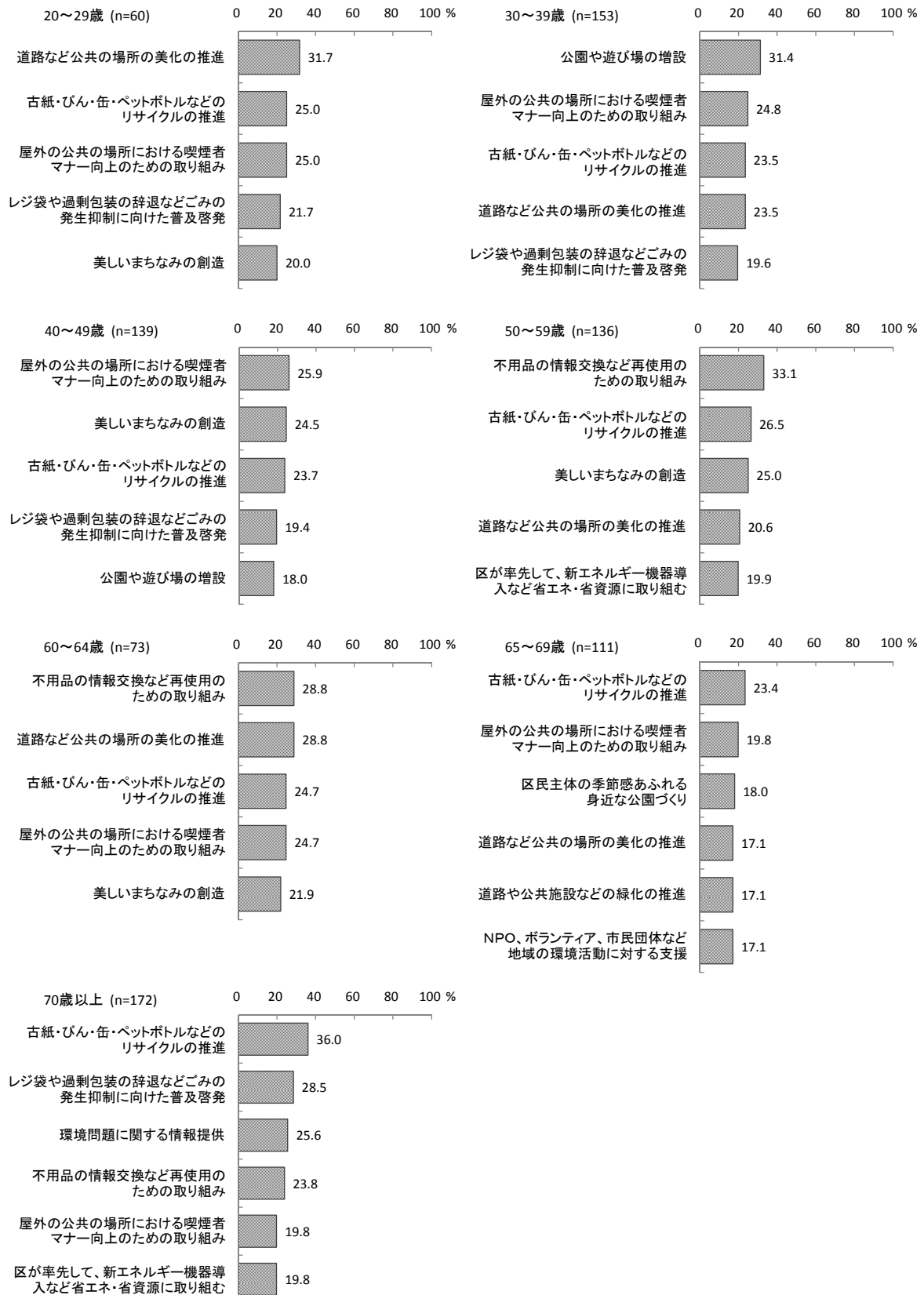
やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは、「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」(26.9%)が2割半ばと最も高くなっている。次いで、「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」(22.0%)、「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」(21.3%)、「道路など公共の場所の美化の推進」(19.6%)の順で続いている。(図表8-2-1)

図表8-2-1 快適な都市環境のための重点施策



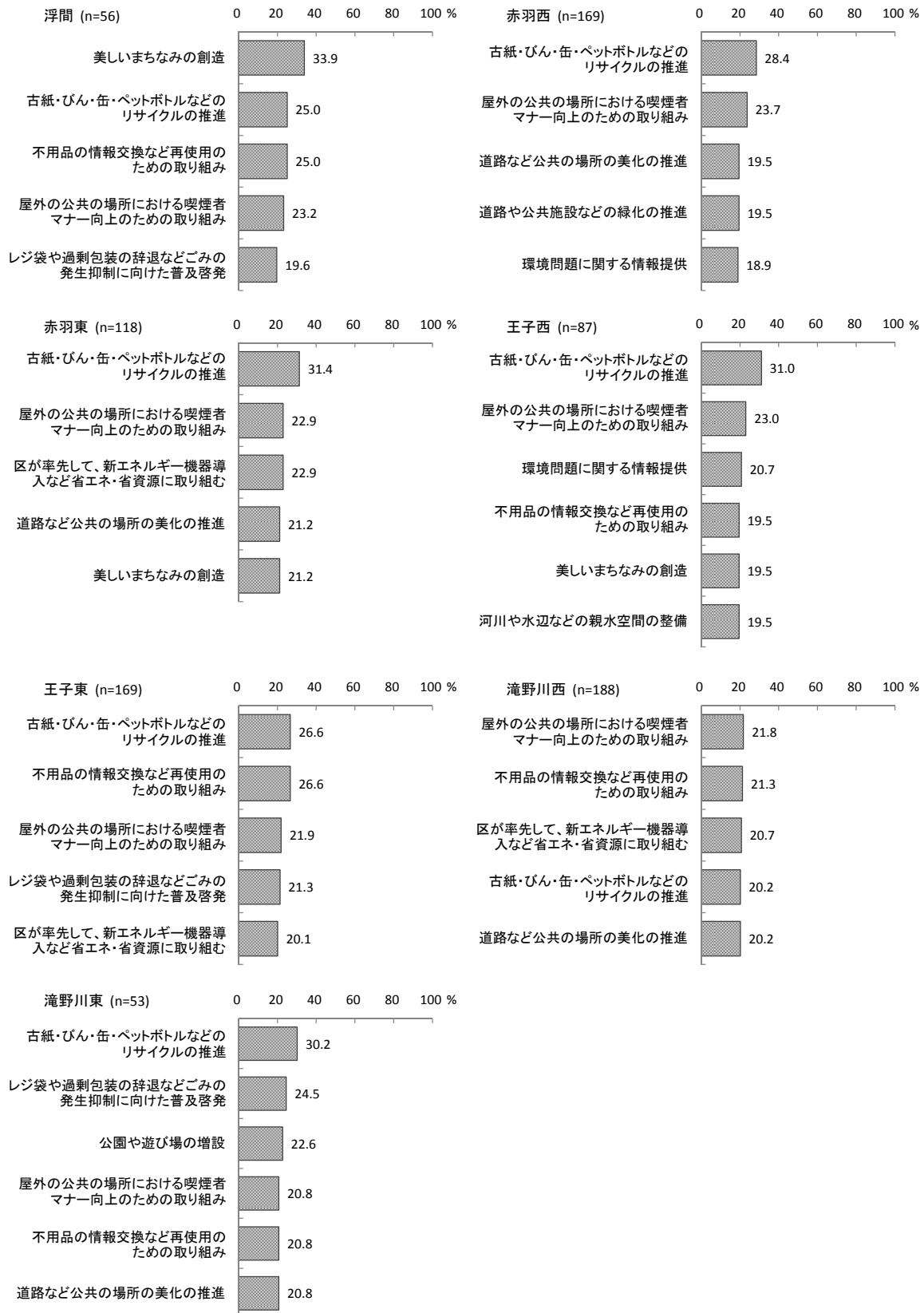
年齢別でみると、20～29歳では「道路など公共の場所の美化の推進」、30～39歳では「公園や遊び場の増設」、40～49歳では「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」、50～64歳では「不用品の情報交換など再使用のための取り組み」、65歳以上の年齢では「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」が最も高くなっている。（図表8-2-2）

図表8-2-2 快適な都市環境のための重点施策-年齢別（上位5項目）



居住地区別でみると、浮間では「美しいまちなみの創造」、滝野川西では「屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み」が最も高くなっている。また、赤羽西、赤羽東、王子西、王子東、滝野川東では「古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進」が最も高くなっている。
(図表 8-2-3)

図表 8-2-3 快適な都市環境のための重点施策-居住地区別（上位 5 項目）



9 「安全・安心」・快適戦略

(1) 日常的な不安感

◇不安を『感じる』が3割を超える

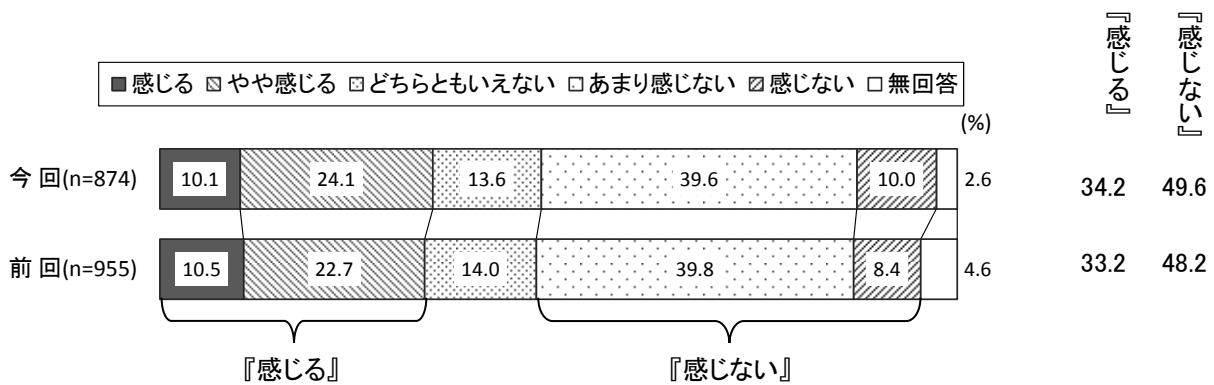
問34 あなたはお住まいの地域で日常的に不安を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

居住地域で日常的に不安を感じるか聞いたところ、「感じる」(10.1%)と「やや感じる」(24.1%)を合わせた『感じる』(34.2%)が3割を超えている。

一方、「あまり感じない」(39.6%)と「感じない」(10.0%)を合わせた『感じない』(49.6%)は5割近くとなっている。

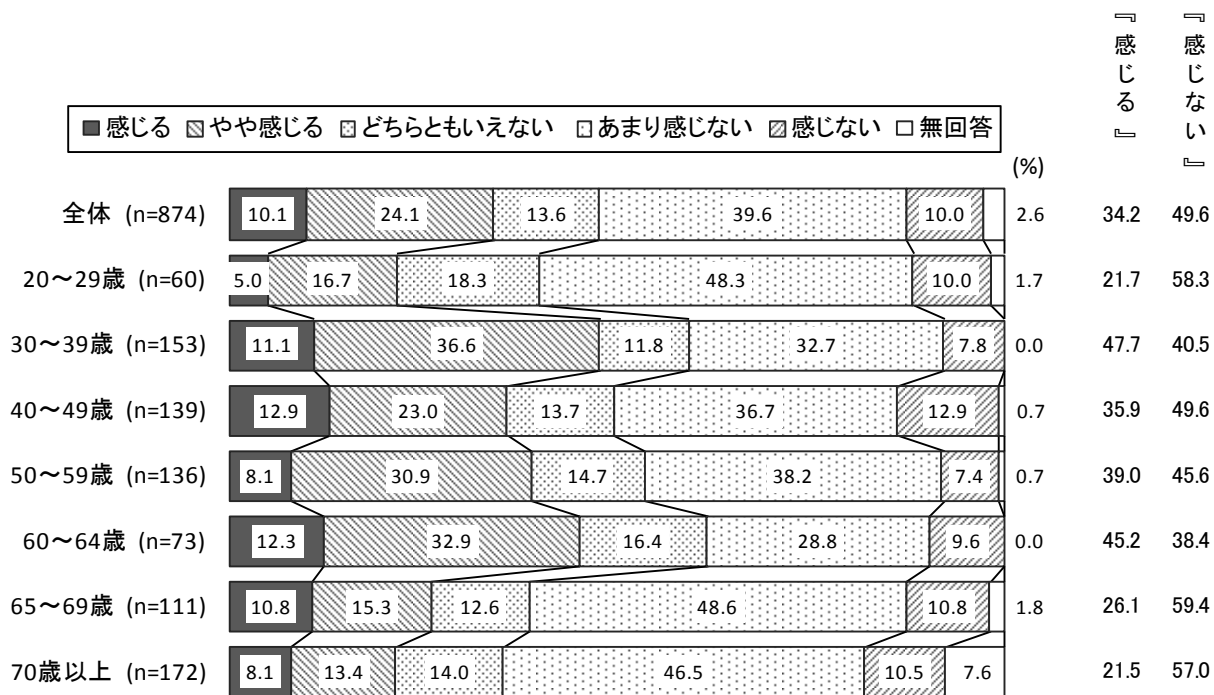
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。(図表9-1-1)

図表9-1-1 日常的な不安感



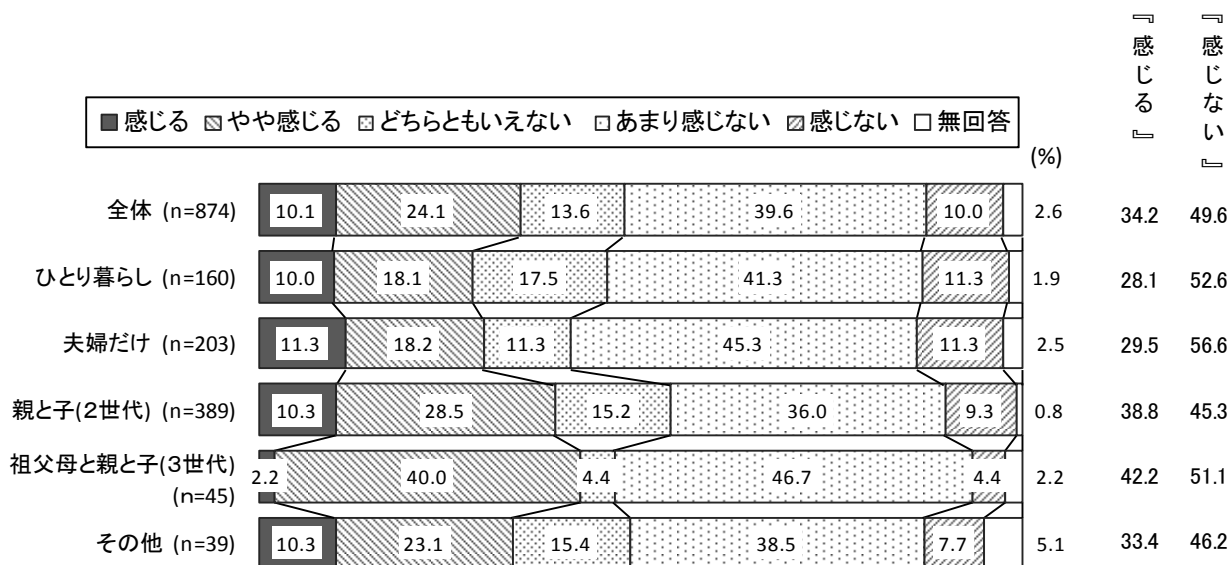
年齢別でみると、不安を『感じる』は30～39歳（47.7%）で4割半ばと高くなっている。一方、不安を『感じない』は20～29歳（58.3%）と65～69歳（59.4%）で6割近くと高くなっている。（図表9-1-2）

図表9-1-2 日常的な不安感-年齢別



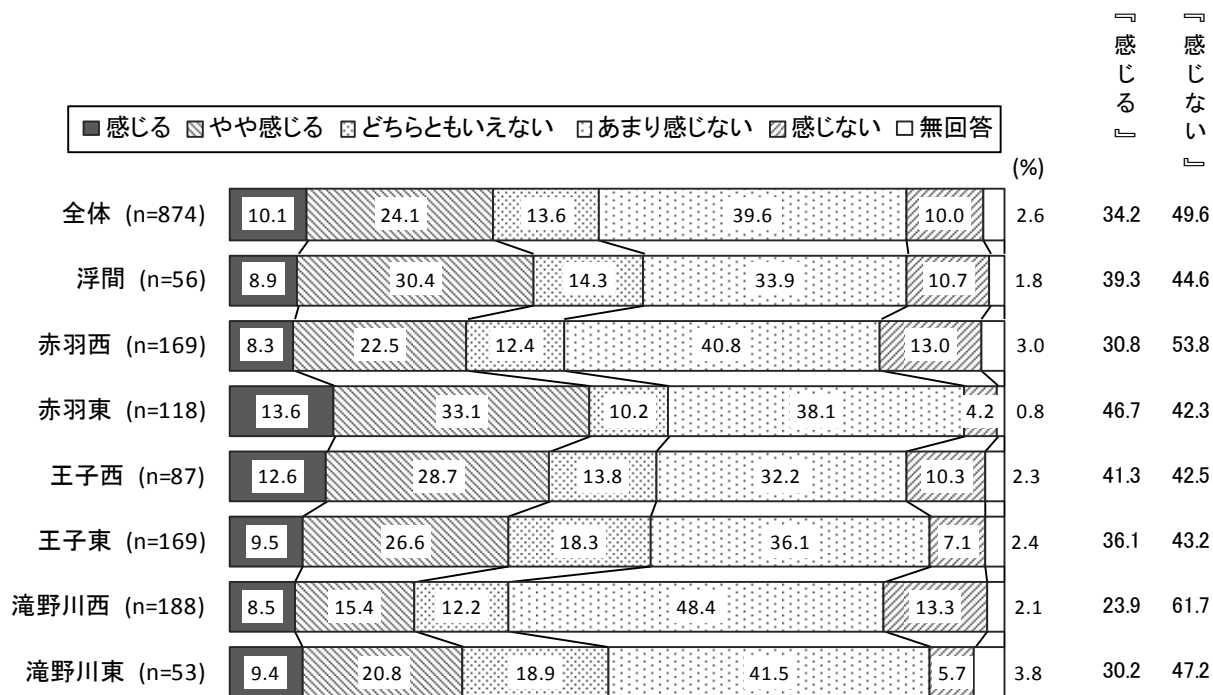
家族構成別でみると、不安を『感じる』は“祖父母と親と子（3世代）”（42.2%）で4割超え、“親と子（2世代）”（38.8%）で4割近くと高くなっている。一方、不安を『感じない』は“夫婦だけ”（56.6%）で5割半ばと高くなっている。（図表9-1-3）

図表9-1-3 日常的な不安感-家族構成別



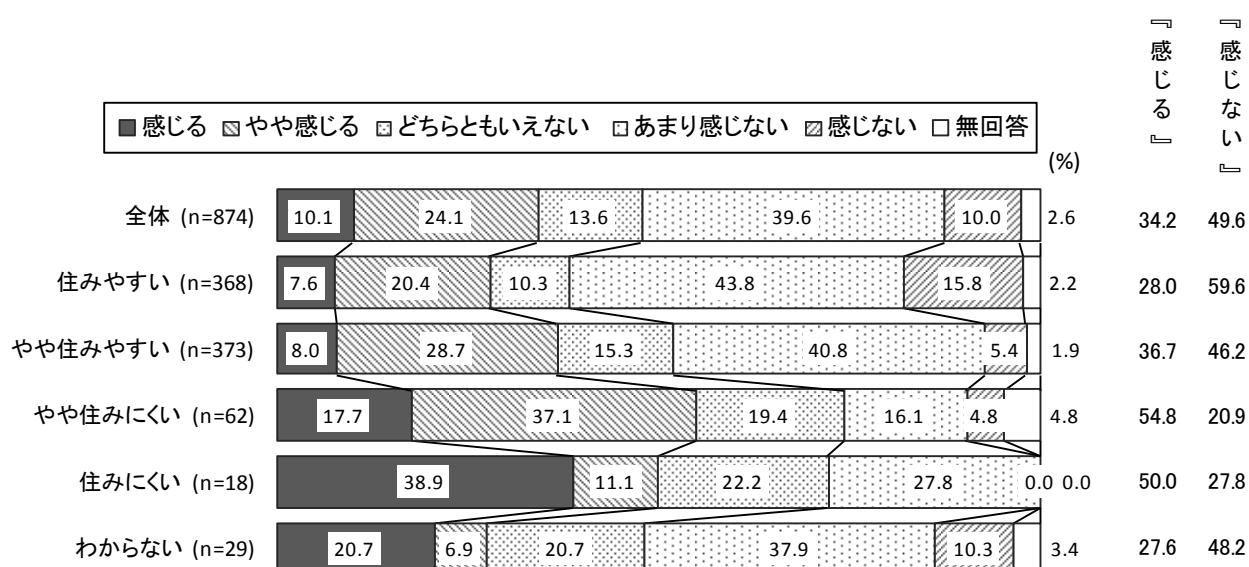
居住地区別でみると、不安を『感じる』は赤羽東（46.7%）で4割半ば、王子西（41.3%）で4割を超え高くなっている。一方、不安を『感じない』は滝野川西（61.7%）で6割超え、赤羽西（53.8%）で5割を超え高くなっている。（図表9-1-4）

図表9-1-4 日常的な不安感-居住地区別



自宅周辺の住みやすさ別でみると、不安を『感じる』は“やや住みにくい”（54.8%）と“住みにくい”（50.0%）で5割以上と高くなっている。一方、不安を『感じない』は、自宅周辺を住みやすいと感じる人ほど割合が高くなっており、“住みやすい”（59.6%）で6割近くと高くなっている。（図表9-1-5）

図表9-1-5 日常的な不安感-自宅周辺の住みやすさ別



(2) 不安を感じる内容

◇「地震や水害などの自然災害」が6割近く

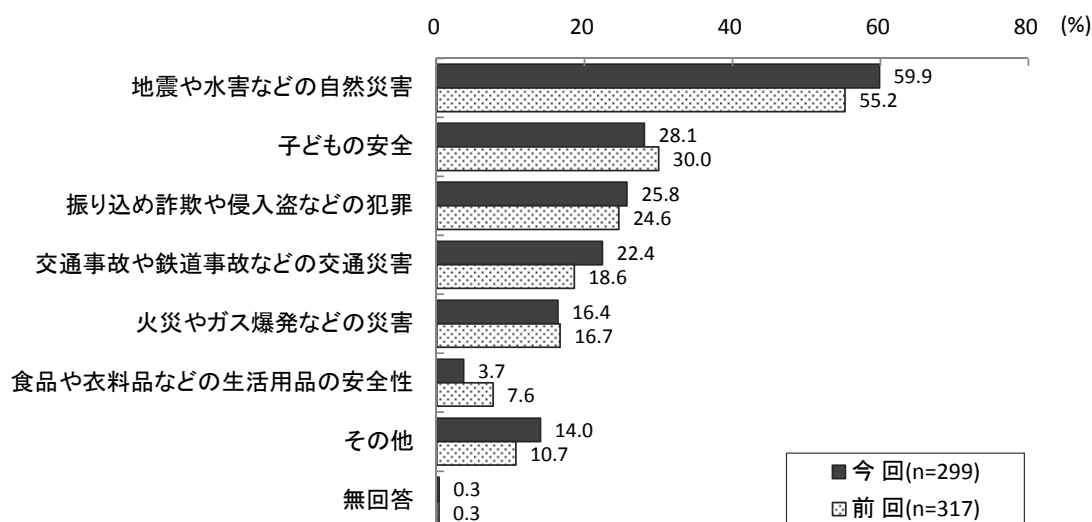
[問 34 で「感じる」「やや感じる」を選んだ方にうかがいます]

問 34-1 どのようなことに不安を感じますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

問 34 で、「感じる」、「やや感じる」と答えた方 (299 人) に、どのようなことに不安を感じるかを聞いたところ、「地震や水害などの自然災害」(59.9%) が 6 割近くと突出して高くなっている。次いで、「子どもの安全」(28.1%)、「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」(25.8%)、「交通事故や鉄道事故などの交通災害」(22.4%)、「火災やガス爆発などの災害」(16.4%) の順が続いている。

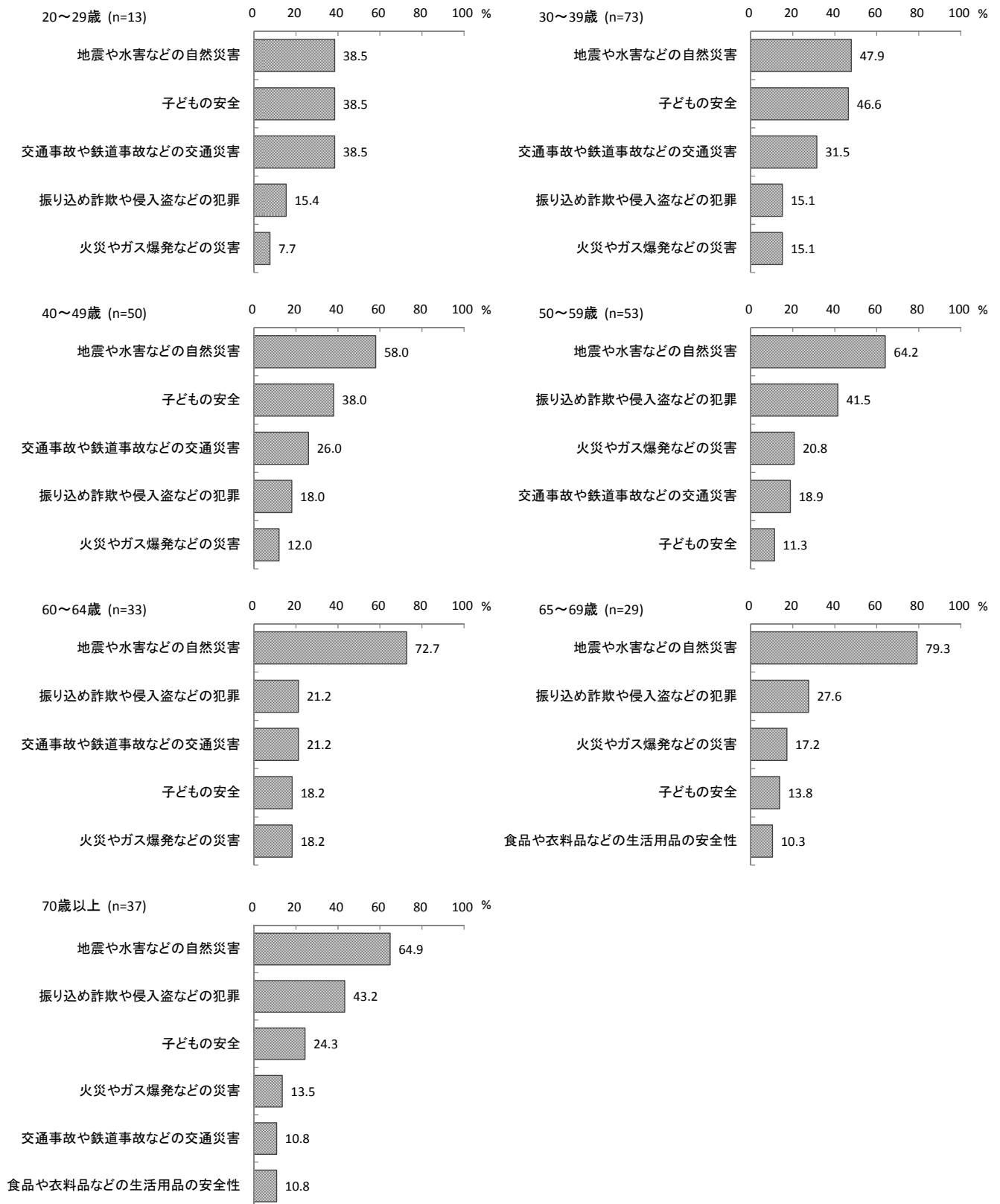
前回調査と比較すると、「地震や水害などの自然災害」などが増加し、「子どもの安全」などが減少している。(図表 9-2-1)

図表 9-2-1 不安を感じる内容



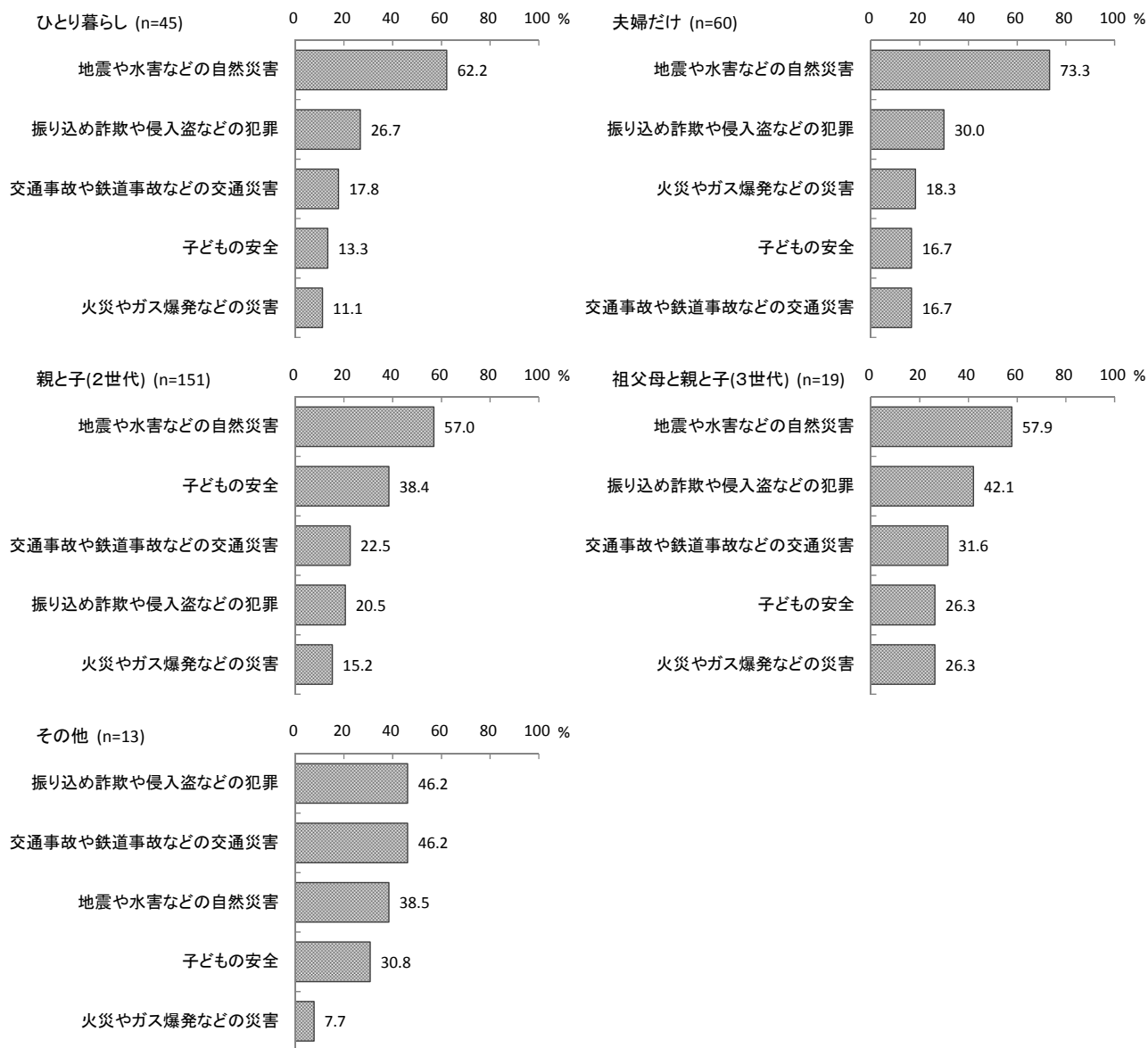
年齢別でみると、全ての年齢で「地震や水害などの自然災害」が最も高くなっている。また、20～29歳では、「子どもの安全」と「交通事故や鉄道事故などの交通災害」が同率で高くなっている。(図表9-2-2)

図表9-2-2 不安を感じる内容-年齢別（上位5項目）



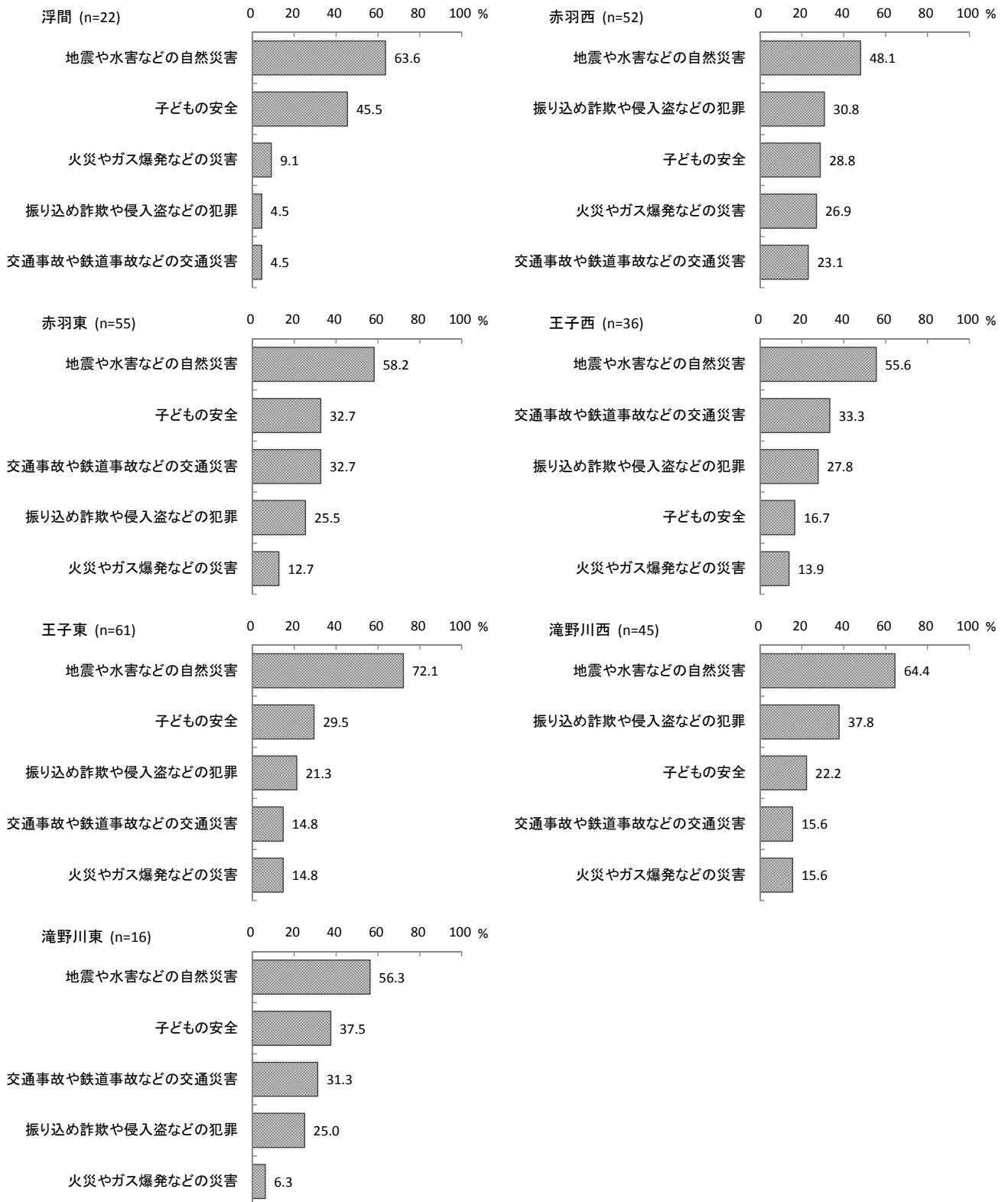
家族構成別でみると、“その他”を除く全ての家族構成で「地震や水害などの自然災害」が最も高くなっている。(図表9-2-3)

図表9-2-3 不安を感じる内容-家族構成別(上位5項目)



居住地区別でみると、すべての地区で「地震や水害などの自然災害」が最も高くなっている。また、浮間、赤羽東、王子東、滝野川東では「子どもの安全」、王子西では「交通事故や鉄道事故などの交通災害」、赤羽西、滝野川西では「振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪」がそれぞれ同率を含めて第2位となっている。(図表9-2-4)

図表9-2-4 不安を感じる内容-居住地区別(上位5項目)



(3) 安心なまちづくりのための重点施策

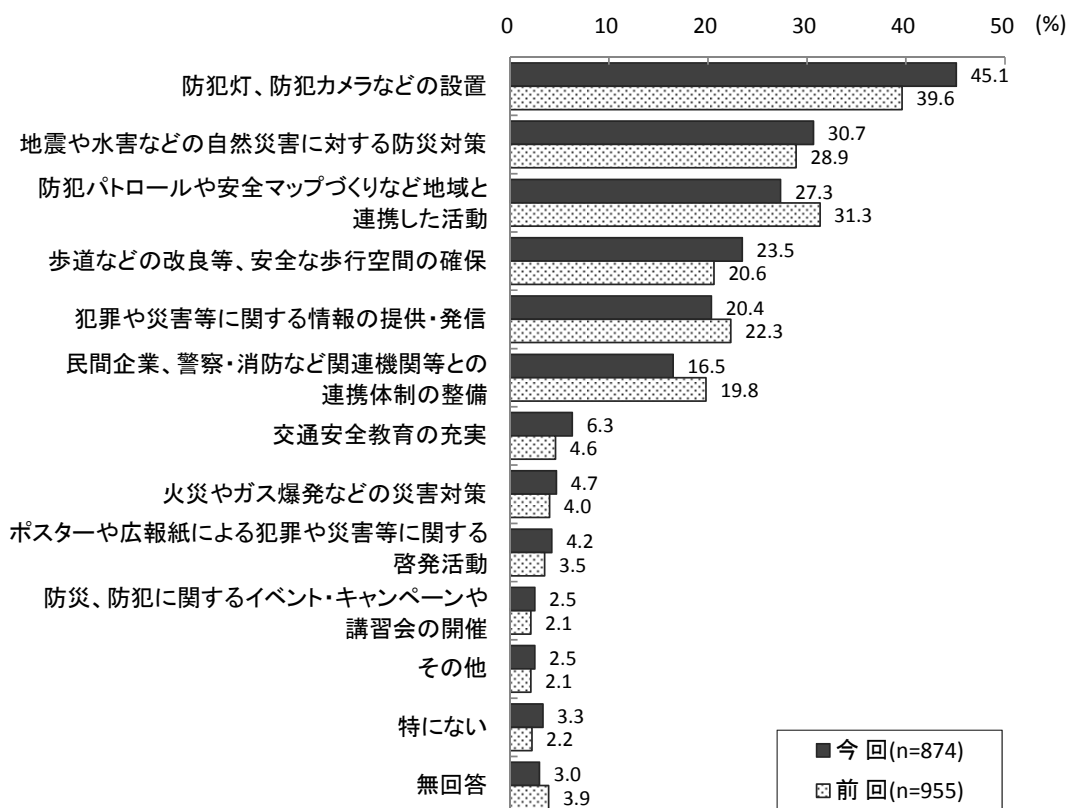
◇「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が4割半ば

問 35 あなたのお住まいの地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

居住地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」(45.1%)が4割半ばと最も高くなっている。次いで、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」(30.7%)、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」(27.3%)、「歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保」(23.5%)の順で続いている。

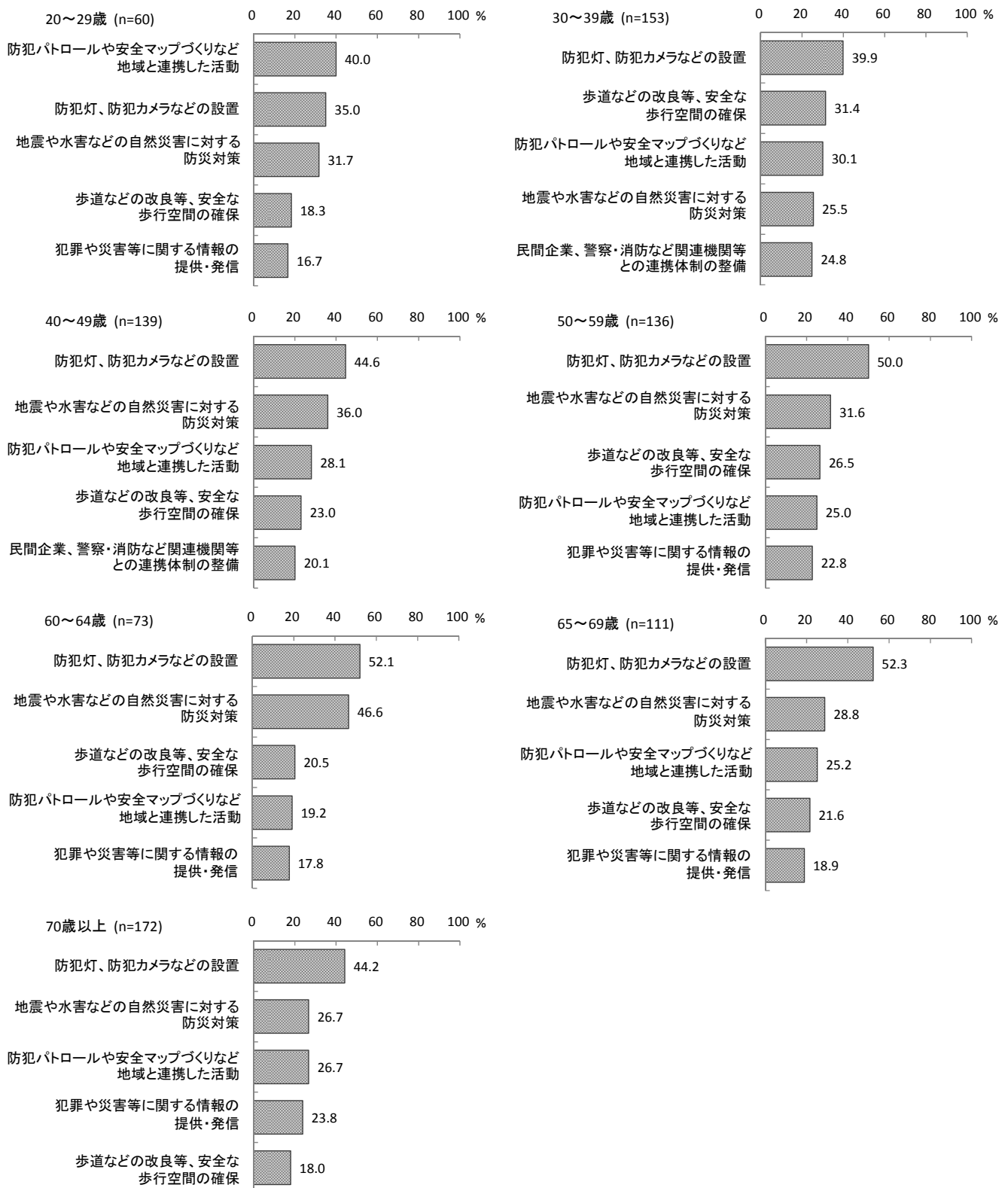
前回調査と比較すると、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」、「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」、「歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保」などが増加し、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」などが減少している。(図表9-3-1)

図表9-3-1 安心なまちづくりのための重点施策



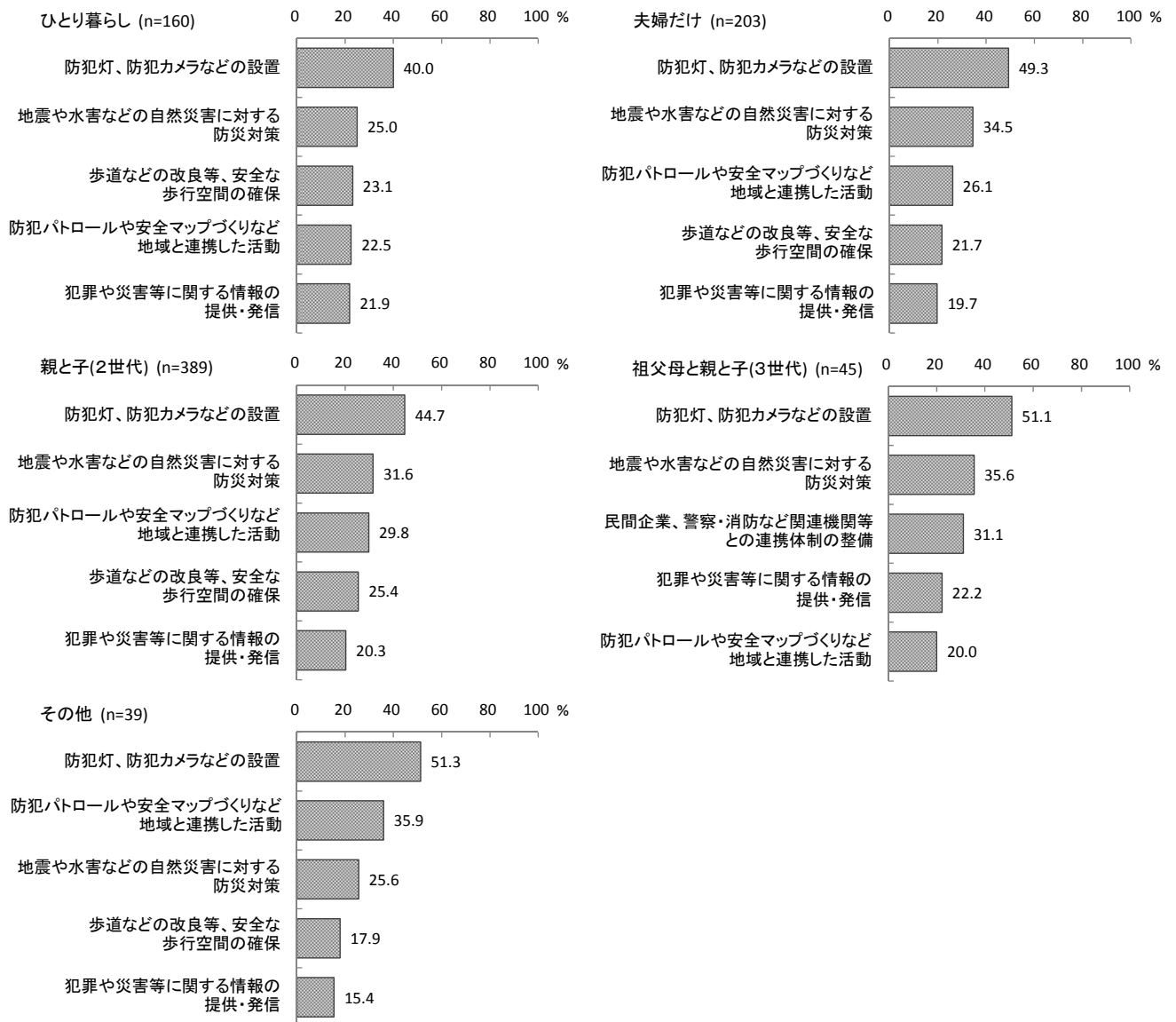
年齢別でみると、20～29歳では「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」が最も高く、それ以外の年齢では「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が最も高くなっている。（図表9-3-2）

図表9-3-2 安心なまちづくりのための重点施策-年齢別（上位5項目）



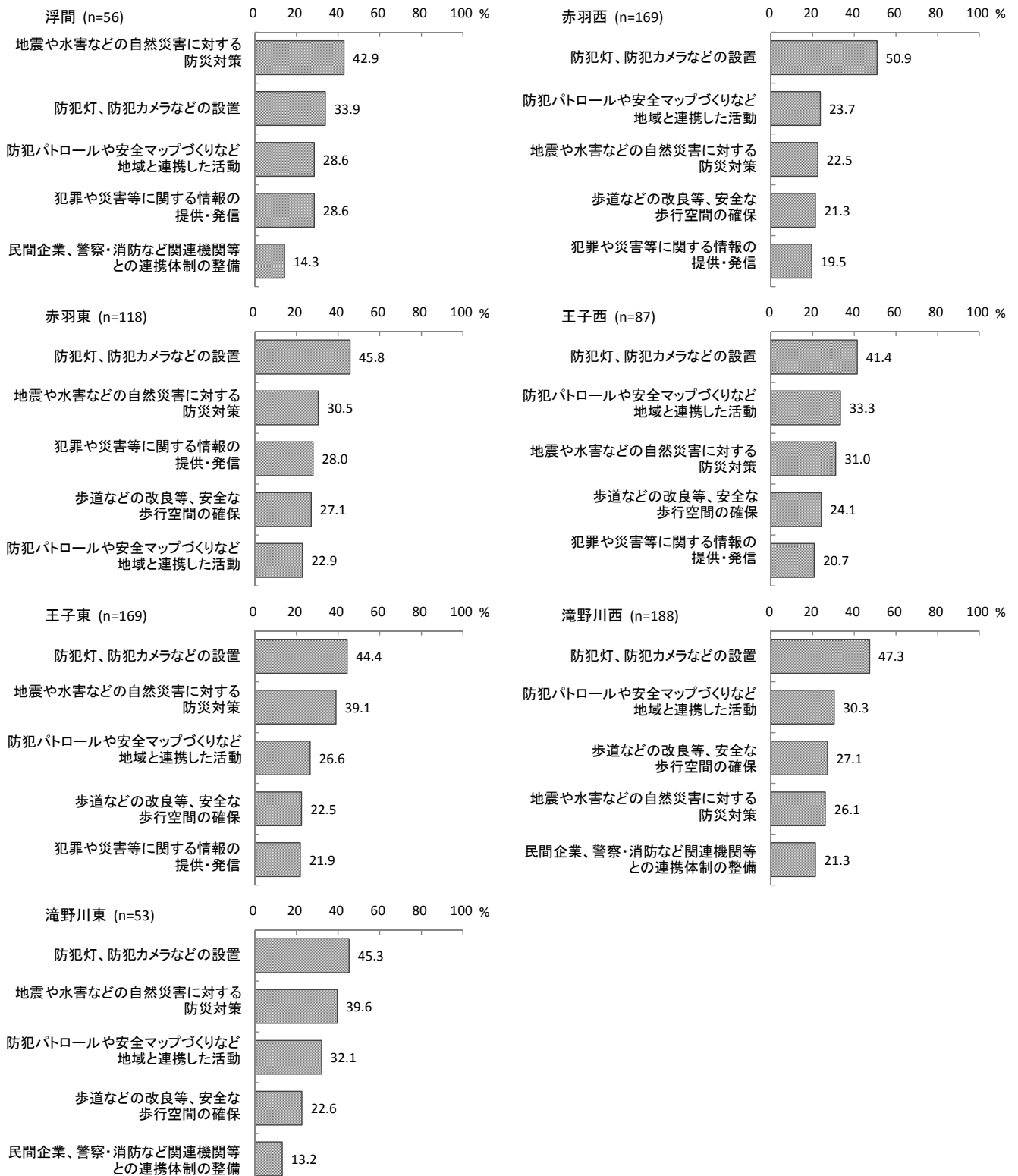
家族構成別でみると、全ての家族構成で「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が最も高くなっている。また、“その他”を除く全ての家族構成で「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」が第2位となっている。(図表9-3-3)

図表9-3-3 安心なまちづくりのための重点施策-家族構成別(上位5項目)



居住地区別でみると、浮間では「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」が最も高く、それ以外の地区では「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が最も高くなっている。(図表9-3-4)

図表9-3-4 安心なまちづくりのための重点施策-居住地区別(上位5項目)



(4) 安全なまちづくりのための重点施策

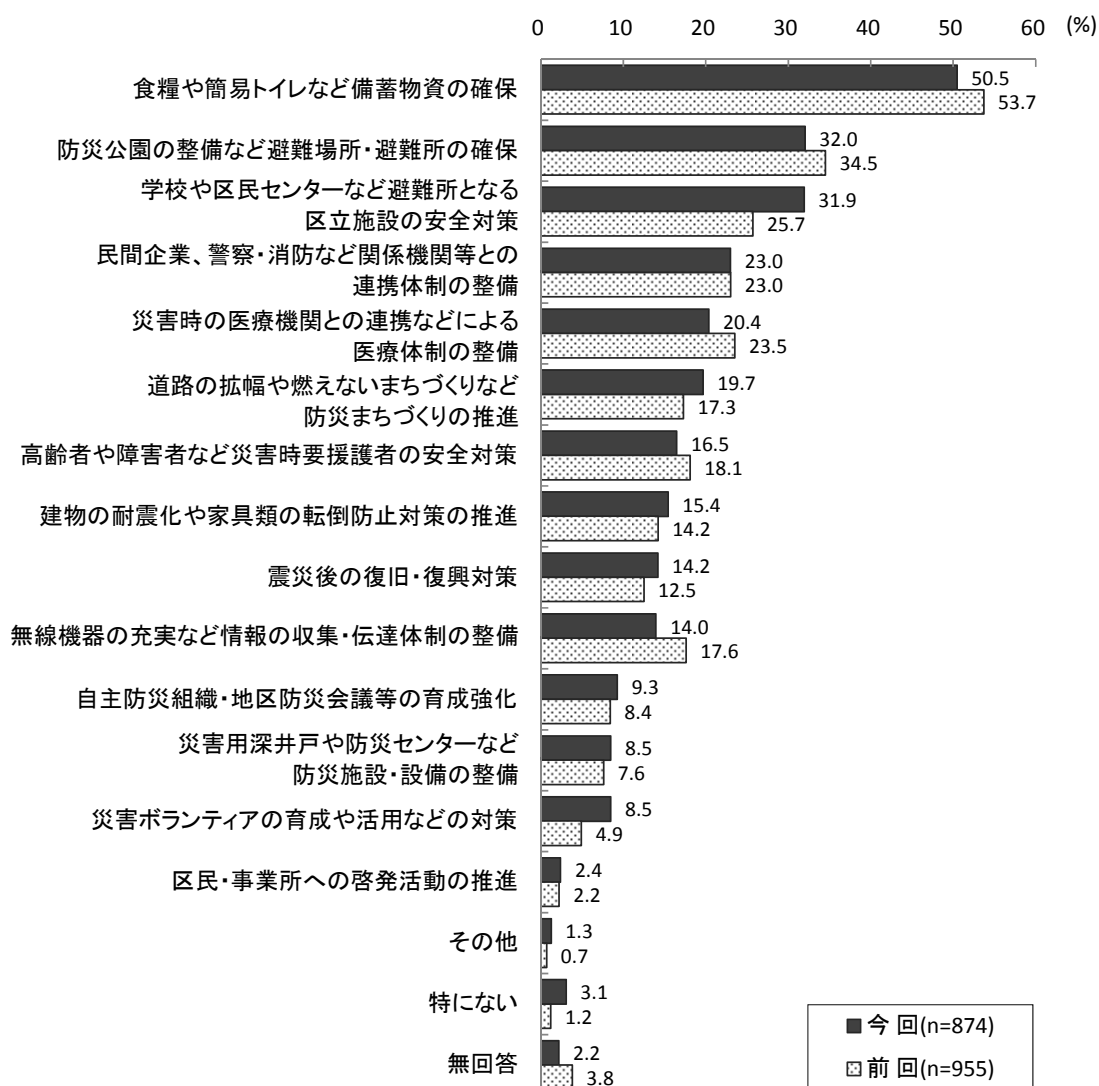
◇「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が5割を超える

問 36 地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」(50.5%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」(32.0%)、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」(31.9%)、「民間企業、警察・消防など関係機関等との連絡体制の整備」(23.0%)の順で続いている。

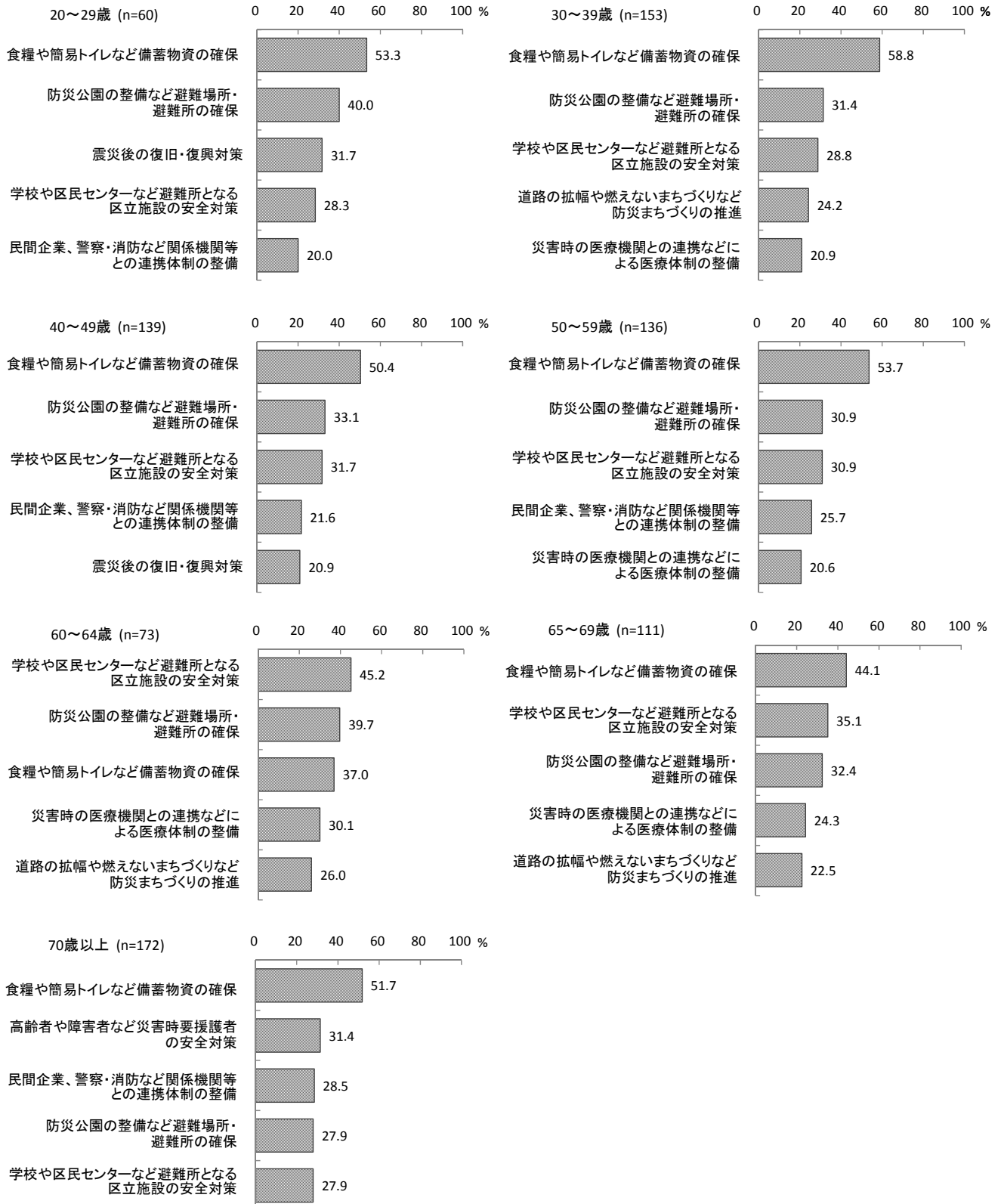
前回調査と比較すると、「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」が大きく増加している。(図表9-4-1)

図表9-4-1 安全なまちづくりのための重点施策



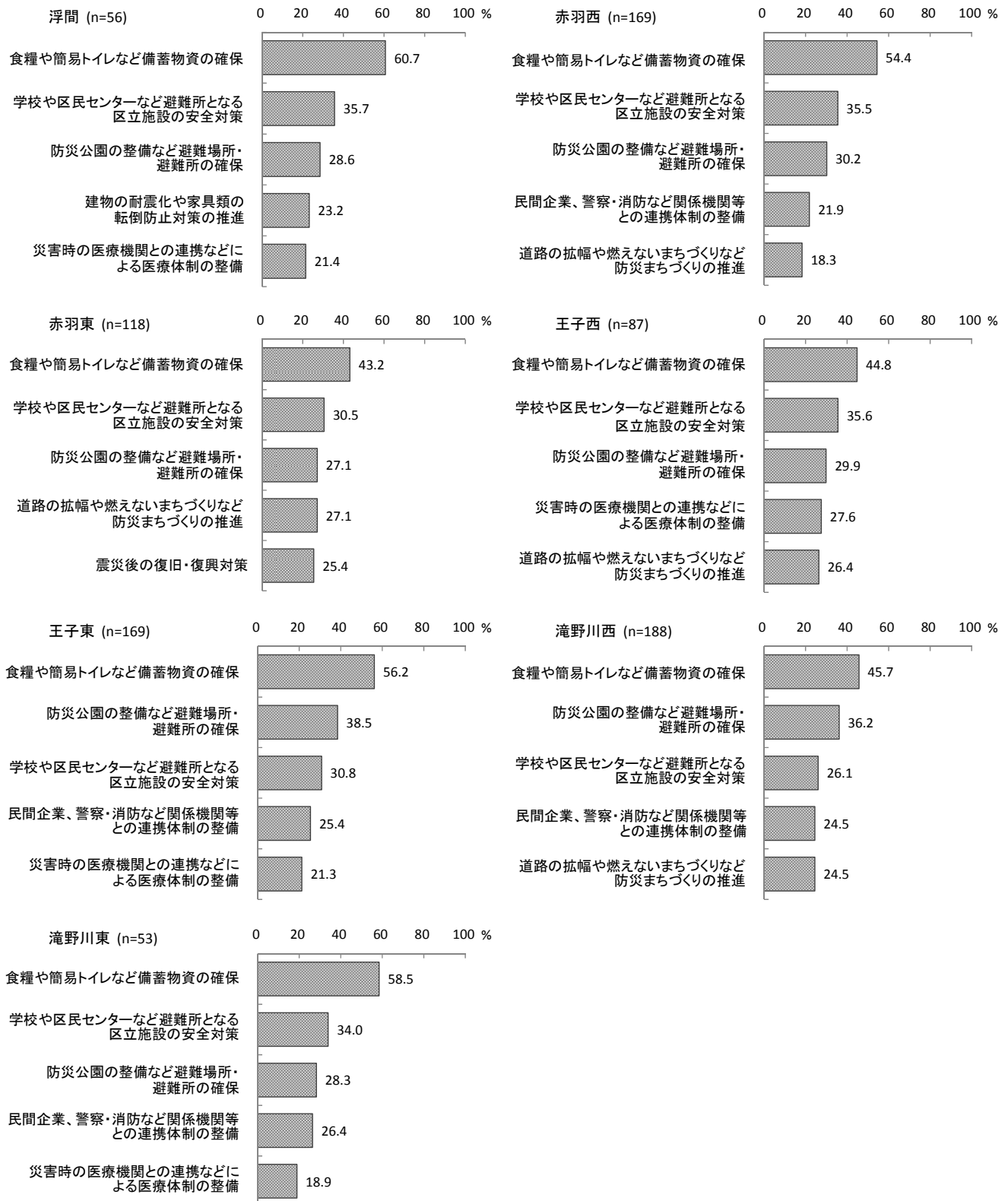
年齢別でみると、60～64歳で「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」が最も高くなっており、それ以外の年齢では「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が最も高くなっている。また、64歳以下の年齢では「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」が、同率を含め第2位となっている。（図表9-4-2）

図表9-4-2 安全なまちづくりのための重点施策-年齢別（上位5項目）



居住地区別でみると、全ての地区で「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が最も高くなっている。
 また、浮間、赤羽西、赤羽東、王子西、滝野川東では「学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策」、王子東、滝野川西では「防災公園の整備など避難場所・避難所の確保」がそれぞれ第2位となっている。(図表9-4-3)

図表9-4-3 安全なまちづくりのための重点施策-居住地区別(上位5項目)



10 北区の印象・将来像

(1) 区のイメージ

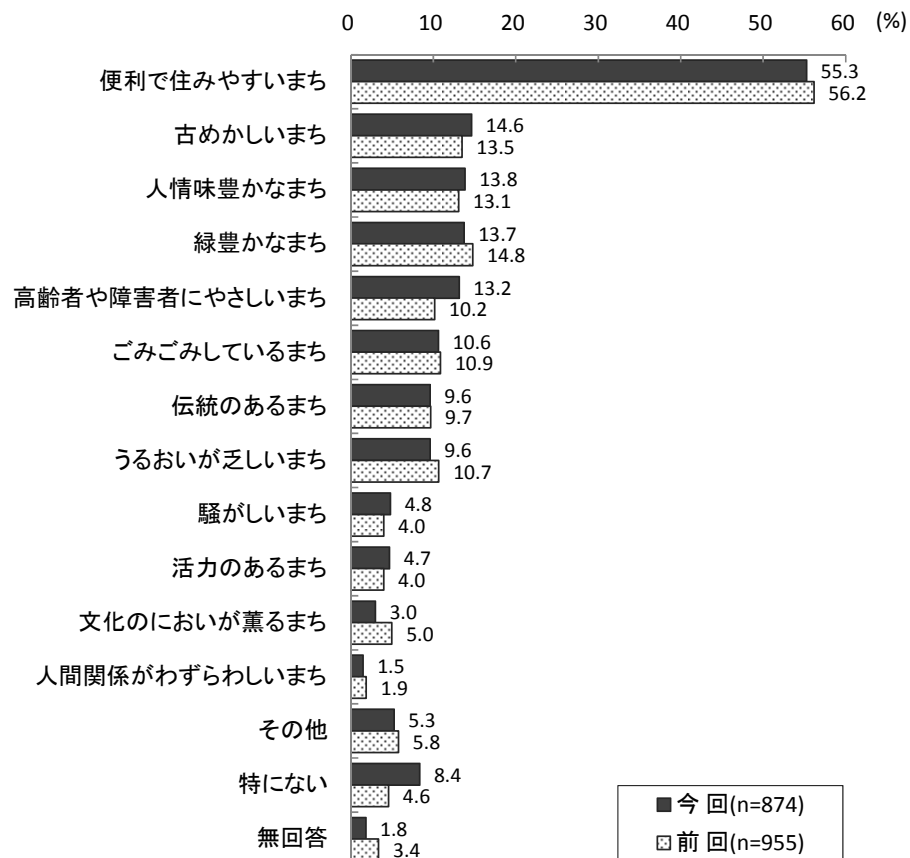
◇「便利で住みやすいまち」が5割半ば

問37 あなたは、現在の北区についてどのようなイメージを持っていますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

北区についてどのようなイメージを持っているかを聞いたところ、「便利で住みやすいまち」(55.3%)が5割半ばと突出して高くなっている。次いで、「古めかしいまち」(14.6%)、「人情味豊かなまち」(13.8%)「緑豊かなまち」(13.7%)の順が続いている。

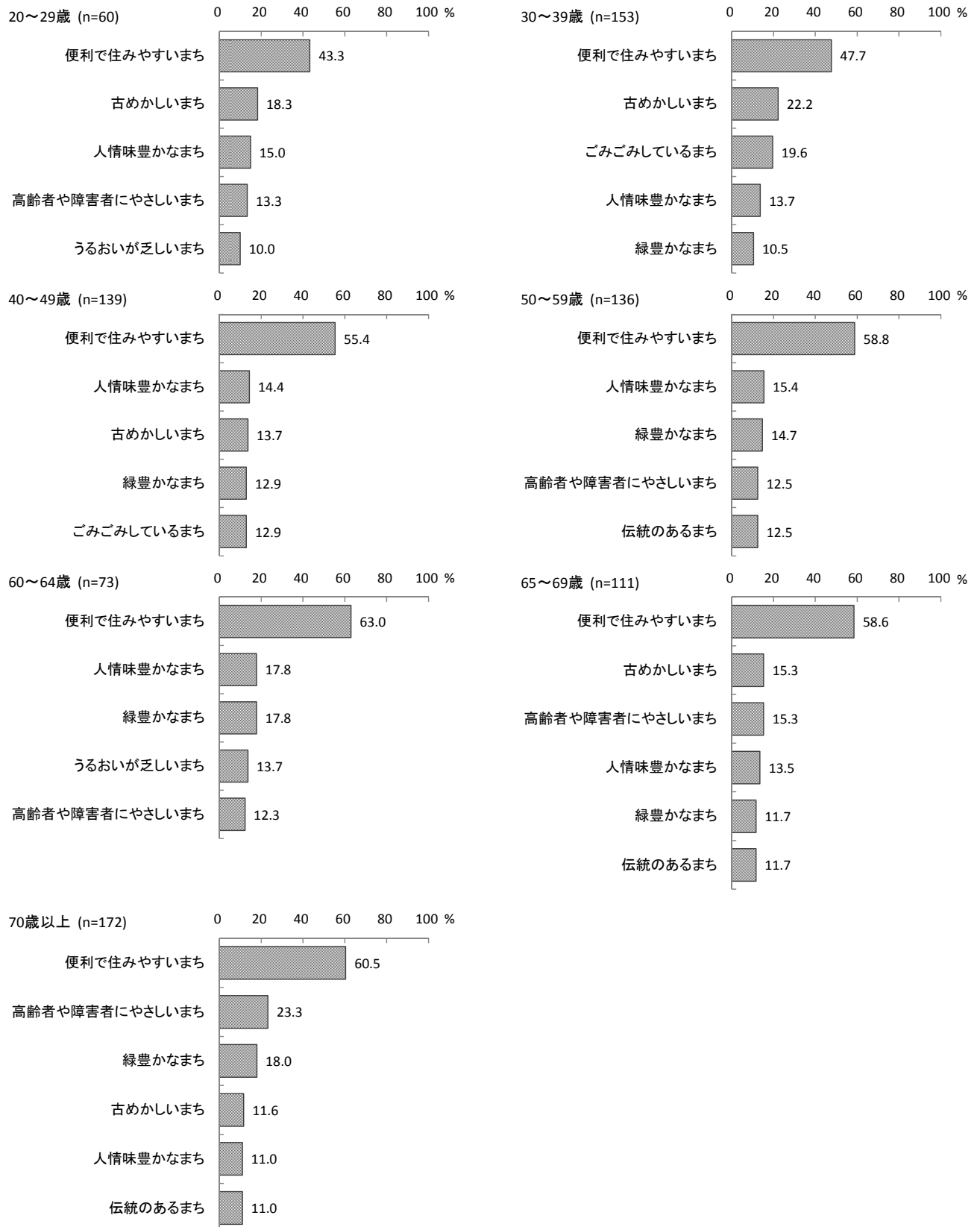
前回調査と比較すると、「特にない」、「高齢者や障害者にやさしいまち」、「古めかしいまち」などが増加している。(図表10-1-1)

図表 10-1-1 区のイメージ



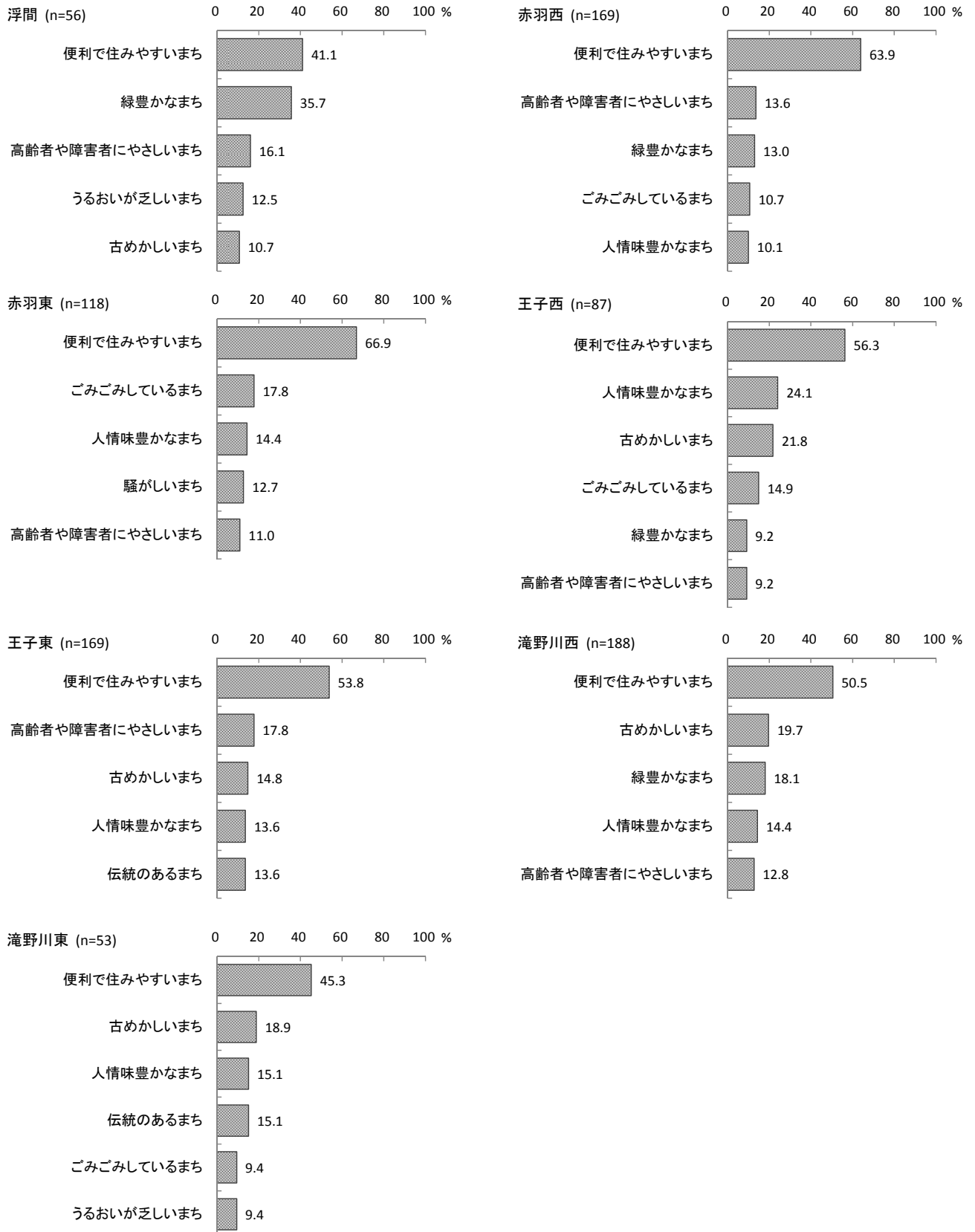
年齢別でみると、すべての年齢で「便利で住みやすいまち」が突出して高くなっている。(図表 10-1-2)

図表 10-1-2 区のイメージ-年齢別 (上位5項目)



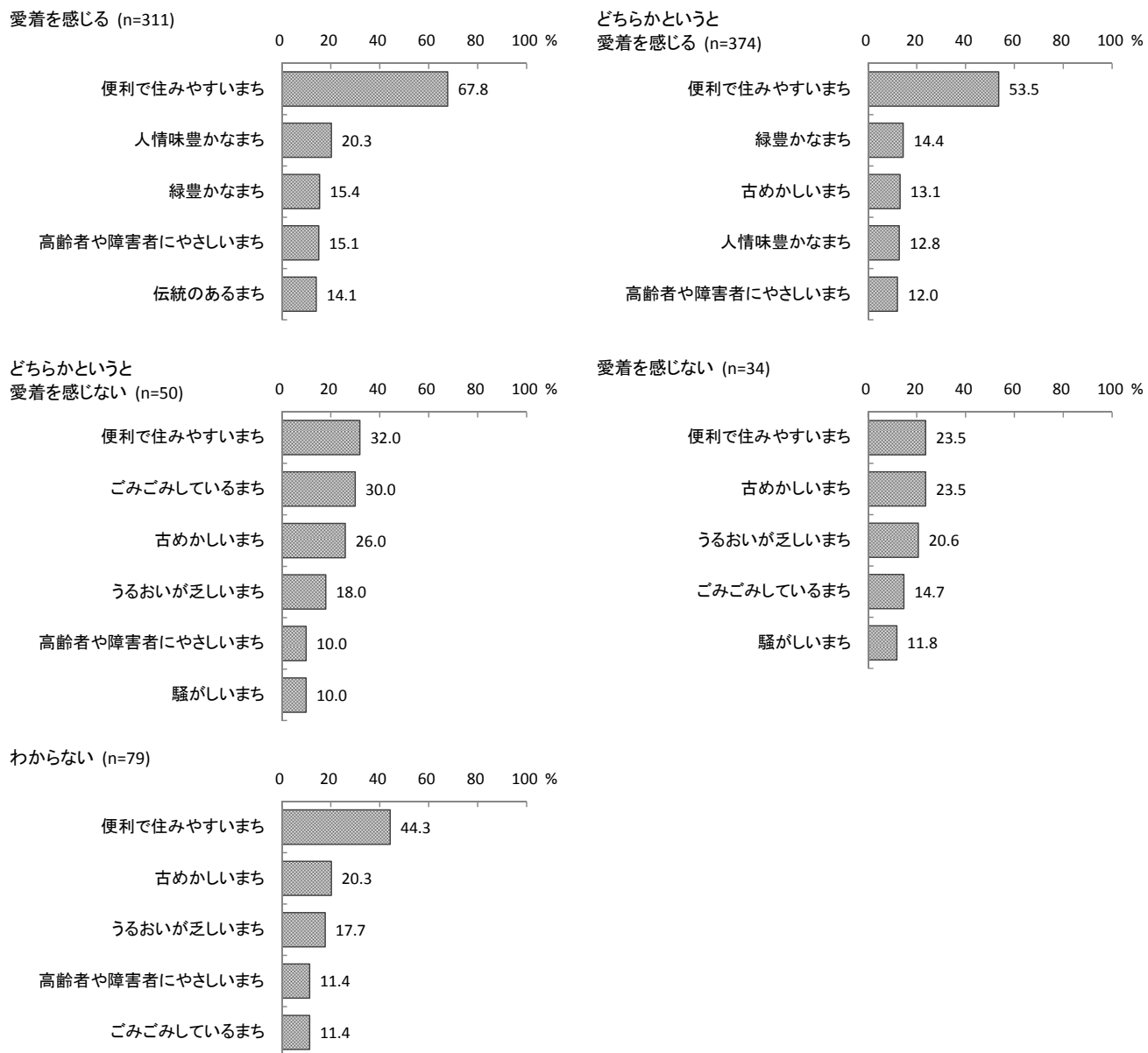
居住地区別でみると、すべての居住地区で「便利で住みやすいまち」が最も高くなっている。(図表10-1-3)

図表 10-1-3 区のイメージ-居住地区別 (上位5項目)



区への愛着度別でみると、“愛着を感じる”、“どちらかという愛着を感じる”、“どちらかという愛着を感じない”、“愛着を感じない”、“わからない”全てで「便利で住みやすいまち」が最も高くなっている。また、“愛着を感じない”では同率で「古めかしいまち」が最も高くなっており、愛着度が高くなるほど「便利ですみやすいまち」の割合が高くなっている。(図表 10-1-4)

図表 10-1-4 区のイメージ-区への愛着度別（上位5項目）



(2) 区の将来像

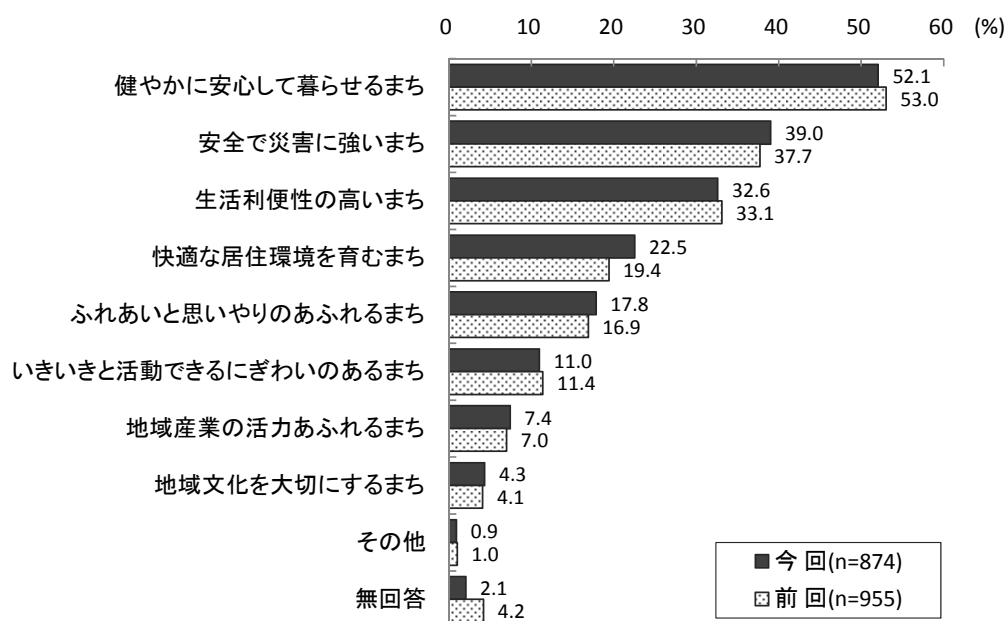
◇「健やかに安心して暮らせるまち」が5割を超える

問 38 あなたは、将来の北区はどのようなまちになれば良いと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

将来の北区はどのようなまちになれば良いと思うか聞いたところ、「健やかに安心して暮らせるまち」(52.1%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「安全で災害に強いまち」(39.0%)、「生活利便性の高いまち」(32.6%)、「快適な居住環境を育むまち」(22.5%)、「ふれあいと思いやりのあふれるまち」(17.8%)の順で続いている。

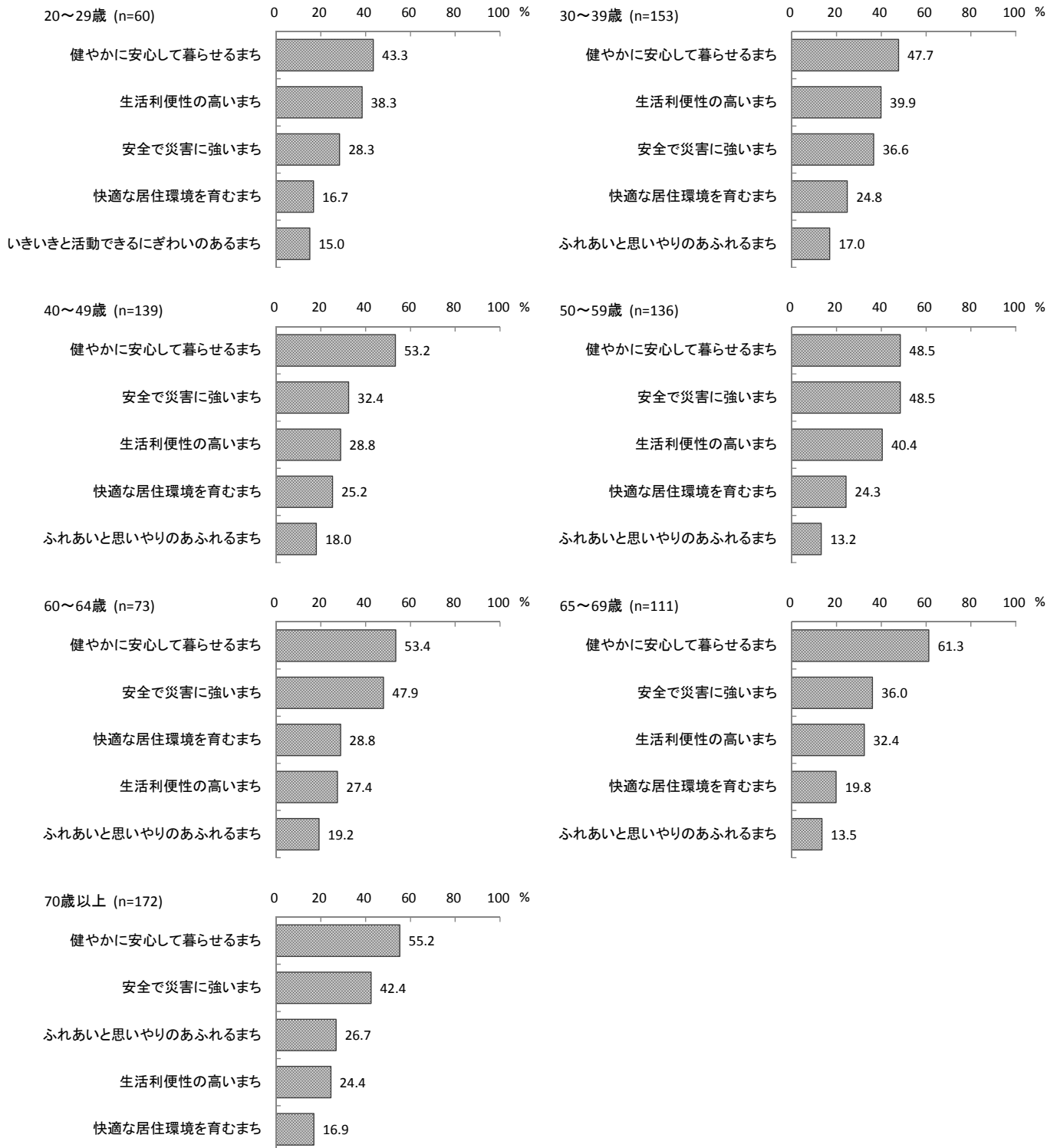
前回調査と比較すると、「快適な居住環境を育むまち」などが増加し、「生活利便性の高いまち」などが減少している。(図表 10-2-1)

図表 10-2-1 区の将来像



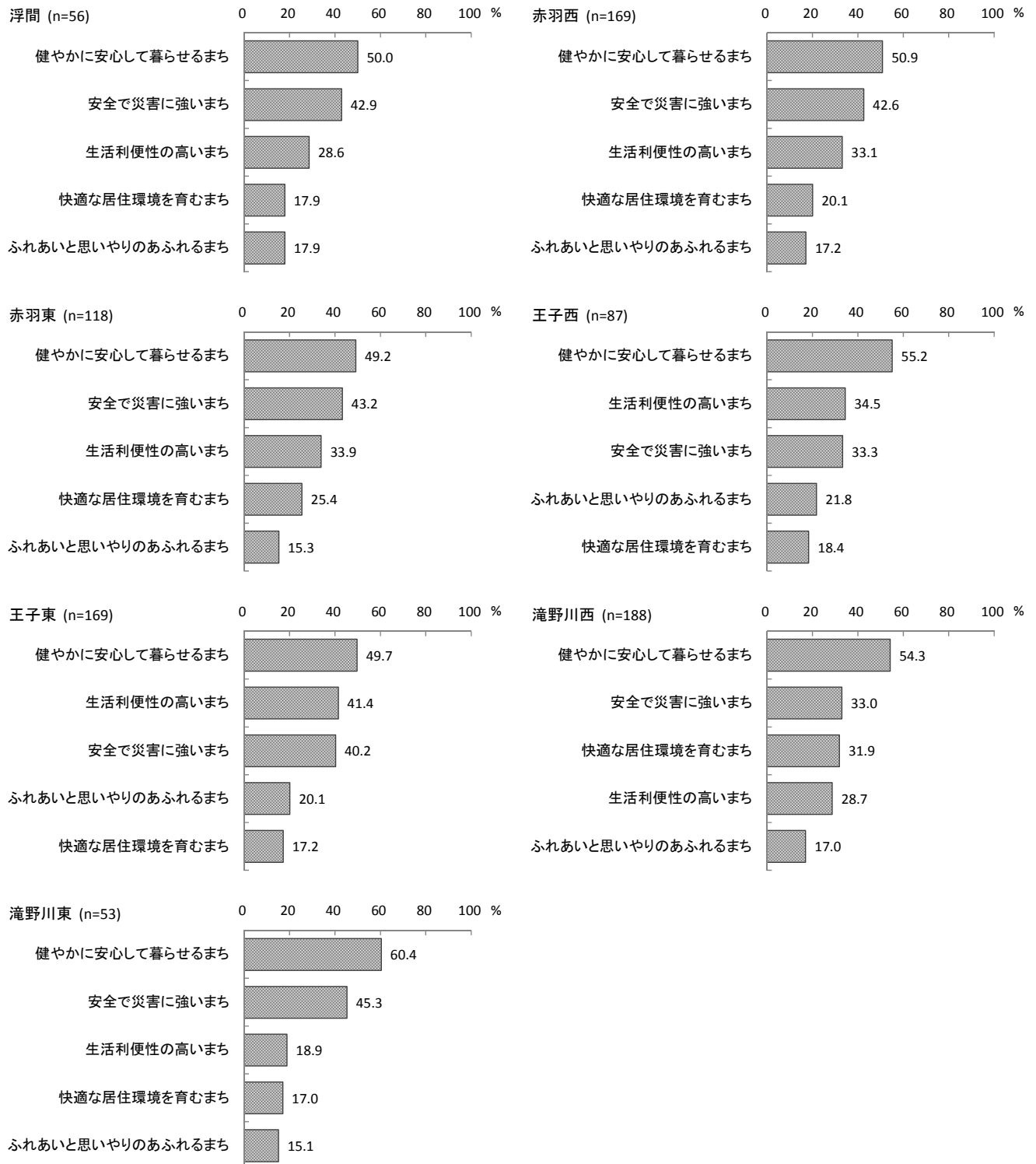
年齢別でみると、すべての年齢で「健やかに安心して暮らせるまち」が最も高くなっており、50～59歳では同率で「安全で災害に強いまち」も最も高くなっている。（図表 10-2-2）

図表 10-2-2 区の将来像-年齢別（上位5項目）



居住地区別でみると、すべての地区で「健やかに安心して暮らせるまち」が最も高くなっている。また、王子西、王子東では「生活利便性の高いまち」、それ以外の地区では「安全で災害に強いまち」がそれぞれ第2位となっている。(図表 10-2-3)

図表 10-2-3 区の将来像-居住地区別（上位5項目）



(3) 地域の将来像

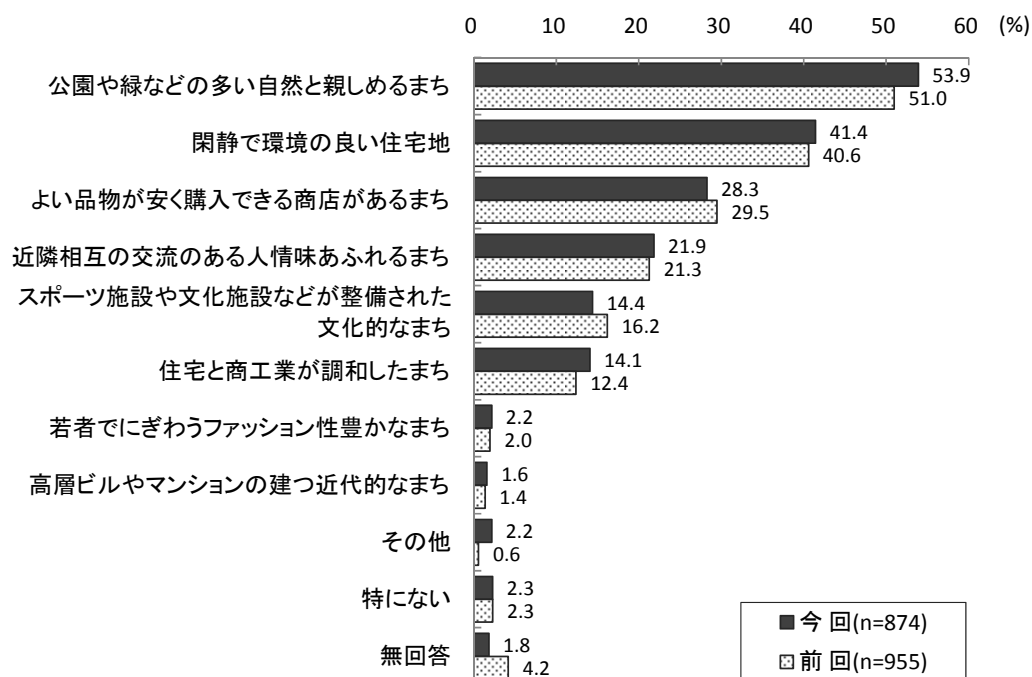
◇「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が5割を超える

問 39 あなたがお住まいになっている地域は、将来どのようなまちに発展していくことを期待しますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

居住地域が将来どのようなまちに発展していくことを期待するか聞いたところ、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」(53.9%)が5割を超え最も高くなっている。次いで、「閑静で環境の良い住宅地」(41.4%)、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」(28.3%)、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」(21.9%)、「スポーツ施設や文化施設などが整備された文化的なまち」(14.4%)の順で続いている。

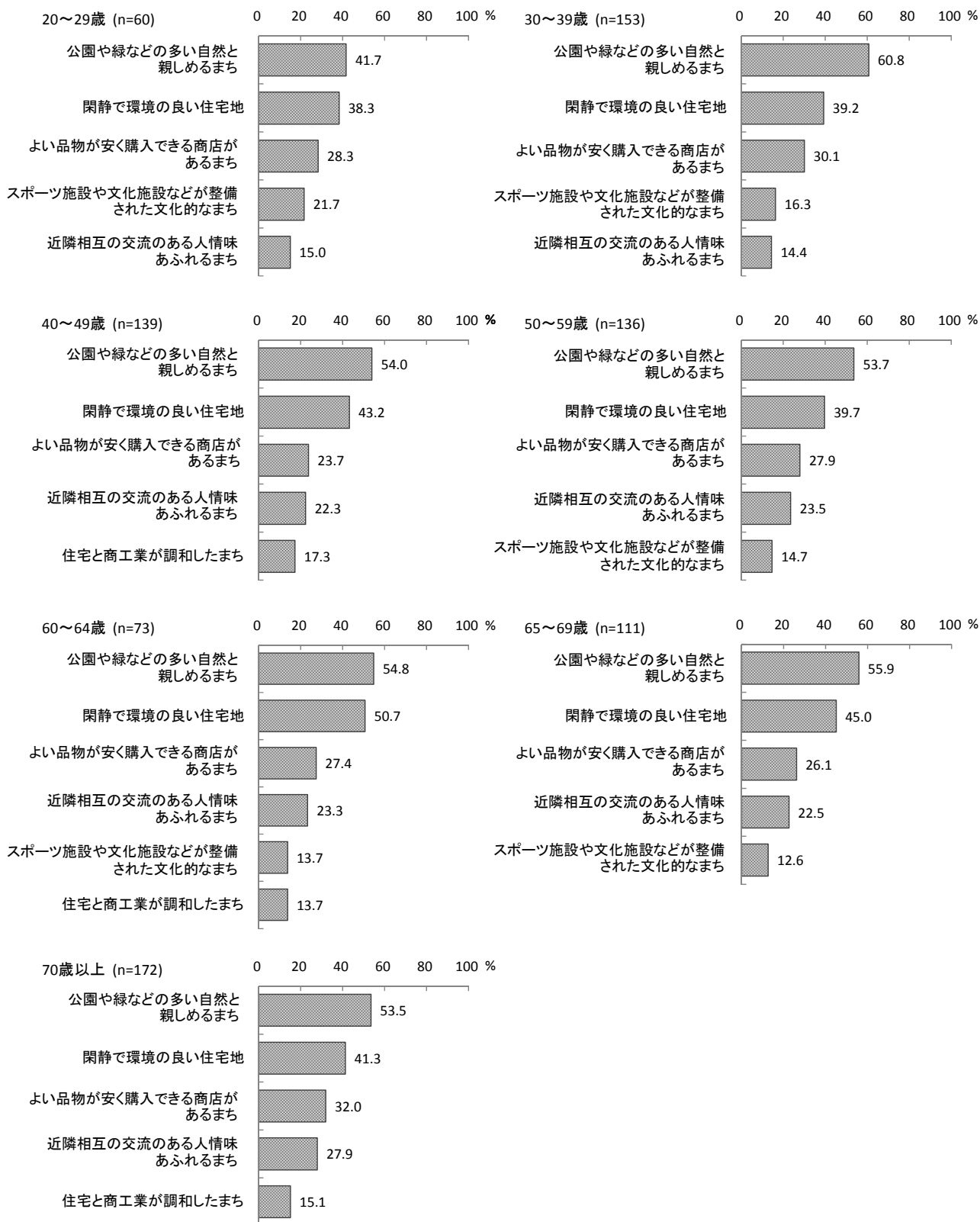
前回調査と比較すると、「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」、「近隣相互の交流のある人情味あふれるまち」などが増加している。(図表 10-3-1)

図表 10-3-1 地域の将来像



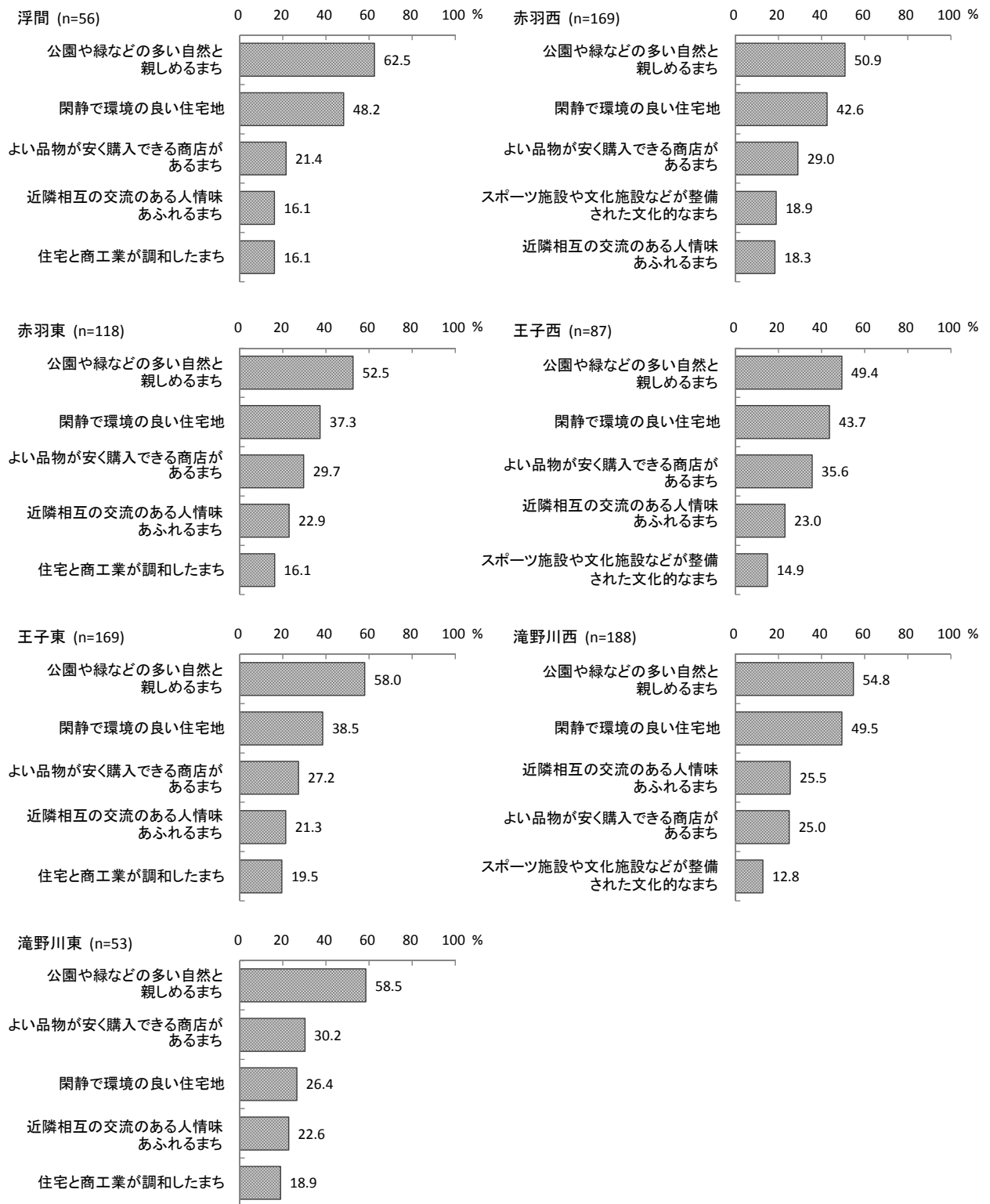
年齢別でみると、すべての年齢で「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」、「閑静で環境の良い住宅地」、「よい品物が安く購入できる商店があるまち」の順で高くなっている。(図表 10-3-2)

図表 10-3-2 地域の将来像-年齢別 (上位5項目)



居住地区別でみると、すべての地区で「公園や緑などの多い自然と親しめるまち」が最も高くなっており、滝野川東が「よい品物が安く購入できる商店があるまち」、その他の地区が「閑静で環境の良い住宅地」とそれぞれ第2位となっている。(図表 10-3-3)

図表 10-3-3 地域の将来像-居住地区別（上位5項目）



(4) 区のイメージアップ施策

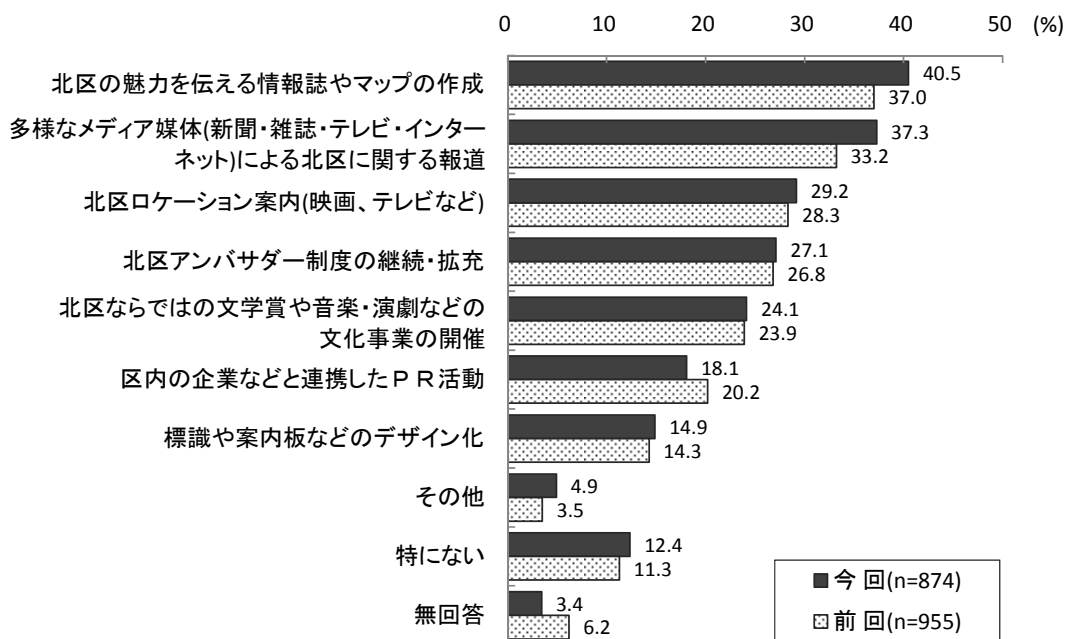
◇「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」が4割を超える

問 40 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思うか聞いたところ、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」(40.5%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「多様なメディア媒体(新聞・雑誌・テレビ・インターネット)による北区に関する報道」(37.3%)、「北区ロケーション案内(映画、テレビなど)」(29.2%)、「北区アンバサダー制度の継続・拡充」(27.1%)、「北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催」(24.1%)の順で続いている。

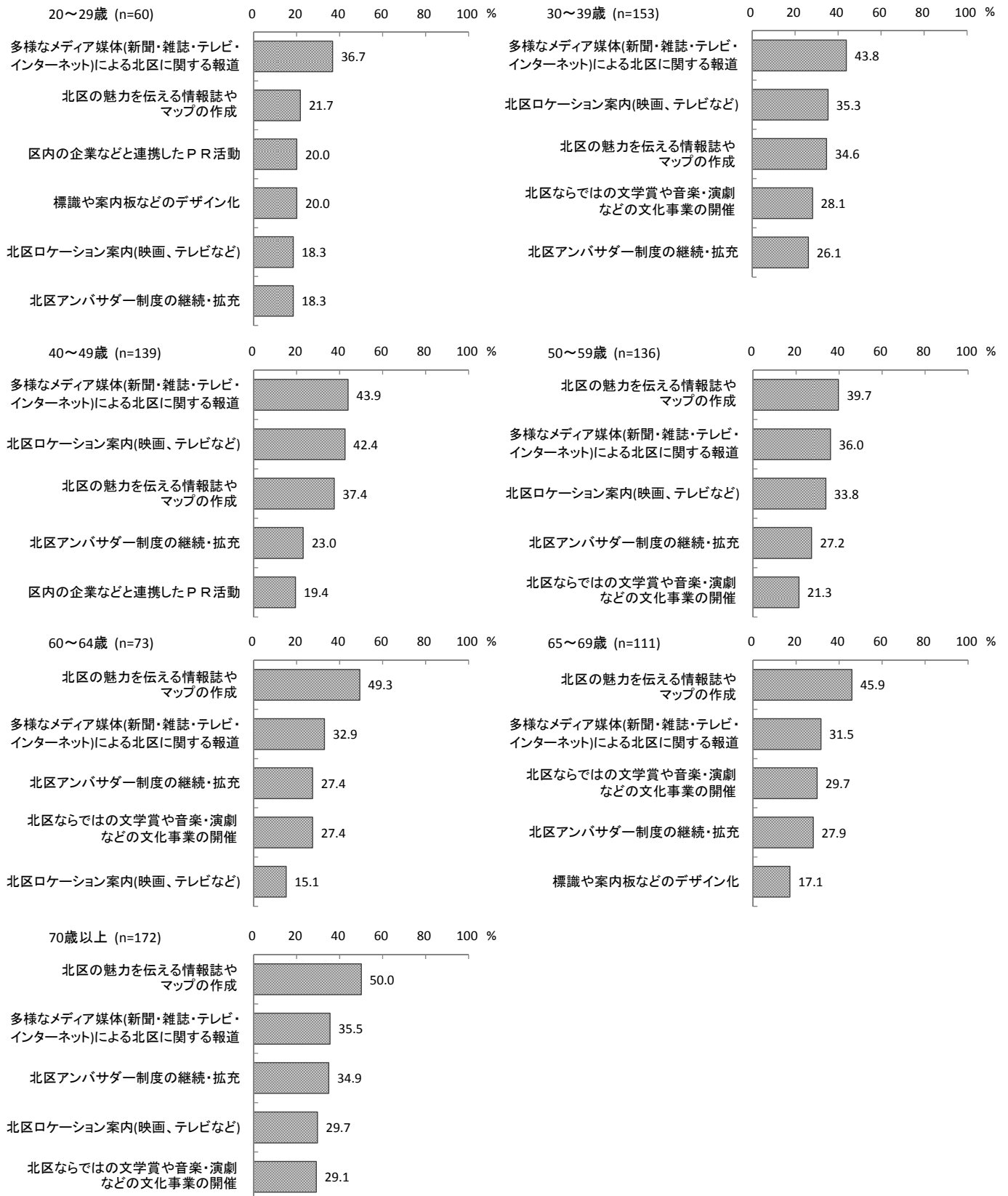
前回調査と比較すると、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」、「多様なメディア媒体(新聞・雑誌・テレビ・インターネット)による北区に関する報道」などが増加している。(図表 10-4-1)

図表 10-4-1 区のイメージアップ施策



年齢別でみると、49歳以下の年齢では「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット）による北区に関する報道」、50歳以上の年齢では「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成」が最も高くなっている。（図表 10-4-2）

図表 10-4-2 区のイメージアップ施策-年齢別（上位5項目）



11 自由回答

区政に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政に対するご意見・ご要望を自由に記述していただいたところ、262人（全体の30.0%）から延べ392件の回答が寄せられた（外国籍の方の意見も含む）。以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、「生活環境（38件）」、「まちづくりの方向（35件）」、「子育て・児童・青少年（26件）」、「道路・駐車・駐輪場（24件）」、「施設整備（24件）」に関する意見が多く寄せられた。

なお、次ページ以降の【自由回答の記述】は、原文のまま抜粋して掲載している。

各自由回答の記述の後の【 】内の数字は、類似の意見の件数である。

分類項目	件数
1 保健・医療	7
2 高齢者・障害者福祉	11
3 子育て・児童・青少年	26
4 産業振興	14
5 区民参加・地域コミュニティ	6
6 文化・生涯学習	2
7 教育	8
8 まちづくりの方向	35
9 土地利用	3
10 市街地整備	16
11 防犯・防災	16
12 区政情報	13
13 道路・駐車・駐輪場	24
14 住宅	7
15 交通環境	19
16 生活環境	38
17 公園・緑化	11
18 ごみ減量・リサイクル	1
19 施設整備	24
20 施設利用	9
21 イメージアップ対策	7
22 行政改革・議会改革	16
23 職員の対応	10
24 アンケートについて	21
25 その他	46
26 外国籍の方の意見・要望	2
回答者数	392

※意見が複数の項目にあてはまる場合、それぞれの分類項目に振り分けて件数をカウントしています。そのため回答者数が262件を超えています。

【自由回答の記述】

■保健・医療

- ・ 医療関係で認知症患者の徘徊を放置しすぎている気がします。
- ・ 医療機関をどうにかして欲しい、遠すぎます・・・。総合病院がなさすぎ。【4件】
- ・ 個人の病気予防、区の医療費（介護費）抑制するため、健康増進センター他 区の健康推進施設の充実を図る。
- ・ 高校生の子どもがおります。中学3年までは医療費の負担がなく、医師の診断をうけられましたが、高校生は対象外のため、少々不便です。体も丈夫になり、乳幼児とくらべると医師を必要とする機会も少なく、市販の薬でも可能といってしまうかもしれませんが、まだまだ子ども。ぜひとも高校卒業まで医療費の補助があると助かります。

■高齢者・障害者福祉

- ・ 税金を福祉の充実に活かして下さい。高齢者、障がい者（児）、児童が健やかに、安心して住める制度の拡充をよろしくお願いします。【7件】
- ・ 今の仕事、もう少しで定年になりますが、其の後、年金の受給資格もありません。預金も無く生活保護を申請すると思います。一人身なので先々不安ですが簡単に受給できる様お願い致します。【2件】
- ・ 自分自身が障害者のために、常に不安はある。行政、特に福祉課からの連絡を密に取って欲しい。現在は手当てなどに関する支給がある時に申請書のみ送られてくるのみで、障害者と福祉課との密接なつながりが欲しい。障害福祉課は常に障害者各自を把握していなければならない。一年に一度の受給者証の更新の際の調査のみに終わっている。日常生活のことは知ろうともしない。せめて民生委員の活動が意味あるものであって欲しい。（福祉課の職員で手が回らないなら）【2件】

■子育て・児童・青少年

- ・ 保育園の増加を推進しているのは感じるが、0～2歳までの受入れから次の保育園（3～6歳）を探す事は大変な負担である。0～6歳の受入れ可能な保育園を本腰を入れて増やして欲しい。【9件】
- ・ 子育てへの不安があります（補助金、保育園、住環境）。特に住むところは周りに迷惑がかからずある程度広い住まいを希望しますが、現在の収入ですと無理をしないとできないかと思います。多少の補助がありますと安心できると思います。また、保育園や公園など子供の居場所がもう少しあるといいかなと思います。【6件】
- ・ 幼児教育の充実（0歳児向けが多い）。2～3歳児向けが少ない。【2件】
- ・ 若い夫婦に人気のまちなにする為には、幼稚園無償化、幼稚園の時間延長、保育の充実が必要。【2件】
- ・ 年配者より、未来ある子育て世帯にもっと支援を。【6件】
- ・ 保育園・学童のNPOの廃止。公務員の先生の方が保育・学童の内容が良かったですし、人柄も安心できるものでした。卒園してからも小学校の運動会に見に来て下さいます。先生方にかかる人件費は必要経費だと思います。

■産業振興

- ・ 商店街を応援して欲しい。みなさんととても魅力的で頑張っています。高齢化でやめてしまったり、住宅に変わってしまうのが残念。昭和の風情を残して観光客を呼んで欲しいです。
【7件】
- ・ 赤羽の一番街、あの街並は何でしょう。古くからある店は数える程。現在は得体の知れない飲み屋ばかりで全く親しみを感じないし、赤羽らしい魅力がなくなり足が向きません。自身子供の頃から馴染んだ街なので残念でなりません。もっと買物を楽しめる様な店舗作りを強く望みます。【2件】
- ・ 区内の中小企業が手を結び、得意分野をもち、紹介し、夢のあるイベントをやれるとよい。例. 下町ロケット江戸っ子1号など。葛飾区、大田区のように。【3件】
- ・ ショッピングモールを誘致してほしい。【2件】

■区民参加・地域コミュニティ

- ・ マンション、集合住宅に住むファミリーが、地域活動、ボランティアに参加していない。町内会の活動にもっと参加するよう呼びかけてほしい。町内会活動している方々のほとんどが高齢者である中、将来が不安です。【4件】
- ・ 児童、生徒に対する自治会のイベントを充実させたい。魅力あるイベントを開催し、住民と自治会の距離を縮め、自治会の活性化を図りたい。地域の問題や課題を解決するためには、コミュニティ活動の充実が欠かせない。【2件】

■文化・生涯学習

- ・ 北区は戦争中、色々なものを作っていた所なので、もっと本や雑誌を発刊し、地域に提示して、歴史を勉強できる所とするとよい。その近くには、店など記念品を出するとよい（大砲の玉、軍服、防空壕）。
- ・ 北区独自でアイデアを出しあうグループを募集し、それぞれの分野に分かれて月1回を守り、期間限定で開発をする。年齢は20代～70代まで。研究・開発に力を入れていくことが重要である。

■教育

- ・ ゆとり教育ではなく、しっかりと学問を教える教育体系の確立を求めます。【2件】
- ・ まず弱い人の身になって、行政を進めてほしい。高校までは無料にしてほしい。貧しいゆえに勉強がおろそかになってはいけないと思う。是非これは実現してほしいと切にお願いします。【3件】
- ・ 最近、外国人も増えてきているので、英会話の教育にもっと力を入れた方が、絶対に良いと思う。日本人は英会話がヘタすぎる。北区で率先して英会話教育に力を入れてはどうかと思う。英会話は、日本人の教師から習うのではなく、ネイティブから習うべき！【2件】
- ・ 様々な政策にボランティアが必要と思われるが、ボランティアをコーディネートできる職員又は区民を育てて欲しい。

■まちづくりの方向

- ・ 「住めば、北区東京。」 「長生きするなら北区が一番」 「子育てするなら北区が一番」のタイトルに負けない政策を展開して下さい。【21件】
- ・ 赤羽はとても便利で住みやすい場所です（交通の便良し、日々の買い物も便利）。ただ、北区のイメージがまわりにあまり良くないのが残念です。“特に特長のない区”として“ダサイ”イメージがついています。急に“カッコイイ”区には変わらないので、せめて“住みやすい区”の環境を整備してアピールしていくことが大切だと思います。【4件】
- ・ 区内全域で禁煙にして違反者は罰金をとるようにしてほしい。オリンピック、パラリンピックに向けて世界に対して恥ずかしくないまちにしていってほしい。【6件】
- ・ 人だけではなく動植物にも優しく育ちやすい環境の北区作りをお願いします。【2件】
- ・ 北区が災害に強く、住みよい、文化的なまちになることを願っております。【2件】

■土地利用

- ・ 区民に貸し出せる区民農園を作してほしい。中央公園や赤羽自然公園など大きい公園の一部を改革して、農園にすればよいのではないかと思う。貸し出すことで、区の財政になる。【2件】
- ・ JRと駅、高架下の活用。駅内保育園や図書館など。

■市街地整備

- ・ 王子駅周辺は、雑多な感じで、清潔感、環境の美しさが乏しい気がします。【7件】
- ・ 路地の街灯を増やしてほしいです。【4件】
- ・ 王子駅周辺のまちづくり、再開発のスピードUP。（商業、大学、企業の招致、ほか治安、風紀の改善）緑のある公園は充実しているがその資源を生かしつつ飛鳥山公園で、マルシェやフリーマーケットなどの集客につながるイベントを毎週開催するなど、人が集い（若い世代も）楽しくすごせる場の創出が必要。また大学の招致など若者、若い現役世代を取り入れる（流入）する施策が必要。【4件】
- ・ とにかく地震が一番心配です。老朽化した歩道橋は撤去した方がよいと思います。

■防犯・防災

- ・ 王子でたまにケンカやからまれている人を見かけます。また田端新町の方では暗く少し怖いイメージがあり、もう少しきれいに明るくなるといいなと思います。【7件】
- ・ 十条の町会の試み。地域防災の専門家を呼んでシミュレーションをし、それを元に町会で避難訓練をやり、多くの問題点を学んでいた（夕方のニュースで取り上げられていたのを見ました）。【7件】
- ・ 事件が起こったり犯人が逃げている時などアナウンスして下さい。近所で何かあっても知らずにいる事があり、不安です。【2件】

■区政情報

- ・北区ニュースは便利でありがたいです。今の時代、情報はインターネットなどで配信され、自分から情報を探しに行かなければ得ることができません。また、スマートフォンやインターネットなどのツールを持っていなければ浦島太郎状態です。いずれ時が過ぎ若い人達の時代になればそれでもかまいませんが、まだまだアナログ世代がいる状況では、情報の発信の方法も従来通りのものを続けてほしいです。【7件】
- ・飛鳥山公園のイベント情報を北区のHPで公開して欲しいです。近くに居るのに音はすれど何をやっているか分からないし、後で参加したかったイベントだったのを知ってガッカリすること多々。【2件】
- ・情報公開がわかりづらい（ネット）。【4件】

■道路・駐車・駐輪場

- ・法改正があり、自転車は車道を走行しますが、歩道に植えてある植木が走行の邪魔ですし、事故の元になります。景観と言っても、植込みの下などは、吸い殻や空き缶・ゴミなどのたまり場で、美化活動をして心がけても無理があります。歩道を拡充しても、違法駐輪につながるかもしれませんが、課題として思案して頂けると幸いです。【6件】
- ・赤羽駅近くに住んでいます。車イス使用で、母（96才）の介護をしています。一日に一回は、外に買い物に行ったりするのを楽しみにしている母です。しかし、どの道を選んでも、背が痛い、お尻が痛いと言います。押すほうも気をつけて押すせいか、手、腕が疲れます。歩道の傾斜、デコボコ、どうにかなりませんか。【2件】
- ・赤羽駅周辺の放置自転車をゼロにするために、不足している自転車置き場を増設するとともに、監視員を常駐させて自転車を放置させないように促したり、放置自転車を積極的に移動させて欲しいと思います。【11件】
- ・83号線道路拡張について。立ち退き後の家を取り壊した後、アスファルトを敷きつめる、その後また掘り返して発掘調査をし、またアスファルトを敷く、というとてもムダな工事が目立ちます。一度で済むようであれば余計な費用も減ると思います。83号線に限ったことではないでしょう。又、道路があちこち穴だらけなので、職員は日頃から調査をし、補修すべきところはどんどん進めて行ってほしいです。道路状態の悪さは街の印象に直結しています。【5件】

■住宅

- ・空き家対策をお願いします。許可がないと元栓を閉められないなど…不安です。【5件】
- ・北区に限らず、人口構成がどんどん変わっているように聞いています。公営の集団住宅などの廃棄も含め、再構築・再利用も考えることになるのでしょうか。
- ・地盤が弱い所に家があります。更に電柱が家の両側に立っているので地震の時に不安です。他の所でも書きましたが、電柱を地中に埋める方式を取っていただけたら安心です。狭い道路も広く使えます。ぜひお願いします。

■交通環境

- ・ 岸町2丁目に住んでおります。大踏切があり、毎朝毎晩通るのですが、開かずの踏切のため20分くらい開きません。朝出勤の時は遅刻してしまうので、しかたなく地下道を通っていますが帰りは疲れていることもあり、毎回待っています。丁度ラッシュの時に京浜東北線は本数も多いので15~20分待つことはよくあります。十条駅は立体交差予定だそうですが、こちらと同じようにやっていただければと思います。線路が6~8本あるため本当に開きません。線路があるおかげでストレスが多いです。不便です。地下道にエレベータ（歩く歩道）をつけるなどもう少し対策をしてほしいです。地下道を重い自転車を持って下って上がるのはすごく大変です。よろしくお願いします。【2件】
- ・ 区は関係ないのかもしれませんが、ララガーデン、自転車走行禁止の時間帯、普通に自転車が走っていて危ないです。他の区の商店街は、注意する係のような人がいるのですが、こちらはないのでしょうか。【5件】
- ・ 北区は鉄道が充実しているが、バスは本数の多い一部の道路と、そうでない地域の差が激しいので、そのような地域にコミュニティバスを走らせてほしい。【8件】
- ・ 王子2丁目の北本通り裏の線路沿いの道路、裏道なこともあり、かなりのスピードで車が行き交っています。北とびあ裏は先の見えない急カーブもあり危険な思いを何度もしていますが、歩道に柵などもなく信号もありません。早急に整備をお願いしたいです。【4件】

■生活環境

- ・ 現住所が北区と豊島区の間にあります。駅前の深夜の騒音が多すぎて眠れない日もあります。深夜の風紀、防犯の改善を要望します。【2件】
- ・ 外国の方を私の周りに多く見ます。マナー等ができていない方がいますので、マナー等について外国語（中国、ハングル、英語）でわかるようにしてください。【4件】
- ・ 猫のふん問題で困っています。猫対策して下さい。【8件】
- ・ 防犯のためのカメラ設置を進める。路上喫煙など軽微な違反を見過ごし、放置すると犯罪が増える。「この地区は厳しい」「北区はしっかりしている」と感じさせる日常の行政が重要。【15件】
- ・ 住まいが北区のはずれに位置しているので色々な施設が近隣にないのが少し不満に思う。【4件】
- ・ 日常生活が平穏に送れるように、各種サービス等の環境整備を進めていただければよろしいかと思えます。新奇な事業、耳目を引くような改革等は特に望んでおりません。【5件】

■公園・緑化

- ・ 田端地域の公園施設をもう少し充実させてほしい。赤羽、王子あたりとの差がありすぎるので平等にお願いします。【3件】
- ・ 赤羽公園の整備、遊具の点検をしてほしい。すべり台のボルトがはずれていた。ベンチや設備が古くて汚らしい。【2件】
- ・ 十分に四季を感じられる緑、植物をもっと増やしてほしい。【5件】

■ごみ減量・リサイクル

- ・ リサイクルをもっと進めてほしい。「燃えないゴミ」に分類される時計やPC 関連用品は「都市鉱山」と言われます。PC 本体等はリサイクル法で業者に引き取ってもらえますが、その他の金属、レアメタルを含んでいそうなものはリサイクルボックス等を区の施設に設置して回収されたいと思います。

■施設整備

- ・ 熊本地震を受けて、現在の区役所では災害時に何かしらの問題が発生する確率が高いと思うので、建て替えの検討や計画の具現化、そして計画の実行へと早急に移行してもらいたい。【9 件】
- ・ 総合スポーツ及び文化施設(ダンススタジオ)、各地区に建ててほしい。【2 件】
- ・ 図書館を作ってほしい。他の地域や他区にまで借りに行かなくては行けないので不便。他区の人、他県の人に図書館がないのと馬鹿にされました。【2 件】
- ・ 東十条駅南口にエスカレーターをつけて欲しい。【3 件】
- ・ 隣の区などを散歩して思うのだが、公園などの公共施設やその中にある公共設備がいろいろな年代の人々に不便の無い様に、役に立つように作られていて、区民に寄り添った業務を行っているなど感じる。建物改築などの前にやる事は沢山あると思うが？【4 件】
- ・ 北区で出産してみて、子育て支援が充実していると感じた。でも、子育て世代向けのお店が少ない。飲み屋ばかり。子供服やパン、ケーキ屋、ランチ(子連れで)できる店が増えれば子育て世代が定住するのでは。【2 件】

■施設利用

- ・ 区役所が混みすぎていて、利用しにくい。【5 件】
- ・ 区民センターやスポーツ施設の料金が高く、設備が乏しい(体操マットやエヴァーマット、ロイター板等)。【2 件】
- ・ 中央図書館が娯楽施設化しているのが残念である。調べ物や自己研鑽のための図書館に、DVD の視聴スペースは不要で、ふれあい館などで行う方が良い。その分スペースに、増えるいっぽうの本を置く書棚を設置するとか、読書できる椅子や机を置く方が良い。【2 件】

■イメージアップ対策

- ・ 北区は高齢者ばかりが住んでいるイメージが強く、テレビなどで視聴者に印象づけられるのは超高齢者の団地か、朝から 1,000 円で飲み続けている常飲酒者の映像がほとんど。区としてももう少し別の北区の魅力を戦略的にアピールする努力が必要なのでは？映像イメージは良くも悪くも効率的に拡散するので、北区の暗い印象をなくしてほしい。【6 件】

■行政改革・議会改革

- ・ 区議会委員の方々は党の規約にとらわれず、自己の政策的提言、討議をいかにされているのか（議員のサラリーマン化はつまらない）。【4件】
- ・ 行政のムダ使いを減らし、税金を区民の福利厚生にできるだけ回してほしいと思います。【4件】
- ・ 区民事務所の窓口の土日曜日、休日業務を望みます。または、夜間 20 時くらいまでの業務。窓口が少なくなったうえに、土日も開いてなくて住民票 etc 受取りに不便です。職員のローテーションで、ぜひお願いします。マイナンバーカードでのコンビニ etc での受取りには不安を感じますので…。【2件】
- ・ 豊島区などの隣接している区との連携の問題。
- ・ 区民の為の区政だと思いますが、どちらも一方通行の様。
- ・ 各税金（保険・年金）の負担が大きすぎるため、諸々の予算を見直して欲しい。【4件】

■職員の対応

- ・ 以前窓口に伺った時の男性職員のだらしの無い格好（ズボンベルト外し、ウエストのボタン外し）、呼んでも誰ひとり見向きもせず、2、3 回声を掛けて仕方なく出て来られた人がこの有様、とてもガッカリし、残念に思いました。何年か前に友人のお供で板橋区役所に行った時の職員の方の対応の素晴らしさ、親切さを目の当たりにした事が有り、同じ役所の職員なのと思った出来事でした。何年か前なので、今現在はそう言う事は無いと信じたいです。頑張ってください。【4件】
- ・ 私は只今健康いきがい課、高齢福祉課に参加させていただいております。月一回～二回ですが、区役所の方々、協力員の方々のご温情あふれるお気持やお気遣いに変え感謝いたしております。幸せを感じております。又、そのつどそのつど区役所の方々も出席されて、私共にきめ細かいお話をいただいております。心からお礼申し上げます。【2件】
- ・ 出張所に用事で出掛ける時が稀にあるのですがその時の職員の方の対応がもう少し軟らかさがほしいと思いますが、如何でしょうか？一般の人間にとっては役所に対して苦手意識があるものですから余計にそう思うのでしょうか。今後いろいろお世話になると思います。
- ・ 区役所などの窓口対応や電話対応は、昔より良くなった。たぶん窓口は派遣社員がやっているからかと思うが、相変わらず職員らしき、特に男性の対応や電話対応は悪いので、対応後にアンケートなどを取って名指しで対応の悪さを指摘できるようにしてはどうかと思う。そして、指摘された職員は、きちんと対応できるまでみっちり研修をしたら良いと思う。もちろん、研修は無償でやるべき。無能な人に無駄な税金は使わないでもらいたい。
- ・ 北区は年寄りにあたたかい町、住みやすい町。私達にはとてもありがたい町です。区長はじめ、職員の方々も、いきいきしている、親切である。
- ・ 北区の職員について。現在、北区職員は適正に人員（人数）を配置しているのか、適正給料なのか？北区職員数多いのでは？

■アンケートについて

- ・ 返信用の封筒のサイズがもう少し大きいと良いと思います。【5件】
- ・ 調査項目が多すぎますので改善を要望致します。忙しい中に時間を使って回答しましたので、必ず区政運営にお役立て頂けますようお願い致します。【8件】
- ・ 項目が多すぎて集中力が途切れてしまいました。中には適当に回答してしまったものもあります。区が重要と考える項目をもう少し絞って、じっくり考えて回答できるような意識調査にしてほしいです。【2件】
- ・ 最後にこのアンケートについて、回答を一つ選べとか二つまで、三つまで選べとか言わず、順位にして欲しかった。丸を付けたい選択肢がけっこうあった。以上、区政に役立ちます様。【3件】
- ・ このようなアンケートは紙もしくはインターネットでも回答できるようにしてほしい。「紙」に手書きは手間。【2件】

■その他

- ・ 北区は高齢者にしか優しくない区という認識。足立区、荒川区といった区と比べると新規の事に取り組む意欲がない様を感じる（情報発信力が弱いのか？）。住みはじめてから近隣の商店街は廃れ、若者は転出する一方（田端新町）。山手線沿線でもあり、この状態は正直潜在力を全く生かせていないと感じる。区境ゆえ難しい部分があるのであれば、他区との連携を含め、新しいことに積極的にチャレンジしてほしい（再開発等）。教育面でもタブレットPC導入も含めた検討を行うとともに、アジア人が比較的多い特性もふまえて、価値観の違い等々多様性を意識した授業を行ってはどうか。
- ・ 生まれ育ったこの北区でこれからも住んでいられる様に区民としてやらなければならない事をしようと思っています。年長者も子どもも笑ってあいさつしあえる地域を目指したいです。
- ・ 日本に来て4年になりました。日本はほんとに住みやすいところだと思います。しかし留学生にとって一つ困ることがあります。税金や国民健康保険料や区民税などの支払いが多くて困っています。私には4歳の子供がいます。現在韓国に住んでいます。学費を払いながら子供の生活費、家賃で負担がいっぱいなのに、プラスの支払いがたくさんあって、金額も毎年上がって経済的に非常に負担がかかっています。
- ・ 東十条駅のエスカレーター、エレベーターに自転車を乗せるのをやめて欲しい。
- ・ 自治会の意見・要望は区政に反映されているのだろうか。
- ・ いつも有難うございます。【2件】
- ・ 区政に対してはあまり関心がありませんでした。北区ニュースは講座・講演会をまず見て、後はそのままが多いがこれからは一頁目から読むように心がけ、活用したいと思います。選んで頂きありがとうございます。良い勉強になりました。
- ・ 北区ニュース等で区長さんの言われている様な住むなら北区が一番と思っております。とても安心して住める町だと思います。

- ・ 都心に行くには便利なだけで普段の生活はしていないので興味はない。休みの日も北区で買い物をするわけではないので関心はない。十条駅のロータリーは改善したほうがいいと思うが、ビルを建てる必要はなし。年齢層が高いのにビルを作ってもムダになるだけ。バス・タクシー・宅配の方達に安全な道にしてほしい。一般の車の制限など考えてほしい。もっと普段から仕事も生活も北区でしている人に意見を聞いたほうが参考になるのでは。住所があるだけで買い物などをしていない人はたくさんいます。変化がないので関心を持つことはこの先もないです。
- ・ 不満が多いため書ききれません。
- ・ 有言実行が大切だと思います。
- ・ 質問内容がよく理解できないものがあり、じっくり文言の勉強をします。知らないことが多かったのもっとニュースをしっかりと読まないといけないと思いました。住みやすい北区、愛される北区になるよう惜しまぬ努力をお願いします。
- ・ 意見を聞く前に区政が何をやっているか、何が良くて何が悪いのか、判断できる物が少なすぎる。ただ、港区や千代田区のような目に見える対策が無いのは良く見えるため、マイナスなイメージを持っている。
- ・ 北区は日本全国（札幌から熊本まで）にあるので、観光や防災で連携できないでしょうか。日本に北区が何か所有するか等興味があります。
- ・ 北区の23区内での財政、区民サービス、施設、公園、病院、自然緑等のランキングを知りたいです。

■外国籍の方の意見・要望

- ・ 日頃地域の皆様のご支援を受け健やかで活気を持ち日常を送っており感謝致します。区民意識調査はとっても有意義に思っております。今後も未弱な意見を添えたいと思います。宜しくおねがい申し上げます。
- ・ 住みやすいところですが、夜に帰る道が怖いです。人が少ないからです。でも、寝る時は静かだと思います。

IV 調査票

北区民意識・意向調査

平成28年6月

北 区 政策経営部企画課
電話：03-3908-1104（ダイヤルイン）

この区民意識・意向調査は、「北区中期計画（平成27年度～29年度）」の改定に向けて実施するもので、区民の皆様の意識・意向などを把握するとともに、今後の区政運営に向けた課題の抽出、行政需要などを調査するものです。

この調査対象は、満20歳以上の北区民の中から2,000人の方を無作為抽出の方法で選ばせていただきました。

お答えいただきましたご意見、ご回答の結果は、すべてコンピュータで集計し、基礎資料として活用させていただきますが、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

また、調査に関する業務は、北区の委託により有限会社グローバルプランニングが行います。

調査票記入上のお願い

1. ご本人が記入してください。
（ご病気等のご事情によりご本人が記入できない場合にはご相談ください。）
2. 回答は、選択肢の中からあてはまるものを選んで、その番号に○をつけてください。
※回答の中の「その他（具体的に： ）」に○をつける場合は、（ ）内にできるだけ具体的にご記入ください。
3. 設問によって、選択肢を1つだけ選んでいただくものと複数選んでいただくものがありますので、ご注意ください。
4. 記入もれの無いように、お願いいたします。
5. **外国語（英語、中国語、ハングル）で書かれた調査票が必要な方は、下記までお問い合わせください。**

※ If you need a questionnaire written in foreign language (English, Chinese, Korean), please contact the following.

～この調査に関するお問い合わせ先～

有限会社グローバルプランニング
担当：犬童（いんどう）、澤口
電話：03-5354-5585
受付時間：9：30～18：00
※土、日、祝日を除く

Contact

Global Planning
Indo, Sawaguchi
Tel：03-5354-5585
Office hours：9：30～18：00
※Closed on Sat, Sun, and national holidays

◎ご記入後は、同封の返信用封筒に入れ（切手不要）、6月30日（木）までにご返送いただきますようお願いいたします。

【定住意志】

問1 あなたは、いつ頃から北区に住んでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 昭和 30 年以前から	4 昭和 51～60 年から	7 平成 13～17 年から
2 昭和 31～40 年から	5 昭和 61～平成 7 年から	8 平成 18～22 年から
3 昭和 41～50 年から	6 平成 8～12 年から	9 平成 23 年以降から

問2 あなたは、現在のところに住む前は、どちらに住んでいましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(4～8にあてはまる場合には、具体的な市町村名を記入してください。)

1 現住所(生まれてからずっと)	5 埼玉県(市・町・村)
2 北区内の他の場所	6 千葉県(市・町・村)
3 北区以外の特別区	7 神奈川県(市・町・村)
4 特別区以外の東京都(市・町・村)	8 その他(具体的に:)

→【問2で3を選んだ方にうかがいます】

問2-1 何区ですか。

1 千代田区	7 墨田区	13 渋谷区	19 練馬区
2 中央区	8 江東区	14 中野区	20 足立区
3 港区	9 品川区	15 杉並区	21 葛飾区
4 新宿区	10 目黒区	16 豊島区	22 江戸川区
5 文京区	11 大田区	17 荒川区	
6 台東区	12 世田谷区	18 板橋区	

問3 あなたは、現在のところにこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 ずっと住み続けたい	3 いずれは転居したい
2 当分は住み続けたい	4 すぐにでも転居したい

→【問3で3、4を選んだ方にうかがいます】

問3-1 その主な理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 現在の住宅に不満があるから	10 商売や事業には向かないから
2 建替えによる立ち退きをせまられているから	11 自然環境に恵まれていないから
3 親や家族の事情から	12 近所付き合いや人間関係に不満があるから
4 相続税・固定資産税が高いから	13 現在のところに魅力や愛着がないから
5 物価が高く住みにくいから	14 自分の持ち家を持ちたいから
6 買い物や日常生活に不便だから	15 その他(具体的に:)
7 家賃・地代が高いから	
8 通勤・通学に不便だから	
9 文化施設や教育施設などの公共施設が少ないから	

→【問3で3、4を選んだ方にうかがいます】

問3-2 できたらどこへ転居したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 区内	7 戸田市
2 板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区	8 埼玉県(5～7以外)
3 千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区	9 千葉県
4 その他(1～3)以外の都内区市町村	10 神奈川県
5 さいたま市	11 その他(具体的に:)
6 川口市	

問4 あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 愛着を感じる | 4 愛着を感じない |
| 2 どちらかという愛着を感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかという愛着を感じない | |

問5 北区のブランドメッセージ「住めば、北区東京。」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1 見たり聞いたりしたことがあって意味も知っている | 3 まったく知らない |
| 2 見たり聞いたりしたことはあるが意味は知らない | |

【生活圏・行動圏】

問6 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用したことがあるものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| <区民サービス施設> | |
| 1 保健施設（保健所、保健センター） | 8 元気ぶらざ |
| 2 健康増進センター「へるしあKITA」 | 9 エコー広場館 |
| 3 男女共同参画センター「スペースゆう」 | 10 消費生活センター |
| 4 北とびあ・会館 | 11 ネスト赤羽（創業支援施設） |
| 5 集会施設（区民センター、ふれあい館） | 12 北区セシモニーホール |
| 6 地域振興室 | 13 区民事務所・分室 |
| 7 NPO・ボランティアぶらざ | |
| <区民福祉施設> | |
| 14 保育所 | |
| 15 児童館、子どもセンター、ティーンズセンター | |
| 16 育ち愛ほっと館 | |
| 17 高齢者福祉施設
（特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、高齢者あんしんセンターなど） | |
| 18 老人いこいの家、高齢者福祉コーナー（ふれあい館内） | |
| 19 心身障害者施設（障害者福祉センター、福祉作業所など） | |
| 20 子ども発達支援センターさくらんぼ園 | |
| <教育・文化施設> | |
| 21 幼稚園 | 26 ココキタ（北区文化芸術活動拠点） |
| 22 図書館 | 27 文化センター |
| 23 ふるさと農家体験館 | 28 屋内スポーツ施設（体育館、温水プールなど） |
| 24 飛鳥山博物館 | 29 屋外スポーツ施設（テニスコート、野球場など） |
| 25 田端文士村記念館 | |
| <その他> | |
| 30 公園、児童遊園、遊び場 | 33 区営自転車駐車場 |
| 31 防災センター | 34 その他（具体的に：) |
| 32 区民保養施設（しらかば荘など） | 35 利用したことがない |

問7 あなたは、普段どのような場所で日用品や食料品を買いますか。もっとも多くあてはまるものに、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 徒歩か自転車でいける近所で買い物をする | |
| 2 北区内ではあるが、バスや電車などに乗って行く場所で買い物をする | |
| 3 北区外の他区市（都内）で買い物をする | |
| 4 他県（都外）で買い物をする | |
| 5 その他（具体的に：) | |

【生活環境評価】

問8 あなたの自宅周辺の生活環境について、どのように感じていますか。例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

分類	項目	よい	よい やや	普通	わるい やや	わるい
例	日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
8-1 生活の 利便性	1 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
	2 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
	3 診療所や病院などの医療機関への便利さ	1	2	3	4	5
	4 集会施設や図書館・スポーツ施設などへの便利さ	1	2	3	4	5
8-2 生活の 快適性	1 まちなみの美しさや景観のよさ	1	2	3	4	5
	2 近隣の樹木や街路樹などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	3 公園・広場・子どもの遊び場などの公共空間	1	2	3	4	5
	4 近所のクーラーやピアノなどの生活騒音	1	2	3	4	5
	5 建物のこみぐあい	1	2	3	4	5
	6 日当たりや風通し	1	2	3	4	5
	7 ごみの収集・処理	1	2	3	4	5
	8 工場、自動車、鉄道の騒音・振動	1	2	3	4	5
	9 自動車の排気ガスなどによる空気の汚れ具合	1	2	3	4	5
8-3 地域の 安全性	1 火災・震災時の安全性	1	2	3	4	5
	2 台風や豪雨時の水害への安全性	1	2	3	4	5
	3 風紀・防犯	1	2	3	4	5
	4 通園・通学・買い物時の交通の安全性	1	2	3	4	5
8-4 地域の 文化性	1 古いまちなみや史跡など歴史的雰囲気	1	2	3	4	5
	2 近所づきあいや地域の連帯感	1	2	3	4	5
	3 近代的なまちなみや建物など近代的雰囲気	1	2	3	4	5
8-5 地域の 国際性	1 外国出身の方にとっての住みやすさ	1	2	3	4	5
	2 まちなかの外国語表記の案内板等	1	2	3	4	5

問9 あなたの自宅周辺は、全体的に見て住みやすいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 住みやすい	4 住みにくい
2 やや住みやすい	5 わからない
3 やや住みにくい	

問10 あなたは、今住んでいる住宅に満足していますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 満足	4 やや不満
2 やや満足	5 不満
3 どちらとも言えない	

→[問10で4、5とお答えの方にはうかがいます]

問10-1 住宅に対する不満の理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 家賃、地代が高い	5 日当たりが悪い
2 住宅が狭い	6 騒音がひどい
3 建物が古い	7 大気汚染など環境が悪い
4 設備が悪い	8 その他（具体的に：)

【区政への関心・評価】

問11 あなたは、北区政にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1 大に関心がある
2 やや関心がある
3 あまり関心はない
4 全く関心がない
5 わからない

問12 あなたは、北区政情報を主に何から入手していますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1 北区ニュース
2 インターネット（北区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube 北区公式チャンネル等）
3 わたしの便利帳
4 区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット
5 区役所への問い合わせ
6 「安全・安心」快適メール・防災気象情報メール等の配信
7 J：COM東京北（J：COMチャンネル）
8 掲示板・回覧板
9 その他（具体的に：)

問13 区が取り組んでいるそれぞれの施策について、あなたはどれくらい満足していますか。
例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

項 目	満足	満足 やや	満足 やや 不満 も	不満 やや	不満
(例) 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	②	3	4	5
1 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	2	3	4	5
2 ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	1	2	3	4	5
3 高齢者・障害者の自立支援の推進	1	2	3	4	5
4 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
5 子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	1	2	3	4	5
6 区内産業・商店街の振興	1	2	3	4	5
7 就労支援	1	2	3	4	5
8 観光の推進	1	2	3	4	5
9 コミュニティ活動の支援・設備の充実	1	2	3	4	5
10 芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
12 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5
13 学校教育の充実	1	2	3	4	5
14 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5
15 グローバル化(国際化)の推進	1	2	3	4	5
16 男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	5
17 消費者の保護・自立支援の推進	1	2	3	4	5
18 再開発などの計画的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
19 防犯対策の充実	1	2	3	4	5
20 防災対策の充実	1	2	3	4	5
21 インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	1	2	3	4	5
22 広報・広聴活動	1	2	3	4	5
23 幹線道路、狭小道路の整備	1	2	3	4	5
24 自転車駐車場の整備	1	2	3	4	5
25 住宅対策(定住化促進)	1	2	3	4	5
26 まちなみや景観の整備	1	2	3	4	5
27 公園や遊び場の整備	1	2	3	4	5
28 省資源・省エネルギー対策の推進	1	2	3	4	5
29 ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
30 自然環境の保全・創出の推進	1	2	3	4	5
31 行財政改革	1	2	3	4	5

問14 区が取り組んでいるそれぞれの施策は、あなたにとってどれくらい重要であると思いますか。
例に従い、次の中からあてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

項 目	重 要	重 要 や や	ど か ら い も 言 え な い	重 要 で な い や や	重 要 で な い
(例) 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	②	3	4	5
1 健康づくり(保健・医療体制)の充実	1	2	3	4	5
2 ともに支え合い助け合うしくみづくりの推進 (ボランティア・市民活動団体による福祉サービスなど)	1	2	3	4	5
3 高齢者・障害者の自立支援の推進	1	2	3	4	5
4 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
5 子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーの まちづくりの推進	1	2	3	4	5
6 区内産業・商店街の振興	1	2	3	4	5
7 就労支援	1	2	3	4	5
8 観光の推進	1	2	3	4	5
9 コミュニティ活動の支援・設備の充実	1	2	3	4	5
10 芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
12 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5
13 学校教育の充実	1	2	3	4	5
14 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5
15 グローバル化(国際化)の推進	1	2	3	4	5
16 男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	5
17 消費者の保護・自立支援の推進	1	2	3	4	5
18 再開発などの計画的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
19 防犯対策の充実	1	2	3	4	5
20 防災対策の充実	1	2	3	4	5
21 インターネット等による電子自治体の推進 (電子申請やマイナンバー制度の活用など)	1	2	3	4	5
22 広報・広聴活動	1	2	3	4	5
23 幹線道路、狭小道路の整備	1	2	3	4	5
24 自転車駐車場の整備	1	2	3	4	5
25 住宅対策(定住化促進)	1	2	3	4	5
26 まちなみや景観の整備	1	2	3	4	5
27 公園や遊び場の整備	1	2	3	4	5
28 省資源・省エネルギー対策の推進	1	2	3	4	5
29 ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
30 自然環境の保全・創出の推進	1	2	3	4	5
31 行財政改革	1	2	3	4	5

問15 あなたは、この1年間に区の施設に出かけたり、電話をかけたりしたことなどがありますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 出かけたことがある | 4 1～3をしたことがない |
| 2 電話をかけたことがある | |
| 3 電子メールを出したことがある | |

→ [問15で1～3を選んだ方にうかがいます]

問15-1 その時に対応した職員に対して、あなたはどのように感じましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | |
|--------|-------------|--------|
| 1 よかった | 2 どちらとも言えない | 3 悪かった |
|--------|-------------|--------|

→ [問15-1で3を選んだ方にうかがいます]

問15-2 悪かった理由は、何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 職員からの挨拶や案内の声かけがなかった |) |
| 2 職員の服装や髪が見苦しかった | |
| 3 職員の事務処理が遅く、長い時間待たされた | |
| 4 職員の態度が横柄、機械的だった | |
| 5 職員の説明が難しくわかりづらかった | |
| 6 間違っただけに案内・電話転送された | |
| 7 3コール以上鳴らしても電話に出なかった | |
| 8 電話に出たときに名前を名乗らなかった | |
| 9 調べ物等で時間がかかり、長く電話口で待たされた | |
| 10 電子メールに対する返答が遅かった | |
| 11 電子メールに対する返答がわかりづらかった | |
| 12 その他(具体的に： | |

問16 北区では、これまで事業や組織の見直しなど経営改革に取り組んできました。今後、より効率的な行政を進めるために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 部や課を統合したり、職員を減らす | |
| 2 | 効果の薄れた事業、補助金を廃止、縮小する | |
| 3 | 行政以外でできるサービスは、民間企業やNPOなどへの外部委託や指定管理者制度(※)、民営化を推進する | |
| 4 | パートナーシップ(区民と区との協力関係)推進を図る | |
| 5 | 区政運営全般の情報化(電子区役所)やマイナンバー制度の活用を推進する | |
| 6 | 窓口の開庁時間の延長や、便利で分かりやすい窓口の整備を図る | |
| 7 | 区政に関する情報を積極的に公開する | |
| 8 | 職員の能力の向上を図る | |
| 9 | 窓口での職員の対応を向上させる(窓口サービスの改善) | |
| 10 | 行政サービスの利用者(受益者)負担を適正化する | |
| 11 | 区の仕事について区自らが評価する制度(行政評価制度)を充実する | |
| 12 | 区施設の他用途への転用や売却等の有効活用を図る | |
| 13 | 外郭団体の財源の自立化や経営の効率化を図る | |
| 14 | その他(具体的に: |) |
| 15 | 特になし | |

※ 「指定管理者制度」：公の施設の管理運営を民間の団体に代行させること。

問17 北区では、公共施設の老朽化が進行しており、その改築・改修に伴う経費の増加が財政状況を圧迫する可能性があります。今後、公共施設にかかる経費の削減のために、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 建物の適正な維持管理を行い、できるだけ長い期間、建物を使用することで、公共施設の建て替え経費を削減する |
| 2 | 公共施設に対する区民の新たなニーズへは、新しい施設を建てず、今ある施設の用途を変更して対応することで、施設の建設経費を削減する |
| 3 | 公共施設を利用する際の施設使用料を見直し、施設利用者の負担を増やすことで、区が税金で負担する施設の管理運営費を削減する |
| 4 | 公共施設の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する |
| 5 | 公共施設を統廃合や廃止をすることで、施設数を減らし、施設にかかる経費を削減する |
| 6 | 公共施設の建て替えや改修工事、施設の管理運営面で、民間のノウハウや資金を活用することで、区が税金で負担する施設にかかる経費を削減する |
| 7 | 他の経費を削減し、公共施設にかかる経費を重点的に投下する |
| 8 | 特になし |

問18 公共施設にかかる経費を削減するために、施設の数を減らしていかなければならなくなった場合、どのような状況の施設から削減していけば良いと考えますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 老朽化が著しい施設 | |
| 2 | あまり利用されていない施設 | |
| 3 | 同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設 | |
| 4 | 区民のニーズに合わなくなった施設(具体的に: |) |
| 5 | 施設の管理や運営に高い経費がかかる施設 | |
| 6 | 区内全域で利用するような規模の大きな施設(北とぴあ・会館、文化センター、体育館など) | |
| 7 | 各地域に配置されているような規模の小さな施設(ふれあい館、区民事務所分室、図書館など) | |

北区は「区民とともに」という基本姿勢と、「子ども」・かがやき戦略、「元気」・いきいき戦略、「花＊みどり」・やすらぎ戦略、「安全・安心」・快適戦略という四つの重点戦略を掲げ、重点的で効率的・効果的な区政推進に努めています。
次からは、基本姿勢と重点戦略に関するご意見をお伺いいたします。

【区民とともに】

問 19 今までに、区政参画または地域活動にスタッフとして参加したことがありますか。

1 ある	2 ない
------	------

→ [問 19 で 1 を選んだ方にうかがいます]

問 19-1 どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 審議会や委員会の公募委員に応募
- 2 パブリックコメント（区民意見公募手続）などの意見の提出
- 3 町会・自治会活動
- 4 ボランティア活動
- 5 高齢者や障害者に対するサービス活動
- 6 子育てに関する活動
- 7 生涯学習に関する活動
- 8 健康づくりに関する活動
- 9 文化・芸術・スポーツに関する活動
- 10 まちづくりに関する活動
- 11 環境保全や緑化推進に関する活動
- 12 防災に関する活動
- 13 交通安全に関する活動
- 14 その他（具体的に： _____）

→ [問 19 で 2 を選んだ方にうかがいます]

問 19-2 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 参加・活動するきっかけがない
- 2 家事や仕事が忙しく時間がない
- 3 参加・活動したいが情報がない
- 4 参加したいと思う活動がない
- 5 興味がない
- 6 その他（具体的に： _____）

問 20 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- 1 区民と一緒に計画を策定し事業を実施する
- 2 情報公開など開かれた区政の推進
- 3 パブリックコメント（区民意見公募手続）の推進
- 4 審議会や委員会等の委員の公募
- 5 NPO・ボランティアなどの自主的な活動への支援
- 6 NPO・ボランティアなどの情報提供
- 7 自治基本条例や区民参画条例の制定
- 8 文化基金や福祉基金など区民出資による事業の実施
- 9 多様な手段を活用した区政の情報発信
- 10 広聴活動の充実
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特になし

【「子ども」・かがやき戦略】

問 2 1 今後、子どもたちの健やかな成長支援を推進するための子育て支援について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 子育て情報の収集・提供
- 2 子どもたち向けの自然にふれあえる場の提供
- 3 様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供
- 4 地域の青少年健全育成活動の充実
- 5 学校など子どもが利用する施設の充実
- 6 待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備
- 7 子どもの医療や健康づくり・保健事業の充実
- 8 子どもや保護者が悩みを相談できる場の充実
- 9 幼稚園・保育所などの幼児教育・保育内容の充実
- 10 休日保育や一時保育など多様な保育サービスの拡充
- 11 出産・育児に関する学習機会の充実
- 12 子育て家庭の交流の場の提供
- 13 児童虐待防止の取り組みの充実
- 14 地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚
- 15 乳幼児親子が外出しやすい環境整備
- 16 子育て家庭への経済的な支援の充実
- 17 その他（具体的に：)
- 18 特にない

問 2 2 今後、子どもの健やかな成長支援を推進するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- 1 小学校と中学校の連携
- 2 児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育
- 3 特色ある教育の推進（英語など）
- 4 学力向上への取り組み
- 5 人権教育の推進
- 6 道徳教育の推進
- 7 郷土学習の推進
- 8 学校規模の適正化・適正配置
- 9 計画的な小・中学校の改築・改修（教育環境の充実）
- 10 不登校児童・生徒などへの教育支援体制の充実
- 11 学校・家庭（PTA）・地域との連携
- 12 地域社会との交流促進
- 13 児童・生徒の社会参加の推進
- 14 その他（具体的に：)
- 15 特にない

【「元気」・いきいき戦略】

問23 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | 運動できる施設の開放や整備 | |
| 2 | 散歩道や公園の整備 | |
| 3 | 健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供 | |
| 4 | 健康づくりに関する講習会、栄養指導や運動指導を行う教室の開催 | |
| 5 | 健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援 | |
| 6 | 健康づくりに関する行事（イベント）の開催 | |
| 7 | 利用しやすい健康相談窓口の設置 | |
| 8 | 公共の場や企業・飲食店などへの分煙化の推進 | |
| 9 | 世代やライフサイクルに応じた食育の推進 | |
| 10 | 外食（飲食店・惣菜）産業への栄養成分や産地表示などの推進 | |
| 11 | その他（具体的に： | ） |
| 12 | 特にない | |

問24 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-------------------------|---|
| 1 | 女性の就労の場や機会の拡大 | |
| 2 | 女性の就労における相談体制の充実 | |
| 3 | 女性の健康づくり活動の支援 | |
| 4 | 女性の趣味・教養・文化・スポーツの支援 | |
| 5 | 女性の地域貢献・ボランティア活動の支援 | |
| 6 | ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供 | |
| 7 | ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への支援 | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスに関する相談体制の充実 | |
| 9 | 全ての世代で担う子育ての推進 | |
| 10 | 子育て支援施策の充実 | |
| 11 | その他（具体的に： | ） |
| 12 | 特にない | |

問25 今後、高齢者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 高齢者の就労の場や機会の拡大 | |
| 2 | 高齢者の福祉や生活に関する相談体制の充実 | |
| 3 | 高齢者の保健・医療サービスの充実 | |
| 4 | 高齢者の健康づくり活動の支援 | |
| 5 | 高齢者の趣味・教養・文化・スポーツの支援 | |
| 6 | バリアフリーなどの生活環境の整備 | |
| 7 | 高齢者の地域貢献・ボランティア活動の支援 | |
| 8 | 安心できる防犯・防災対策の充実 | |
| 9 | 地域における高齢者への見守りや声かけ活動の充実 | |
| 10 | 高齢者向けの住宅整備 | |
| 11 | 介護者に対する支援 | |
| 12 | 要介護状態にならないための対策 | |
| 13 | 在宅介護サービスの充実 | |
| 14 | 高齢者施設の整備 | |
| 15 | 介護が必要になったときの在宅療養（※）支援の充実 | |
| 16 | 認知症に対する支援の充実と地域づくりの整備 | |
| 17 | 高齢者虐待に対する啓発活動と支援の充実 | |
| 18 | 高齢者向けの福祉サービスに関する情報収集・発信 | |
| 19 | その他（具体的に： | ） |
| 20 | 特になし | |

※ 「在宅療養」：自宅や入所中の施設など、病院外での「生活の場」で訪問診療・看護等の医療だけでなく、介護や福祉サービスなどを合わせた多目的なサービスを受けながら行う療養のこと。

問26 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 障害者の就労の場及び機会の拡大 | |
| 2 | 障害者の相談体制の充実 | |
| 3 | 障害者への福祉サービスの充実（具体的に： | ） |
| 4 | 障害者の保健・医療サービスの充実 | |
| 5 | 障害者の健康づくりの支援 | |
| 6 | バリアフリーなどの生活環境の整備 | |
| 7 | 障害者向けの生涯学習・文化・スポーツの支援 | |
| 8 | 障害児の保育・教育の充実 | |
| 9 | 安心できる防災対策などの充実 | |
| 10 | 障害者の見守りや声かけ運動 | |
| 11 | 多様な生活の場の整備充実 | |
| 12 | 障害者と地域との交流活動 | |
| 13 | 障害及び障害者に対する理解の促進 | |
| 14 | 障害者向けの情報収集・発信 | |
| 15 | 障害者虐待に対する啓発活動と支援の充実 | |
| 16 | その他（具体的に： | ） |
| 17 | 特になし | |

問27 今後、産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。各テーマから1つずつ選んで○をつけてください。

【商店街の振興に関すること】 1つお選びください。

- 1 消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援
- 2 楽しく買い物ができる商店街活動への支援
- 3 商店街の環境整備への支援
- 4 空き店舗活用への支援
- 5 商品やサービスにこだわりを持つ店舗を増やすための支援
- 6 その他（具体的に：)
- 7 特にない

【中小企業の振興に関すること】 1つお選びください。

- 1 企業の優れた技術や技能を伸ばし、技術力を継承するための支援
- 2 福利厚生など、中小企業に働く社員のための支援
- 3 地域の特性を活かした新たなブランドづくりへの支援
- 4 新商品開発など、企業間の技術の連携を促すための支援
- 5 経営者の経営力を高めるための支援
- 6 企業間の発受注を活発にするための支援など、販路開拓を推進するための支援
- 7 その他（具体的に：)
- 8 特にない

【区の産業全体に関すること】 1つお選びください。

- 1 自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援
- 2 区内に新たな産業分野を育てるための支援
- 3 地域の資源を活用したビジネスや、住民が地域の課題を、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み（コミュニティビジネス）を促すための支援
- 4 多様な業種における企業間連携など、異業種間のネットワーク構築を促すための支援
- 5 産学官連携を促すための支援
- 6 その他（具体的に：)
- 7 特にない

※ 「産学官連携」：新技術の研究開発や、新事業の創出を図ることを目的として、大学などの教育機関・研究機関と民間企業等と政府・地方公共団体が連携すること。

問28 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- 1 北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援
- 2 文化芸術活動を行う文化団体・芸術家等に対する支援
- 3 様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供
- 4 文化芸術活動に参加できる機会と活動場所の拡大・整備
- 5 子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実
- 6 地域の文化芸術に関する情報の提供
- 7 歴史的文化の保存・継承と活用
- 8 その他（具体的に：)
- 9 特にない

問 2 9 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-------------------------|---|
| 1 | 学習に関する情報の提供 | |
| 2 | 学習について相談できる体制の充実 | |
| 3 | 多様な学習意欲に応える講座等の充実 | |
| 4 | 大学や企業等との連携による学習機会の拡充 | |
| 5 | 小・中学校との連携 | |
| 6 | 教育ボランティアの育成 | |
| 7 | 学習の成果や能力を地域で活かす仕組みづくり | |
| 8 | 社会教育団体・スポーツ団体の活動への支援 | |
| 9 | 総合型地域スポーツクラブ（※）の育成 | |
| 10 | 学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等） | |
| 11 | その他（具体的に： | ） |
| 12 | 特にな | |

※ 「総合型地域スポーツクラブ」：地域住民が主体的に運営するスポーツクラブ。多様な世代が多様な目的で参加でき、定期的・継続的なスポーツ活動ができる活動拠点のこと。

問 3 0 北区の観光振興に関する取組みのなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全 | |
| 2 | 伝統芸能や史跡などの歴史的な有形・無形の文化財の保全 | |
| 3 | 観光イベントの開催・支援 | |
| 4 | 名物となる食べ物や土産品などの開発・販売 | |
| 5 | 広報誌やインターネットなど様々な観光情報の発信 | |
| 6 | 外国人旅行者に対する観光情報の発信 | |
| 7 | 区内観光スポットを案内できる観光ボランティアの育成・充実 | |
| 8 | 観光案内板の設置 | |
| 9 | 観光案内所の設置 | |
| 10 | 新たな観光施設の整備 | |
| 11 | ものづくり現場の見学・体験（伝統産業や工場など） | |
| 12 | その他（具体的に： | ） |
| 13 | 特にな | |

問 3 1 今後、国際化を推進していくなかで、あなたが重視すべきだと思う取組みは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 異文化理解に関する教育の推進 | |
| 2 | 外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実 | |
| 3 | 国際交流ができる場や機会の拡大 | |
| 4 | 国際交流・協力ボランティアの育成・充実 | |
| 5 | 様々な海外都市との交流推進 | |
| 6 | 多言語による区政情報や生活情報の発信 | |
| 7 | 多言語による公共施設などの案内表示の促進 | |
| 8 | 外国人区民にきめ細かく対応できる相談体制の整備 | |
| 9 | 外国人区民の地域社会への参画推進 | |
| 10 | 国際交流支援団体への支援 | |
| 11 | 外国人区民と日本人区民による多文化共生社会（※）の実現 | |
| 12 | その他（具体的に： | ） |
| 13 | 特にな | |

※ 「多文化共生社会」：異なる文化や価値観を認め合い、支え合って、共に地域で暮らすこと。

【「花*みどり」・やすらぎ戦略】

問3 2 あなたが、日頃、地球温暖化対策として取り組んでいる活動は何ですか。
また、あなたが、今後、取り組んでいきたいと思っている活動は何ですか。
それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

項 目	解答欄	
	日頃実践している	今後取りたい
1 暖房の設定温度を20度以下にする		
2 冷房の設定温度を28度以上にする		
3 白熱電球を蛍光灯に交換する		
4 コンセントをこまめに抜く		
5 買い物にはエコバック等を使い、過剰包装を避ける		
6 マイボトル、マイ箸などを持ち歩く		
7 雨水を利用する		
8 太陽光などの自然エネルギーを利用する		
9 省エネルギー型の給湯器を導入する		
10 グリーンマーク（※1）やエコマーク（※2）のついた環境に配慮した商品を利用する		
11 家電製品を購入するときは、省エネラベル（※3）を参考にする		
12 緑のカーテンや遮熱性塗料を導入する		
13 環境について学ぶ		
14 必要な場合以外はマイカーを使わず、自転車やバス、電車などを利用する		
15 照明にLEDを使用している		
16 その他（具体的に： _____）		



グリーンマーク



エコマーク



省エネラベル（例）

- ※1 「グリーンマーク」：グリーンマークは、古紙利用製品の使用拡大を通じて古紙の回収・利用の促進を図るため、古紙を原料に利用した製品であることを容器に識別できる目印としてつけられています。（原則として古紙を40%以上原料に使用した紙・紙製品）
- ※2 「エコマーク」：エコマークは、資源の再生利用によってつくられたものなど、環境にやさしい商品に付けられるマークのことです。
- ※3 「省エネラベル」：2000年8月にJIS規格として導入された表示制度で、エネルギー消費機器の省エネ性能を示すものです。省エネラベルは、家電製品やガス石油機器などが国の定める目標値（トップランナー基準＝省エネ基準）をどの程度達成しているか、その達成度合い（%）を表示しています。

問33 今後、やすらぎのある快適な都市環境形成のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|---------------------------------|---|
| 1 | 環境問題に関する講習会、学習会などの開催 | |
| 2 | 環境問題に関する情報提供 | |
| 3 | NPO、ボランティア、市民団体など地域の環境活動に対する支援 | |
| 4 | 区が率先して、新エネルギー機器導入など省エネ・省資源に取り組む | |
| 5 | 省エネルギー機器普及のための支援 | |
| 6 | レジ袋や過剰包装の辞退などごみの発生抑制に向けた普及啓発 | |
| 7 | 不用品の情報交換など再使用のための取り組み | |
| 8 | 古紙・びん・缶・ペットボトルなどのリサイクルの推進 | |
| 9 | 事業者に対するごみ発生・排出抑制のための指導 | |
| 10 | 屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取り組み | |
| 11 | 道路など公共の場所の美化の推進 | |
| 12 | 河川や水辺などの親水空間の整備 | |
| 13 | 道路や公共施設などの緑化の推進 | |
| 14 | 公園や遊び場の増設 | |
| 15 | 区民主体の季節感あふれる身近な公園づくり | |
| 16 | 美しいまちなみの創造 | |
| 17 | その他（具体的に： | ） |
| 18 | 特にない | |

【「安全・安心」・快適戦略】

問34 あなたはお住まいの地域で日常的に不安を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 感じる | 4 | あまり感じない |
| 2 | やや感じる | 5 | 感じない |
| 3 | どちらともいえない | | |

→【問34で1、2を選んだ方にうかがいます】

問34-1 どのようなことに不安を感じますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 子どもの安全 | |
| 2 | 振り込め詐欺や侵入盗などの犯罪 | |
| 3 | 交通事故や鉄道事故などの交通災害 | |
| 4 | 地震や水害などの自然災害 | |
| 5 | 火災やガス爆発などの災害 | |
| 6 | 食品や衣料品などの生活用品の安全性 | |
| 7 | その他（具体的な内容、場所等： | ） |

問35 あなたのお住まいの地域を安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 犯罪や災害等に関する情報の提供・発信 | |
| 2 | ポスターや広報紙による犯罪や災害等に関する啓発活動 | |
| 3 | 防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動 | |
| 4 | 民間企業、警察・消防など関連機関等との連携体制の整備 | |
| 5 | 防災、防犯に関するイベント・キャンペーンや講習会の開催 | |
| 6 | 防犯灯、防犯カメラなどの設置 | |
| 7 | 交通安全教育の充実 | |
| 8 | 歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保 | |
| 9 | 地震や水害などの自然災害に対する防災対策 | |
| 10 | 火災やガス爆発などの災害対策 | |
| 11 | その他（具体的に： | ） |
| 12 | 特にない | |

問36 地震などの自然災害に対して安全なまちにするために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 無線機器の充実など情報の収集・伝達体制の整備 | |
| 2 | 民間企業、警察・消防など関係機関等との連携体制の整備 | |
| 3 | 自主防災組織・地区防災会議等の育成強化 | |
| 4 | 食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保 | |
| 5 | 防災公園の整備など避難場所・避難所の確保 | |
| 6 | 災害用深井戸や防災センターなど防災施設・設備の整備 | |
| 7 | 学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策 | |
| 8 | 災害時の医療機関との連携などによる医療体制の整備 | |
| 9 | 高齢者や障害者など災害時要援護者の安全対策 | |
| 10 | 災害ボランティアの育成や活用などの対策 | |
| 11 | 区民・事業所への啓発活動の推進 | |
| 12 | 道路の拡幅や燃えないまちづくりなど防災まちづくりの推進 | |
| 13 | 震災後の復旧・復興対策 | |
| 14 | 建物の耐震化や家具類の転倒防止対策の推進 | |
| 15 | その他（具体的に： | ） |
| 16 | 特にない | |

【北区の印象・将来像】

問37 あなたは、現在の北区についてどのようなイメージを持っていますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|----|---------------|
| 1 | 伝統のあるまち | 8 | 古めかしいまち |
| 2 | 活力のあるまち | 9 | 騒がしいまち |
| 3 | 便利で住みやすいまち | 10 | ごみごみしているまち |
| 4 | 文化のにおいが薫るまち | 11 | うるおいが乏しいまち |
| 5 | 高齢者や障害者にやさしいまち | 12 | 人間関係がわずらわしいまち |
| 6 | 緑豊かなまち | 13 | その他 |
| 7 | 人情味豊かなまち | | （具体的に： |
| | | 14 | 特にない |
| | | | ） |

問38 あなたは、将来の北区はどのようなまちになれば良いと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 健やかに安心して暮らせるまち | |
| 2 ふれあいと思いやりのあふれるまち | |
| 3 地域産業の活力あふれるまち | |
| 4 いきいきと活動できるにぎわいのあるまち | |
| 5 地域文化を大切にすまち | |
| 6 生活利便性の高いまち | |
| 7 安全で災害に強いまち | |
| 8 快適な居住環境を育むまち | |
| 9 その他（具体的に： _____） |) |

問39 あなたがお住まいになっている地域は、将来どのようなまちに発展していくことを期待しますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 閑静で環境の良い住宅地 | |
| 2 よい品物が安く購入できる商店があるまち | |
| 3 若者でにぎわうファッション性豊かなまち | |
| 4 スポーツ施設や文化施設などが整備された文化的なまち | |
| 5 高層ビルやマンションの建つ近代的なまち | |
| 6 公園や緑などの多い自然と親しめるまち | |
| 7 近隣相互の交流のある人情味あふれるまち | |
| 8 住宅と商工業が調和したまち | |
| 9 その他（具体的に： _____） |) |
| 10 特にない | |

問40 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 北区アンバサダー制度（※）の継続・拡充 | |
| 2 北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催 | |
| 3 北区ロケーション案内（映画、テレビなど） | |
| 4 標識や案内板などのデザイン化 | |
| 5 北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成 | |
| 6 区内の企業などと連携したPR活動 | |
| 7 多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター）による北区に関する報道 | |
| 8 その他（具体的に： _____） |) |
| 9 特にない | |

※ 「北区アンバサダー制度」：北区にゆかりのある著名人・文化人を「北区アンバサダー（大使）」に委嘱し、北区を宣伝してもらう制度。現在のアンバサダーは、内田康夫氏、弦哲也氏、ドナルド・キーン氏、倍賞千恵子氏、水森かおり氏の5名。

【フェイスシート】

あなた自身のことについてお聞きします。

F 1 あなたの性別は何ですか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-----|
| 1 男 |
| 2 女 |

F 2 あなたの年齢は満何歳になりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-----------|
| 1 20～29 歳 |
| 2 30～39 歳 |
| 3 40～49 歳 |
| 4 50～59 歳 |
| 5 60～64 歳 |
| 6 65～69 歳 |
| 7 70 歳以上 |

F 3 あなたの主な職業や仕事は何ですか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 自営業（店舗や事業所の経営者） |
| 2 自由業（開業医、弁護士、作家など） |
| 3 管理職（課長以上） |
| 4 専門技術職（大学教授、裁判官、研究員など） |
| 5 事務職（事務系社員、教員など） |
| 6 技能・労務職 |
| 7 販売・サービス業 |
| 8 学生 |
| 9 家事 |
| 10 無職 |
| 11 その他（具体的に： _____） |

→ [F 3で1～8または11を選んだ方にうかがいます]

F 3-1 通勤先・通学先はどちらになりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 北区内 |
| 2 板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区 |
| 3 千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区 |
| 4 その他（1～3）以外の都内区市町村 |
| 5 さいたま市 |
| 6 川口市 |
| 7 戸田市 |
| 8 埼玉県（5～7以外） |
| 9 千葉県 |
| 10 神奈川県 |
| 11 その他（具体的に： _____） |

F 4 あなたと一緒に住んでいる家族の構成は、どれにあてはまりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 ひとり暮らし
2 夫婦だけ
3 親と子（2世代）
4 祖父母と親と子（3世代）
5 その他（ ）

→ [F 4で1以外を選んだ方にうかがいます]

F 4-1 一緒にお住まいの方に次に該当する方がおられますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 小学校入学前の子どもがいる（5歳以下）
2 小学生・中学生・高校生の子がいる（6歳～18歳）
3 高校卒業後の未婚の子がいる（19歳以上・未婚）
4 65歳以上の高齢者がいる

F 5 あなたの現在のお住まいは、どれにあたりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 一戸建持ち家	6 公共住宅（都営、公団、公社の賃貸）
2 一戸建借家	7 社宅・公務員住宅
3 分譲マンション	8 間借り、下宿、寮、住み込み
4 賃貸アパート・マンション（非木造）	9 その他（具体的に： ）
5 賃貸アパート（木造）	

F 6 あなたの現在のお住まいの地区は、どれにあてはまりますか。次の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

地区名	該当する町丁名
1 浮間	浮間 1～5丁目
2 赤羽西	赤羽北 1～3丁目、桐ヶ丘 1・2丁目、赤羽西 1～6丁目、赤羽台 1～4丁目、西が丘 1～3丁目、上十条 5丁目、十条仲原 3・4丁目、中十条 4丁目
3 赤羽東	赤羽 1～3丁目、岩淵町、赤羽南 1・2丁目、志茂 1～5丁目、神谷 2・3丁目、東十条 5・6丁目
4 王子西	十条仲原 1・2丁目、上十条 1～4丁目、中十条 1～3丁目、十条台 1・2丁目、王子本町 1～3丁目、岸町 1・2丁目、滝野川 4丁目
5 王子東	神谷 1丁目、東十条 1～4丁目、王子 1～6丁目、豊島 1～8丁目、堀船 1～4丁目
6 滝野川西	滝野川 1～3丁目、滝野川 5～7丁目、西ヶ原 1～4丁目、中里 1～3丁目、上中里 1丁目、田端 1～6丁目
7 滝野川東	栄町、上中里 2・3丁目、昭和町 1～3丁目、東田端 1・2丁目、田端新町 1～3丁目

F 7 あなたは町会・自治会に加入していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1 はい	2 いいえ
------	-------

【自由意見】

区政に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。



調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本調査結果は、「北区中期計画（平成 27 年度～29 年度）」の見直しや今後の区政運営に反映させていただきます。

北区民意識・意向調査報告書

平成 28 年 8 月

刊行物登録番号

28-1-044

発 行 北区政策経営部企画課
北区王子本町 1-15-22
電 話 03 (3908) 1104 (ダイヤルイン)

調査分析 有限会社 グローバルプランニング
渋谷区初台 2-9-14
電 話 03 (5354) 5585